

日光市こども計画策定に係る

アンケート調査報告書

～ヤングケラーと貧困に着目した調査結果～

2025年10月

宇都宮大学

目次

1. 調査の背景・目的	2
1-1. 背景	2
1-2. 目的	4
2. 調査の位置づけ	5
3. 調査の方法	5
3-1. 日光市の地域特性について	5
3-2. 調査対象	5
3-3. 配布方法・配布数	5
3-4. 調査時期	7
3-5. 質問項目	7
3-6. 地域別の人口と回答者数の比較	7
4. 調査結果	8
4-1. 「保護者」を対象とした調査結果	9
①属性について	9
②子育てや生活などの実態やニーズについて	15
③保護者自身の困りごとや意識について	80
④日光市のサービスや地域について	86
4-2. 「こども」を対象とした調査結果	108
①属性について	108
②学校や生活などの実態やニーズについて	114
③困りごとや意識について	139
④日光市のサービスや地域について	155
4-3. 「若者」を対象とした調査結果	179
①属性について	179
②学校や生活などの実態やニーズについて	183
③自身の困りごとや意識について	189
4-4. 「子育て関連施設の職員やスタッフ」を対象とした調査結果	199
①職業について	199
②施設の実態について	203
④働くうえでの困りごとについて	214
5. まとめ	220
5-1. 調査結果	220
5-2. 考察	223

1. 調査の背景・目的

1-1. 背景

令和5年4月1日にこども家庭庁が設立され、同日に「こども基本法」が施行された。こども基本法は、「日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、（中略）将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、（中略）こども施策を総合的に推進することを目的とする（こども基本法第1条より抜粋）」。また、「都道府県は、こども大綱を勘案して、当該都道府県におけるこども施策についての計画（中略）を定めるよう努めるものとする。市町村は、こども大綱（都道府県こども計画が定められているときは、こども大綱及び都道府県こども計画）を勘案して、当該市町村におけるこども施策についての計画（中略）を定めるよう努めるものとする。（こども基本法第10条より抜粋）」と、定められている。さらに、「こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする（こども基本法第11条より抜粋）」と定められている。そこで、日光市では、幅広い市民の意見を収集するため、こども計画策定に係るアンケート調査を実施することとした。

こども基本法：関連条文を転載

- 第1条 この法律は、日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができる、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、社会全体としてこども施策に取り組むことができるよう、こども施策に関し、基本理念を定め、国の責務等を明らかにし、及びこども施策の基本となる事項を定めるとともに、こども政策推進会議を設置すること等により、こども施策を総合的に推進することを目的とする。
 - 第5条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、こども施策に関し、国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、その区域内におけるこどもの状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。
 - 第10条 都道府県は、こども大綱を勘案して、当該都道府県におけるこども施策についての計画（以下この条において「都道府県こども計画」という。）を定めるよう努めるものとする。
- 2 市町村は、こども大綱（都道府県こども計画が定められているときは、こども大綱及び都道府県こども計画）を勘案して、当該市町村におけるこども施策についての計画（以下この条において「市町村こども計画」という。）を定めるよう努めるものとする。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県こども計画又は市町村こども計画を定め、又は変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

4 都道府県子ども計画は、子ども・若者育成支援推進法第九条第一項に規定する都道府県子ども・若者計画、こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律第十条第一項に規定する都道府県計画その他法令の規定により都道府県が作成する計画であってこども施策に関する事項を定めるものと一体のものとして作成することができる。

5 市町村子ども計画は、子ども・若者育成支援推進法第九条第二項に規定する市町村子ども・若者計画、こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律第十条第二項に規定する市町村計画その他法令の規定により市町村が作成する計画であってこども施策に関する事項を定めるものと一体のものとして作成することができる。

- 第11条 国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

〈ヤングケアラーと貧困について〉

厚生労働省が実施した「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（令和3年3月、令和4年3月）より、世話をしている家族が「いる」のは、小学生 6.5%、中学2年生 5.7%、全日制高校2年生で4.1%、定時制高校2年生相当で8.5%、通信制高校生で11.0%、大学3年生で6.2%であることが報告された（参考1,2）。また、令和6年6月「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」において、子ども・若者育成支援推進法を改正し、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」として、国・地方公共団体等が各種支援に努めるべき対象にヤングケアラーが明記され（参考3）、国や各自自治体において、ヤングケアラーの支援の強化を進める取り組みが行われている。厚生労働省が実施した国民基礎調査（令和4年）では、こどもの相対的貧困率は11.5%で、こどもがいる現役世帯で大人が一人だけの場合は44.5%であることが報告された（参考4）。また、こどもの貧困対策の推進に関する法律が改正され、こどもの貧困対策を盛り込んだ自治体子ども計画を策定することが求められるようになった（参考5）。

日光市においては、少子高齢化や人口減少が深刻化し、特に中山間地域では少子化が深刻化している。そのため、ヤングケアラーの支援とこどもの貧困対策において、人口減少を見据えた検討が求められる。また、市がこれまで進めてきた「子ども・子育て支援事業計画」においても、こどもの居場所や貧困に関する課題が指摘されており、「子ども・子育て家庭を社会全体で支援する」ための取り組みが進められている。

参考1) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング（令和3年3月），ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書，https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai_210412_7.pdf

参考2) 株式会社 日本総合研究所(令和4年3月)，ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書，https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/detail/2021_13332.pdf

参考3) こども家庭庁（令和6年6月），「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」の一部施行について（ヤングケアラー関係），https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e0eb9d18-d7da-43cc-a4e3-51d34ec335c1/3ba2cef0/20240612_policies_young-carer_13.pdf

参考4) 厚生労働省（令和4年），国民基礎調査，p14，
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/dl/03.pdf>

参考5) こども家庭庁（令和6年6月），子どもの貧困対策の推進に関する法律の改正について，
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/752df913-0c4c-48b1-8b40-62a7cb4b5e67/c9d1e6da/20240705_policies_kodomonohinkon_02.pdf

1-2. 目的

本調査は、日光こども計画の策定に向けて、幅広い日光市民の意見を収集し、「こども」、「子育てをしている保護者」、「若者」の生活実態、また、日光市の小中学校をはじめとした「子育て関連施設」の実態を明らかにすることを目的としている。特に、貧困やヤングケアラー等、こどもや若者が抱えている課題を明らかにするため、栃木県等、先行して調査を実施した自治体の調査を参考にして、生活や学校、子育てについて現状やニーズに着目し、集計と分析を行った。このような調査を踏まえ、日光市における支援が必要な子どもを早期に発見する仕組みの検討や支援の検討をより具体的に行うための知見を得ることを目的とする。

2. 調査の位置づけ

本調査は、国の全国調査や栃木県を含む他自治体の調査との比較、日光市の地域特性を反映した事例調査としての意義を持つ。また、本調査結果は、今後のヤングケアラーと貧困のこどもをはじめとしたこども・若者の支援の強化のために活用されることが期待できる。

3. 調査の方法

3-1. 日光市の地域特性について

本調査は栃木県日光市を対象にしている。日光市は、栃木県の北西部に位置しており、総面積は1,466km²で、栃木県のおよそ4分の1の面積を占めており、全国で3番目に広い面積となっている。

地形について、総面積に対して約86%（1,266km²）が森林であり、総人口の約80%が宇都宮市側に位置している平坦な地形の都市部に居住している。

また、日光市は大きく5つの地域（今市地域、日光地域、藤原地域、足尾地域、栗山地域）に分類される。2024年時点の0-14歳の年少人口について、全地域で6,601人のうち、今市地域5,515人、日光地域618人、藤原地域425人、足尾地域30人、栗山地域13人である。（参照：第3期日光市子ども・子育て支援事業計画, 2025, p7-14）

3-2. 調査対象

本調査は、主に4つのアンケート調査を実施した。

- アンケート1：日光市に住む中学生以下のこどもがいる保護者を対象として調査を行った。（以下「保護者」と示す。）
- アンケート2：日光市の小中学校に通う小学5～6年生と中学1～3年生を対象として調査を行った。（以下「こども」と示す。）
- アンケート3：日光市に住む15歳～39歳の若者を対象として調査を行った。（以下「若者」と示す。）
- アンケート4：市内の小中学校、放課後等デイサービス、保育園、幼稚園、放課後児童クラブの職員やスタッフを対象として調査を行った。（以下「子育て関連施設の職員やスタッフ」と示す。）

3-3. 配布方法・配布数

アンケートは、Googleフォームから回答を集めた。配布方法と配布数・回答数について、アンケートの対象者ごとに以下に示す。

- 「保護者」は、日光市に住む中学生以下のこどもがいる全世帯に郵送でアンケートのQRコードを配布した。市内にいる全世帯3874世帯に配布し、1168の回答があった（回答率：30.1%）。
- 「こども」について、市内の全ての小中学校にアンケートのQRコードを配布し、朝の会などの決まった時間に学校のタブレットから回答をしてもらった。市内の全ての小学5～6年生、中学1～3年生2504人に対して、1812の回答があった（回答率：72.4%）。
- 「若者」について、日光市に住む若者を抽出してアンケートを配布した。そのうち、高校生については、市内に住む高校生がいる全世帯に郵送でアンケートのQRコードを配布した。その他の18歳～39歳までの若者は、各年齢の20%を住民基本台帳から抽出し、郵送でアンケートのQRコードを配布した。「若者」全体では、配布数4643に対して、435(9.4%)の回答が得られた。そのうち、高校生については、配布数1775に対して、109(6.1%)の回答が得られ、18歳～39歳については、配布数2868に対して、269(9.4%)の回答が得られた。
- 「子育て関連施設の職員やスタッフ」については、市内の小中学校、放課後等デイサービス、保育園、幼稚園、放課後児童クラブに配布した。小中学校は、こども向けアンケートと合わせて学校にQRコード配布した。放課後等デイサービスは、各事業所宛てに郵送でアンケートのQRコードを配布した。保育園、幼稚園、放課後児童クラブは、各施設宛てに、郵送やメールでQRコードを配布した。配布した施設数113に対して112施設から回答が得られた。

番号	アンケート対象	抽出方法	配布方法	配布先	市内の全施設数	配布した施設数	配布数	回答数	回答率
1	中学生以下のこどもを持つ保護者	日光市の住民基本台帳から中学生以下（14歳以下）のこどもがいる世帯を抽出（基準日：R7.4.1）	世帯主宛に抽出した全世帯に郵送	自宅			3874	1168	30.1%
2	小学5～6年生、中学1～3年生のこども	市内の小中学校に通うこども全数	朝の会などの時間にタブレットでQRコード読み取り	各小中学校（各クラスに1枚QRコード配布）			2504	1812	72.4%
3	15歳～39歳の若者（保護者を除く）	住民基本台帳から以下を抽出（基準日：R7.4.1）					4643	435	9.4%
	高校生	市内在住の高校生年代（15～17歳）	世帯主宛に抽出した全世帯に郵送	自宅			(1775)	(109)	(6.1%)
	18歳～39歳	市内在住の若者（各年齢の20%）	本人宛のはがきを郵送	自宅			(2868)	(269)	(9.4%)
4	子育て関連施設職員やスタッフ							283	
	教職	市内の小中学校（特別支援学校除く）	こども向けアンケートと合わせてQRコード配布	各小中学校	30	29		(169)	
	放課後等デイサービス	市内の放課後等デイサービス	郵送	各事業所	11	11		(19)	
	その他こども関連施設	市内の保育園、幼稚園、放課後児童クラブ	郵送、メール	各施設	72	72		(95)	
	計							3698	

3-4. 調査時期

調査時期は、5月7日から6月22日までとした。5月7日までに調査対象者にアンケート回答用のQRコードを配布し、6月22日の23:59にGoogleフォームの回答受付を終了した。

3-5. 質問項目

質問項目について、「保護者」「子ども」「若者」に対しては、①属性について、②生活や学校、子育ての実態について、③自身の困りごとや意識について、④日光のサービスや地域について質問をした。「子育て関連施設の職員やスタッフ」に対しては、①職業について、②施設の実態について、③支援する側としての困りごとについて質問をした。

3-6. 地域別の人口と回答者数の比較

まず、アンケートの回答者

アンケート回答者の居住地について、地域ごとに人口と比較を行った。「中学生以下の子どもを持つ保護者」について、藤原地域の回答数が少なくなっている。「小学5～6年生、中学1～3年生の子ども」について、日光地域の回答数が多くなっている。「15歳～39歳の若者」について、日光地域の回答数が多くなっている。全てのアンケート対象者について、その他の地域は、比較的均等に回答が得られた。

(参考：日光市. 地域別人口データ2022)

表：地域別の人口と回答者割合の比較

選択肢	保護者		子ども		若者	
	人口割合	回答数割合	人口割合	回答数割合	人口割合	回答数割合
今市地域	72.4%	81.9%	79.2%	65.5%	77.0%	71.0%
日光地域	14.3%	12.8%	12.1%	26.2%	11.6%	22.3%
藤原地域	10.1%	4.6%	7.3%	7.0%	9.6%	4.8%
足尾地域	1.9%	0.5%	0.9%	1.2%	0.9%	1.1%
栗山地域	1.3%	0.2%	0.4%	0.2%	0.9%	0.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4. 調査結果

アンケートの調査結果について、以下に示す。なお、4-1. 「保護者」を対象とした調査結果、「子ども」を対象とした調査結果、「若者」を対象とした調査結果、「子育て関連施設の職員やスタッフ」を対象とした調査結果を分けて示すこととする。

4-1. 「保護者」を対象とした調査結果

①属性について

Q1 住んでいる地域を教えてください

保護者の住んでいる地域を日光市に住む20-79歳の地域別人口と比較すると、藤原地域、足尾地域、栗山地域の回答割合が人口割合の2分の1以下となっている。しかし、藤原地域、足尾地域、栗山地域は他2つの地域よりも人口が少なく、回答数も少ないことから、均等に回答が得られたと言える。

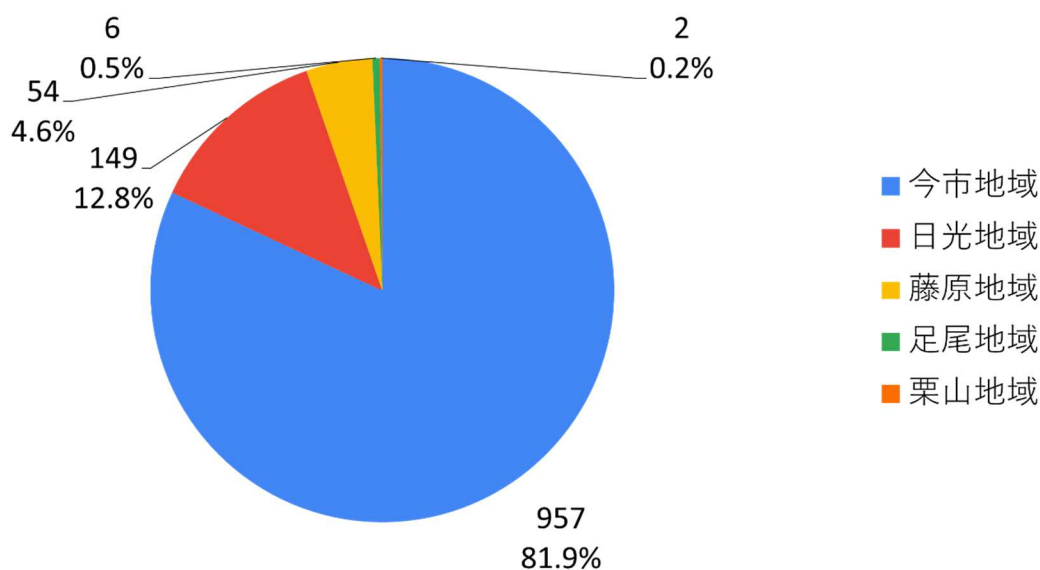


図4-1-1 回答者の住んでいる地域

(N=1,168) (人)

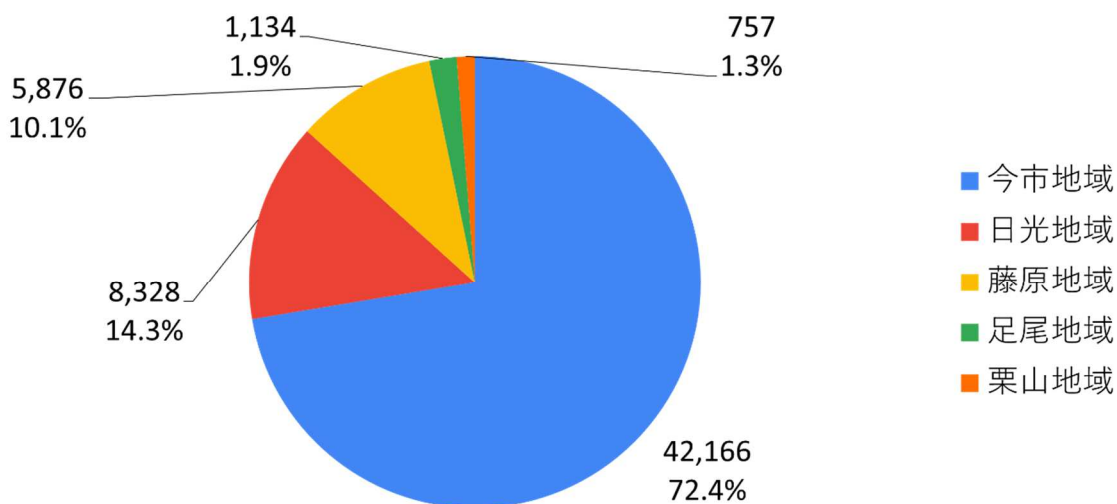


図4-1-2 日光市に住む20-79歳の地域別人口

(N=58,261) (人)

Q2 お子さまを中心に見たときの家族構成について教えてください

両親の有無や母子父子家庭等の両親の存在に着目した家族構成について、保護者全体の結果（、こどもが1人の家庭のみの結果、こどもが2人の家庭のみの結果、こどもが3人以上の家庭のみの結果に分けて以下に示す。保護者全体の結果について、一人親の家庭は全体の約15.6%（回答数182）で、そのうち、母子家庭が149、父子家庭が33であった。両親がいない家庭は全体の約0.3%（回答数3）であった。また、こどもの人数別で比較すると、一人親の家庭は、こどもが2人の家庭で11%、こどもが3人以上の家庭で12%である。これに対し、こどもが1人の家庭では、26%であり、こどもが2人以上いる世帯の2倍の割合を占めていた。

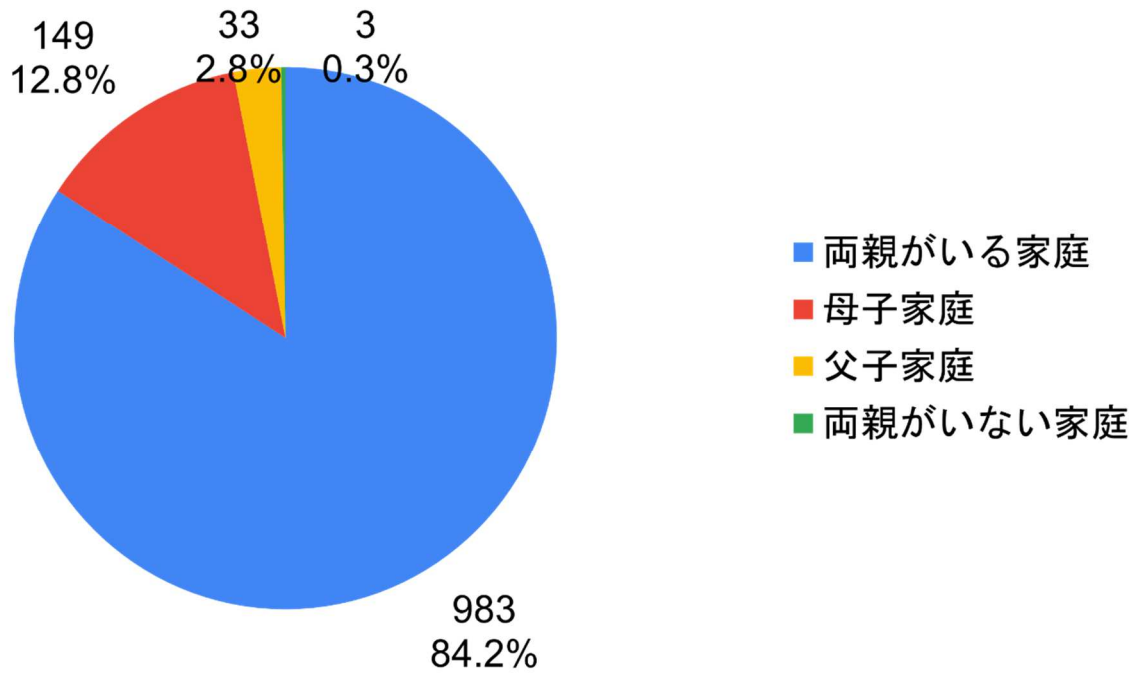


図4-1-3 家族構成について保護者全体の結果

(N=1,168) (人)

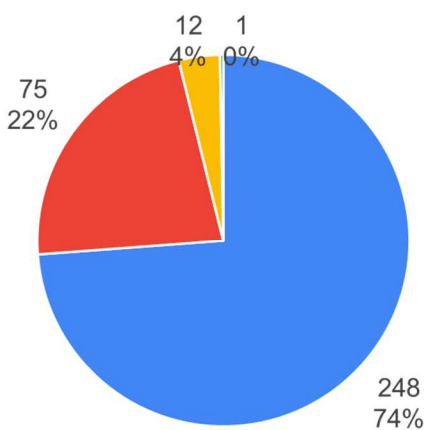


図4-1-4 家族構成について

こどもが1人の家庭の結果

(N=336) (人)

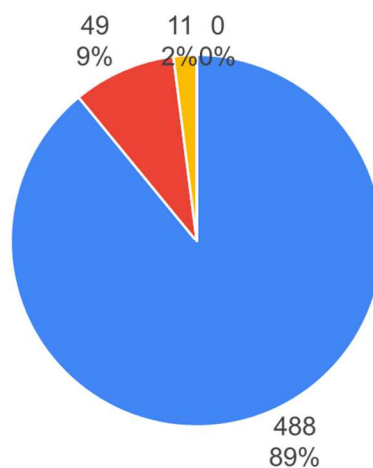


図4-1-5 家族構成について

こどもが2人の家庭の結果

(N=548) (人)

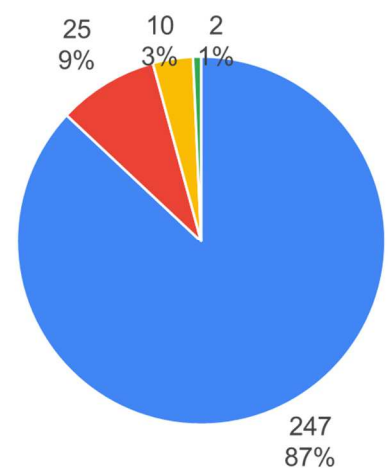


図4-1-6 家族構成について

こどもが3人以上の家庭の結果

(N=284) (人)

Q4 ご自身（回答者）の現在の年齢を教えてください

回答者の現在の年齢について、20歳から78歳までの回答があり、30代～50代に回答が集中した。また、無回答：46、平均値：41.7、中央値：42であった。

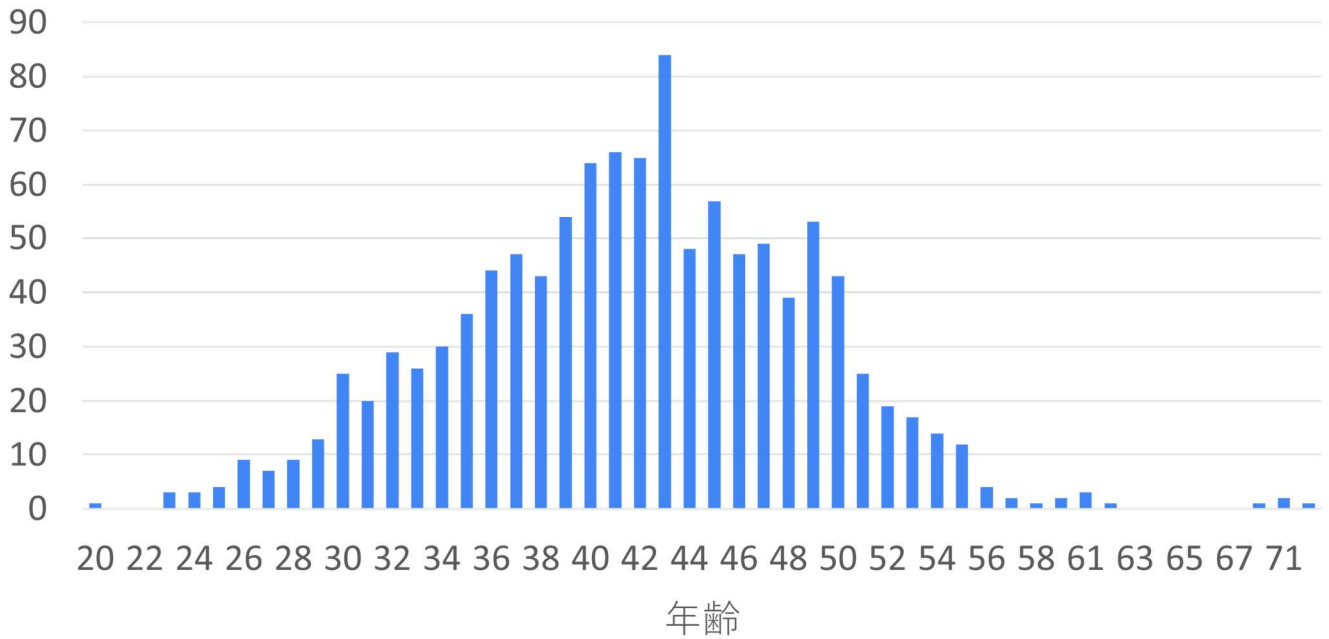


図4-1-7 回答者の現在の年齢
(N=1,168) (人)

Q47（お子さまを中心に考えた時の）父親の就業状態について教えてください。

父親の就業形態について、正規雇用者が父親全体の75.7%（回答数884）と最も多い。父子家庭について、保護者全体の結果と比較すると、経営者・役員の高割合が高く、父子家庭の父親の18.2%（回答数6）を占めていた。

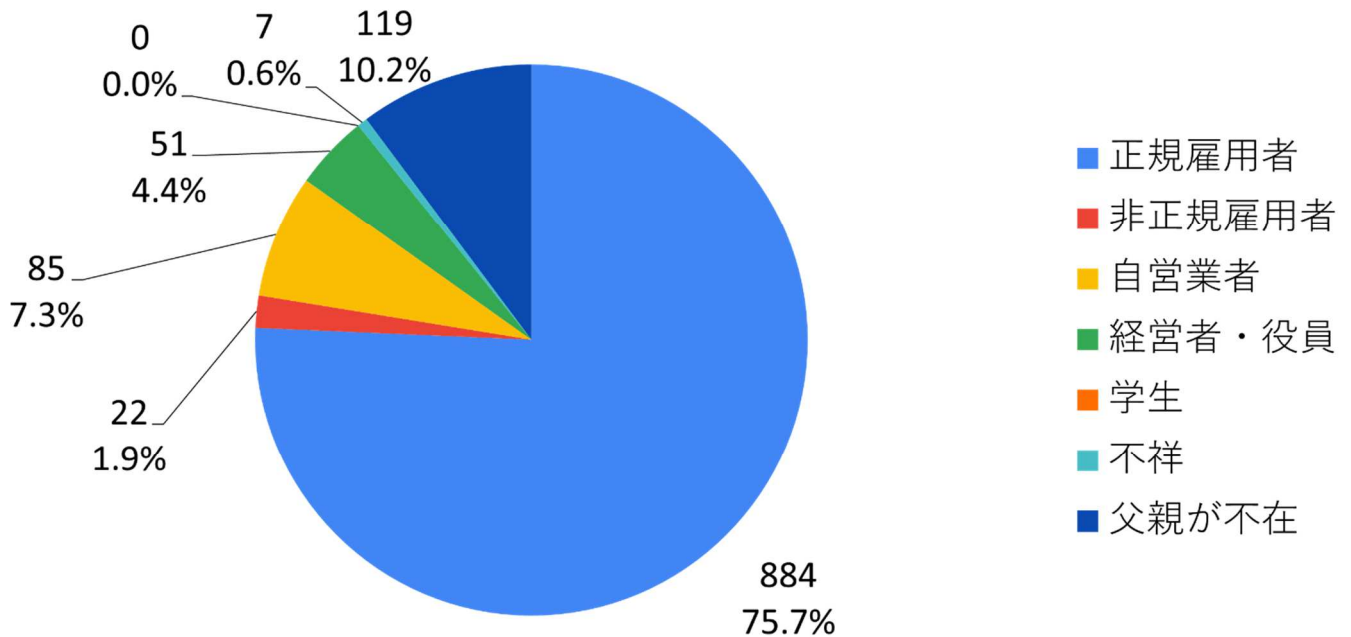


図4-1-8 父親の就業状態について保護者全体の結果
(N=1,168) (人)

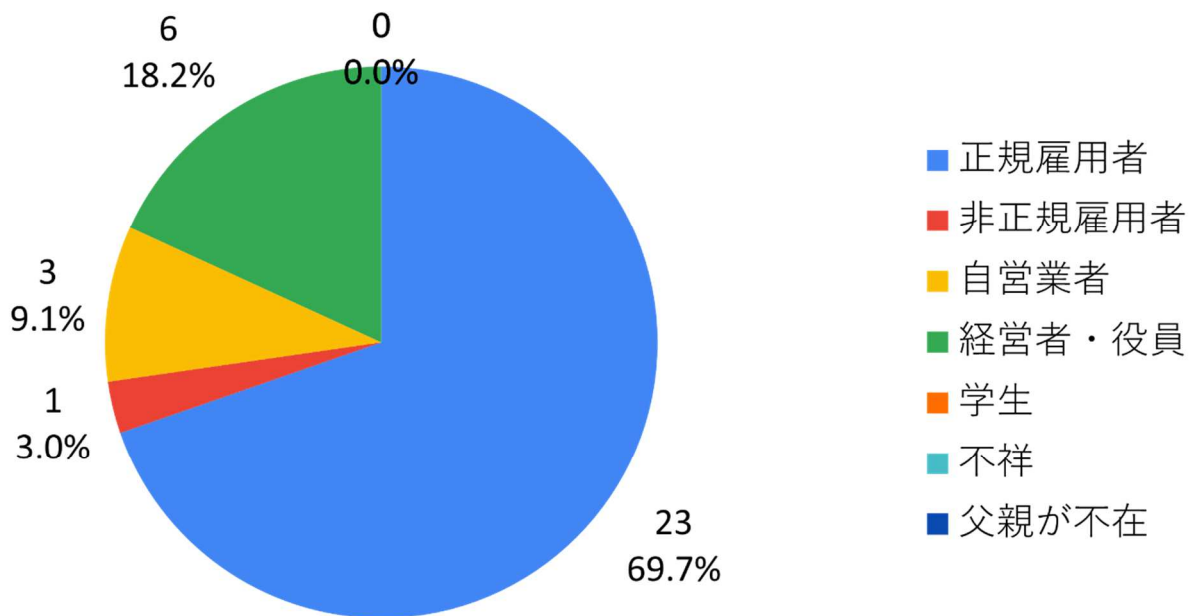


図4-1-9 父親の就業状態について父子家庭の結果
(N=33) (人)

Q48（お子さまを中心に考えた時の）母親の就業状態について教えてください。

母親の就業形態について、非正規雇用者が母親全体の47.2%（回答数551）と最も多い。母子家庭について、正規雇用者の割合が母子家庭の母親の47.0%（回答数70）と最も多い。

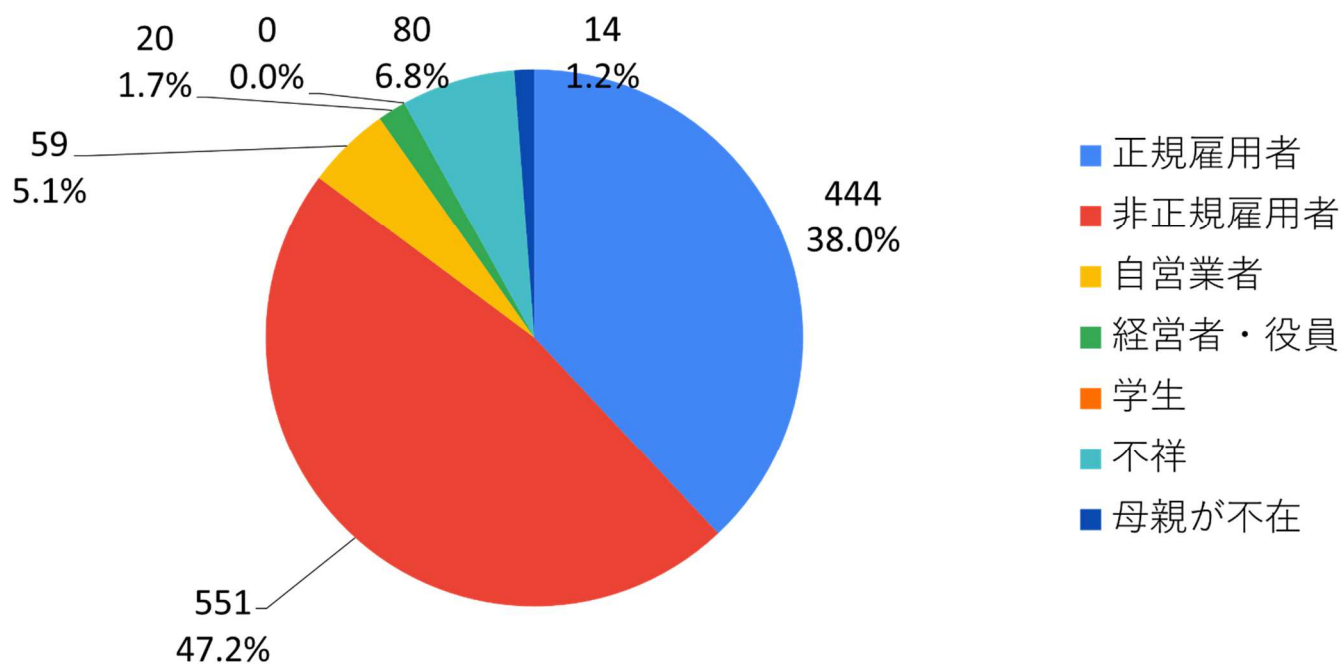


図4-1-10 母親の就業状態について保護者全体の結果
(N=1,168) (人)

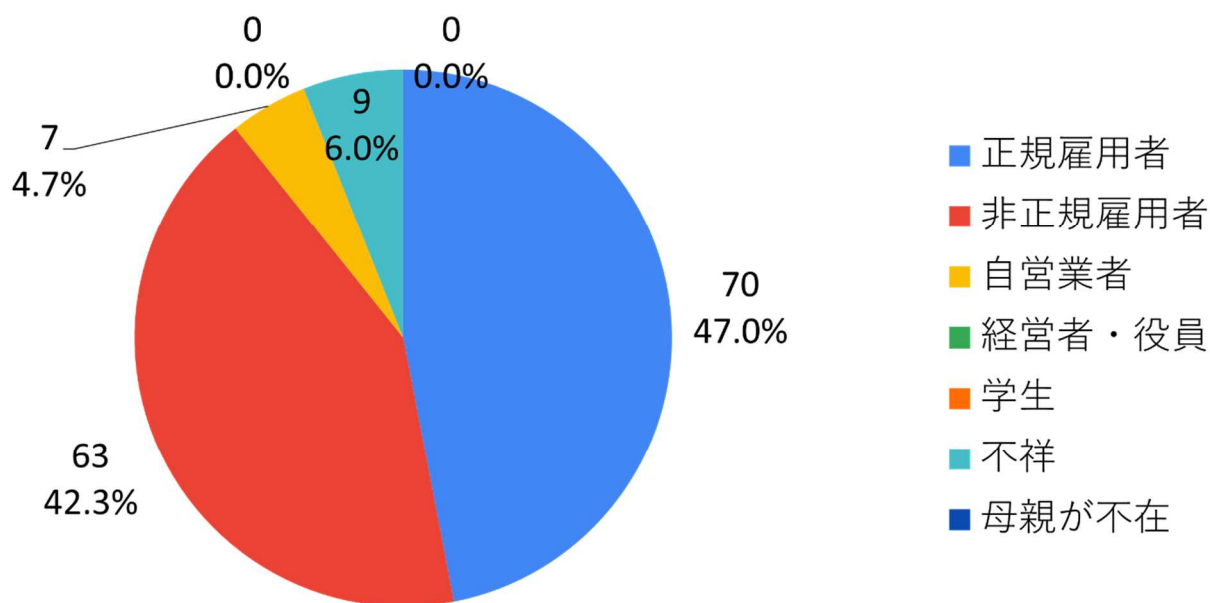


図4-1-11 母親の就業状態について母子家庭の結果
(N=149) (人)

Q51 お子さまのなかで、特別な支援（医療ケアや特別支援教育）が必要な方はいますか？

特別な支援（医療ケアや特別支援教育）を必要とする子どもについて、全体では、103人（8.8%）の存在が確認でき、そのうち子どもが2人以上いる家庭は80件、母子父子家庭は23件であった。

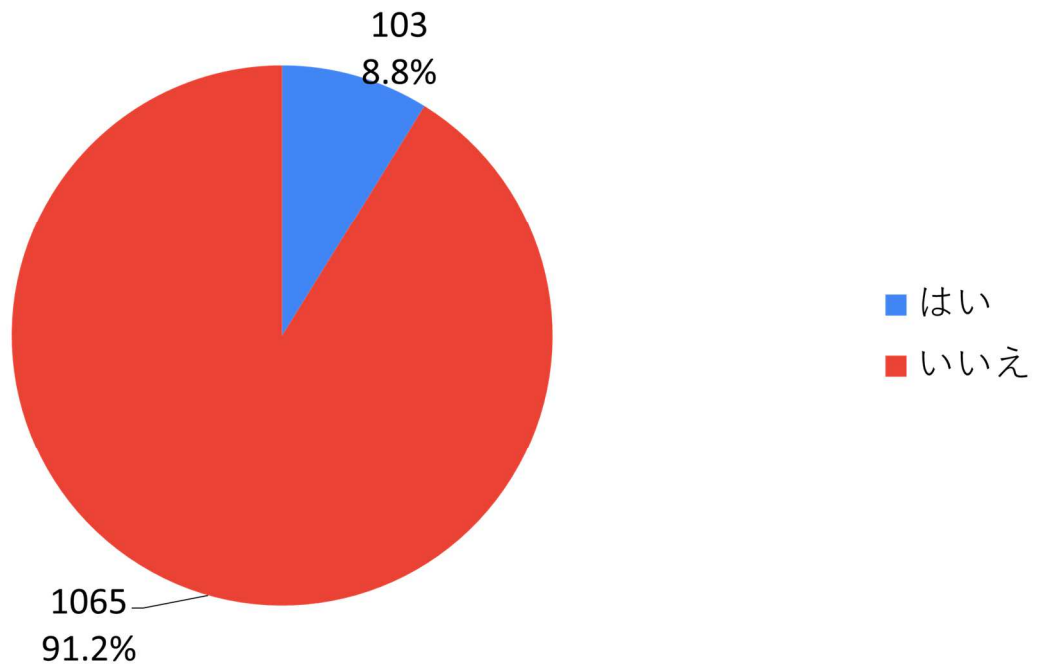


図4-1-12 特別な支援を必要とする子どもについて保護者全体 (N=1,168) (人)

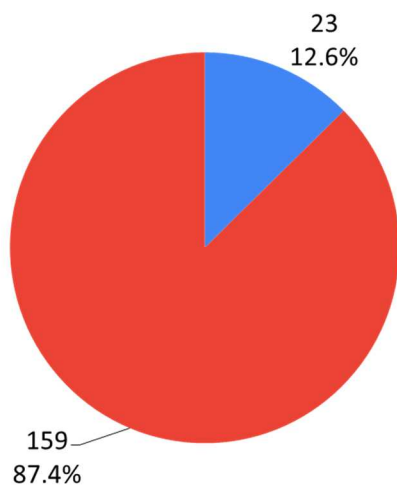


図4-1-13 特別な支援を必要とする子どもについて子どもが2人以上いる家庭 (N=832) (人)

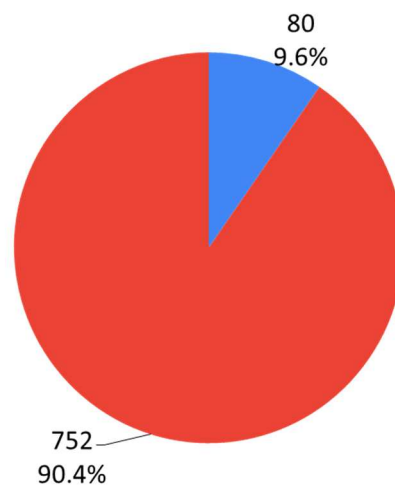


図4-1-14 特別な支援を必要とする子どもについて母子父子家庭 (N=182) (人)

②子育てや生活などの実態やニーズについて

子育てをする上での困りごとについて

Q52 子育てをする上で、どんなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりしていますか？
(複数選択可)

子育てをする上で、どんなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりしているかについて、回答を得た。「子育てに関わる費用」について不安を感じている人が最も多く、回答数790であった。「悩んだり困ったりしたことは特にない」と回答した人は、回答数86であった。

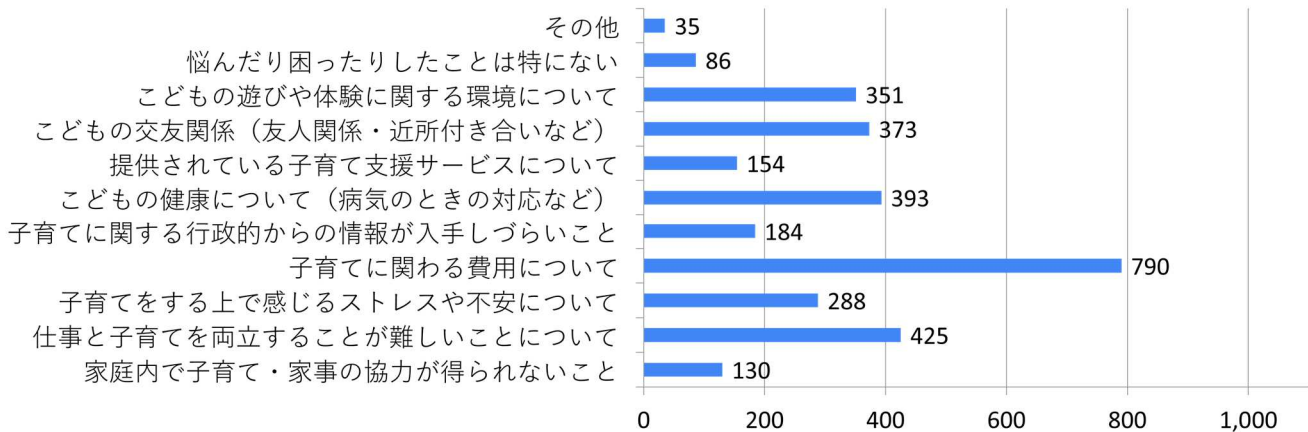


図4-1-15 子育てをする上で、どんなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりしているかについて
(N=3,209) (人)

子育てについての家庭内での分担について

Q53 「行事などの参加」について家庭内でどのように分担していますか？

「行事などの参加」について家庭内でどのように分担しているかについて、回答を得た。「母親が多く分担している」と回答した人が最も多く、回答数781であった。それに対して、「父親と母親が両方同じくらい分担している」と回答した人は、回答数316であった。

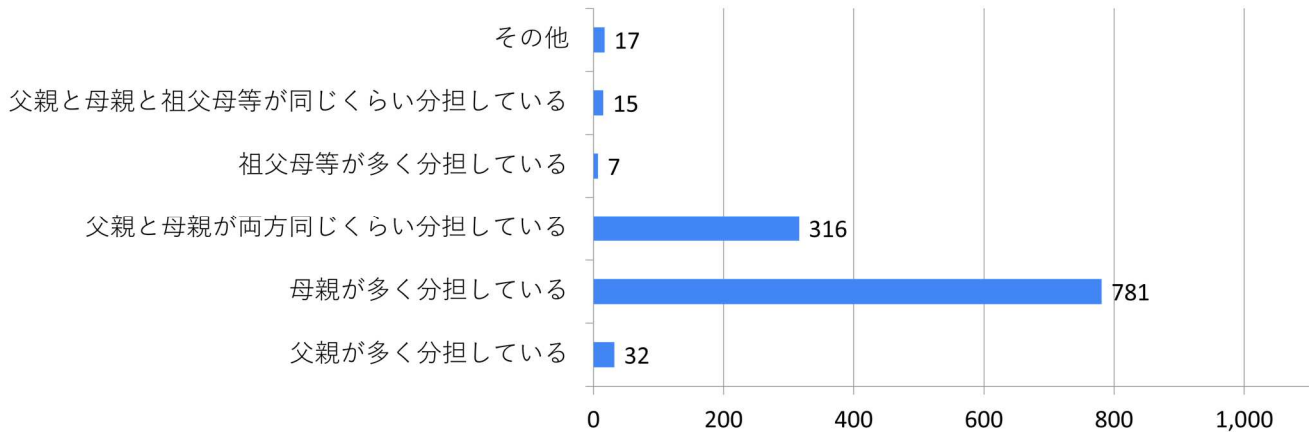


図4-1-16 「行事などの参加」について家庭内でどのように分担しているかについて
(N=1,168) (人)

Q54 「お子さまの身の回りの世話」について家庭内でどのように分担していますか？

「お子さまの身の回りの世話」について家庭内でどのように分担しているかについて、回答を得た。「母親が多く分担している」と回答した人が最も多く、回答数813であった。それに対して、「父親と母親が両方同じくらい分担している」と回答した人は、回答数254であった。

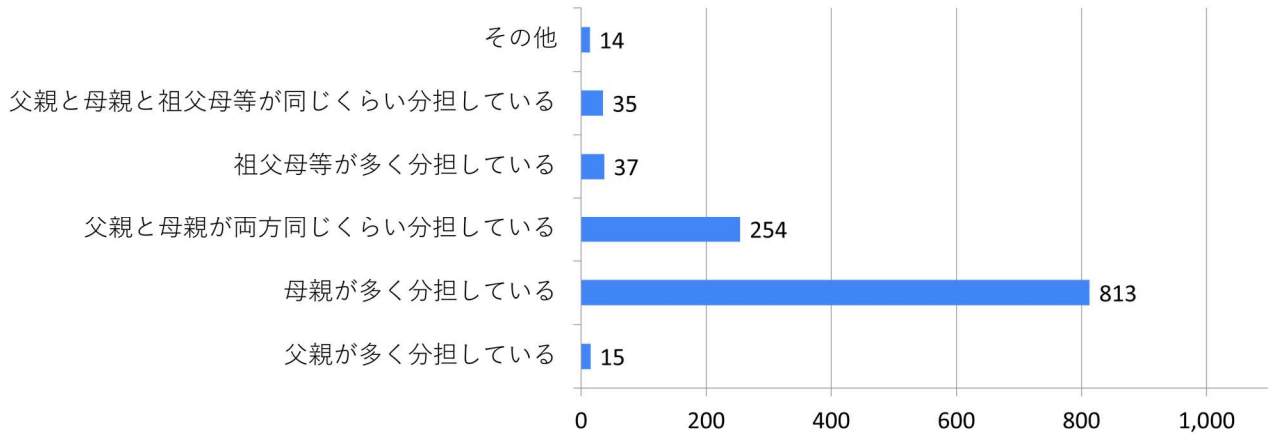


図4-1-17 「お子さまの身の回りの世話」について家庭内でどのように分担しているかについて
(N=1,168) (人)

Q57 「塾や習い事などの送迎」について家庭内でどのように分担していますか？

「塾や習い事などの送迎」について家庭内でどのように分担しているかについて、回答を得た。「母親が多く分担している」と回答した人が最も多く、回答数610であった。それに対して、「父親と母親が両方同じくらい分担している」と回答した人は、回答数245であった。

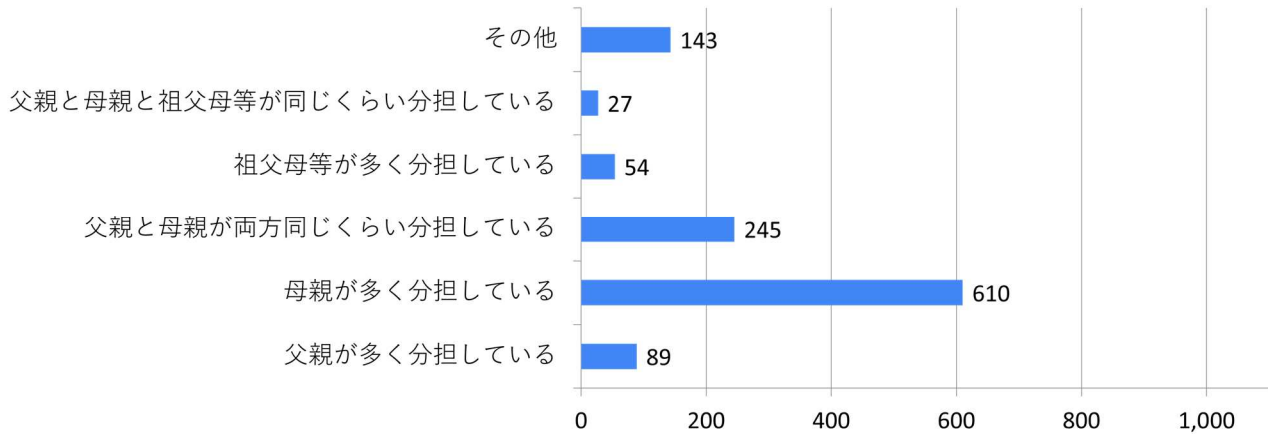


図4-1-18 「塾や習い事などの送迎」について家庭内でどのように分担しているかについて
(N=1,168) (人)

Q60 「こどもが熱発などの急な病気にかかった時の看護」について家庭内でどのように分担していますか？

「こどもが熱発などの急な病気にかかった時の看護」について家庭内でどのように分担しているかについて、回答を得た。「母親が多く分担している」と回答した人が最も多く、回答数876であった。それに対して、「父親と母親が両方同じくらい分担している」と回答した人は、回答数190であった。

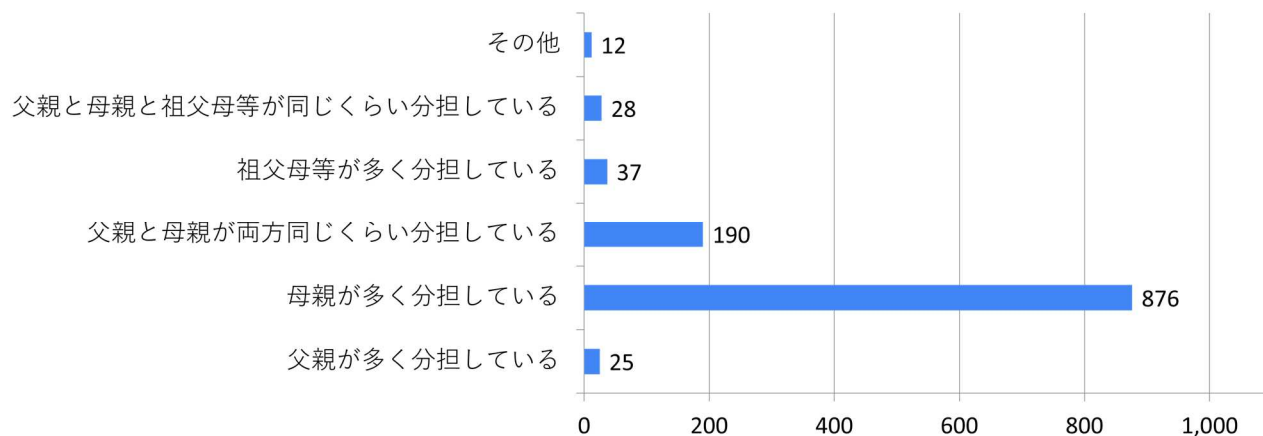


図4-1-19 「こどもが熱発などの急な病気にかかった時の看護」について家庭内でどのように分担しているかについて
(N=1,168) (人)

Q61 家庭内の子育てに関して、配偶者や家族のサポートに満足していますか？

家庭内の子育てに関して、配偶者や家族のサポートに満足しているかについて、回答を得た。保護者全体について、「満足」「やや満足」と回答した人が多く、2つの回答を合わせて回答数897(77%)であった。保護者全体に対して、「満足」「やや満足」と回答した人は、母親のみの回答数565(70%)と全体よりも割合が低く(図4-1-21)、父親のみの回答数は326(90%)で全体よりも割合が高かった。

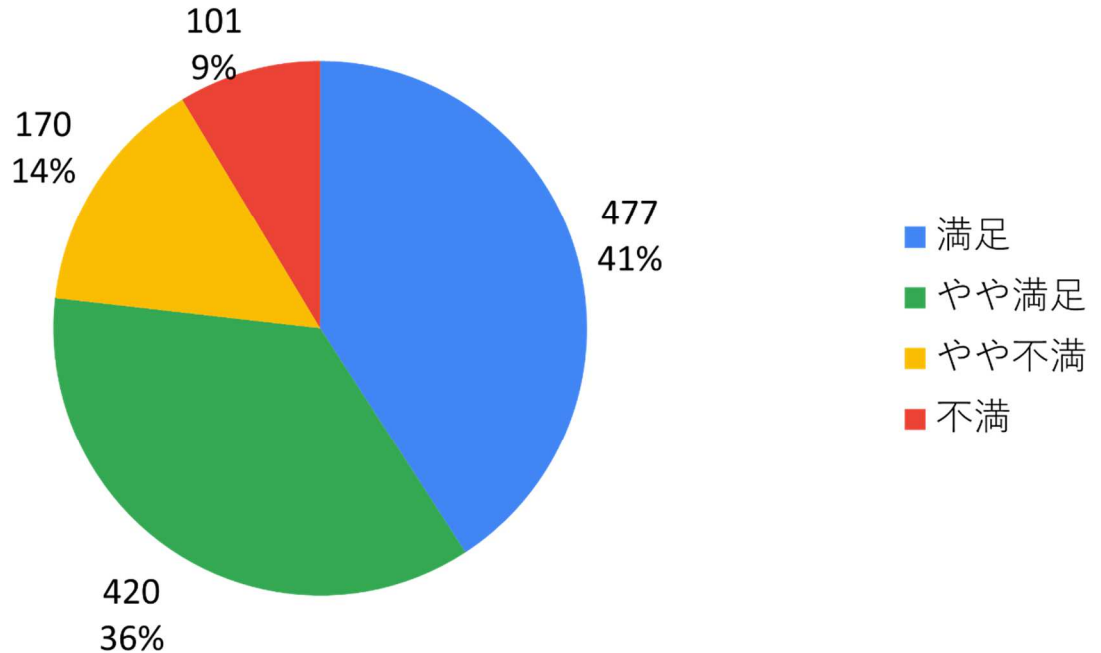


図4-1-20 家庭内の子育てに関して、配偶者や家族のサポートに満足しているかについて
保護者全体(N=1,168) (人)

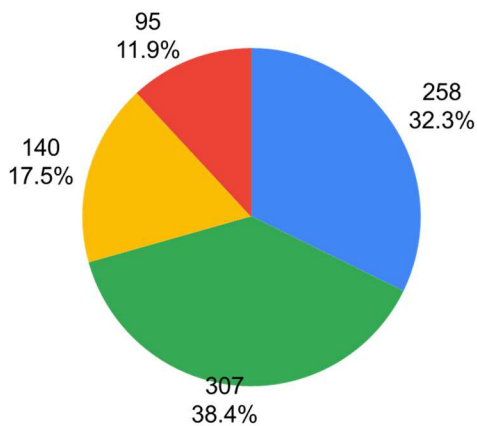


図4-1-21 家庭内の子育てに関して、配偶者や
家族のサポートに満足しているかについて
母親のみ(N=800) (人)

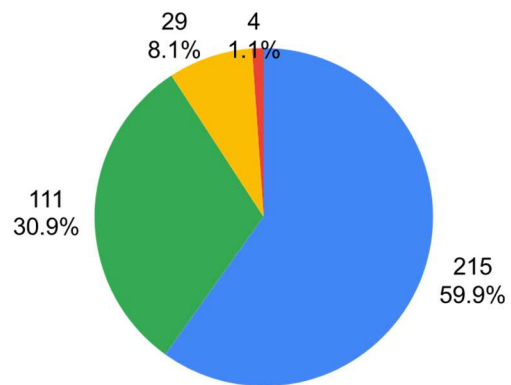


図4-1-22 家庭内の子育てに関して、配偶者や
家族のサポートに満足しているかについて
父親のみ(N=359) (人)

Q62 「母親」の仕事と生活のバランス（ワークライフバランス）は取れていると感じますか？

「母親」の仕事と生活のバランスは取れていると感じるかについて、回答を得た。「仕事と家庭生活（子育て含む）のバランスがとれている」と回答した人が最も多く、回答数347であった。続いて、「仕事を中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい」と回答した人が2番目に多く、回答数342であった。

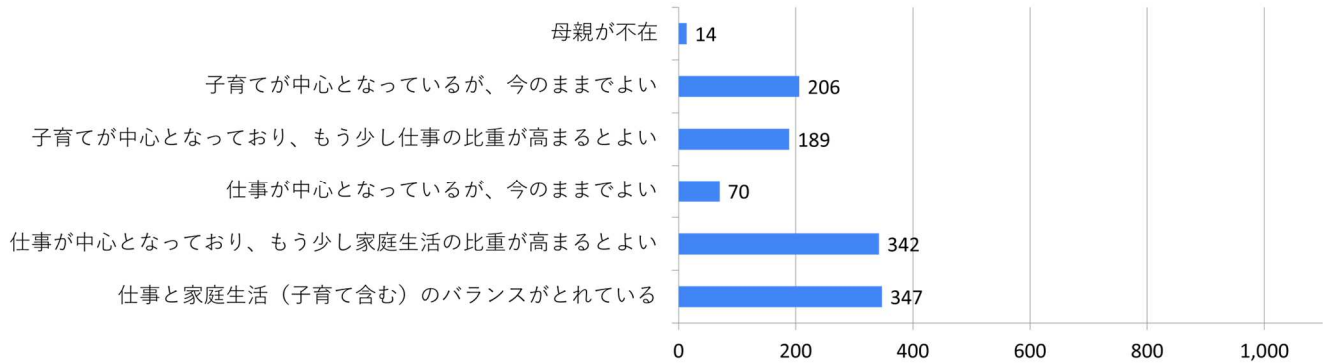


図4-1-23 「母親」の仕事と生活のバランスは取れていると感じるかについて
(N=1,168) (人)

Q63 「父親」の仕事と生活のバランス（ワークライフバランス）は取れていると感じますか？

「父親」の仕事と生活のバランスは取れていると感じるかについて、回答を得た。「仕事を中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい」と回答した人が最も多く、回答数499であった。続いて、「仕事と家庭生活（子育て含む）のバランスがとれている」と回答した人が2番目に多く、回答数309であった。

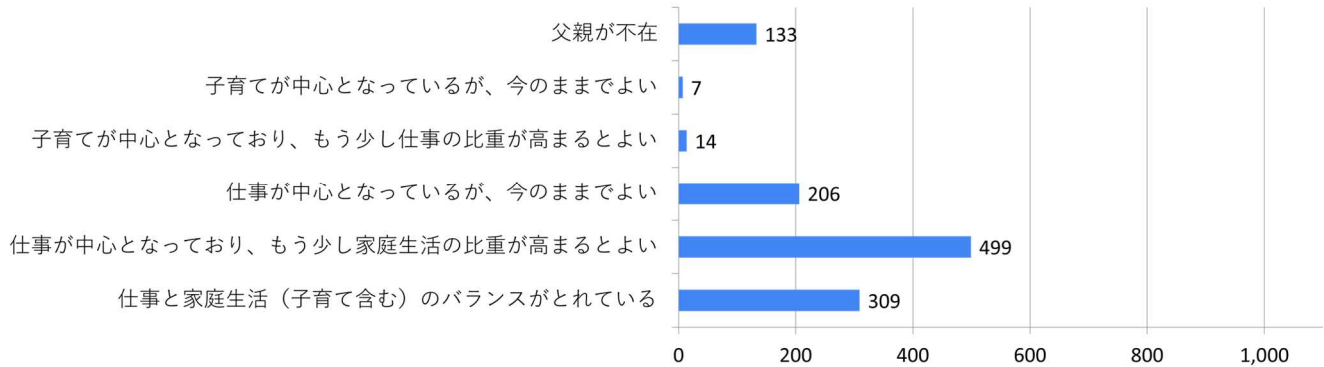


図4-1-24 「父親」の仕事と生活のバランスは取れていると感じるかについて
(N=1,168) (人)

Q64 家庭内での子育てに関して、どのようなサポート・サービスがあると助かりますか？
(複数選択可)

家庭内での子育てに関して、どのようなサポート・サービスがあると助かるかについて、回答を得た。「特に必要ない」と回答した人が最も多く、回答数509であった。続いて、「塾や習い事などの送迎の代行」と回答した人が2番目に多く、回答数351であった。

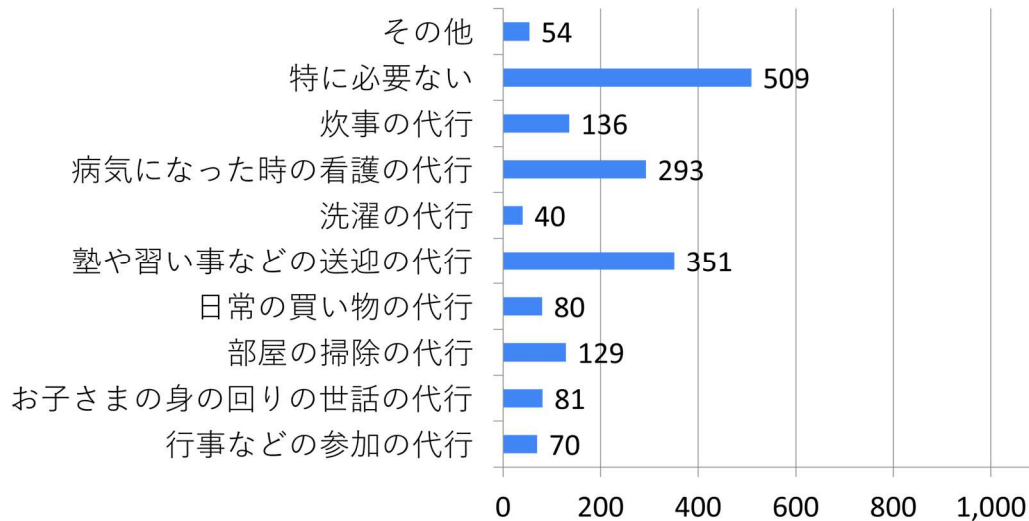


図4-1-25 家庭内での子育てに関して、どのようなサポート・サービスがあると助かるかについて
(N=1,743) (人)

育児休業や仕事と家庭の両立について

Q65 母親が産前・産後休暇を除く育児休業を取得しましたか？

母親が産前・産後休暇を除く育児休業を取得したかについて、「取得しなかった」と回答した人の方が「取得した」人よりも多く、全体の52%(回答数605)を占めた。

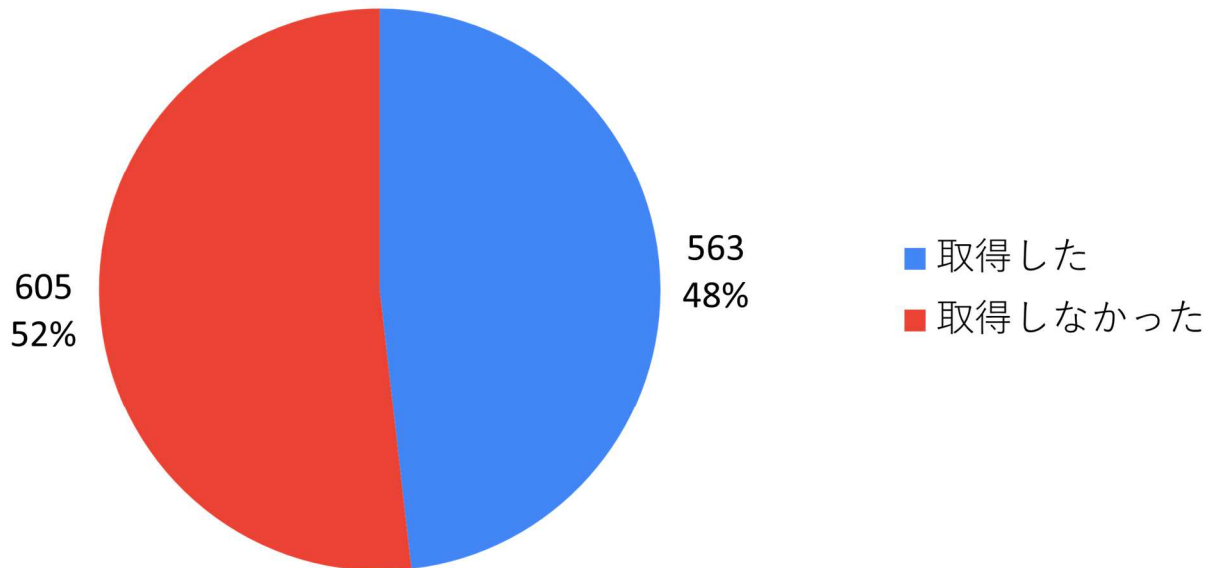


図4-1-26 母親が産前・産後休暇を除く育児休業を取得したかについて
(N=1,168) (人)

Q66 母親が産前・産後休暇を除く育児休業を取得したと回答した方に質問します。
育児休業をどれくらいの期間取得しましたか？

母親の育児休業を取得した期間について、「6ヶ月以上～1年未満」と回答した人が最も多く、回答数281であった。続いて、「1年以上～2年未満」と回答した人が2番目に多く、回答数171であった。

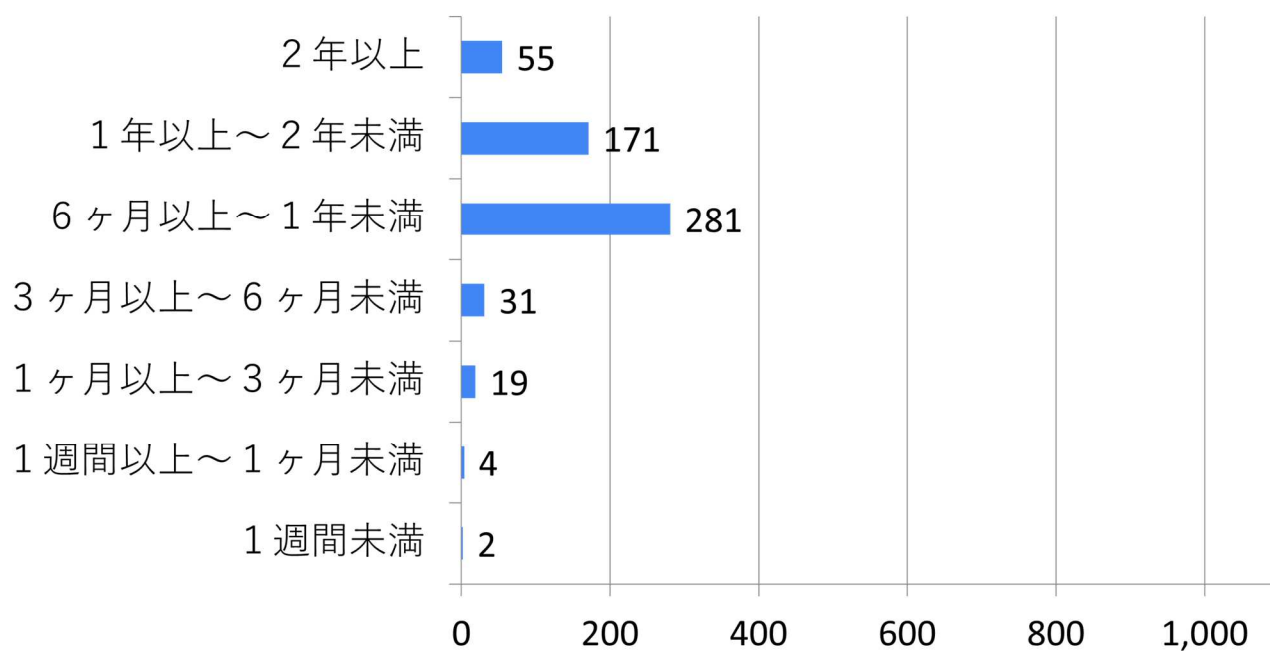


図4-1-27 母親の育児休業を取得した期間について

(N= 563) (人)

Q67 父親が産前・産後休暇を除く育児休業を取得しましたか？

父親が産前・産後休暇を除く育児休業を取得したかについて、「取得しなかった」と回答した人の方が「取得した」人よりも多く、全体の91%(回答数1063)を占めた。

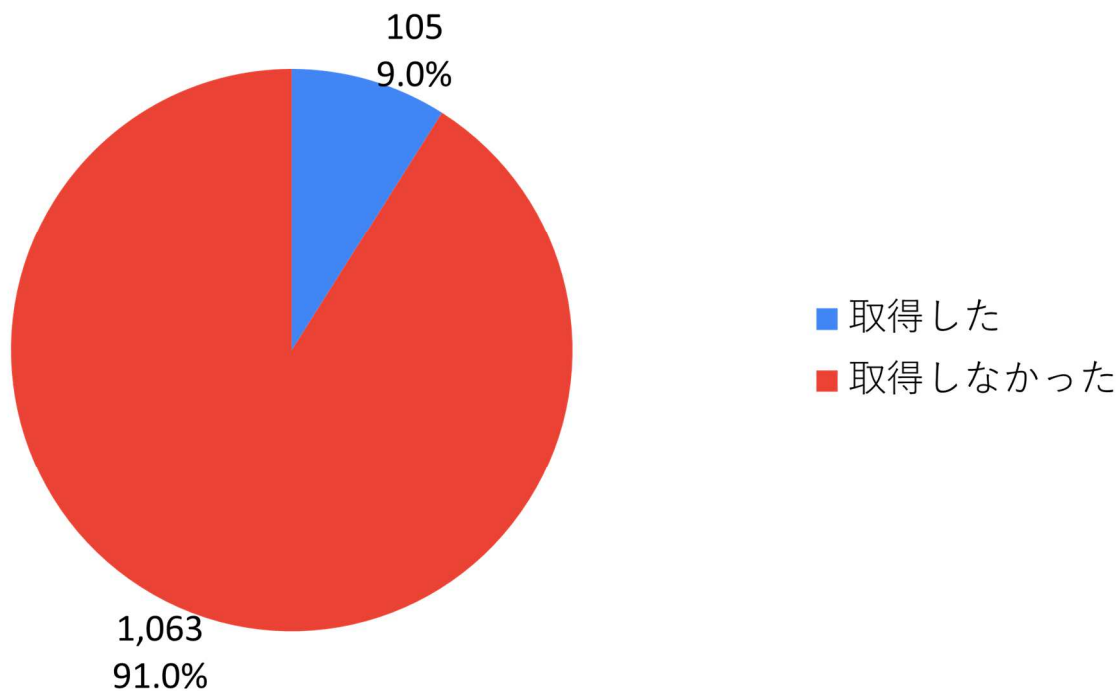


図4-1-28 父親が産前・産後休暇を除く育児休業を取得したかについて
(N=1,168) (人)

Q68 父親が産前・産後休暇を除く育児休業を取得したと回答した方に質問します。
育児休業をどれくらいの期間取得しましたか？

父親の育児休業を取得した期間について、「1週間以上～1ヶ月未満」と回答した人が最も多く、回答数45であった。続いて、「1ヶ月以上～3ヶ月未満」と回答した人が2番目に多く、回答数23であった。

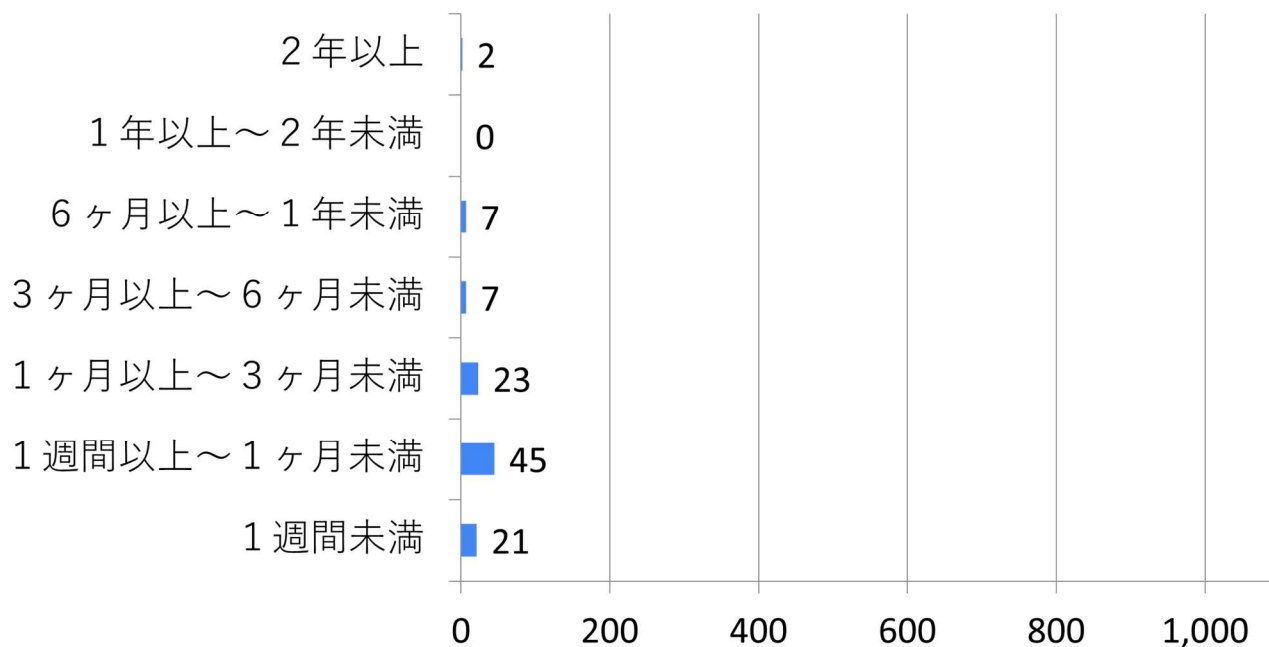


図4-1-29 父親の育児休業を取得した期間について
(N= 105) (人)

Q69 出産前後（それぞれ1年以内）に仕事をやめる、または、転職をしましたか？
回答者自身のことについて教えてください

出産前後（それぞれ1年以内）に仕事をやめる、または、転職をしたかについて、「転職をせず継続的に働いた」と回答した人が最も多く、全体の50%(回答数586)であった。続いて、「仕事を辞めた」と回答した人が2番目に多く、全体の32%(回答数377)であった。

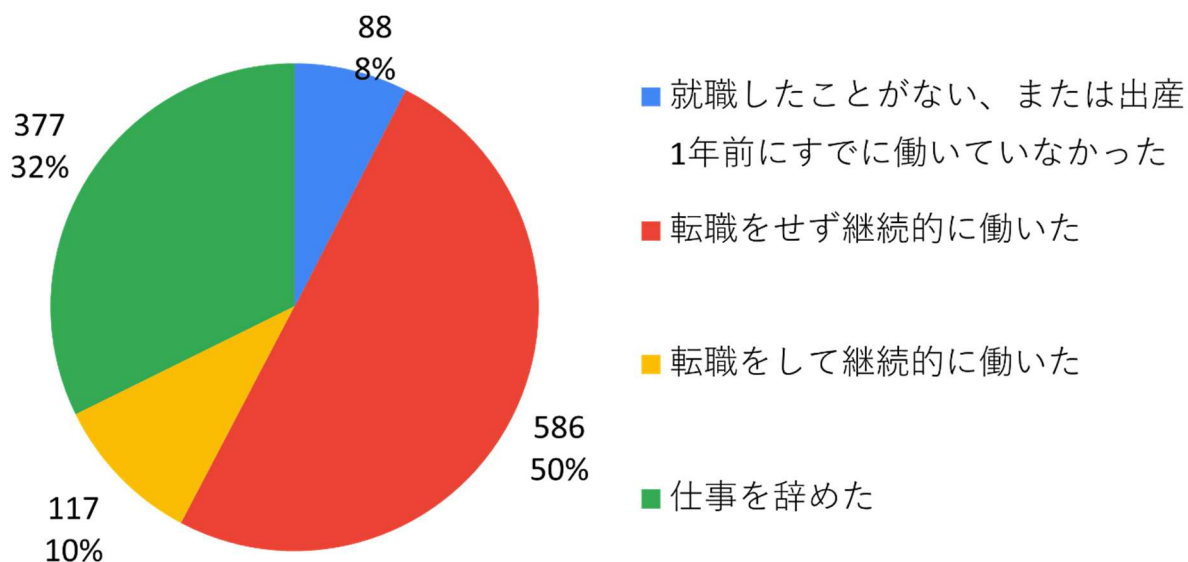


図4-1-30 出産前後（それぞれ1年以内）に仕事をやめる、または、転職をしたかについて
(N= 105) (人)

Q70 就職したことがない、または出産1年前にすでに働いていなかったと回答した方に質問します
子どもを産んでも働ける環境があれば、働きたいですか？

働くことへの意識について、「はい、ぜひ働きたい」「条件を整えば働きたい」と回答した人が多く、2つの回答を合わせて回答数67（76%）であった。

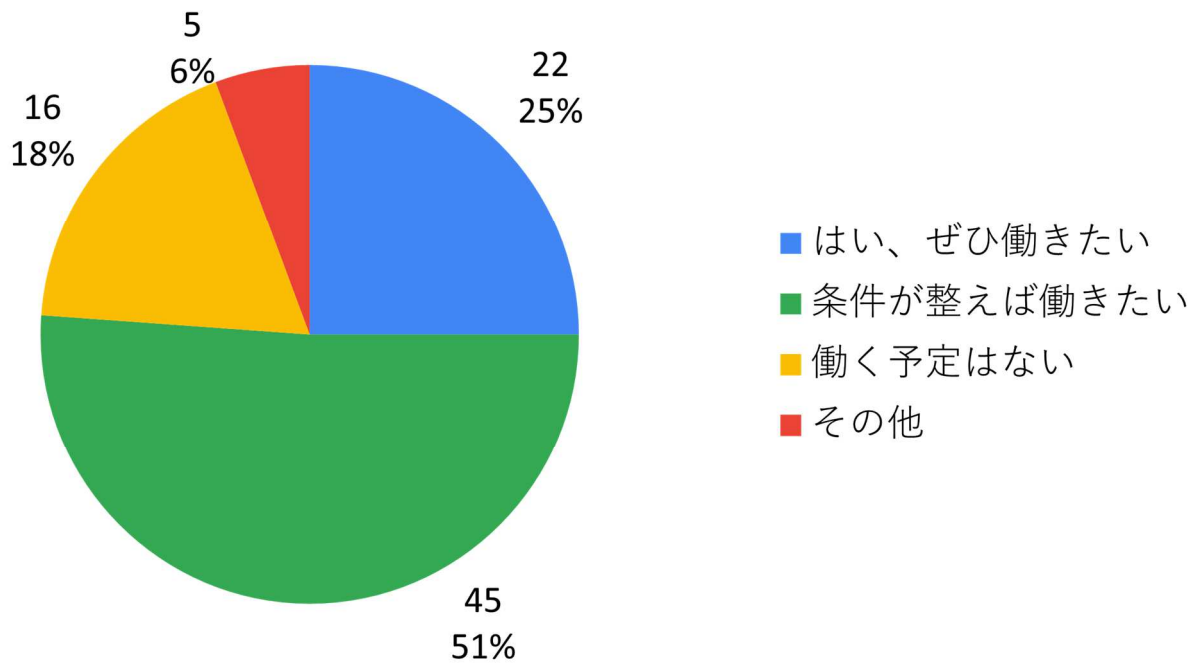


図4-1-31 働くことへの意識について

就職したことがない、または出産1年前にすでに働いていなかったと回答した方のみ
(N= 88) (人)

Q71 転職をせず継続的に働いたと回答した方に質問します
なぜ、継続的に働くことができましたか？（複数選択可）

継続的に働くことができた理由について、「職場の理解や制度が整っていたから」「金銭的に必要だったから」と回答した人が最も多く、それぞれ回答数295であった。続いて、「家族や配偶者のサポートがあったから」と回答した人が3番目に多く、回答数261であった。

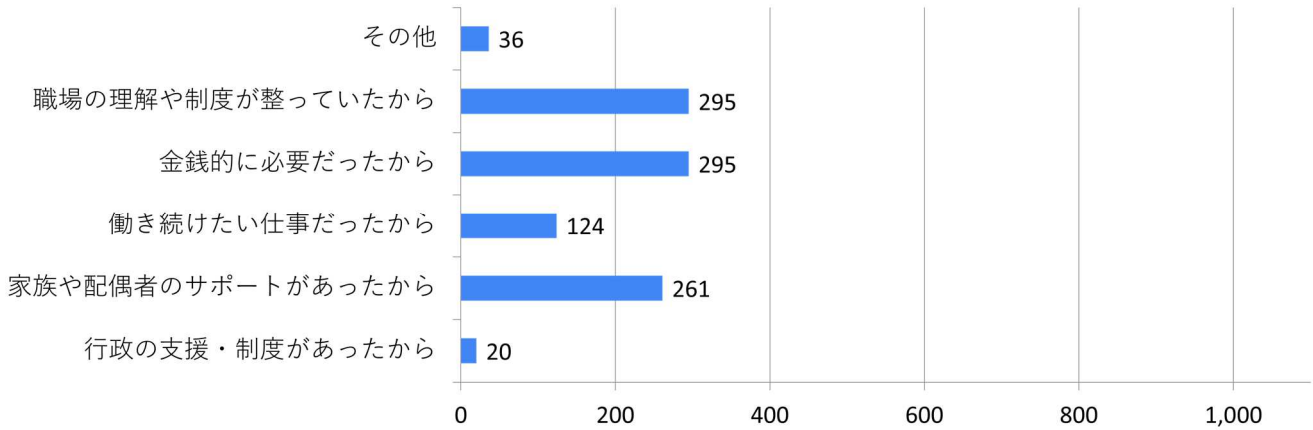


図4-1-32 継続的に働くことができた理由について
転職をせず継続的に働いたと回答した方のみ
(N= 1,031) (人)

Q72 転職をして継続的に働いたと回答した方に質問します
 転職した理由は何ですか？（複数選択可）

転職した理由について、「働き方（例:短時間労働）を変えたかったから」と回答した人が最も多く、回答数49であった。続いて、「子育てにもっと時間を割きたかったから」と回答した人が2番目に多く、回答数34であった。

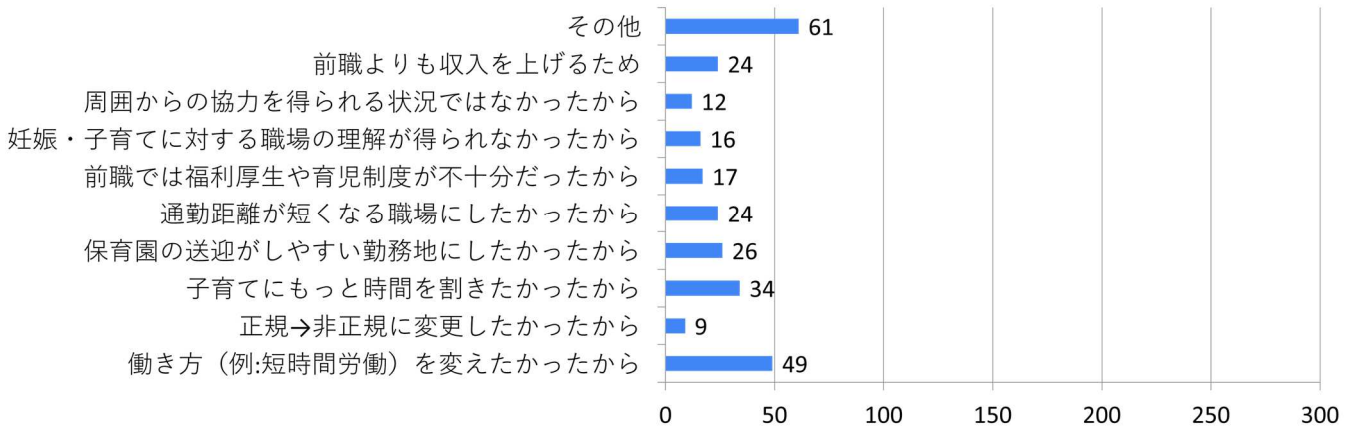


図4-1-33 転職した理由について

転職をして継続的に働いたと回答した方のみ

(N= 272) (人)

Q73 転職をして継続的に働いたと回答した方に質問します
働くことを選んだ理由は何ですか？（複数選択可）

働くことを選んだ理由について、「家計のために必要だったから」と回答した人が最も多く、回答数107であった。

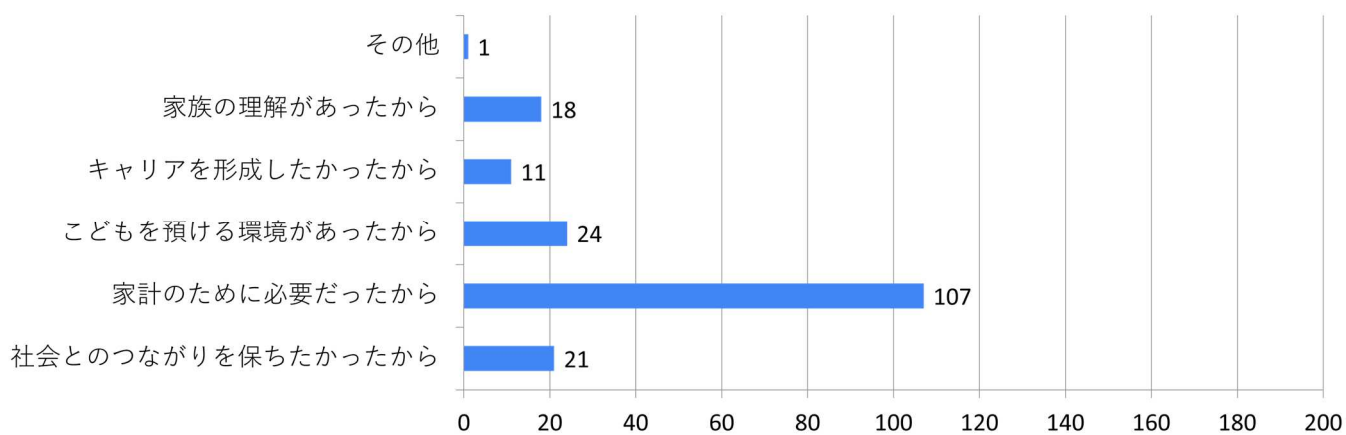


図4-1-34 働くことを選んだ理由

転職をして継続的に働いたと回答した方のみ

(N= 272) (人)

Q74 仕事を辞めたと回答した方に質問します
 仕事と家庭の両立を支援する教育・保育事業や周囲の環境（職場や家族等）が整っていたら、仕事を
 継続する理由になりますか？

仕事を継続するための希望について、仕事と家庭の両立を支援する教育・保育事業や周囲の環境のいづ
 れかが整っていれば「続ける」と回答した人を合計すると、全体の93.6%（回答数353）
 であった。一方で、「いずれにしても続ける希望はなかった」と回答した人は、全体の19.8%（回答数9
 0）であった。

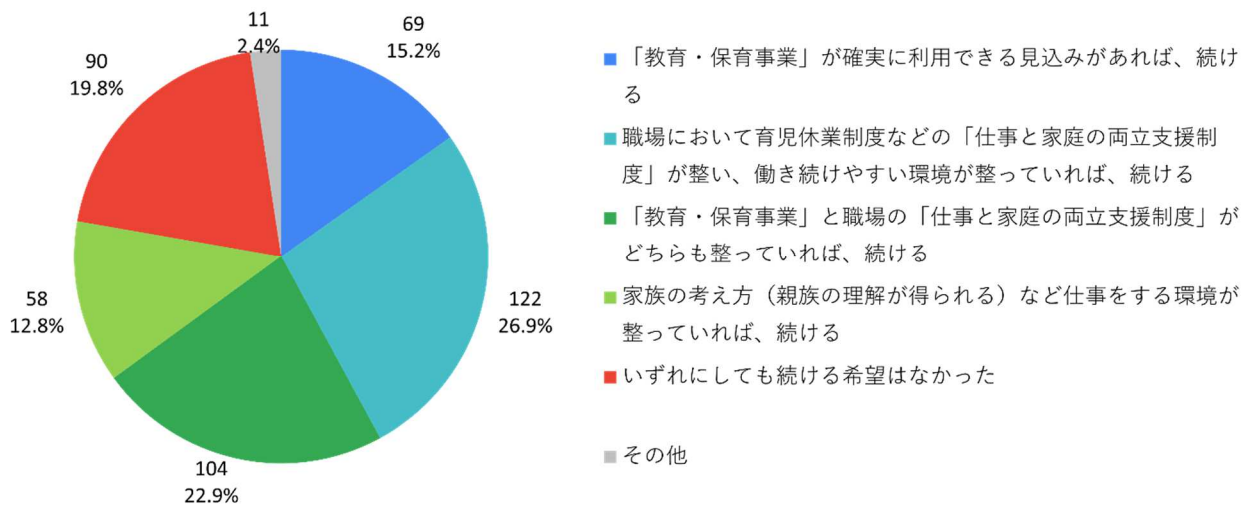


図4-1-35 仕事を継続するための希望
 仕事を辞めたと回答した方のみ
 (N= 454) (人)

未就学児のお子さまについて

Q75 未就学児のお子さまはいらっしゃいますか？

未就学児のお子さまの有無について、未就学児のお子さまが「いる」と回答した人は、全体の34%（回答数397）であった。

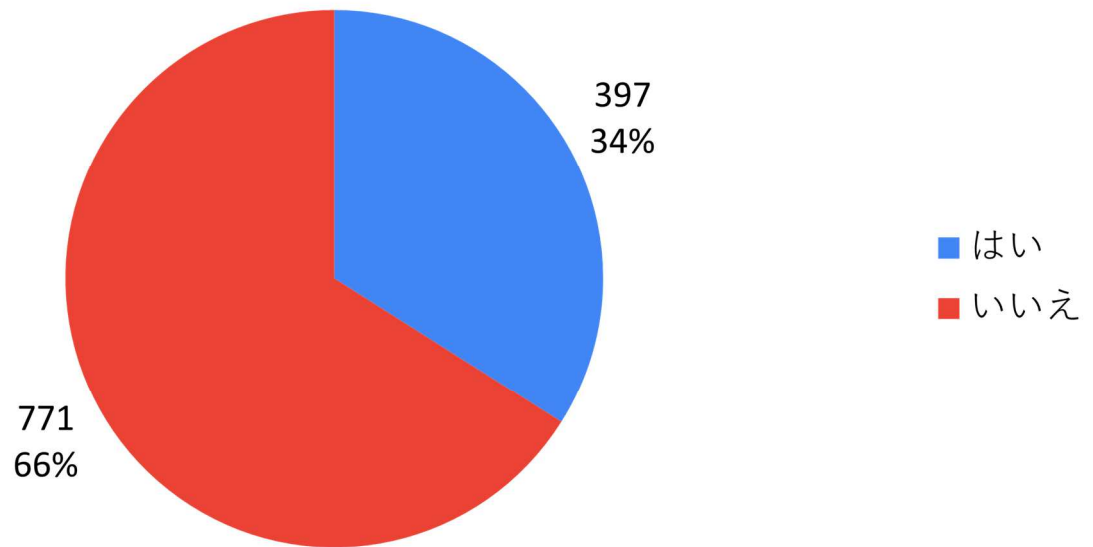


図4-1-36 未就学児のお子さまの有無について
(N=1,168) (人)

Q76 未就学児のお子さまはいる方のみ

現在の定期的な「平日」の幼児教育・保育の利用状況を以下より選択してください（複数選択可）

現在の定期的な「平日」の幼児教育・保育の利用状況について、「認可保育所」と回答した人が最も多く、回答数197であった。続いて、「認定こども園」と回答した人が2番目に多く、回答数96であった。

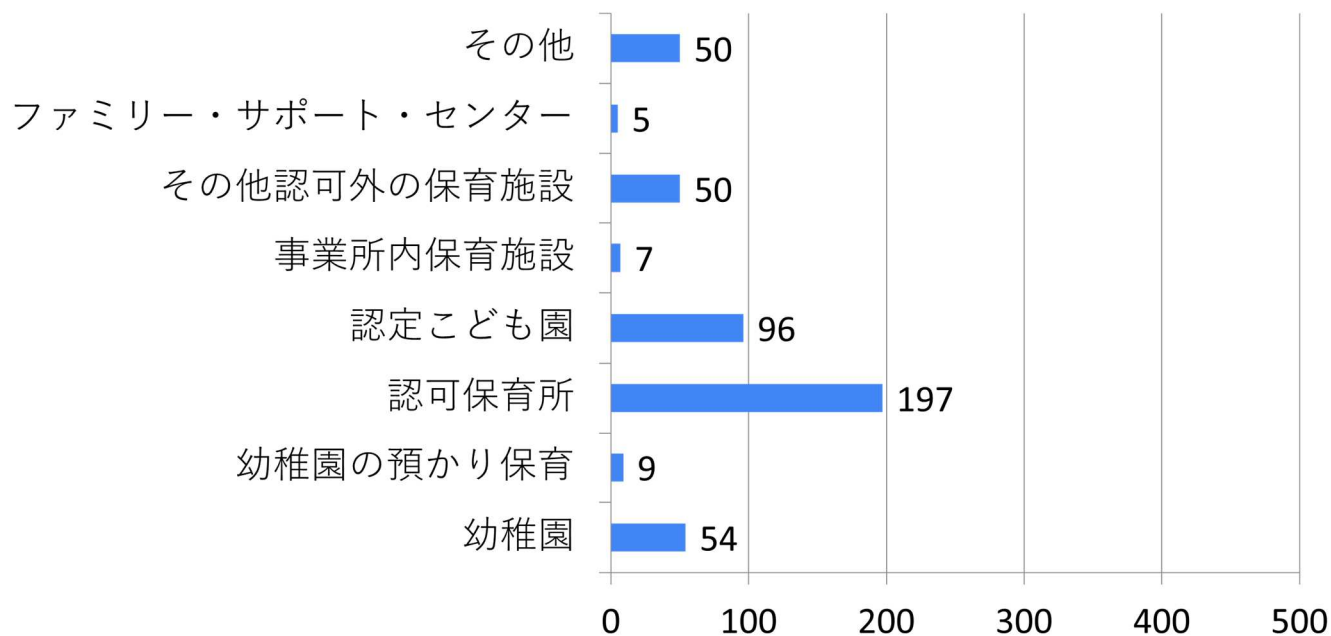


図4-1-37 現在の定期的な「平日」の幼児教育・保育の利用状況について

(N= 468) (人)

Q77 未就学児のお子さまはいる方のみ

今後の定期的な「平日」の幼児教育・保育の利用意向を以下より選択してください（複数選択可）

今後の定期的な「平日」の幼児教育・保育の利用状況について、「認可保育所」と回答した人が最も多く、回答数213であった。続いて、「認定こども園」と回答した人が2番目に多く、回答数115であった。

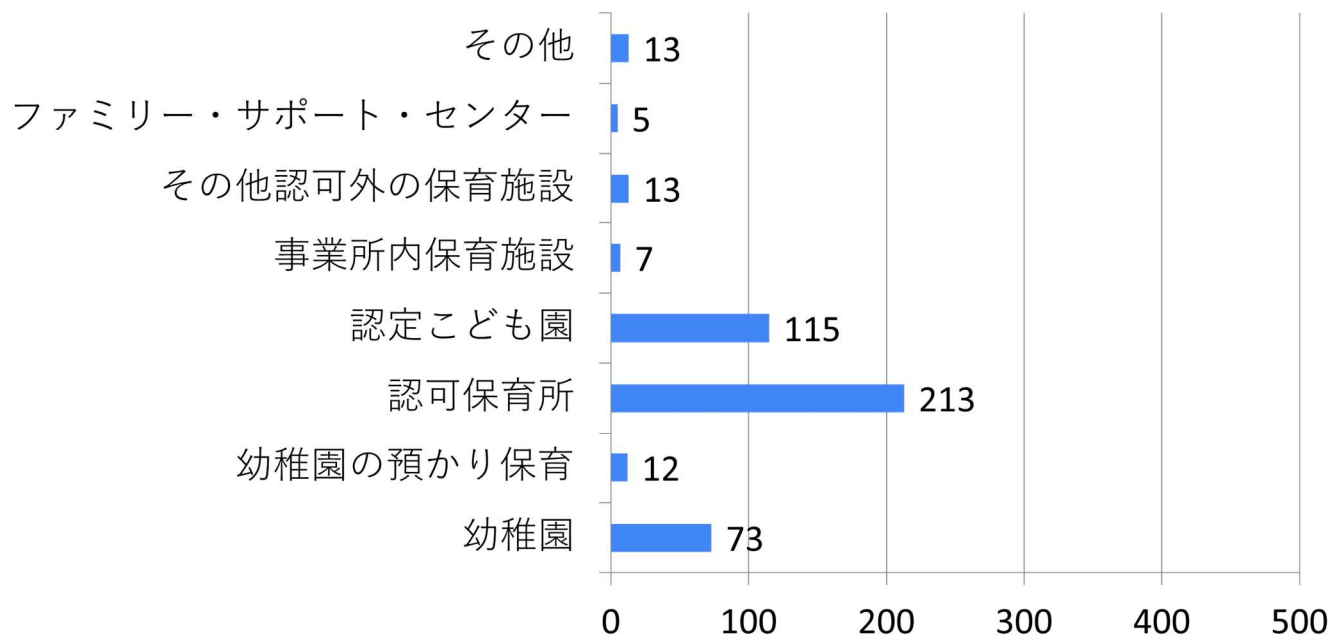


図4-1-38 今後の定期的な「平日」の幼児教育・保育の利用状況について

(N= 451) (人)

Q78 未就学児のお子さまはいる方のみ
今後の「土曜」の定期的な幼児教育・保育の利用意向を教えてください

今後の「土曜」の定期的な幼児教育・保育の利用意向について、「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した人は、全体の34.5%(回答数157)であった。一方で、「利用する必要はない」と回答した人は、全体の65.5%(回答数260)であった。

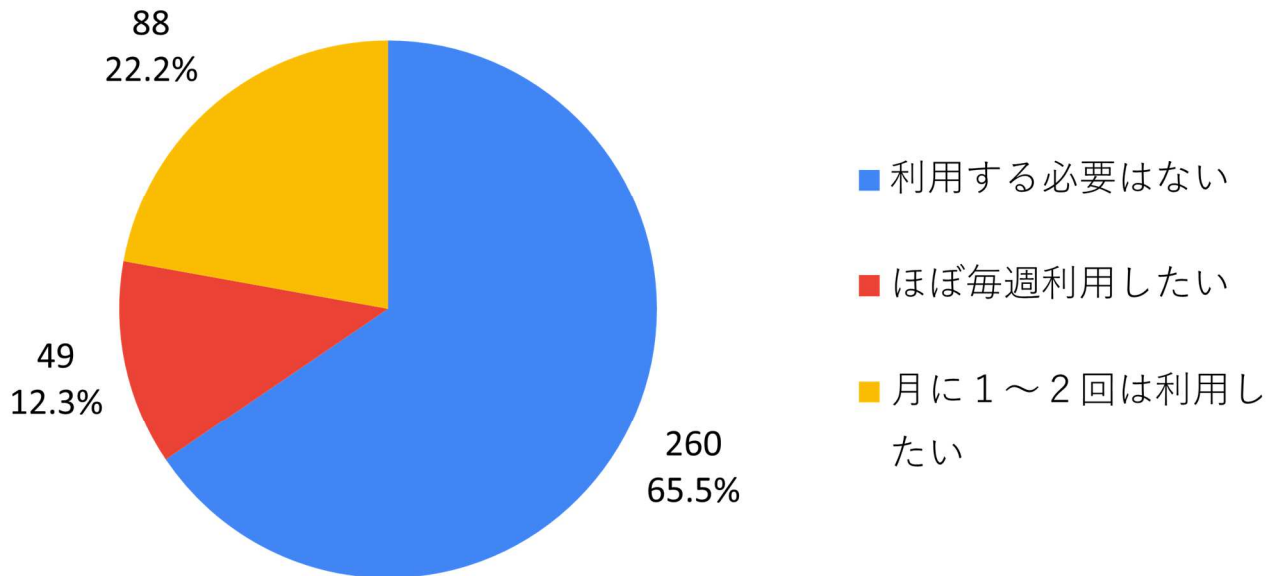


図4-1-39 今後の「土曜」の定期的な幼児教育・保育の利用意向について
(N= 397) (人)

Q79 未就学児のお子さまはいる方のみ
今後の「日曜・祝日」の定期的な幼児教育・保育の利用意向を教えてください

今後の「日曜・祝日」の定期的な幼児教育・保育の利用意向について、「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した人は、全体の17%(回答数67)であった。一方で、「利用する必要はない」と回答した人は、全体の83%(回答数330)であった。

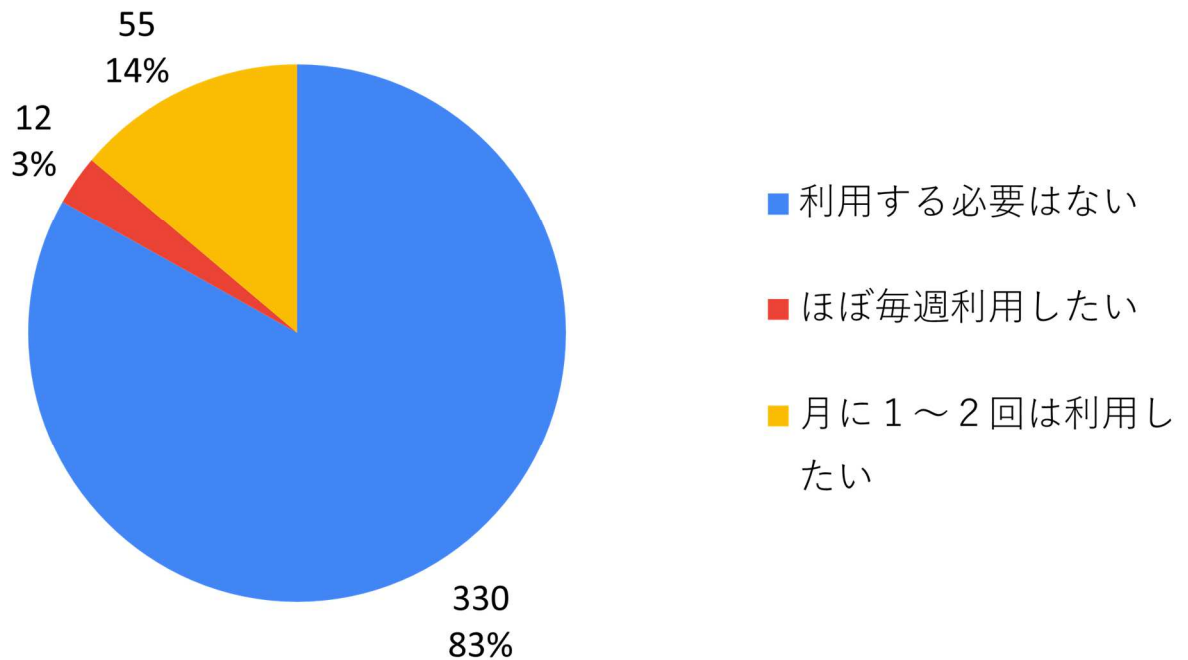


図4-1-40 今後の「日曜・祝日」の定期的な幼児教育・保育の利用意向について
(N= 397) (人)

Q80 未就学児のお子さまはいる方のみ
今後の「長期休暇中」の定期的な幼児教育・保育の利用意向を教えてください

今後の「長期休暇中」の定期的な幼児教育・保育の利用意向について、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人は、全体の58%(回答数233)であった。一方で、「利用する必要はない」と回答した人は、全体の41%(回答数164)であった。

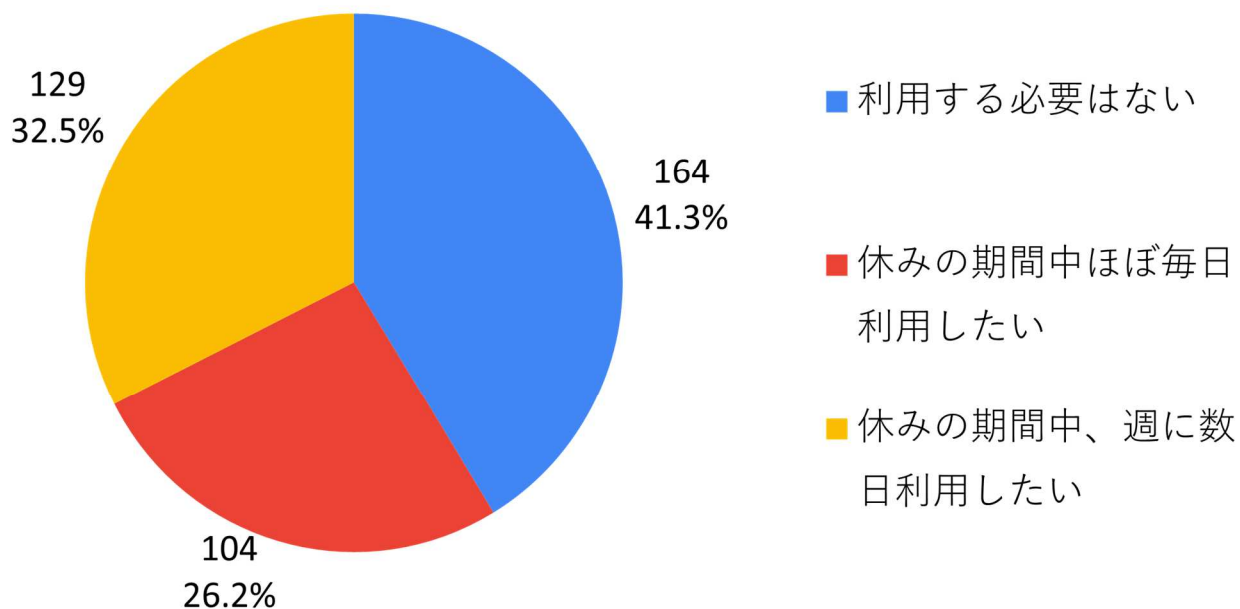


図4-1-41 今後の「長期休暇中」の定期的な幼児教育・保育の利用意向について
(N= 397) (人)

Q81 未就学児のお子さまはいる方のみ

不定期の幼児教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用意向を以下より選択してください

不定期の幼児教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用意向について、「利用したい」と回答した人は、全体の19%(回答数77)であった。一方で、「利用する必要はない」と回答した人は、全体の80%(回答数320)であった。

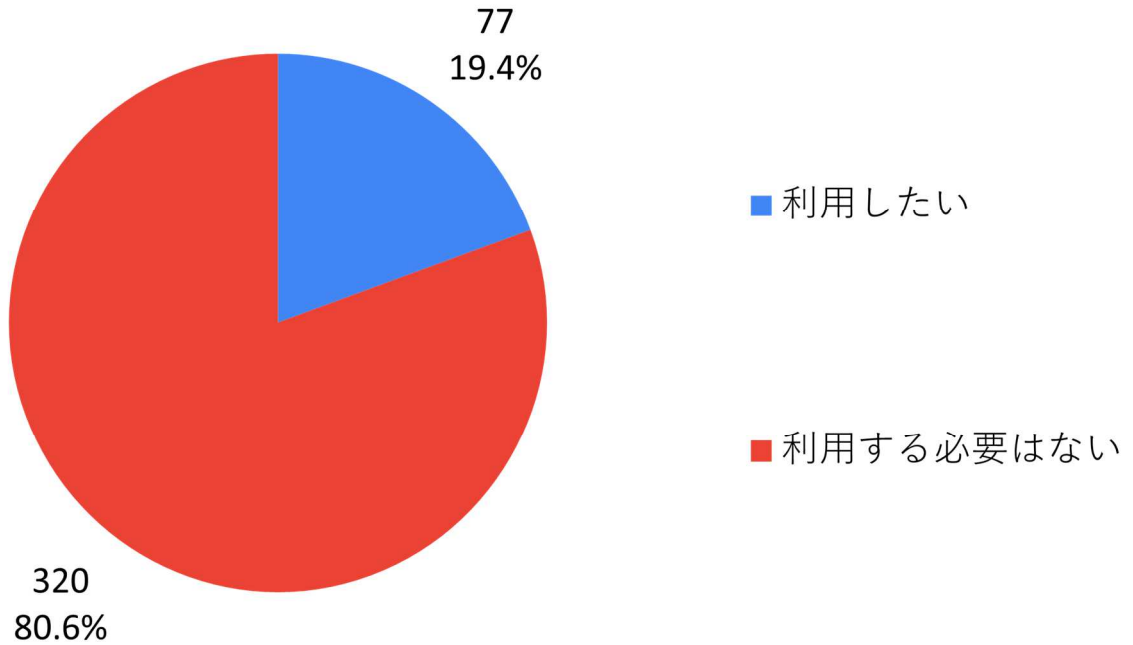


図4-1-42 不定期の幼児教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用意向について
(N= 397) (人)

Q82 不定期の幼児教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等を「利用したい」方のみ
不定期の幼児教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の「利用目的」を教えてください
(複数選択可)

不定期の幼児教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の「利用目的」について、「私用・リフレッシュ目的」と回答した人が最も多く、回答数50であった。続いて、「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院」と回答した人が2番目に多く、回答数37であった。

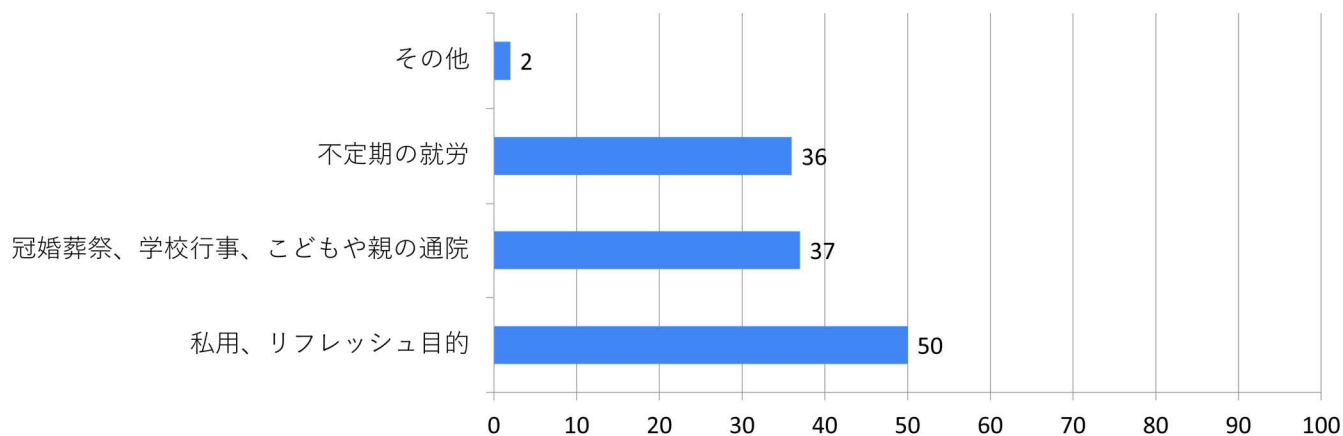


図4-1-43 不定期の幼児教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の「利用目的」について
(N= 397) (人)

Q83 未就学児のお子さまはいる方のみ
 子育て（教育を含む）をする上で、家族や身近な人など周囲の人からどのようなサポートがあると良いですか？
 （複数選択可）

希望する家族や身近な人など周囲の人からのサポートについて、「（仕事がある日に）こどもを一時的に預かってくれるサポート」と回答した人が最も多く、回答数236であった。続いて、「こどもの急病時のサポート（病院・学校への送迎や看病等）」と回答した人が2番目に多く、回答数174であった。

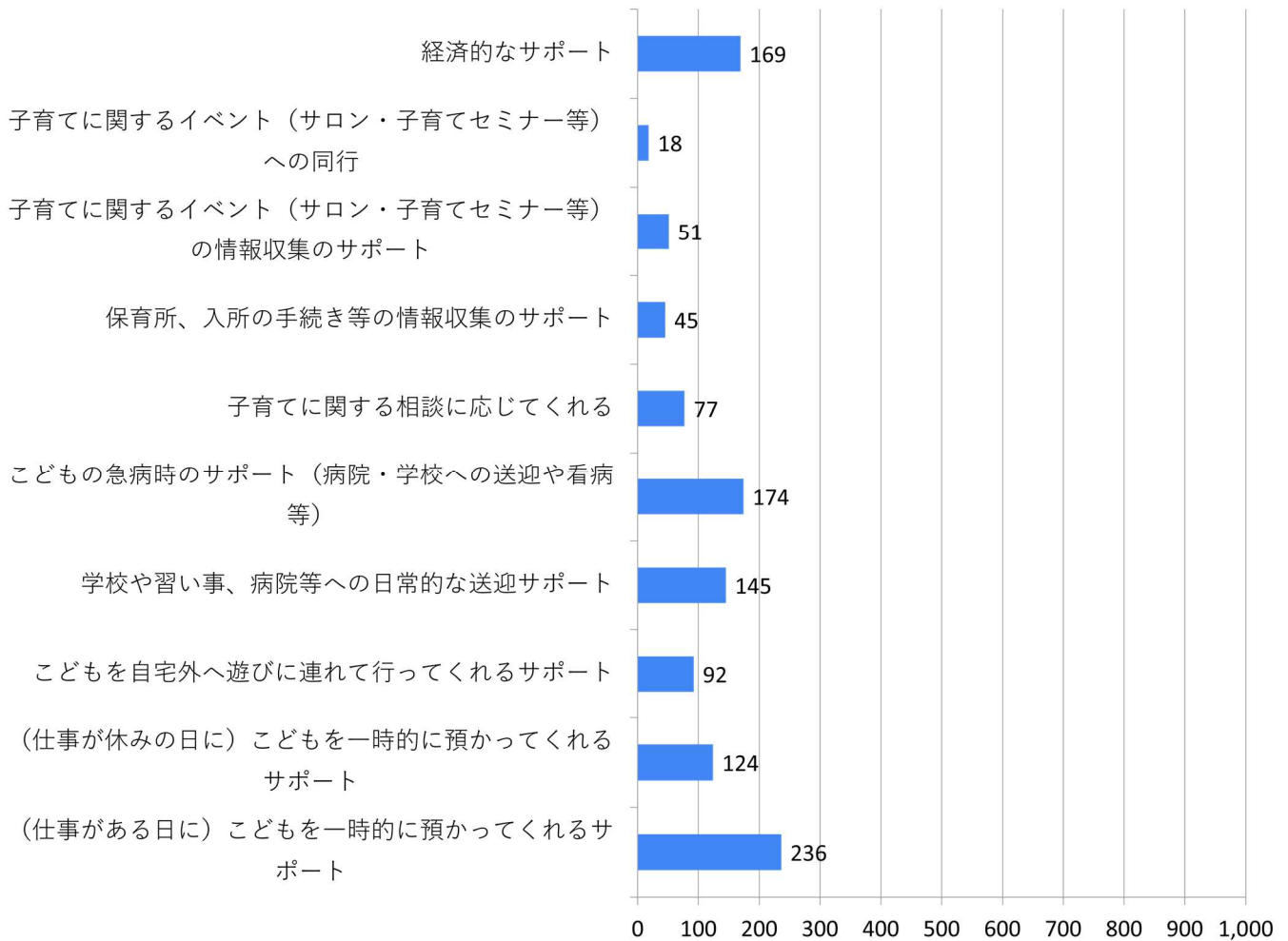


図4-1-44 希望する家族や身近な人など周囲の人からのサポートについて

(N= 1,131) (人)

妊娠・出産期について

Q84 妊娠・出産期において、誰に相談しましたか？（複数選択可）

妊娠・出産期の相談相手について、「夫婦で相談する」と回答した人が最も多く、回答数943であった。続いて、「祖母または祖父」と回答した人が2番目に多く、回答数730であった。一方で、「誰もいない」と回答した数は28であった。

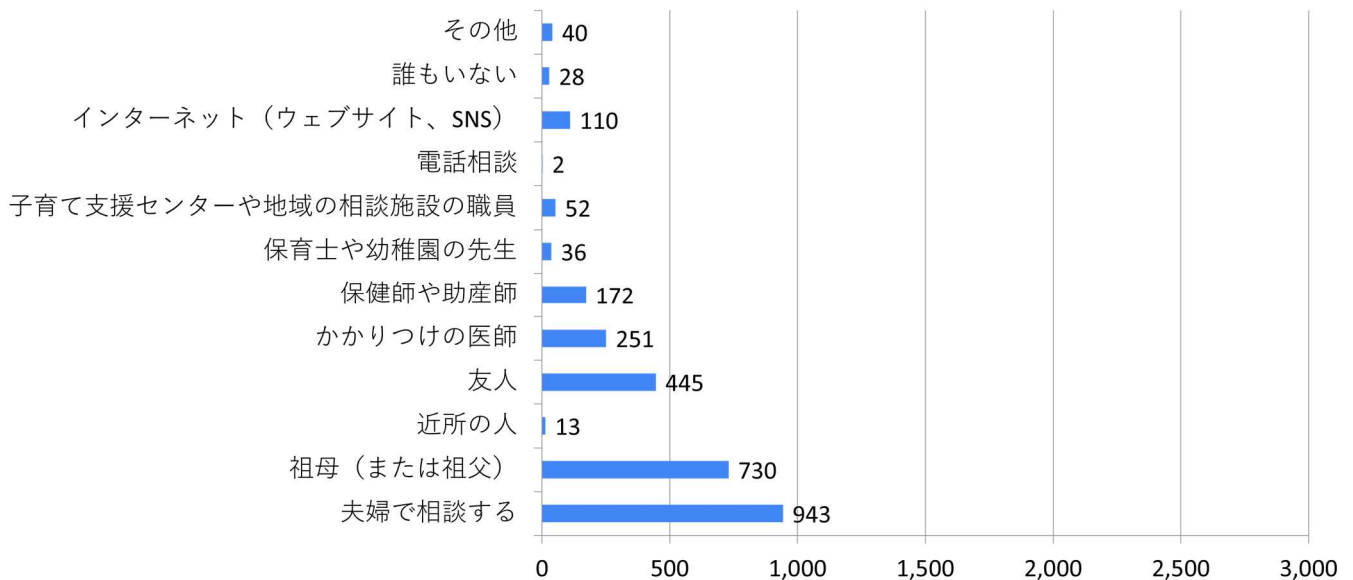


図4-1-45 妊娠・出産期の相談相手について
(N= 2,822) (人)

Q85 妊娠期や出産後、どのような支援やサービスがあればよかったですか？
(複数選択可)

妊娠期や出産後にあればよかったと思う支援やサービスについて、「妊娠期・産後の身体ケア支援」と回答した人が最も多く、回答数524であった。続いて、「精神的なケア・相談支援」と回答した人が2番目に多く、回答数419であった。

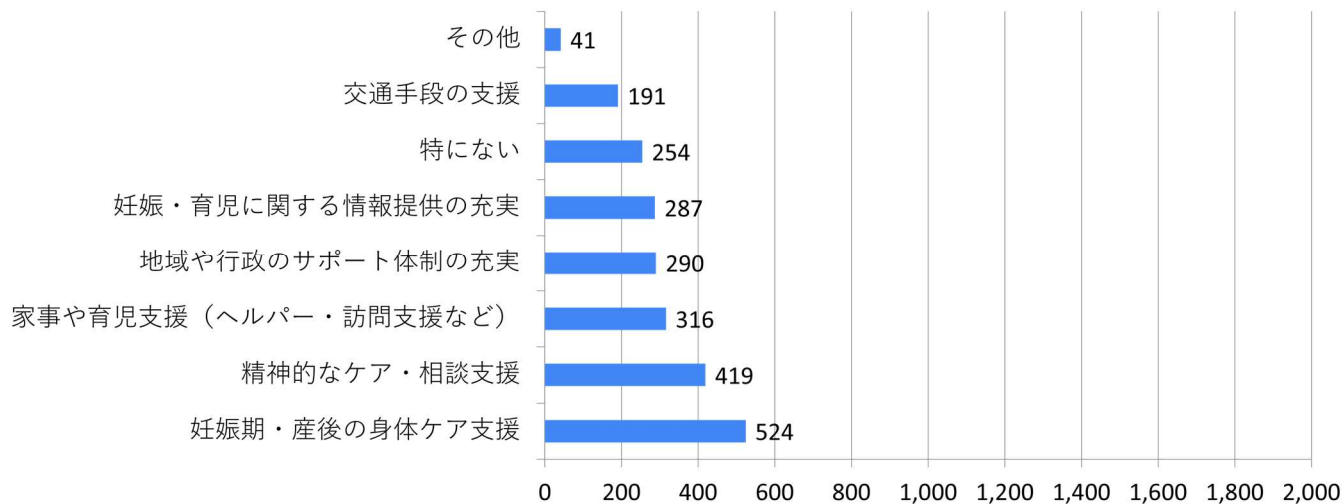


図4-1-46 妊娠期や出産後にあればよかったと思う支援やサービスについて
(N= 2,322) (人)

Q86 母子健康手帳や妊婦健診票のデジタル化（スマホアプリなど）があれば嬉しいですか？

母子健康手帳や妊婦健診票のデジタル化（スマホアプリなど）があれば嬉しいかについて、「嬉しい」「どちらかと言えば、嬉しい」と回答した人は、全体の63.7%(回答数744)であった。

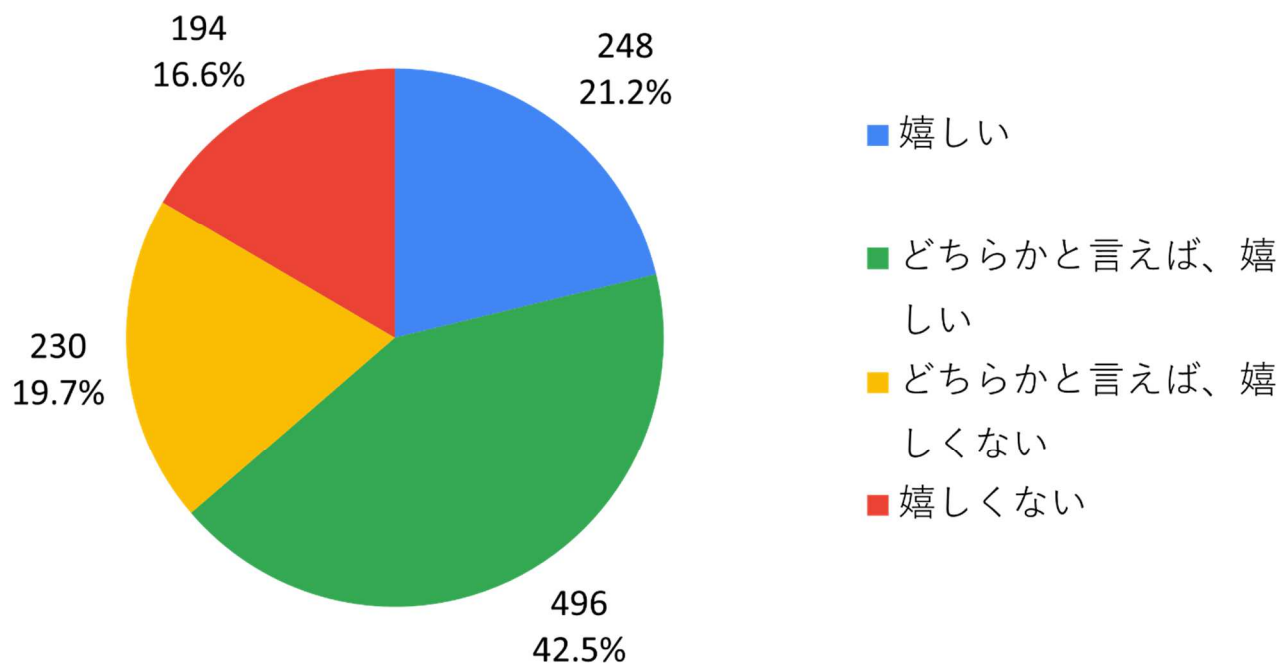


図4-1-47 母子健康手帳や妊婦健診票のデジタル化（スマホアプリなど）があれば嬉しいかについて
(N= 1,168) (人)

Q87 妊娠中や陣痛時に、どのような交通支援サービスがあればよかったですか？
(複数選択可)

妊娠中や陣痛時にあればよかったと思う支援やサービスについて、「妊婦健診時のタクシー割引や専用サービス」と回答した人が最も多く、回答数692であった。続いて、「陣痛時の優先的な送迎サービス」と回答した人が2番目に多く、回答数664であった。

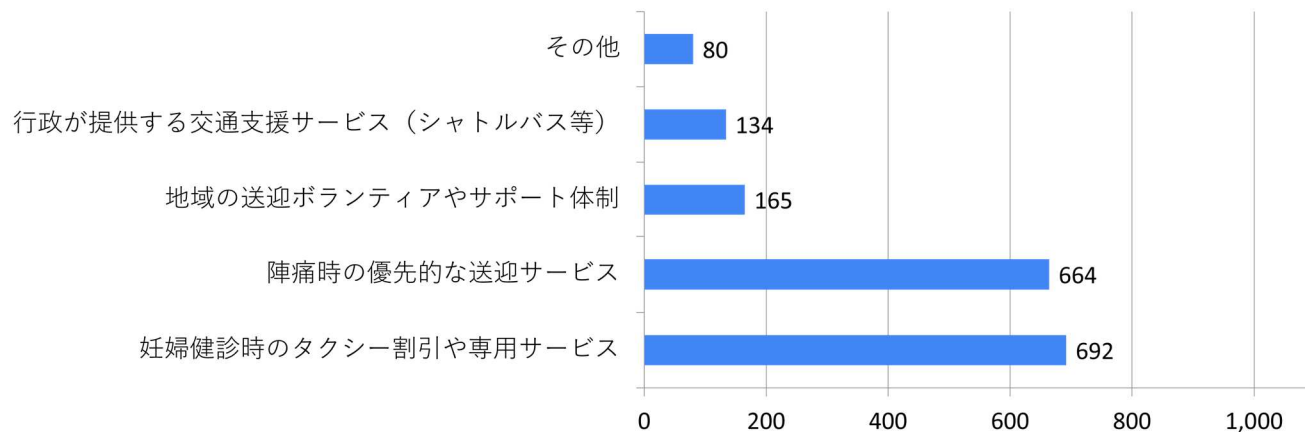


図4-1-48 妊娠中や陣痛時にあればよかったと思う支援やサービスについて
(N= 1,735) (人)

経済的な負担について

Q93 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがありますか？

子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがあるかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の83%(回答数967)であった。

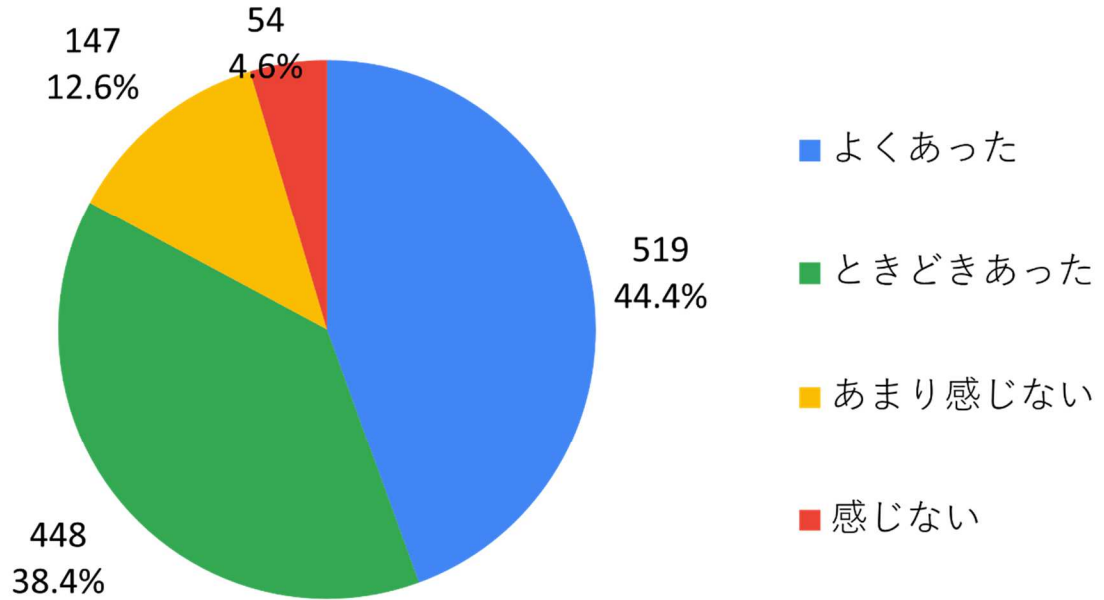


図4-1-49 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがあるかについて
(N= 1,168) (人)

Q94 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがある方のみ
この1年間に、「税金、社会保険料などの支払いに困ること」はありましたか？

この1年間に、「税金、社会保険料などの支払いに困ること」はあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の46%(回答数445)であった。

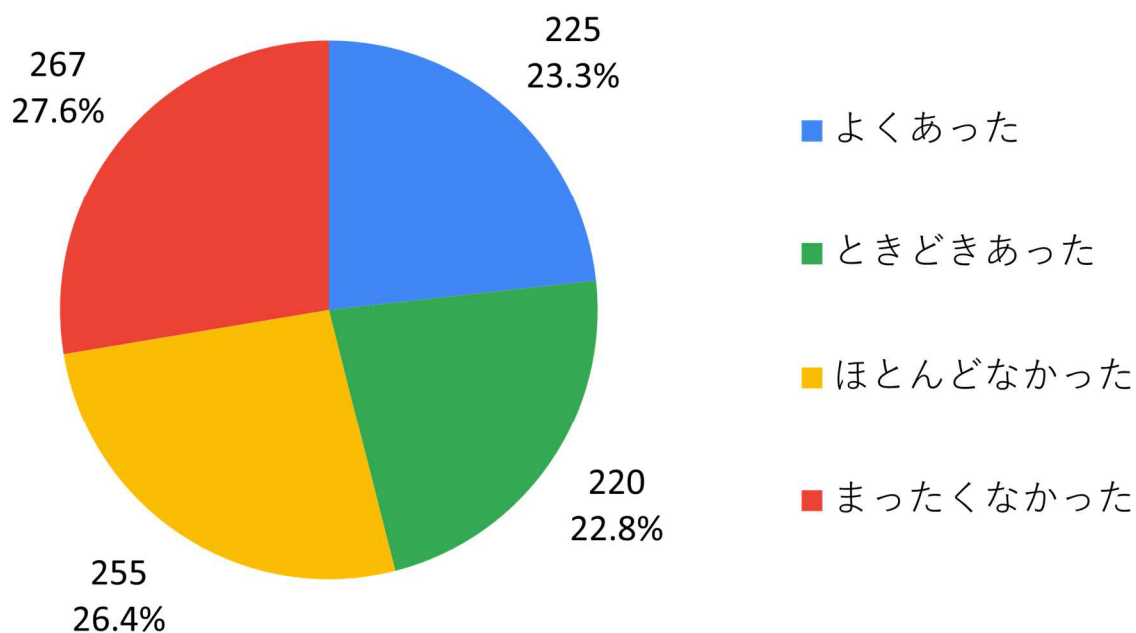


図4-1-50 「税金、社会保険料などの支払いに困ること」はあったかについて
(N= 967) (人)

Q95 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがある方のみ
この1年間に、「家賃、家のローン、水道光熱費などの生活費の支払いに困ること」はありましたか？

この1年間に、「家賃、家のローン、水道光熱費などの生活費の支払いに困ること」はあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の44%(回答数422)であった。

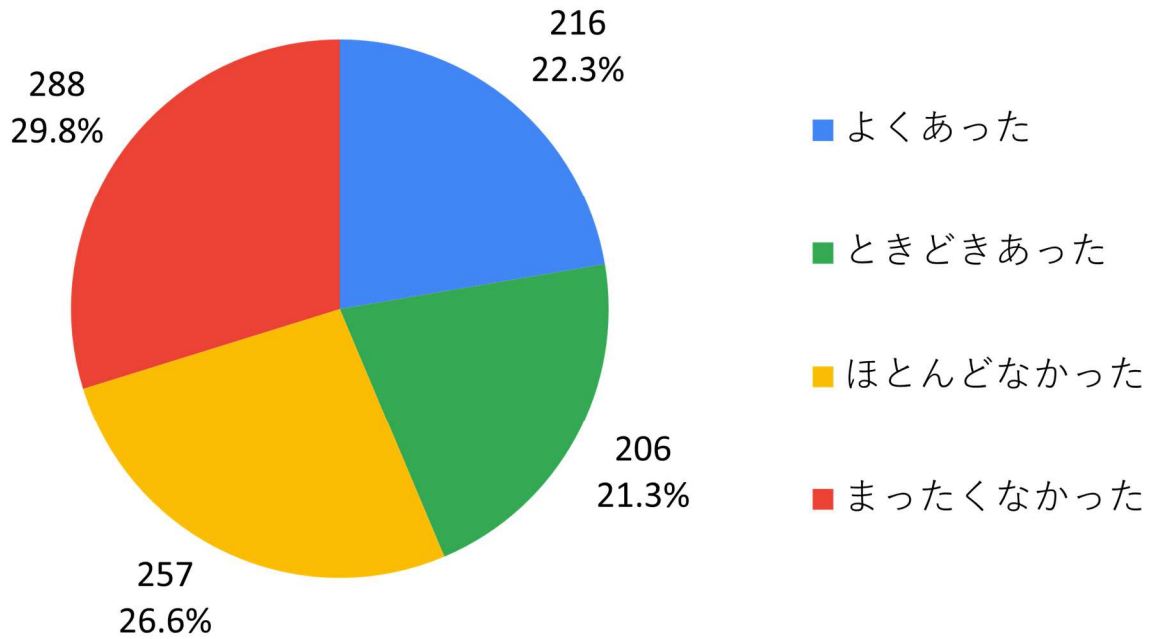


図4-1-51 「家賃、家のローン、水道光熱費などの生活費の支払いに困ること」はあったかについて
(N= 967) (人)

Q96 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがある方のみ
この1年間に、「必要とする食料が買えないこと」はありましたか？

この1年間に、「必要とする食料が買えないこと」はあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の29%(回答数283)であった。

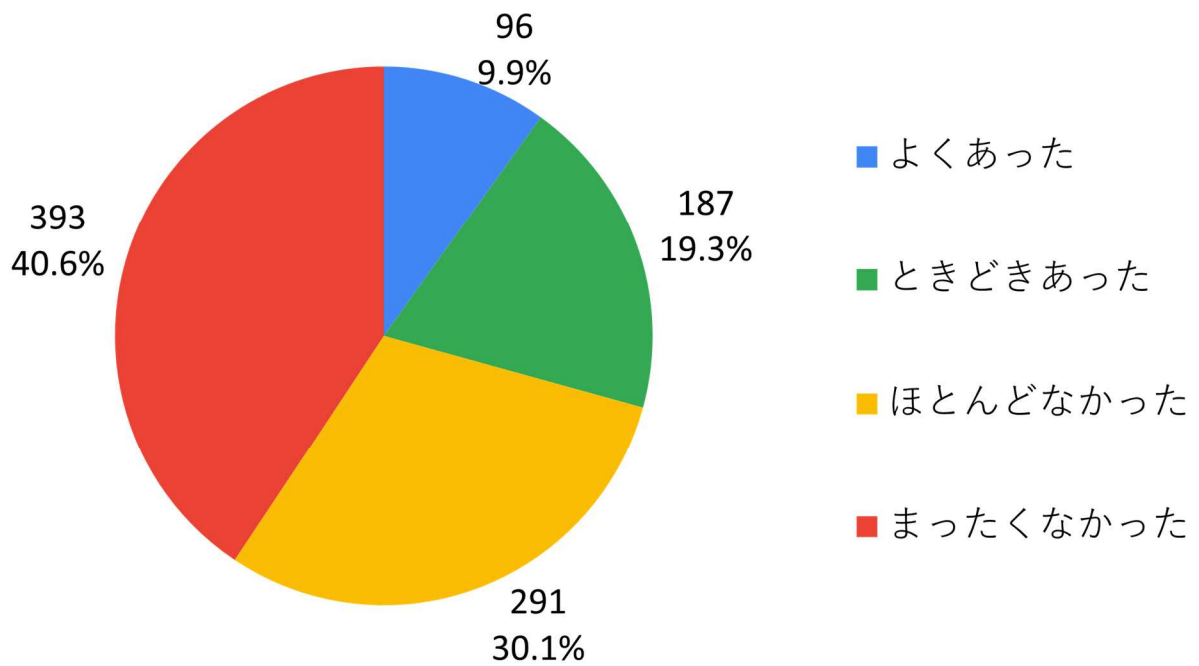


図4-1-52 「必要とする食料が買えないこと」はあったかについて
(N= 967) (人)

Q97 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがある方のみ
この1年間に、「こどもの学校の授業料や給食費、修学旅行費などの支払いに困ること」はありましたか？

この1年間に、「こどもの学校の授業料や給食費、修学旅行費などの支払いに困ること」はあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の25%(回答数242)であった。

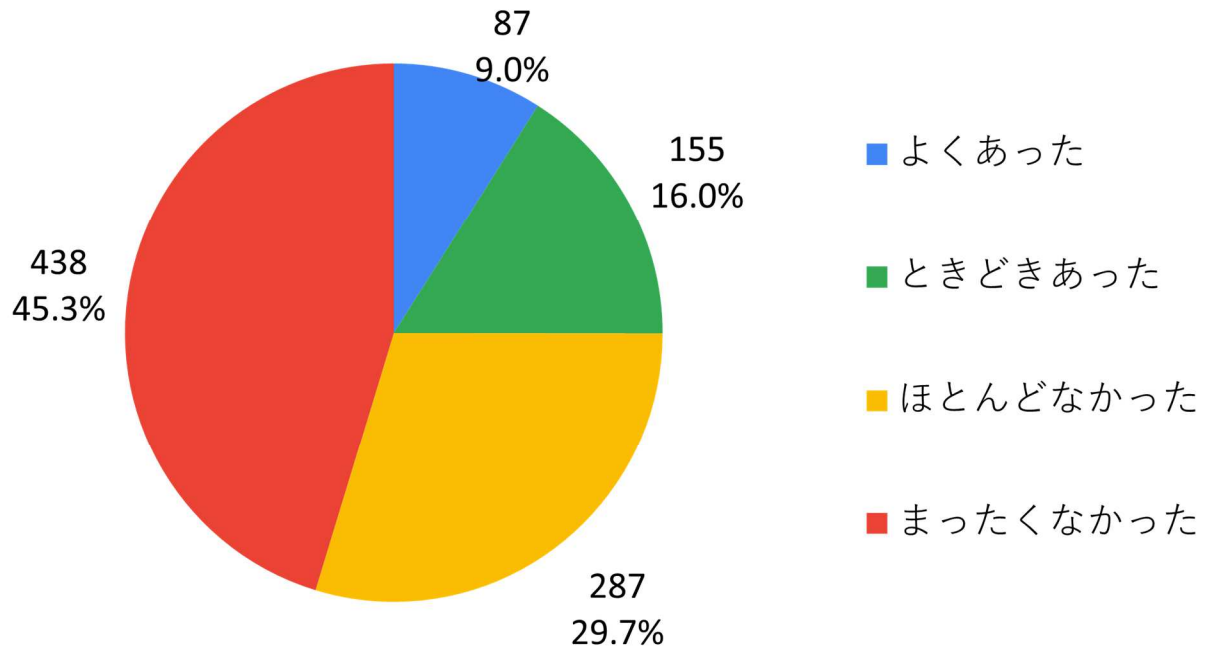


図4-1-53 「こどもの学校の授業料や給食費、修学旅行費などの支払いに困ること」はあったかについて
(N= 967) (人)

Q98 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがある方のみ
この1年間に、「こどもの服など身につけるものが買えないこと」はありましたか？

この1年間に、「こどもの服など身につけるものが買えないこと」はあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の23%(回答数223)であった。

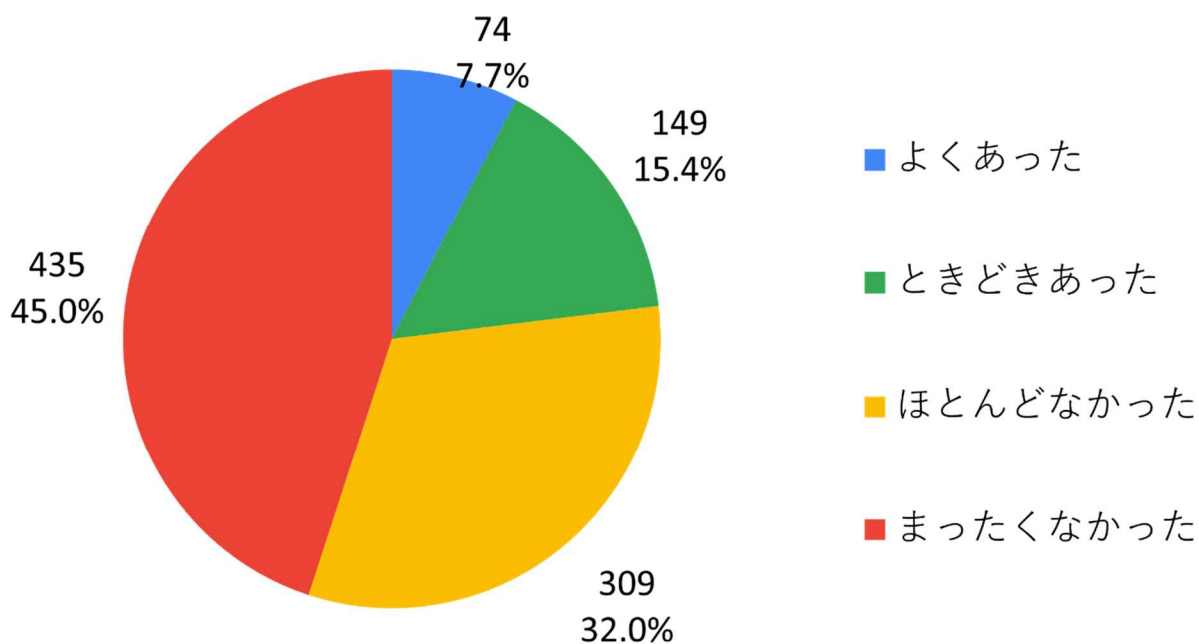


図4-1-54 「こどもの服など身につけるものが買えないこと」はあったかについて
(N= 967) (人)

Q99 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがある方のみ
この1年間に、「こどものおやつなど食事以外の食べ物が買えないこと」はありましたか？

この1年間に、「こどものおやつなど食事以外の食べ物が買えないこと」はあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の18%(回答数176)であった。

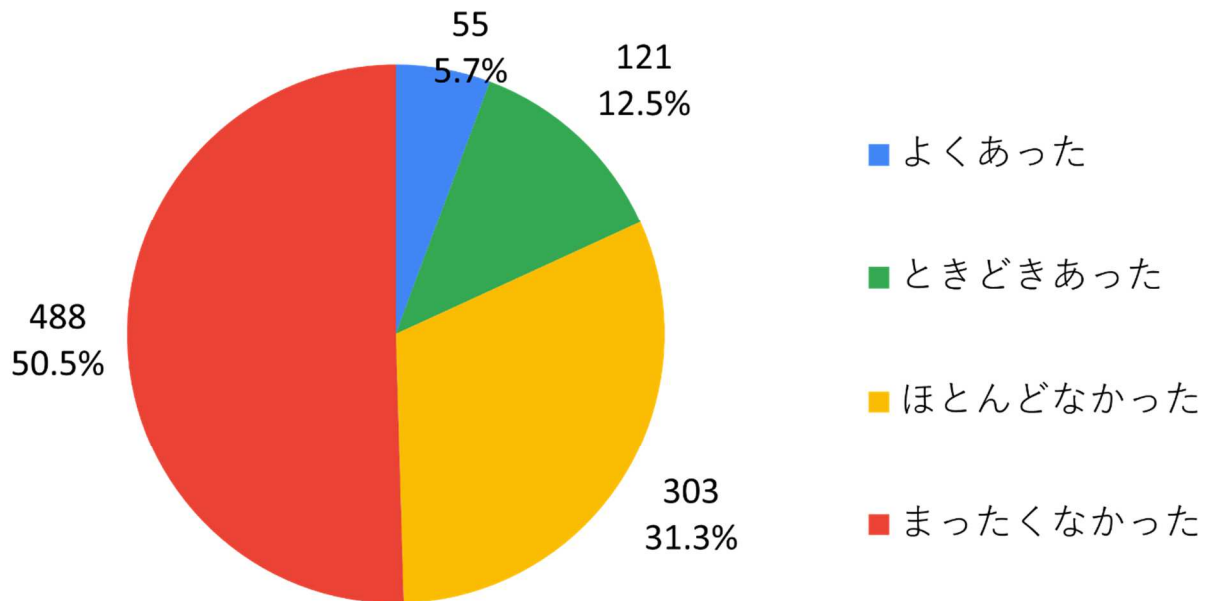


図4-1-55 「こどものおやつなど食事以外の食べ物が買えないこと」あったかについて

(N= 967) (人)

Q100 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがある方のみ
この1年間に、「子どもが必要とする文具や教材が買えないこと」はありましたか？

この1年間に、「子どもが必要とする文具や教材が買えないこと」はあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の13%(回答数124)であった。

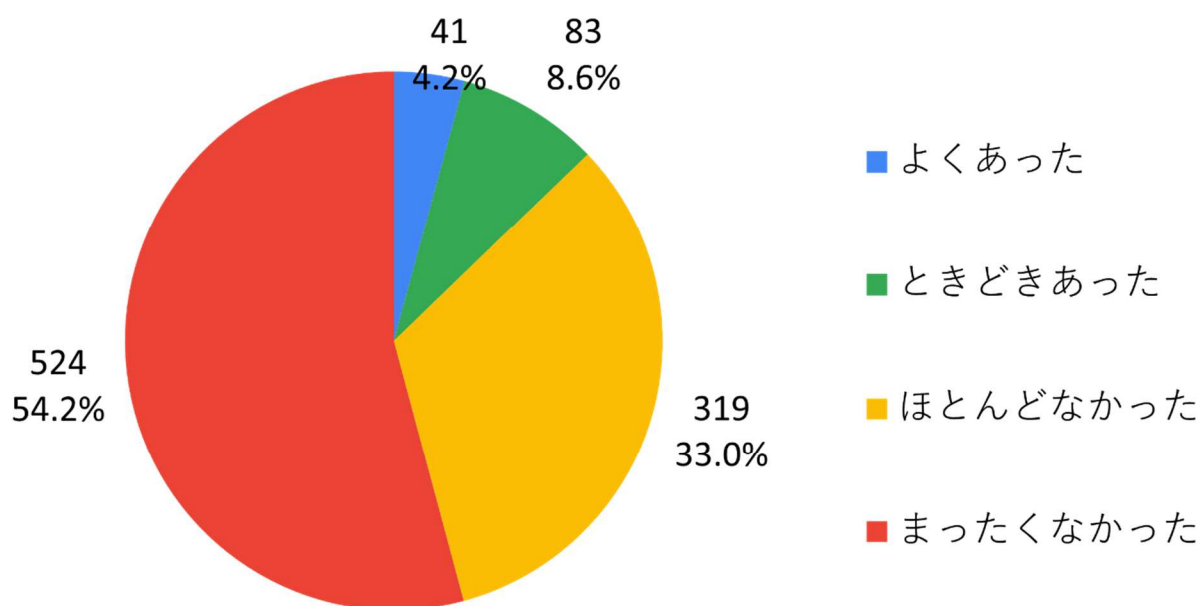


図4-1-56 「子どもが必要とする文具や教材が買えないこと」はあったかについて
(N= 967) (人)

Q101 子育てに経済的な負担を感じる・感じたことがある方のみ
この1年間に、「こどもの塾や習い事の支払いに困ること」はありましたか？

この1年間に、「こどもの塾や習い事の支払いに困ること」はあったかについて、「よくあった」「ときどきあった」と回答した人は、全体の28%(回答数269)であった。

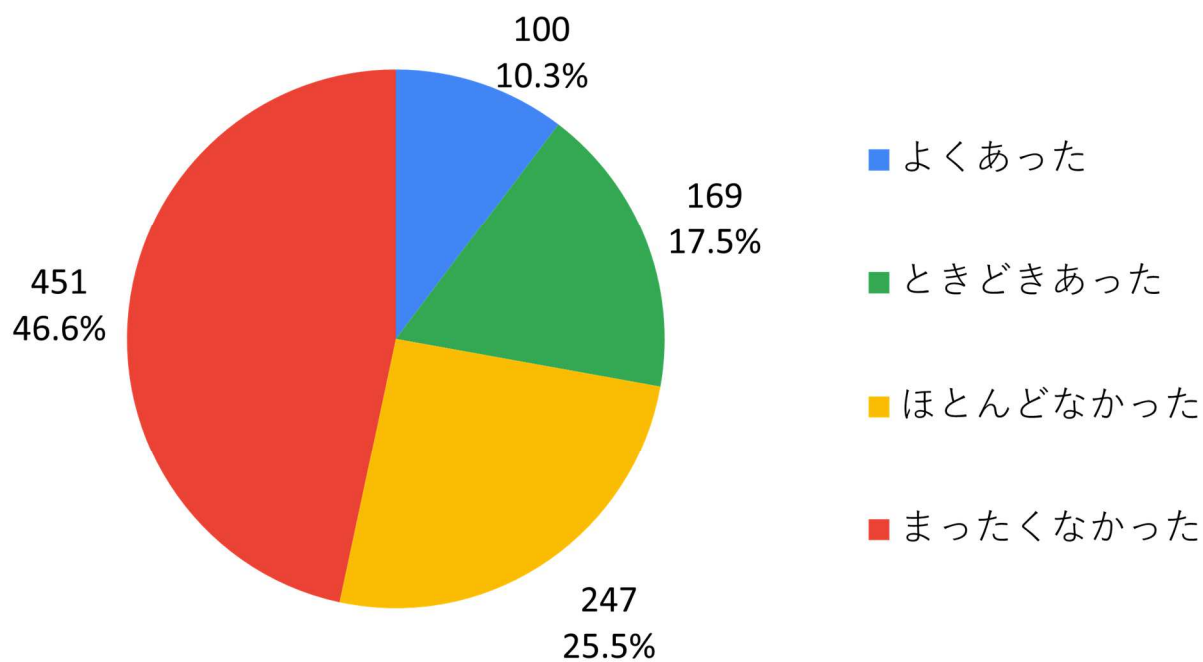


図4-1-57 「こどもの塾や習い事の支払いに困ること」はあったかについて
(N= 967) (人)

Q102 お子さまの中で塾や通信教育、家庭教師、資格取得のための予備校を利用している人はいますか？

お子さまの中で塾や通信教育、家庭教師、資格取得のための予備校を利用している人は、「利用している」と回答した人は、全体の33%(回答数390)であった。一方で、「利用したいが、金銭的な問題で利用していない」と回答した人は、全体の21%(回答数249)であった。

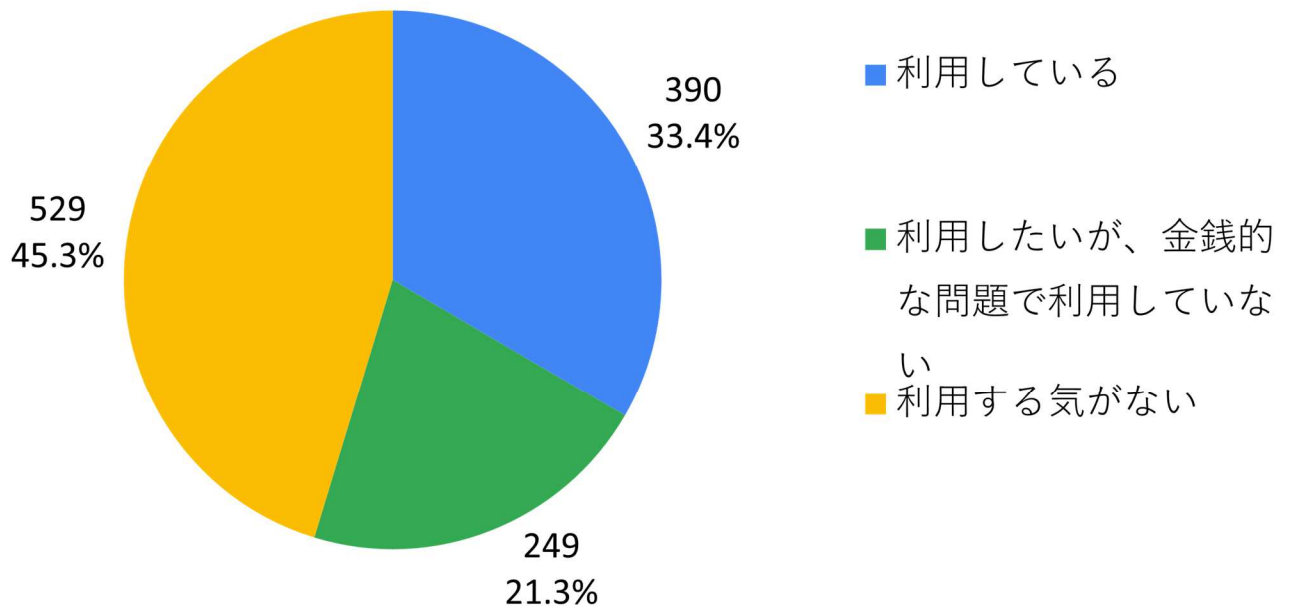


図4-1-58 お子さまの中で塾や通信教育、家庭教師、資格取得のための予備校を利用している人
(N= 1,168) (人)

Q104 塾や通信教育、家庭教師、予備を利用したいが、金銭的な問題で利用していない方のみ
もし、無料で参加できる学習支援の場（学習塾のような場所）があった場合、お子さまを参加させたい
と思いますか？

無料で参加できる学習支援の場（学習塾のような場所）があった場合、お子さまを参加させたいと思
うかについて、「とても、参加させたい」「どちらかと言えば、参加させたい」と回答した人は、全体
の97%(回答数242)であった。

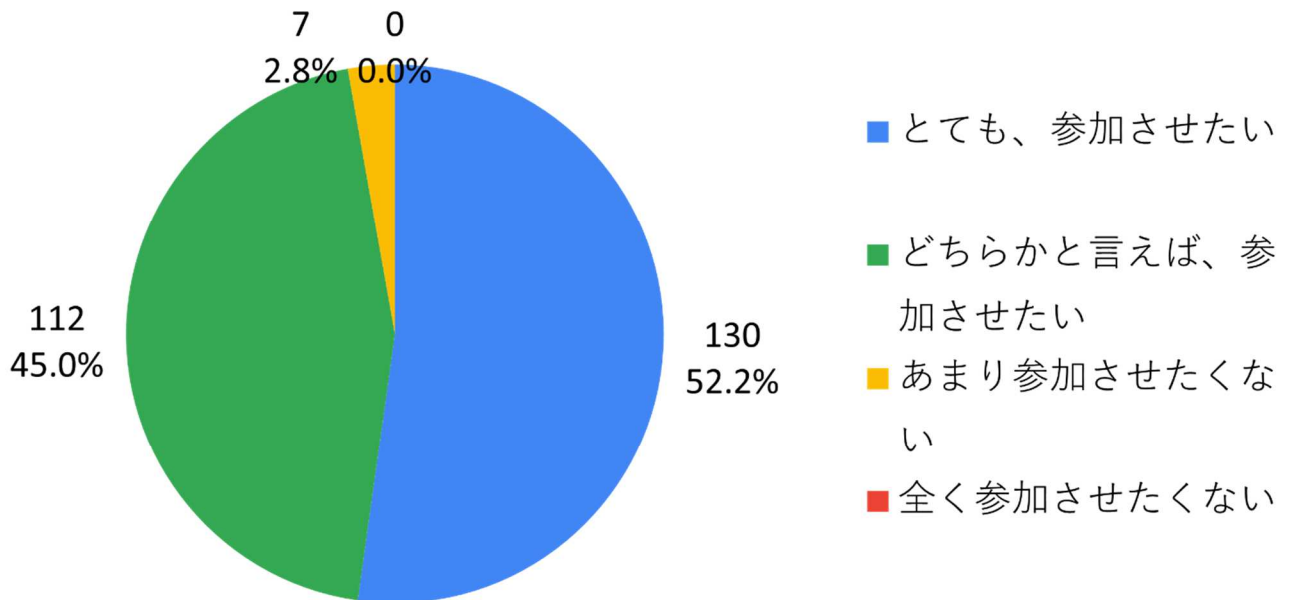


図4-1-59 無料で参加できる学習支援の場（学習塾のような場所）があった場合、
お子さまを参加させたいと思うかについて
(N= 249) (人)

Q105 お子さまに希望する最終学歴はどのようにお考えですか？

お子さまに希望する最終学歴について、「大学（4年制）卒業」と回答した人が最も多く、回答数546であった。続いて、「特に希望はない/まだ決めていない」と回答した人が2番目に多く、回答数305であった。

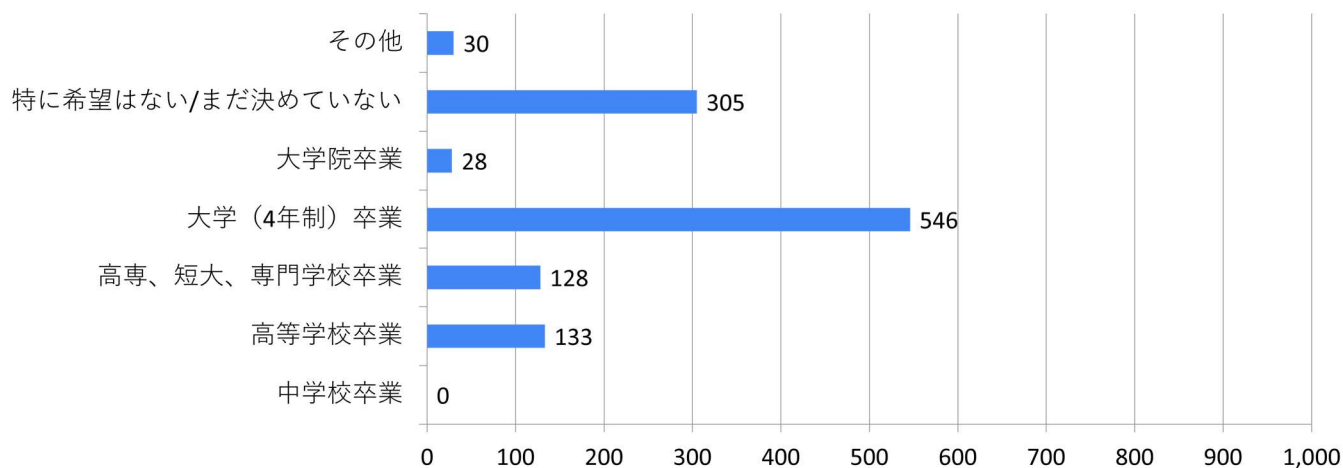


図4-1-60 お子さまに希望する最終学歴について

(N= 1,168) (人)

Q106 経済的な理由によって、お子さまの進学や修学を断念（中退）したこと、または今後断念するかもしれない可能性はありますか？

経済的な理由によって、お子さまの進学や修学を断念（中退）したこと、または今後断念するかもしれない可能性はあるかについて、「これまでにあった」と回答した人は、全体の59%(回答数690)であった。。一方で、「これまでにはないが、今後、可能性がある」と回答した人は、全体の38%(回答数445)であった。

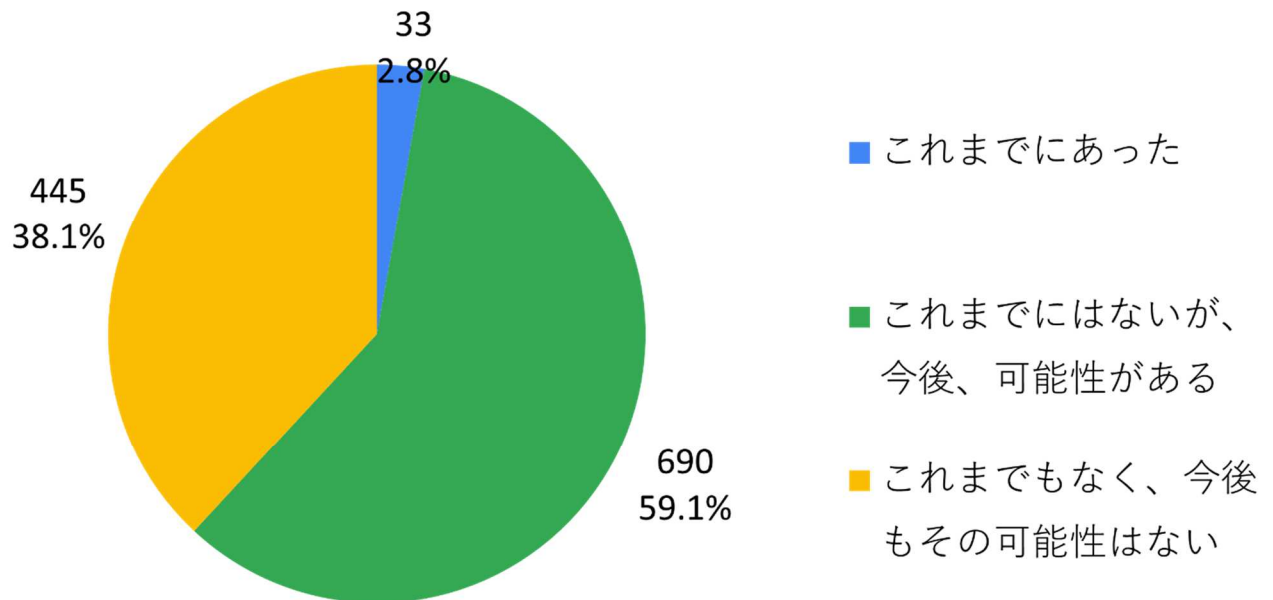


図4-1-61 経済的な理由によって、お子さまの進学や修学を断念（中退）したこと、または今後断念するかもしれない可能性はあるかについて

(N= 1,168) (人)

Q107子育てに関する経済的な負担に関して、最も負担に感じているものは何ですか？（複数選択可）

経済的に感じているものについて、「こどもが通う、塾や習い事の支払いなど」と回答した人が最も多く、回答数769であった。続いて、「こどもの学校の授業料や、給食費、修学旅行費など」と回答した人が2番目に多く、回答数518であった。

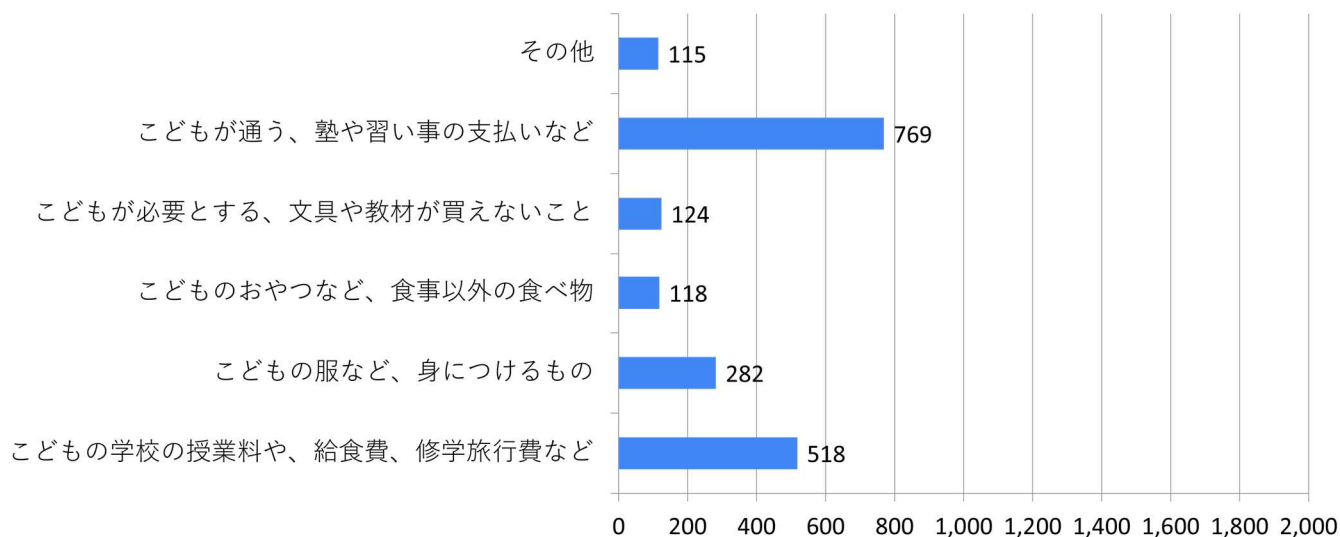


図4-1-62 経済的に感じているものについて

(N= 1,926) (人)

病児・病後児保育施設等について

Q112 こどもが病気やケガをした場合、「主に」どのように対応をしますか？

こどもが病気やケガをした場合の「主な」対応について、「母親が休んだ」と回答した人が最も多く、回答数962であった。

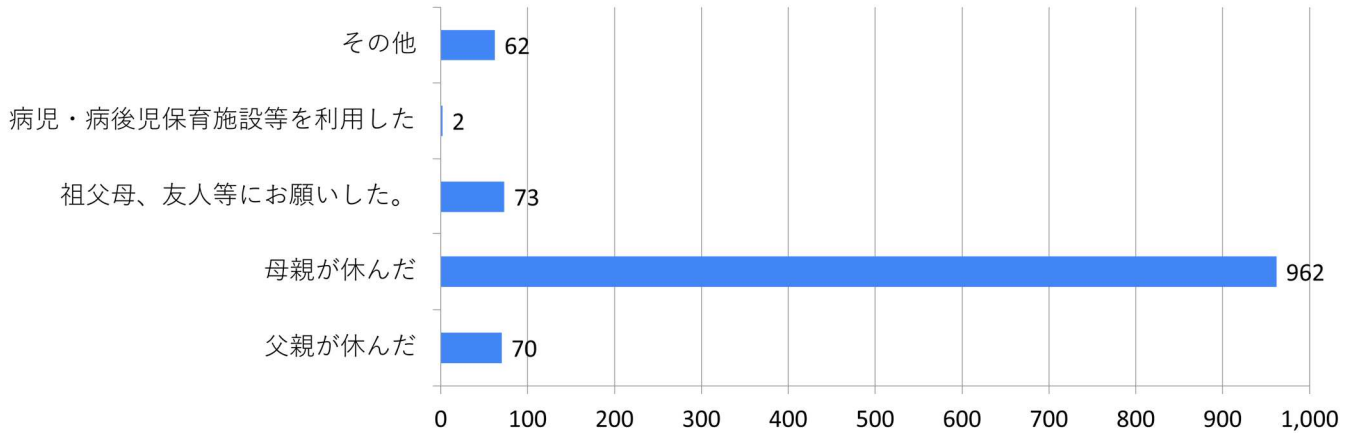


図4-1-63 こどもが病気やケガをした場合の「主な」対応について

(N= 1,168) (人)

Q113 こどもが病気やケガをした場合に利用できる「病児・病後児保育施設等」の利用意向について教えてください

こどもが病気やケガをした場合に利用できる「病児・病後児保育施設等」の利用意向について、「利用したいと思う」と回答した人は、全体の50.8%(回答数593)であった。

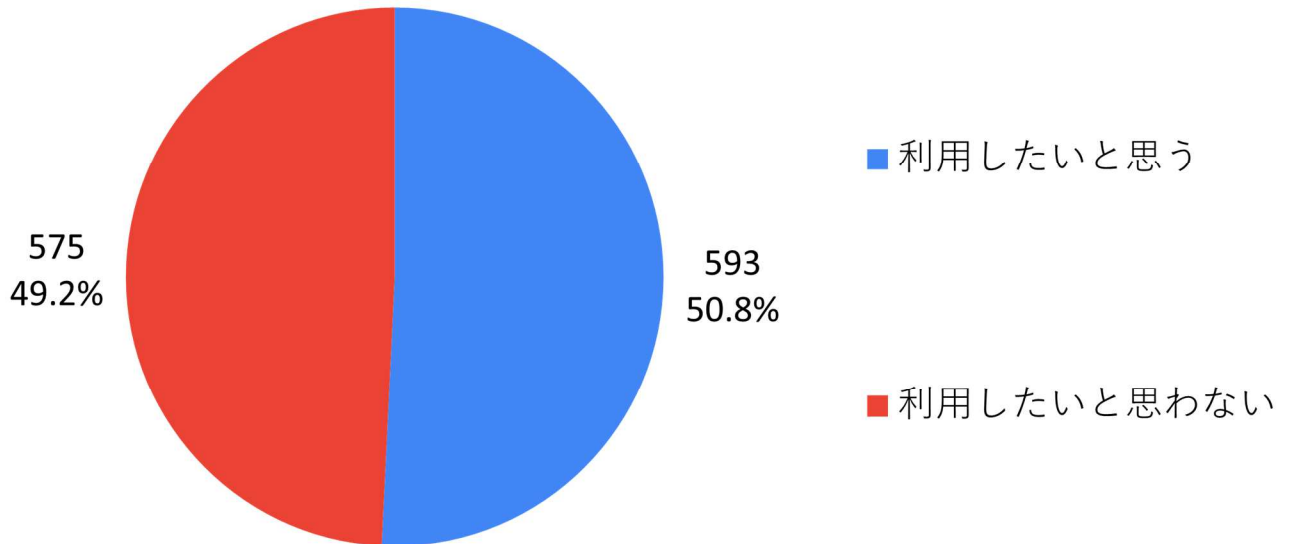


図4-1-64 「病児・病後児保育施設等」の利用意向について
(N= 1,168) (人)

小学生のお子さまについて

Q115 小学生のお子さまはいらっしゃいますか？

小学生のお子さまがいるかについて、「はい」と回答した人は、全体の59%(回答数693)であった。

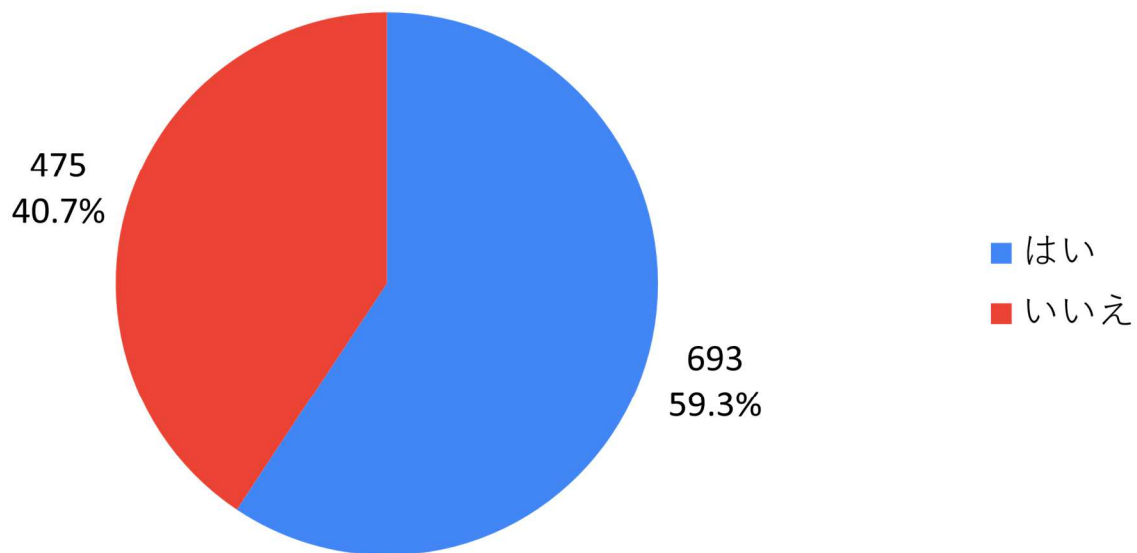


図4-1-65 小学生のお子さまがいるかについて
(N= 1,168) (人)

Q116 小学生のお子さまがいる方のみ

小学生のお子さまについて、現在、小学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「どこで」過ごしていますか？

小学生のお子さまについて、現在、小学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「どこで」過ごしているかについて、「放課後児童クラブや学童保育」と回答した人が最も多く、回答数323であった。続いて、「自宅」と回答した人が2番目に多く、回答数257であった。

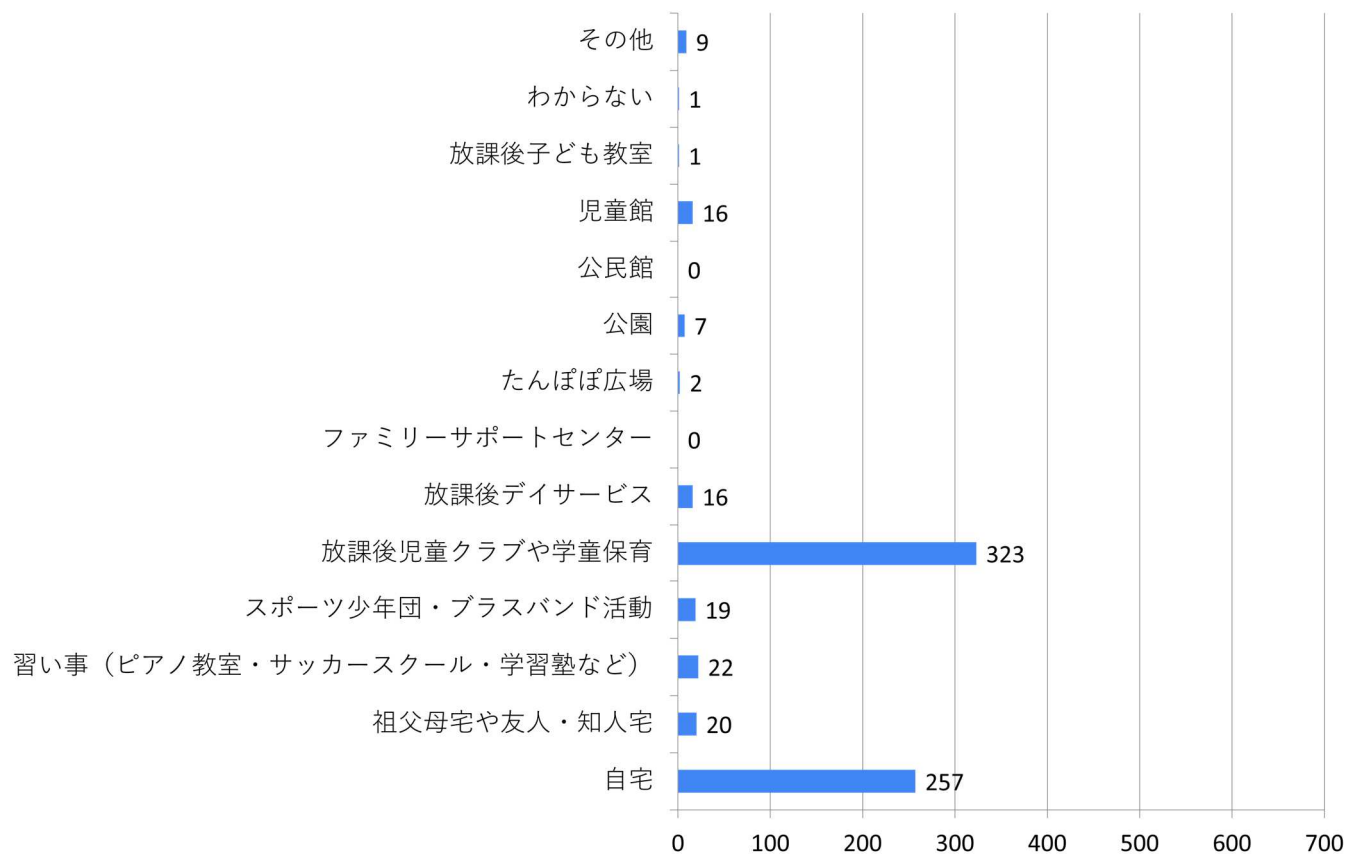


図4-1-66 小学生のお子さまについて、現在、小学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「どこで」過ごしているかについて

(N= 693) (人)

Q117 小学生のお子さまがいる方のみ
小学生のお子さまは、現在、平日の放課後、主に「だれと」過ごしていますか？

小学生のお子さまについて、現在、小学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「だれと」過ごしているかについて、「保護者」と回答した人が最も多く、回答数226であった。また、「兄弟・姉妹」は、回答数49であった。そして、「保護者」「祖父母」「その他」と回答した人を合計すると、回答数388であった。

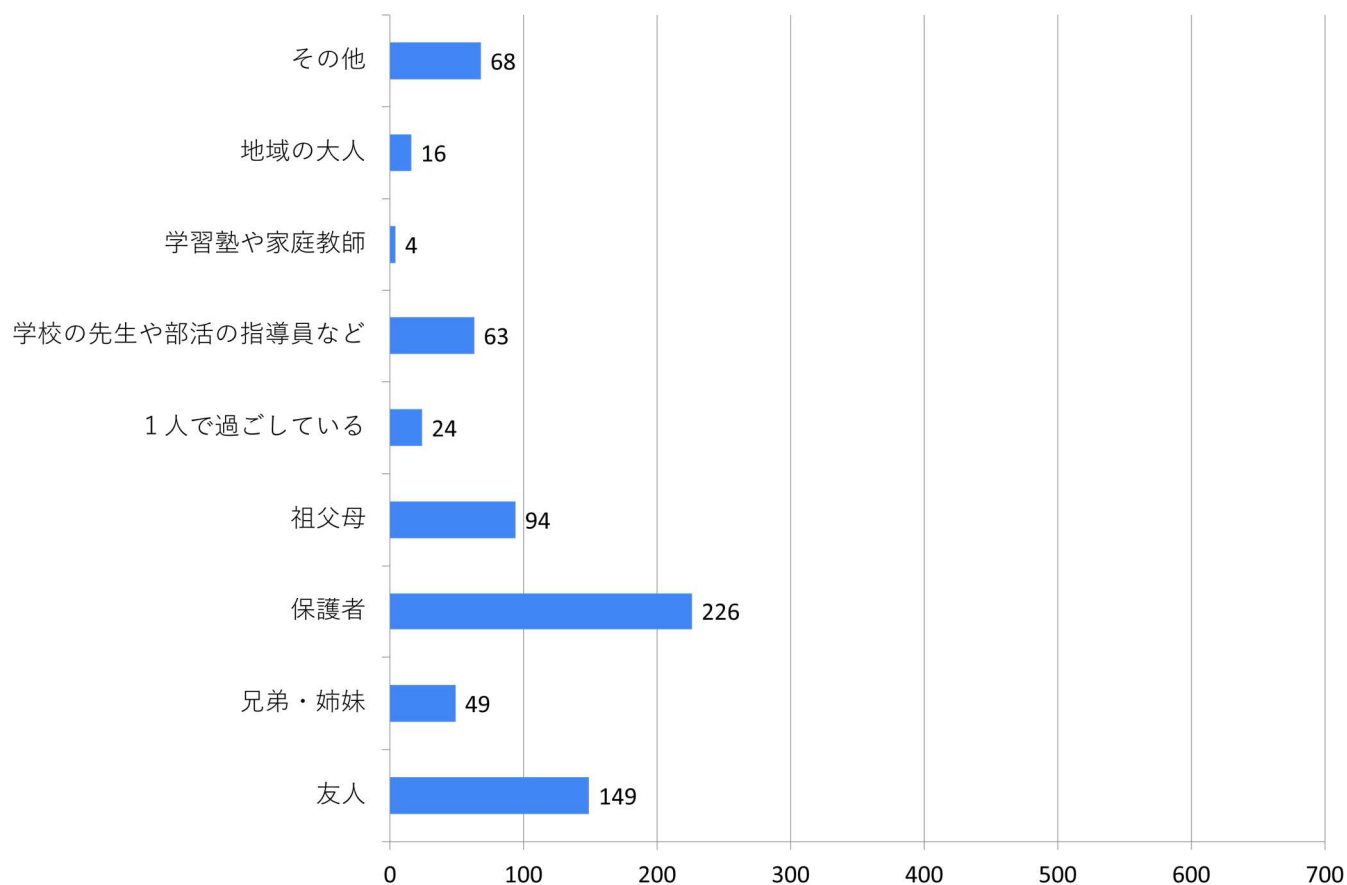


図4-1-67 小学生のお子さまについて、現在、小学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「だれと」過ごしているかについて
(N=693) (人)

Q118 平日の放課後、小学生のお子さまが「兄弟・姉妹」と過ごしている方のみ
小学生のお子さまが、他の兄弟の面倒を見る・見てもらうことはありますか？

小学生のお子さまが、他の兄弟の面倒を見る・見てもらうことはあるかについて、「毎日」「週に3・4程度」「週に1日程度」見る・見てもらうと回答した人は、全体の43%(回答数25)であった。

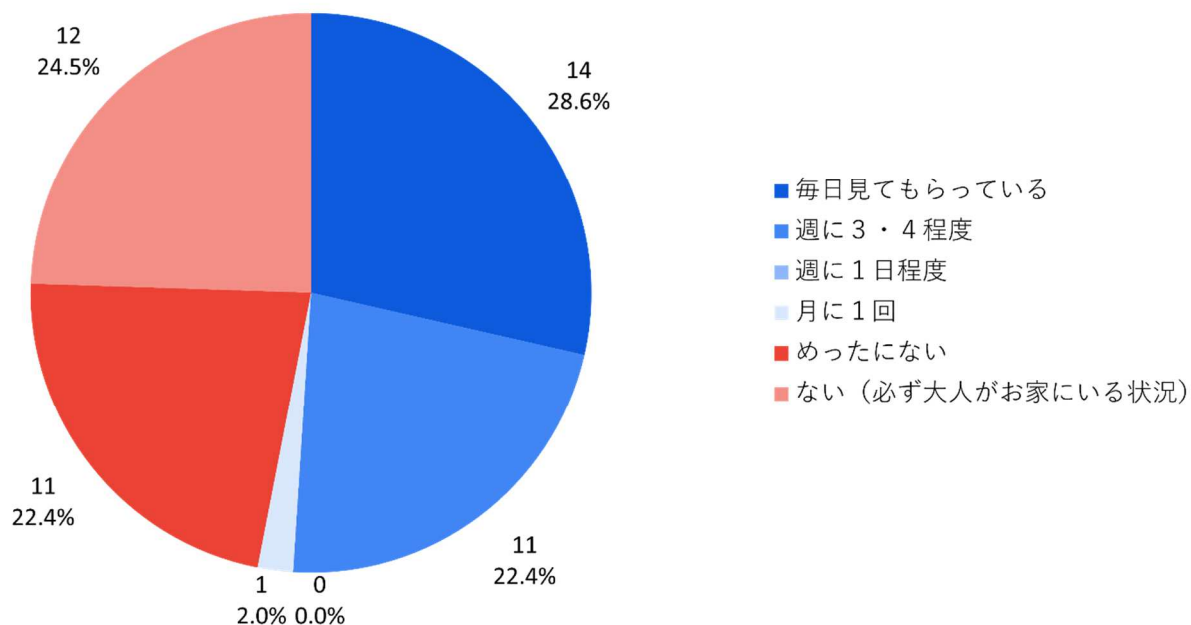


図4-1-68 小学生のお子さまが、他の兄弟の面倒を見る・見てもらうことはあるかについて
(N=49) (人)

Q119 平日の放課後、小学生のお子さまが「保護者」「祖父母」「その他」と過ごしている方のみ
小学生のお子さまが、同居の家族（病気で看護、高齢で介護が必要な人）等の面倒を見る・見てもら
うことはありますか？

小学生のお子さまが、同居の家族等の面倒を見る・見てもらうことはあるかについて、「毎日」「週
に3・4程度」「週に1日程度」見る・見てもらうと回答した人は、全体の6%(回答数24)であった。

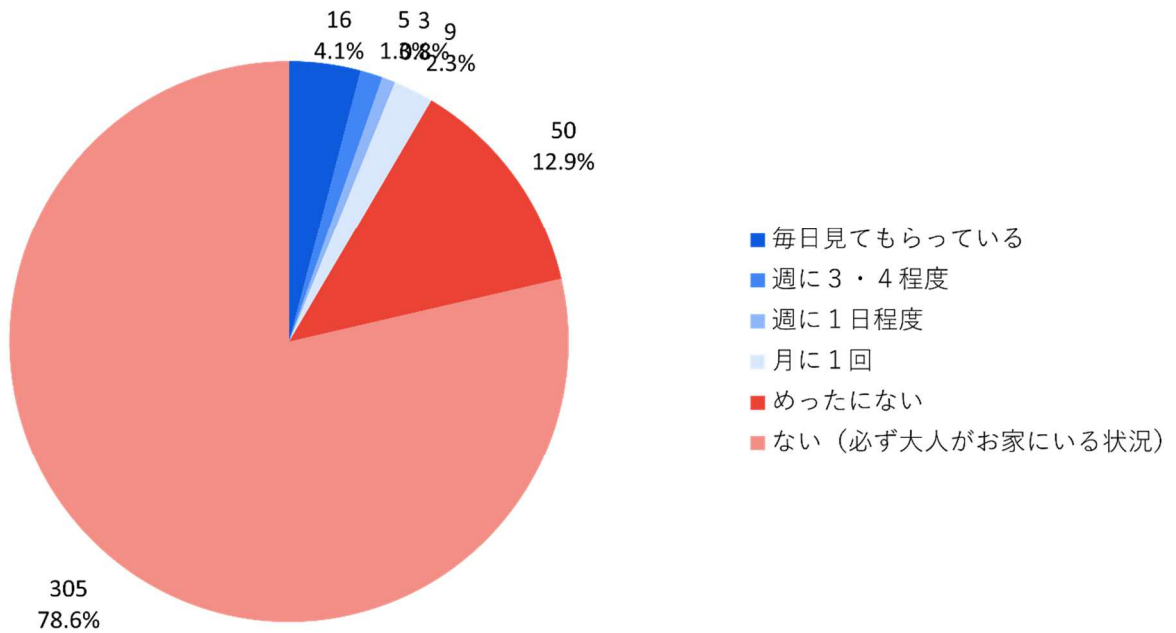


図4-1-69 小学生のお子さまが、同居の家族等の面倒を見る・見てもらうことはあるかについて
(N=388) (人)

Q120 小学生のお子さまがいる方のみ
小学生のお子さまについて、こどもの遊び場や過ごす環境の「選択肢の多さ」についてどのように感じていますか？

こどもの遊び場や過ごす環境の「選択肢の多さ」について、「不満である」と回答した人は、全体の42%(回答数291)であった。

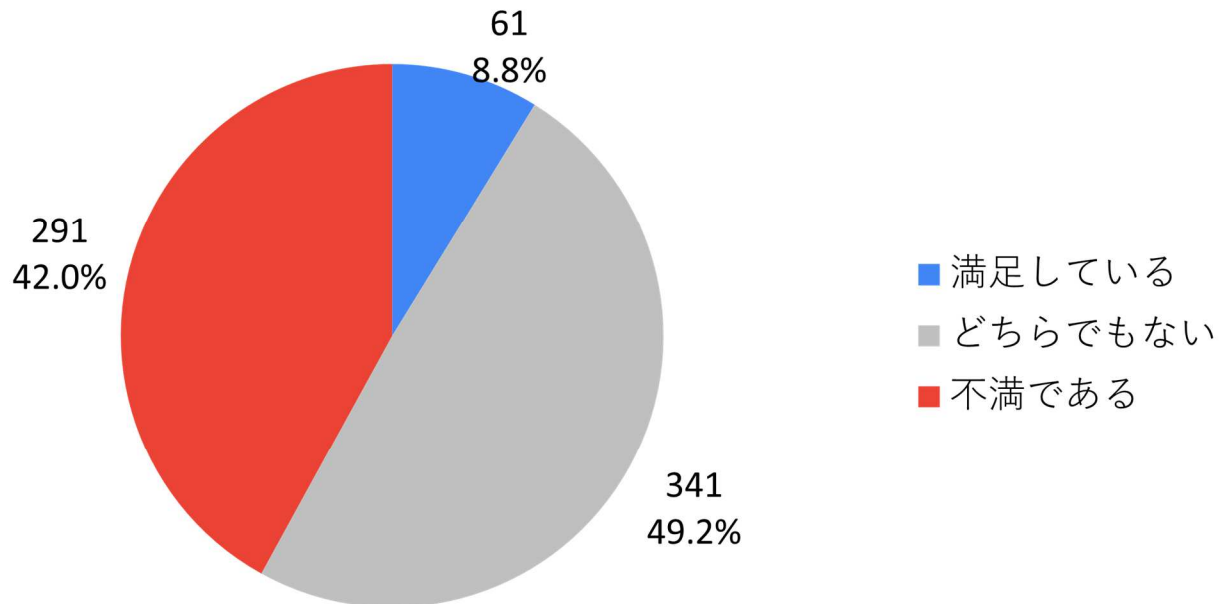


図4-1-70 こどもの遊び場や過ごす環境の「選択肢の多さ」について
(N=693) (人)

Q121 のお子さまがいる方のみ
小学生のお子さまについて、こどもの遊び場や過ごす環境の「安全性」についてどのように感じていますか？

こどもの遊び場や過ごす環境の「安全性」について、「不満である」と回答した人は、全体の23%(回答数157)であった。

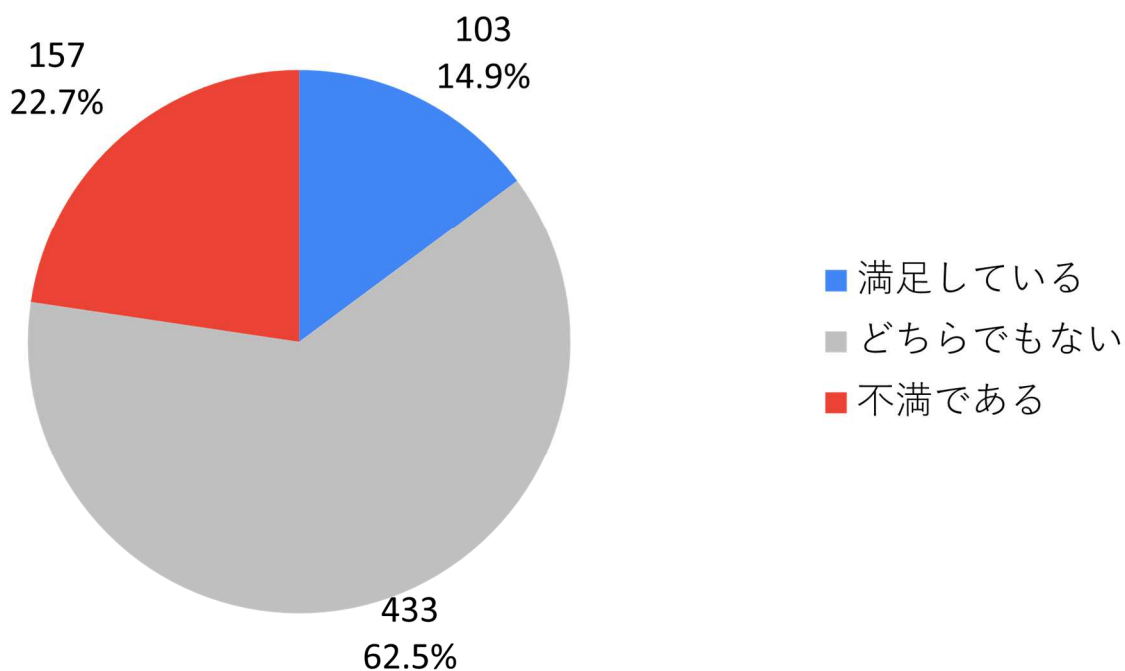


図4-1-71 こどもの遊び場や過ごす環境の「安全性」について
(N=693) (人)

Q122 小学生のお子さまがいる方のみ
小学生のお子さまについて、こどもの遊び場や過ごす環境の「預かり時間・過ごす時間」についてどのように感じていますか？

こどもの遊び場や過ごす環境の「預かり時間・過ごす時間」について、「不満である」と回答した人は、全体の14%(回答数99)であった。

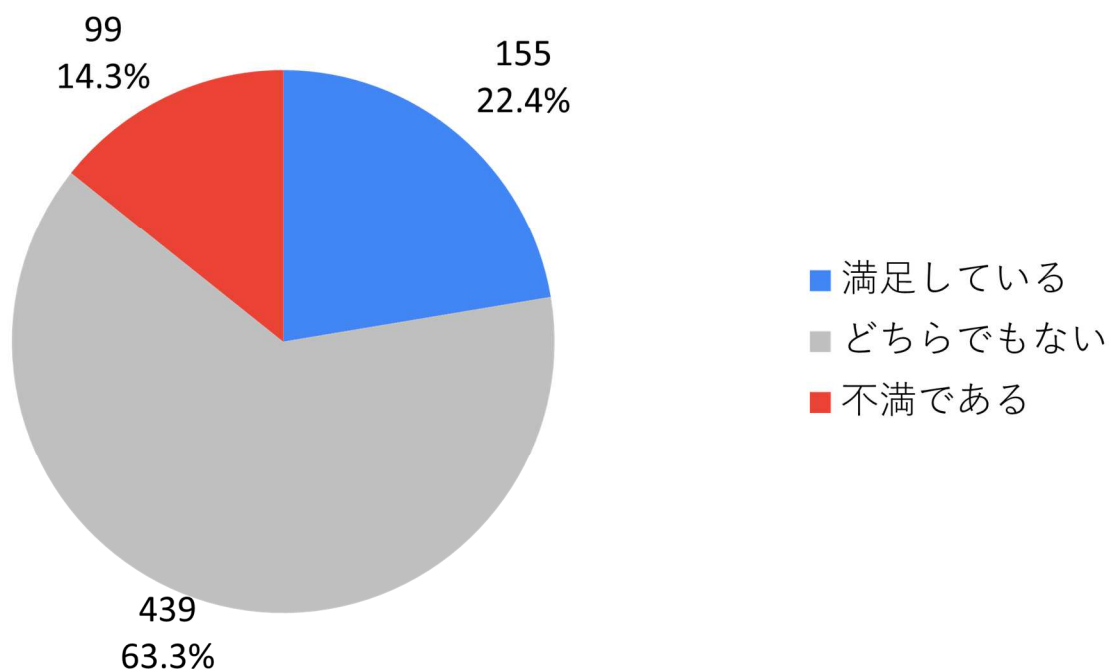


図4-1-72 こどもの遊び場や過ごす環境の「預かり時間・過ごす時間」について
(N=693) (人)

中学生のお子さまについて

Q124 中学生のお子さまはいらっしゃいますか？

中学生のお子さまがいるかについて、「はい」と回答した人は、全体の39%(回答数461)であった。

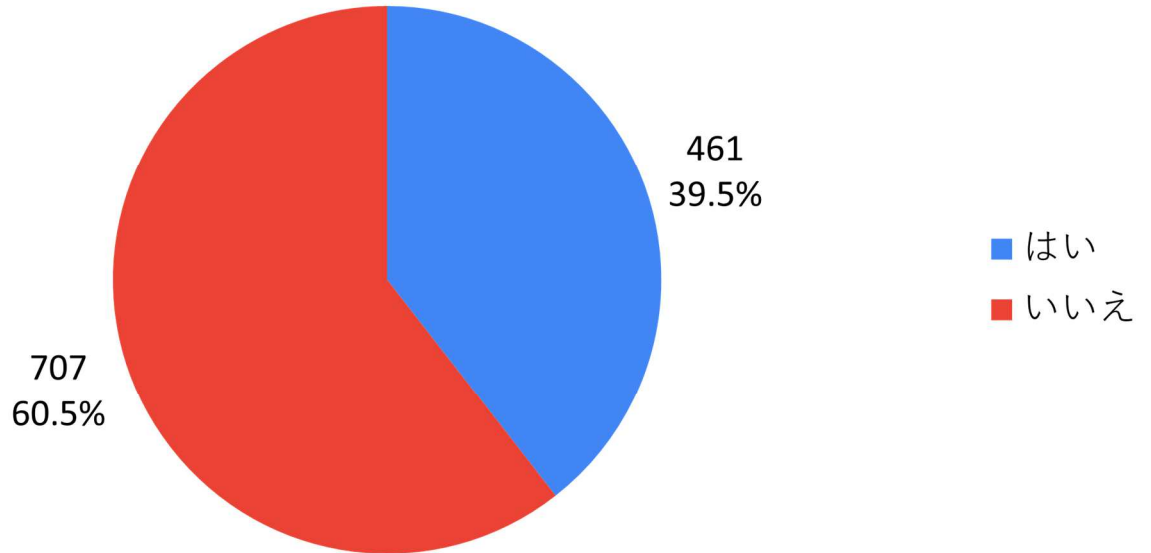


図4-1-73 中学生のお子さまがいるかについて
(N= 1,168) (人)

Q125 中学生のお子さまがいる方のみ

中学生のお子さまについて、現在、小学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「どこで」過ごしていますか？

中学生のお子さまについて、現在、中学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「どこで」過ごしているかについて、「学校で行われる部活動（課外活動を含む）」と回答した人が最も多く、回答数206であった。続いて、「自宅」と回答した人が2番目に多く、回答数194であった。

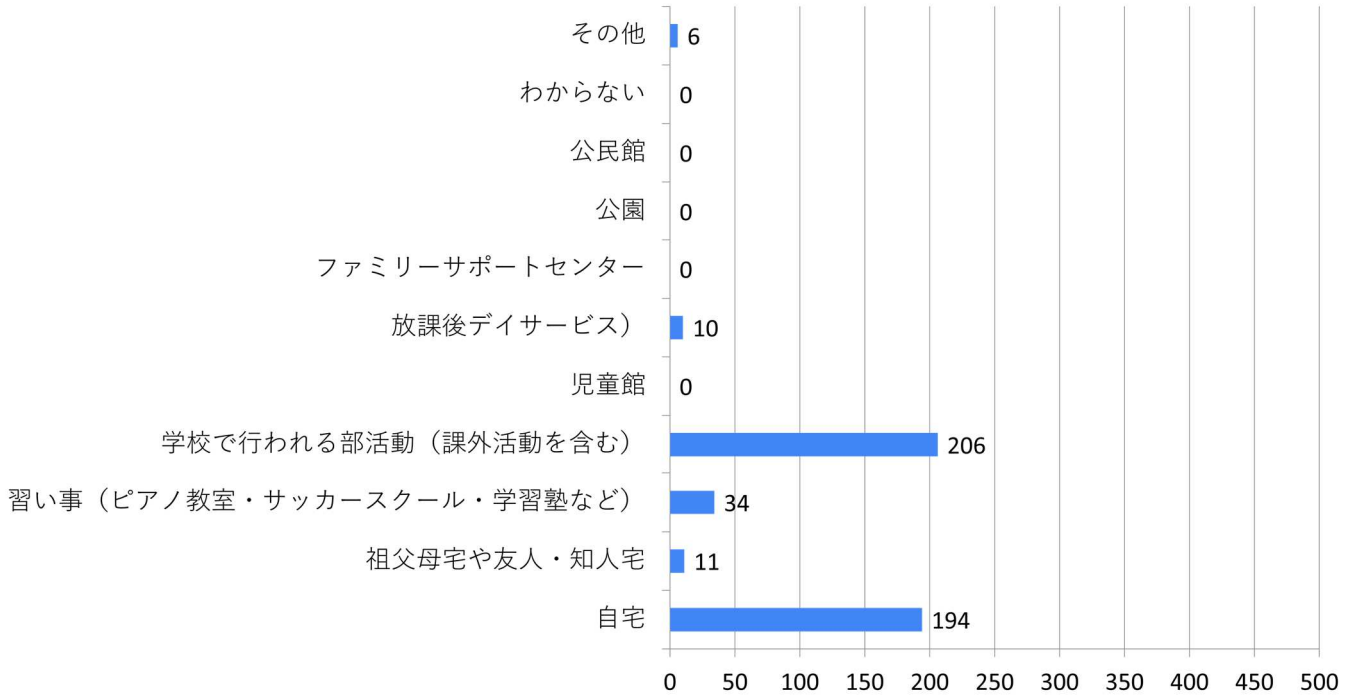


図4-1-74 中学生のお子さまについて、現在、中学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「どこで」過ごしているかについて
(N= 461) (人)

Q126 中学生のお子さまがいる方のみ
 中学生のお子さまは、現在、平日の放課後、主に「だれと」過ごしていますか？

中学生のお子さまについて、現在、中学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「だれと」過ごしているかについて、「学校の先生や部活の指導員など」と回答した人が最も多く、回答数165であった。また、「兄弟・姉妹」は、回答数26であった。そして、「保護者」「祖父母」「その他」と回答した人を合計すると、回答数159であった。

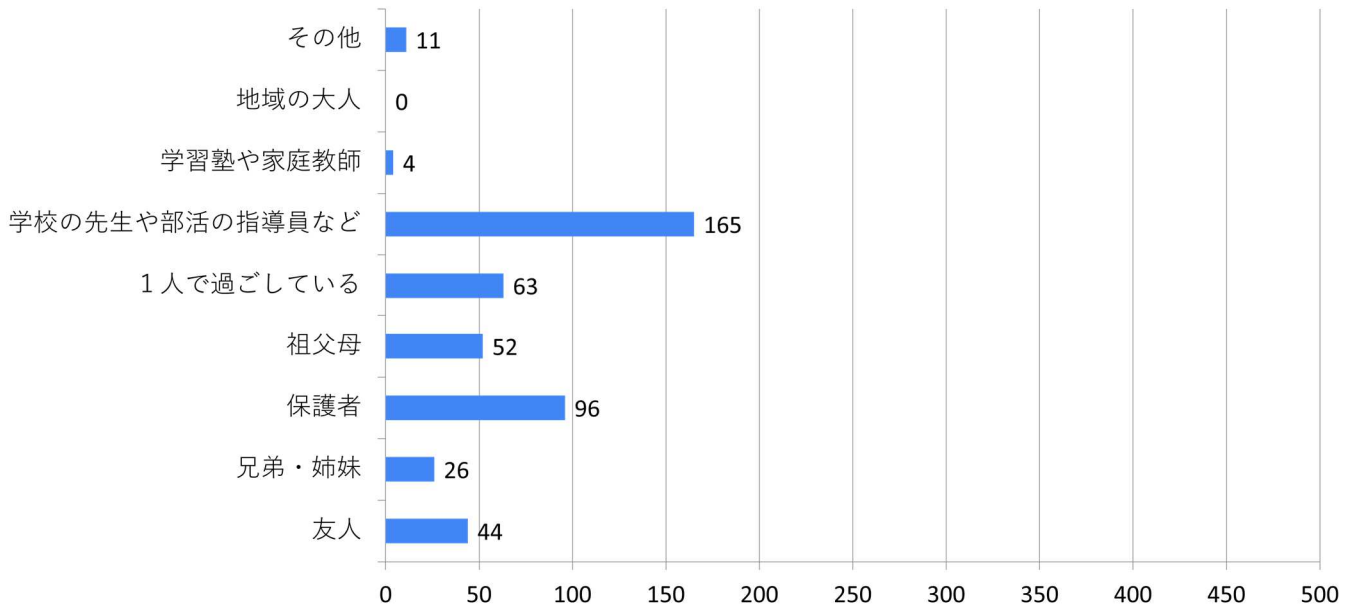


図4-1-75 中学生のお子さまについて、現在、小学校の就学後、平日の放課後の時間を主に「だれと」過ごしているかについて
 (N=461) (人)

Q127 平日の放課後、中学生のお子さまが「兄弟・姉妹」と過ごしている方のみ
 中学生のお子さまが、他の兄弟の面倒を見る・見てもらうことはありますか？

中学生のお子さまが、他の兄弟の面倒を見る・見てもらうことはあるかについて、「毎日」「週に3・4程度」「週に1日程度」「週に1日程度」見る・見てもらうと回答した人は、全体の46%(回答数12)であった。

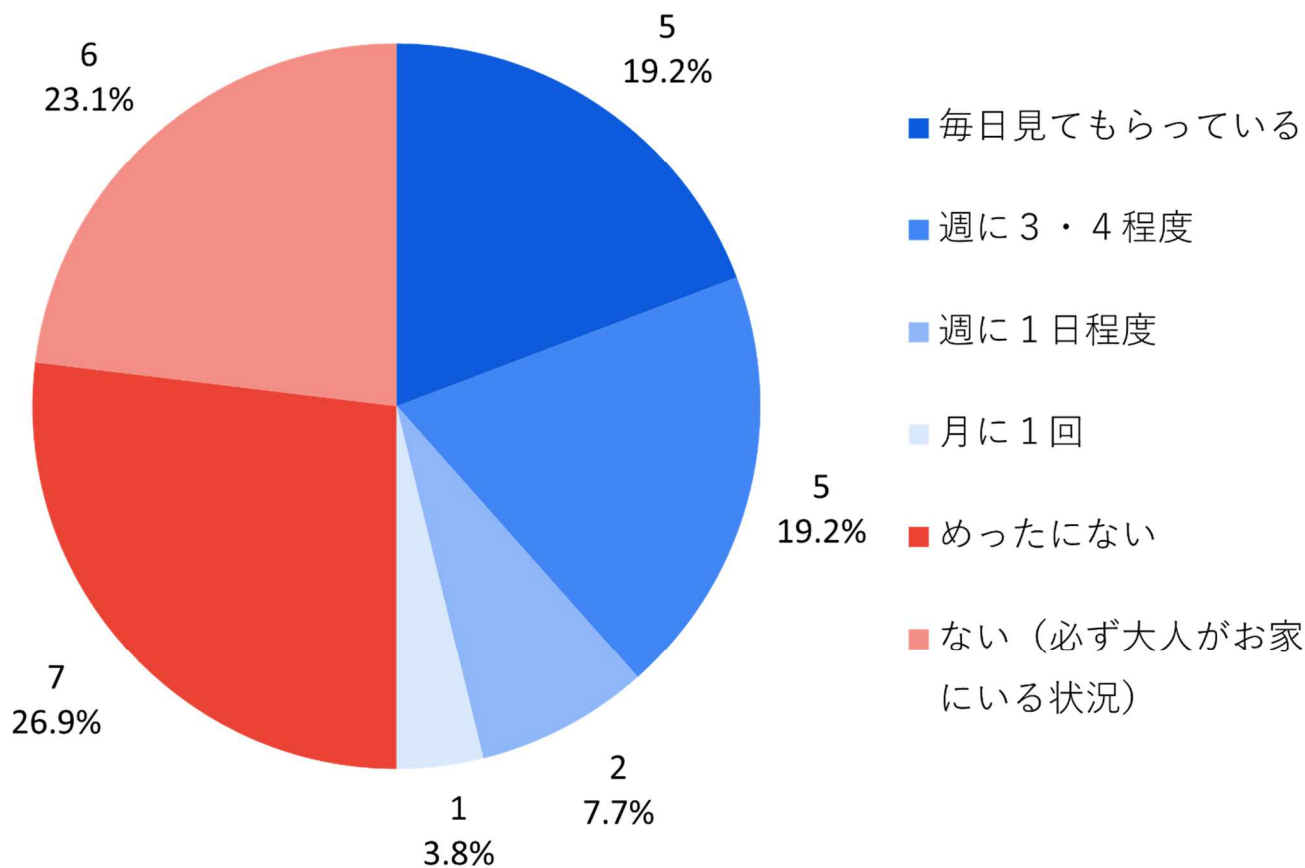


図4-1-76 中学生のお子さまが、他の兄弟の面倒を見る・見てもらうことはあるかについて
 (N=26) (人)

Q128 平日の放課後、中学生のお子さまが「保護者」「祖父母」「その他」と過ごしている方のみ
 中学生のお子さまが、同居の家族（病気で看護、高齢で介護が必要な人）等の面倒を見る・見てもら
 うことはありますか？

中学生のお子さまが、同居の家族等の面倒を見る・見てもらうことはあるかについて、「毎日」「週
 に3・4程度」「週に1日程度」見る・見てもらうと回答した人は、全体の6%(回答数9)であった。

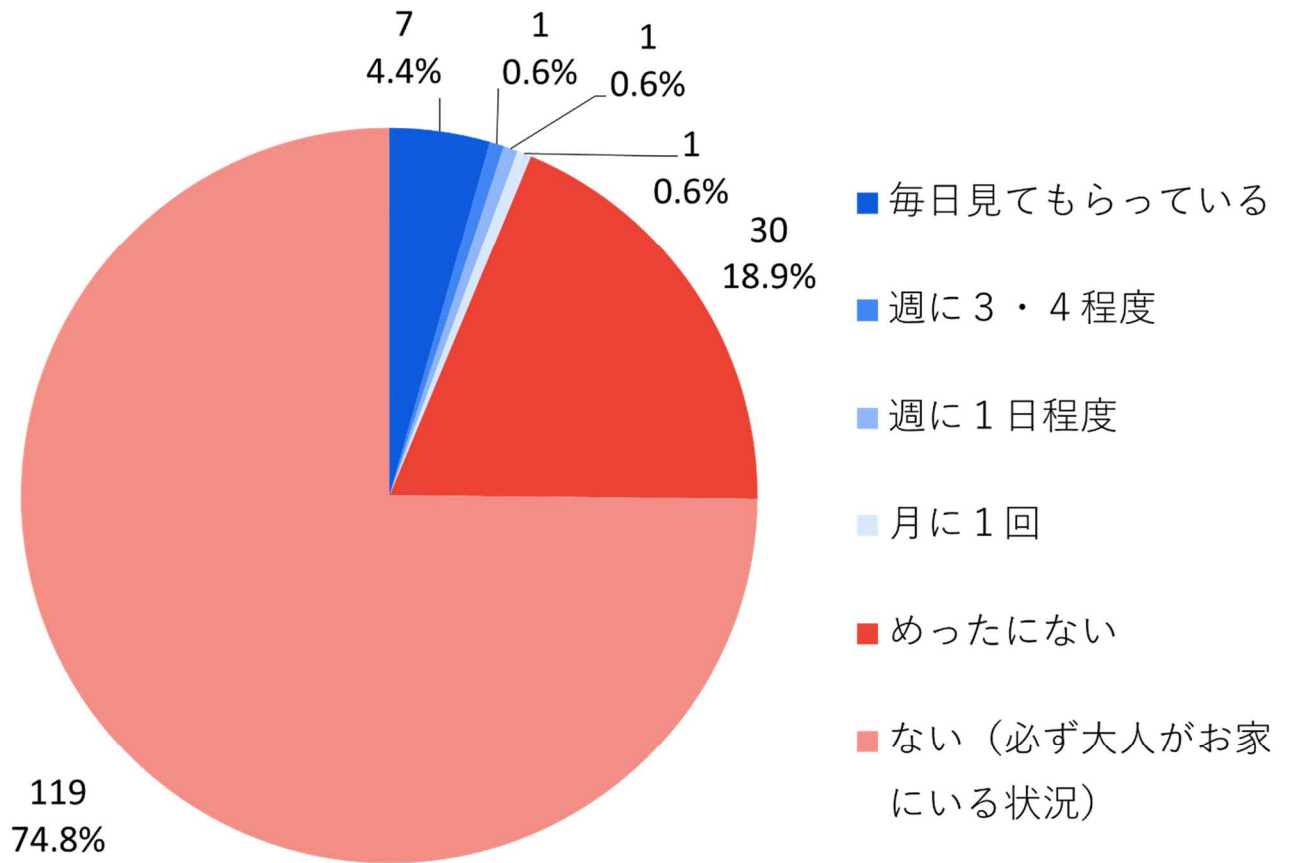


図4-1-77 中学生のお子さまが、同居の家族等の面倒を見る・見てもらうことはあるかについて
 (N=159) (人)

Q129 中学生のお子さまがいる方のみ
中学生のお子さまについて、こどもの遊び場や過ごす環境の「選択肢の多さ」についてどのように感じていますか？

こどもの遊び場や過ごす環境の「選択肢の多さ」について、「不満である」と回答した人は、全体の31%(回答数141)であった。

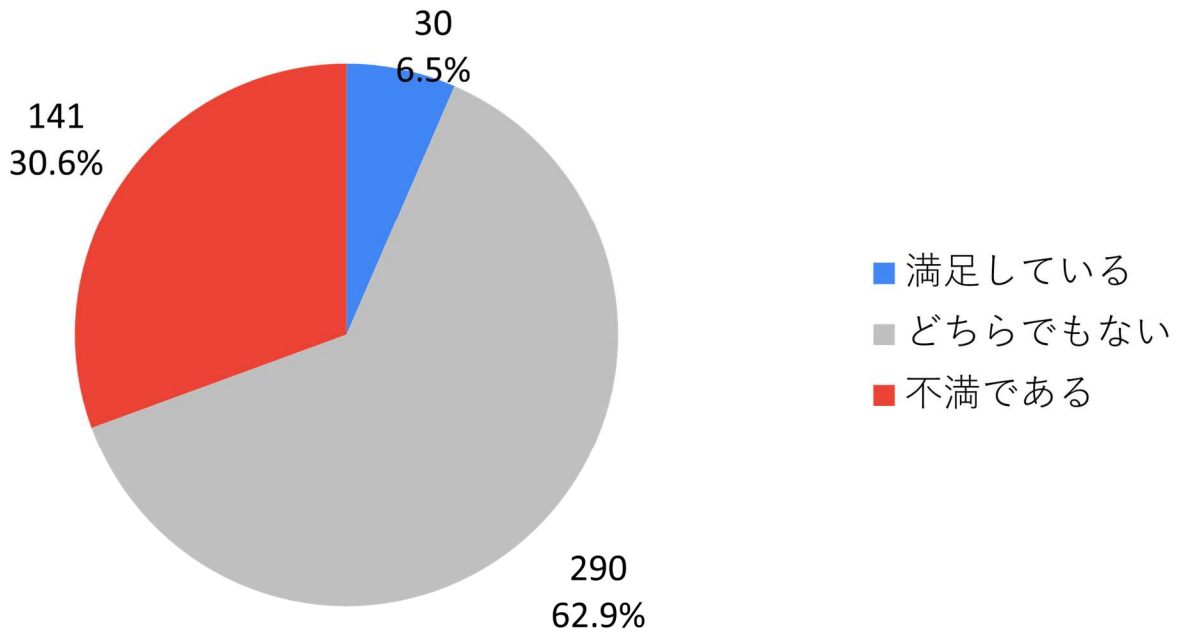


図4-1-78 こどもの遊び場や過ごす環境の「選択肢の多さ」について
(N=461) (人)

Q130 中学生のお子さまがいる方のみ
中学生のお子さまについて、こどもの遊び場や過ごす環境の「安全性」についてどのように感じていますか？

こどもの遊び場や過ごす環境の「安全性」について、「不満である」と回答した人は、全体の18%(回答数81)であった。

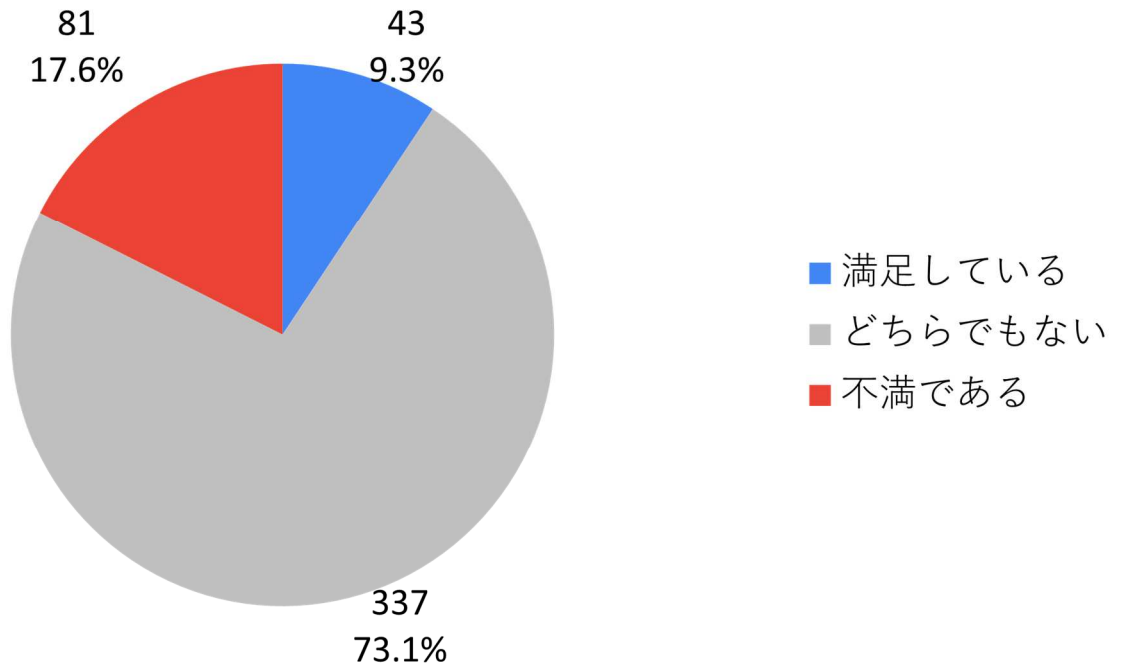


図4-1-79 こどもの遊び場や過ごす環境の「安全性」について
(N=461) (人)

Q131 中学生のお子さまがいる方のみ
中学生のお子さまについて、こどもの遊び場や過ごす環境の「預かり時間・過ごす時間」についてどのように感じていますか？

こどもの遊び場や過ごす環境の「預かり時間・過ごす時間」について、「不満である」と回答した人は、全体の10%(回答数48)であった。

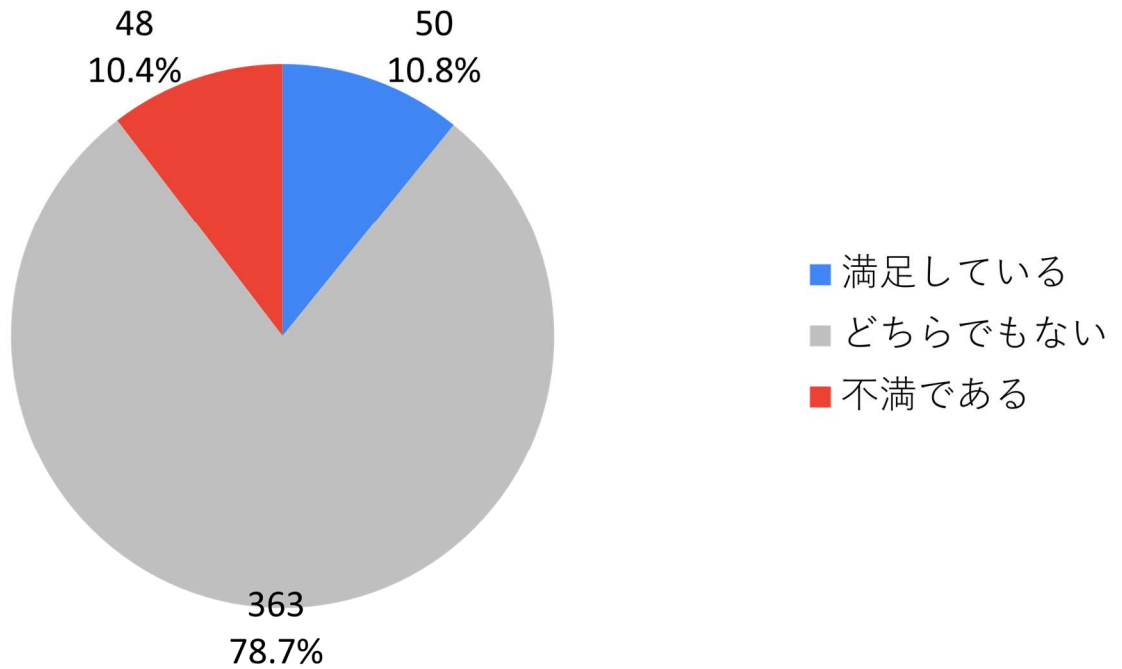


図4-1-80 こどもの遊び場や過ごす環境の「預かり時間・過ごす時間」について
(N=461) (人)

Q133 もし送迎の負担がない場合、お子さまを野球やサッカーなどのクラブ活動に参加させたいと思いますか？

もし送迎の負担がない場合、お子さまを野球やサッカーなどのクラブ活動に参加させたいと思うかについて、「ぜひ参加させたい」「費用など、他の条件が整えば参加させたい」と回答した人は、全体の86%(回答数1002)であった。

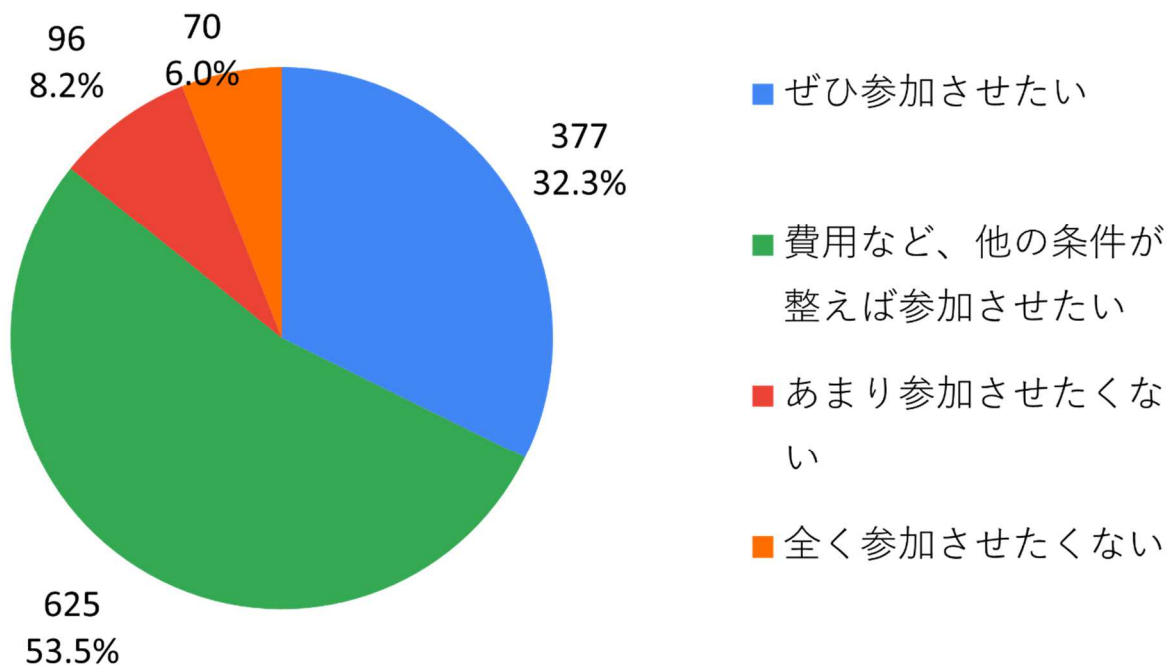


図4-1-81 もし送迎の負担がない場合、お子さまを野球やサッカーなどのクラブ活動に参加させたいと思うかについて
(N=1,168) (人)

③保護者自身の困りごとや意識について

保護者自身の健康状態について

Q88 日常生活の中で、自分自身の健康状態について、どのように感じますか

自分自身の健康状態について、「心身ともに健康である」と回答した人は、全体の45.5%(回答数532)であった。一方で、「精神的」または「身体的」に辛いことがある人と「心身ともに不健康である」と回答した人を合計すると、全体の54.5%(回答数636)であった。

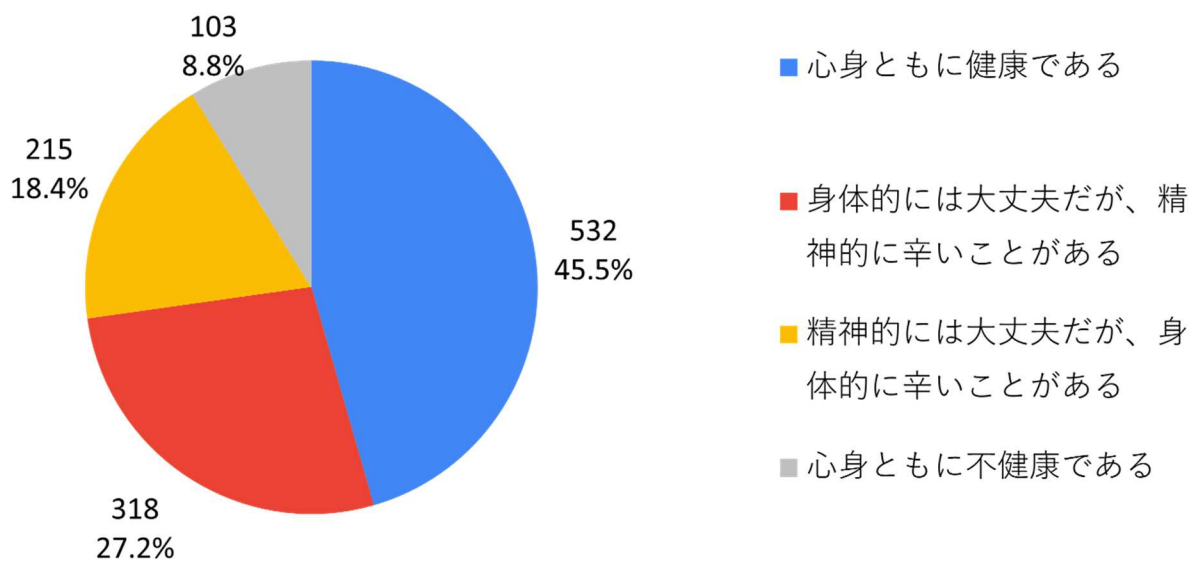


図4-1-82 自分自身の健康状態について
(N= 1,168) (人)

Q89 保護者としての生活で、「つらい」とどれくらいの頻度で感じますか？

保護者としての生活で、「つらい」と感じる頻度について、週に1回以上「感じる」と回答した人は、全体の40%(回答数473)であった。

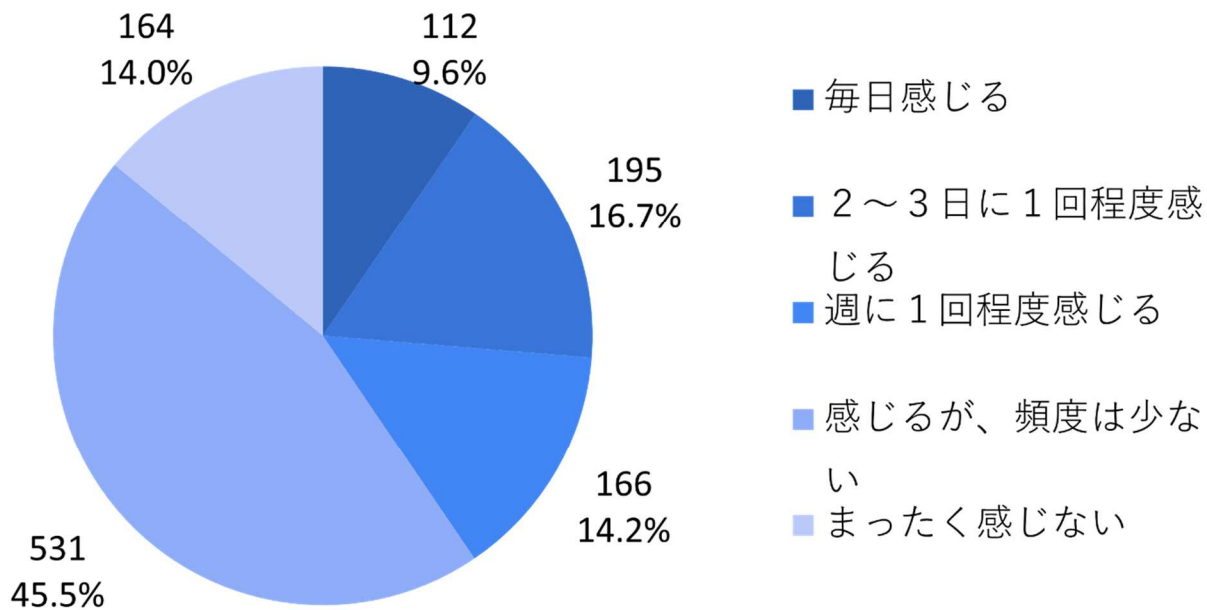


図4-1-83 保護者としての生活で、「つらい」と感じる頻度について
(N= 1,168) (人)

相談相手について

Q90 お子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか、また、相談できる場所がありますか？

相談できる人や場所の有無について、相談できる人や場所が「いる/ある」と回答した人は、全体の82.8%(回答数967)であった。一方で、「いない/ない」と回答した人は、全体の17.2%(回答数201)であった。

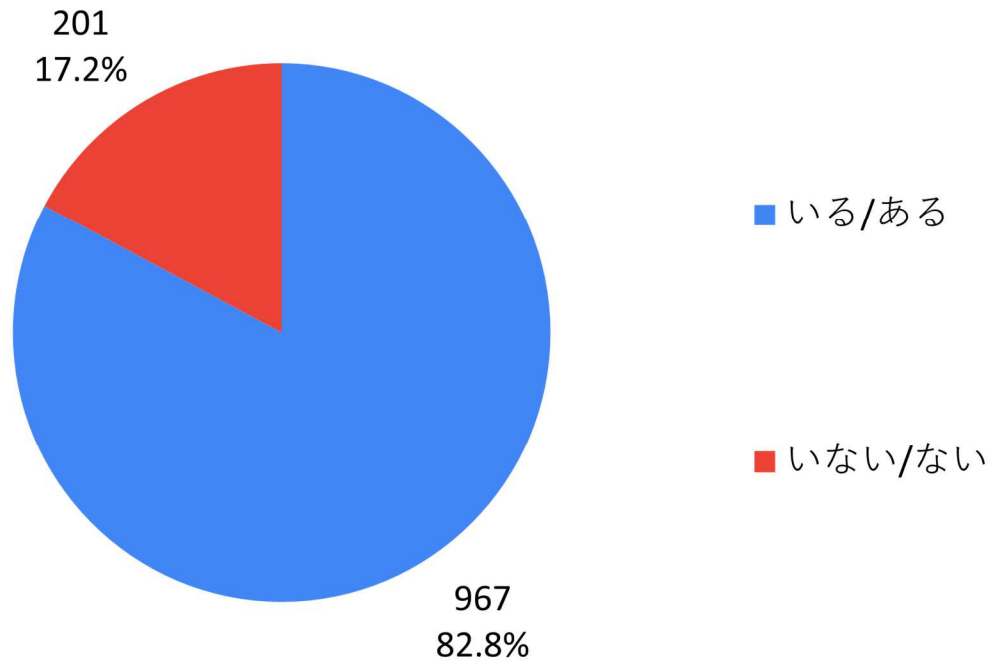


図4-1-84 相談できる人や場所の有無について
(N= 1,168) (人)

Q91 相談相手/場所が「いる/ある」と回答した方のみ
 お子さまの子育て（教育を含む）に関して、誰に相談しましたか？
 またどのような場所で相談しましたか？（複数選択可）

相談相手や相談場所について、「祖父母等の親族」と回答した人が最も多く、回答数728であった。
 続いて、「友人や知人」と回答した人が2番目に多く、回答数697であった。

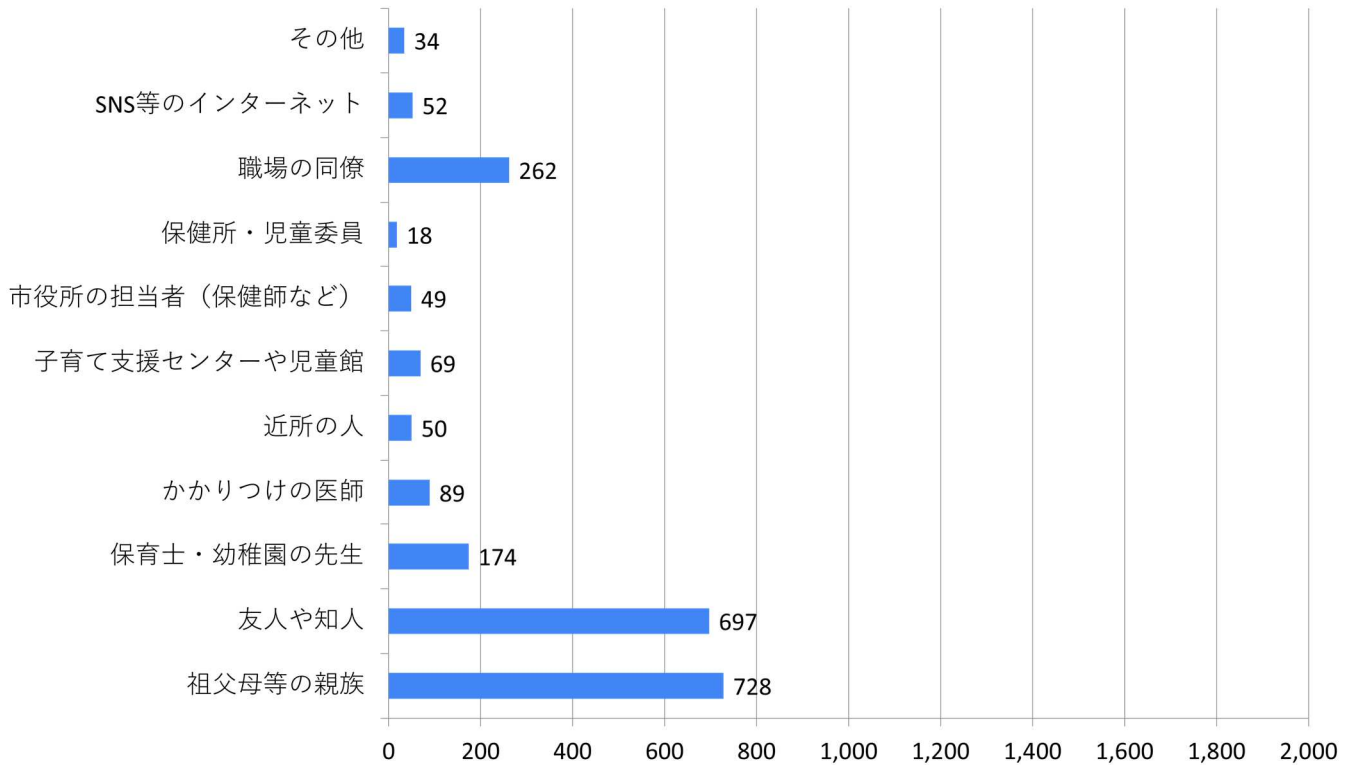


図4-1-85 相談相手や相談場所について
 (N= 2,222) (人)

Q92 保護者の心身の健康を支えるために、地域で提供してほしいサービスがあれば教えてください
(複数選択可)

保護者の心身の健康を支えるために、地域で提供してほしいサービスについて、「子育てに関わる給付金に関する講座」と回答した人が最も多く、回答数626であった。続いて、「子育てや家庭の将来を考えるための講座（教育費・住まい・働き方など）」と回答した人が2番目に多く、回答数475であった。

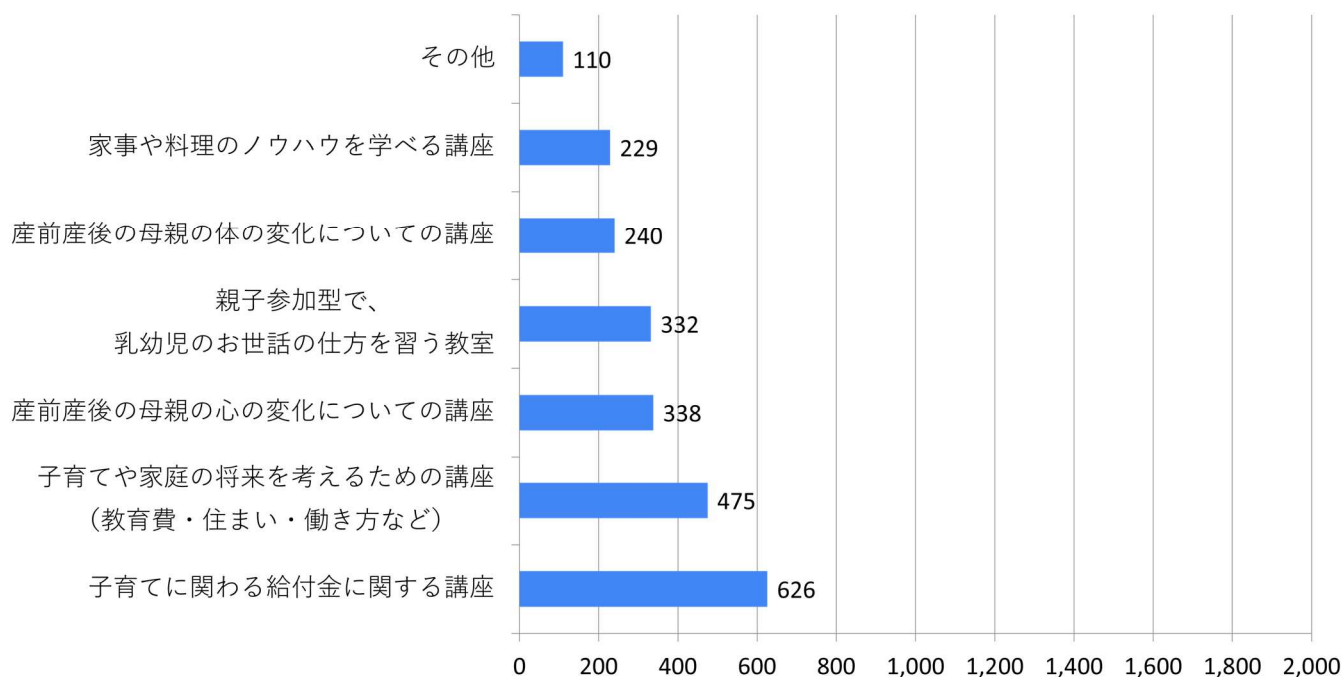


図4-1-86 保護者の心身の健康を支えるために、地域で提供してほしいサービスについて
(N= 2,350) (人)

言語の不自由さについて

Q153 日光市に住んでいる上で、言語の不自由を感じますか？

日光市に住んでいる上で、言語の不自由を感じるかについて、「はい」と回答した人は、全体の5% (回答数60)であった。

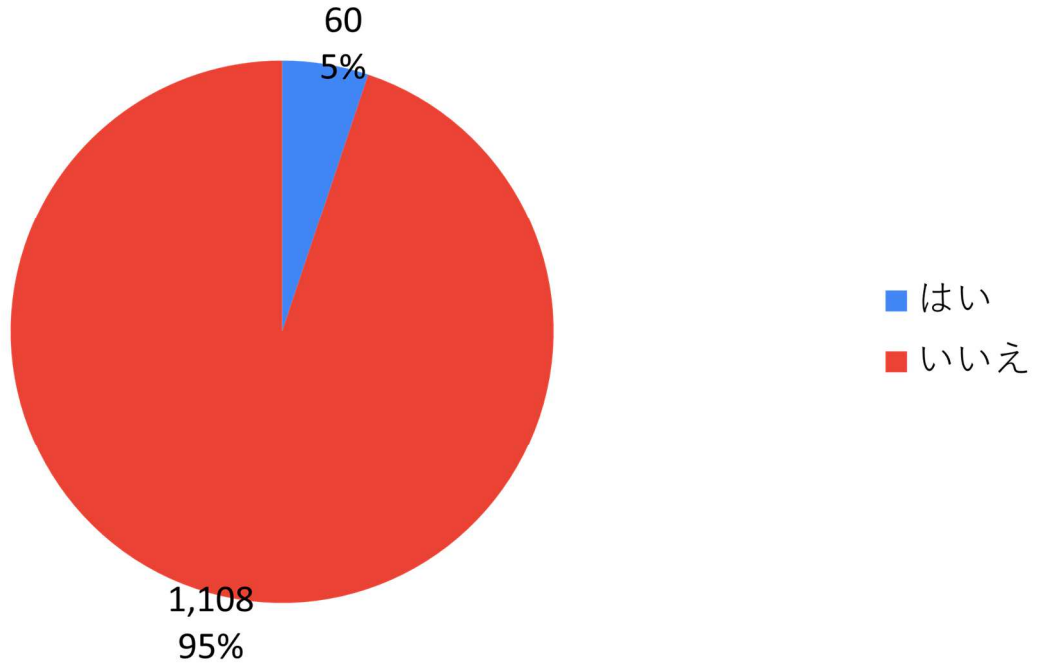


図4-1-87 日光市に住んでいる上で、言語の不自由を感じるかについて
(N= 1,168) (人)

④日光市のサービスや地域について

子育てに関する情報収集・発信方法について

Q108 普段、日光市の子育てに関する情報をどのような手段で入手していますか？（複数選択可）

普段、日光市の子育てに関する情報をどのような手段で入手しているかについて、「広報資料」と回答した人が最も多く、回答数735であった。続いて、「インターネット」と回答した人が2番目に多く、回答数564であった。

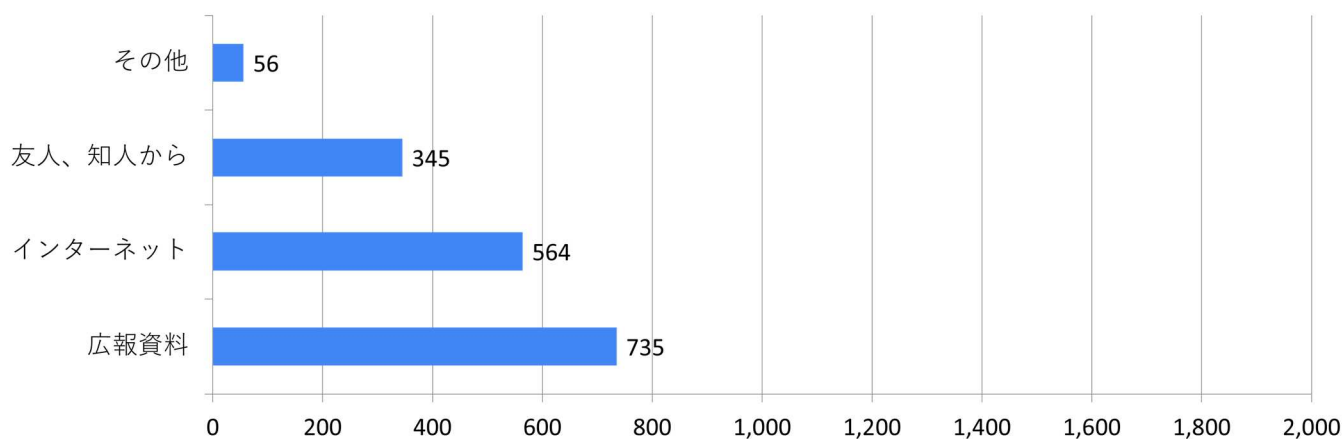


図4-1-88 普段、日光市の子育てに関する情報をどのような手段で入手しているかについて
(N= 1,700) (人)

Q109 日光市の子育てに関する情報の発信方法について改善が必要だと思いますか？

日光市の子育てに関する情報の発信方法について改善が必要だと思うかについて、「はい、必要だと思う」と回答した人は、全体の64%(回答数748)であった。

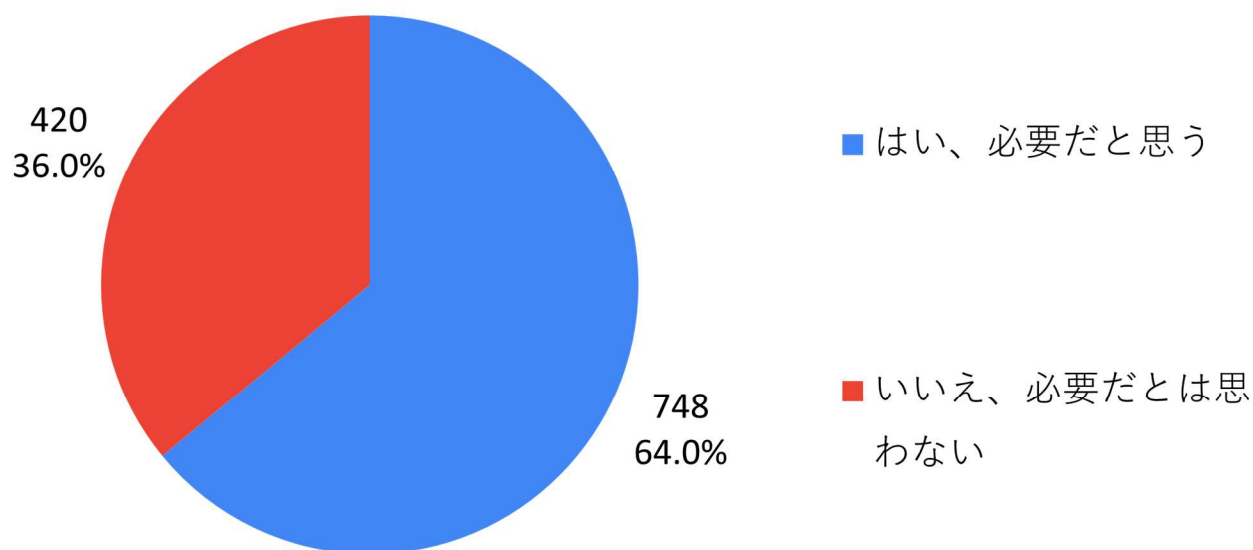


図4-1-89 日光市の子育てに関する情報の発信方法について改善が必要だと思うかについて
(N= 1,168) (人)

Q110 日光市の子育てに関する情報の発信方法についてどのような部分について改善が必要だと思いますか？（複数選択可）

日光市の子育てに関する情報の発信方法についてどのような部分について改善が必要だと思うかについて、「情報発信の手段について」と回答した人が最も多く、回答数594であった。続いて、「情報の内容について」と回答した人が2番目に多く、回答数356であった。

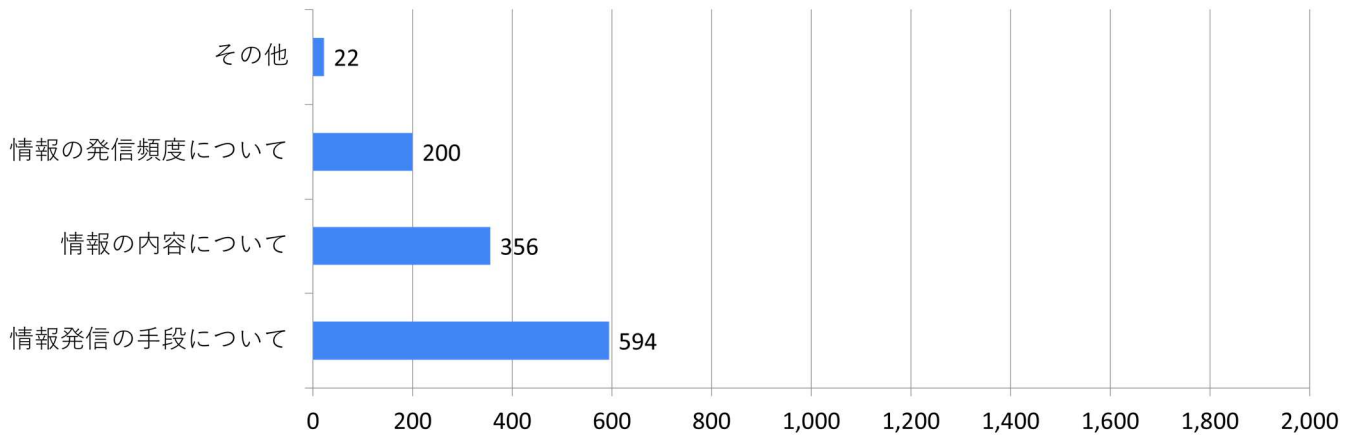


図4-1-90 日光市の子育てに関する情報の発信方法についてどのような部分について改善が必要だと思うかについて
(N=1,172) (人)

こども・子育て支援に期待することについて

Q134 こども・子育て支援に期待することはありますか？（上位3つまで教えてください）

こども・子育て支援に期待することについて、「医療費助成や子育てサービスの費用軽減など、経済的支援の充実」と回答した人が最も多く、回答数925であった。続いて、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」と回答した人が2番目に多く、回答数672であった。そして、「安心して出産・子育てができる医療サービスの充実」と回答した人が3番目に多く、回答数425であった。

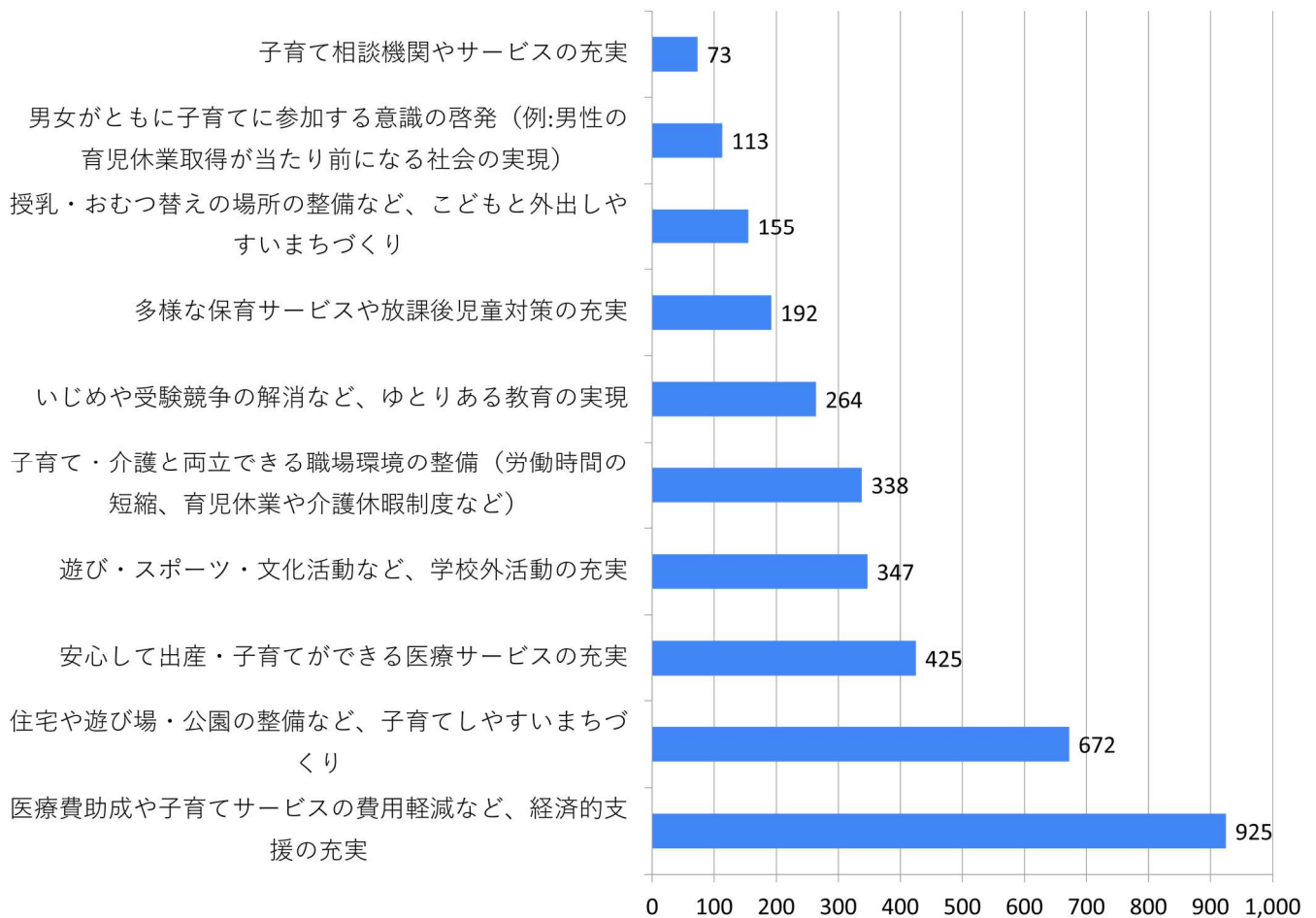


図4-1-91 こども・子育て支援に期待することについて

(N= 3,504) (人)

日光市のこども・子育て環境について

Q135 日光市の「保育所等の保育環境」に対する満足度を選択肢から選んでください

日光市の「保育所等の保育環境」に対する満足度について、「とても満足」「やや満足」と回答した人は、全体の81%(回答数947)であった。

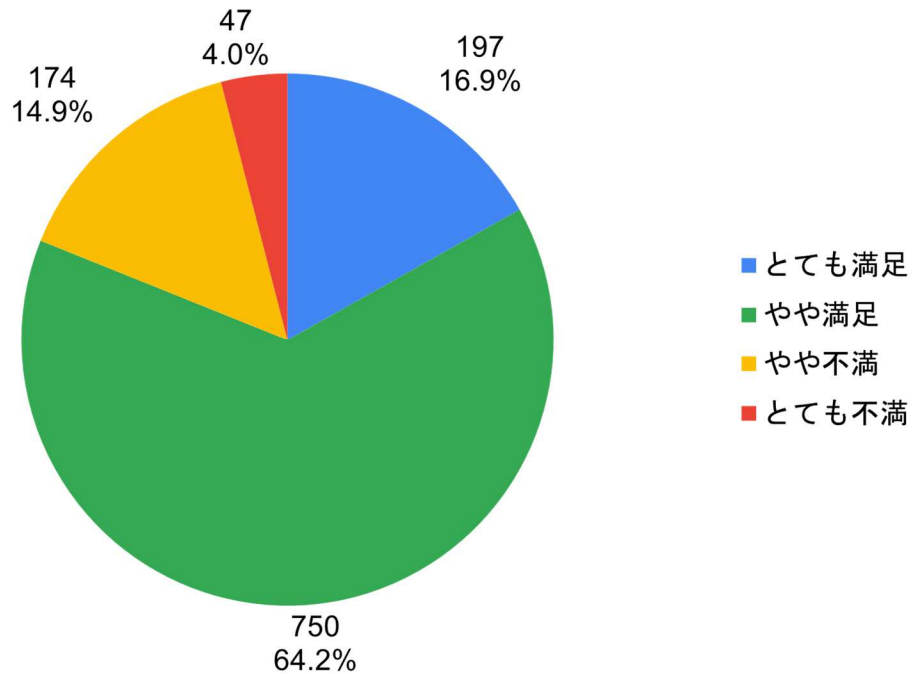


図4-1-92 日光市の「保育所等の保育環境」に対する満足度について
(N= 1,168) (人)

Q136 日光市の「幼児期の教育環境」に対する満足度を選択肢から選んでください

日光市の「幼児期の教育環境」に対する満足度について、「とても満足」「やや満足」と回答した人は、全体の80%(回答数928)であった。

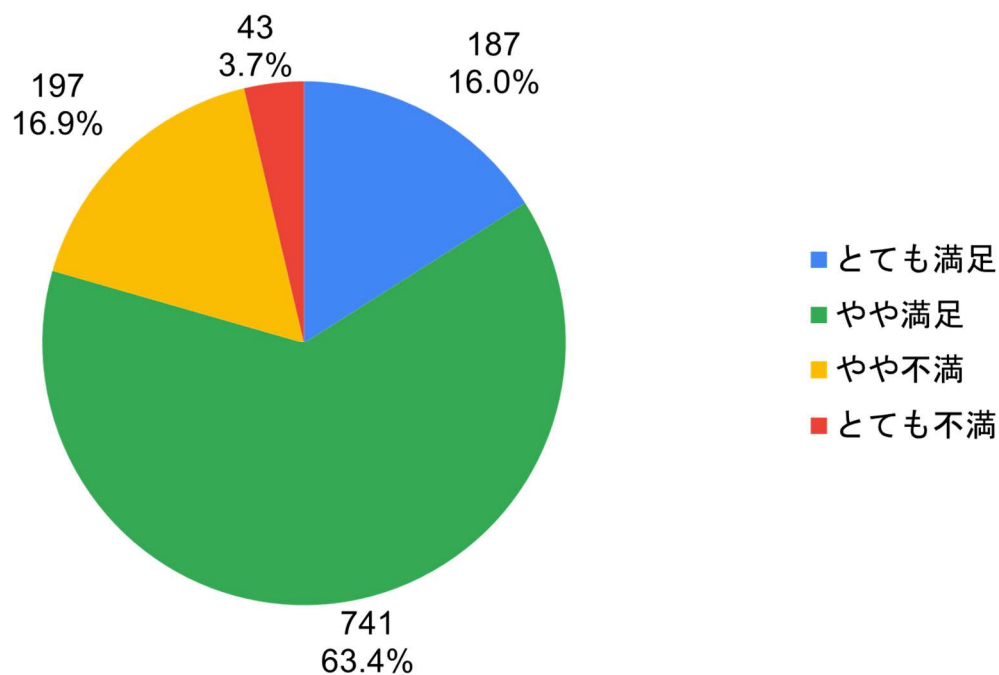


図4-1-93 日光市の「幼児期の教育環境」に対する満足度について
(N= 1,168) (人)

Q137 日光市の「緊急時の預かりなど」に対する満足度を選択肢から選んでください

日光市の「緊急時の預かりなど」に対する満足度について、「とても満足」「やや満足」と回答した人は、全体の53%(回答数616)であった。

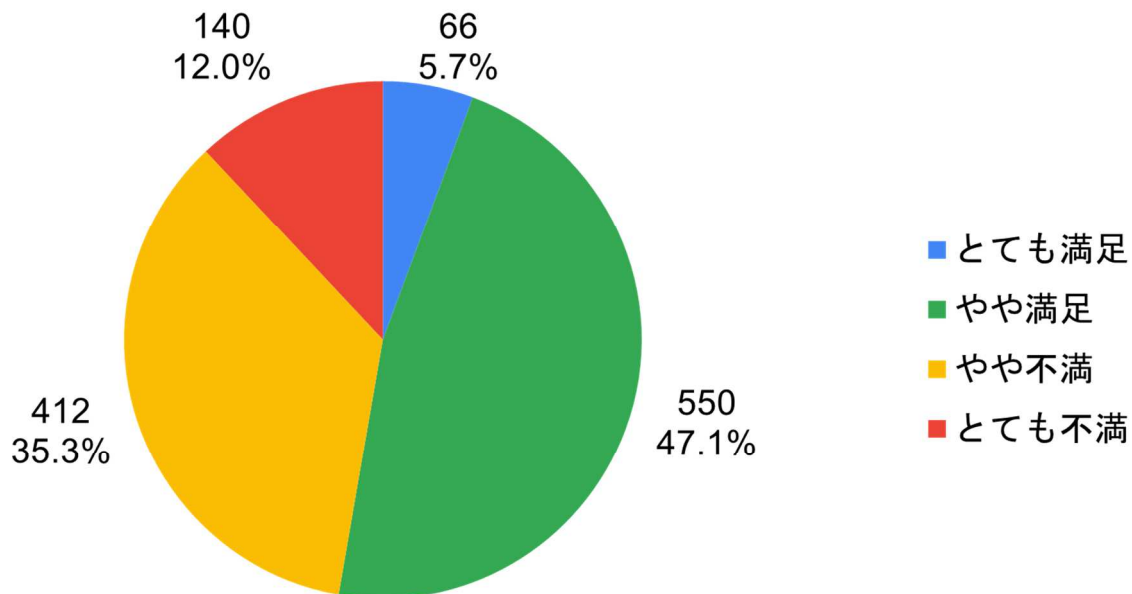


図4-1-94 日光市の「緊急時の預かりなど」に対する満足度について
(N= 1,168) (人)

Q138 日光市の「交流の場・機会」に対する満足度を選択肢から選んでください

日光市の「交流の場・機会」に対する満足度について、「とても満足」「やや満足」と回答した人は、全体の57%(回答数668)であった。

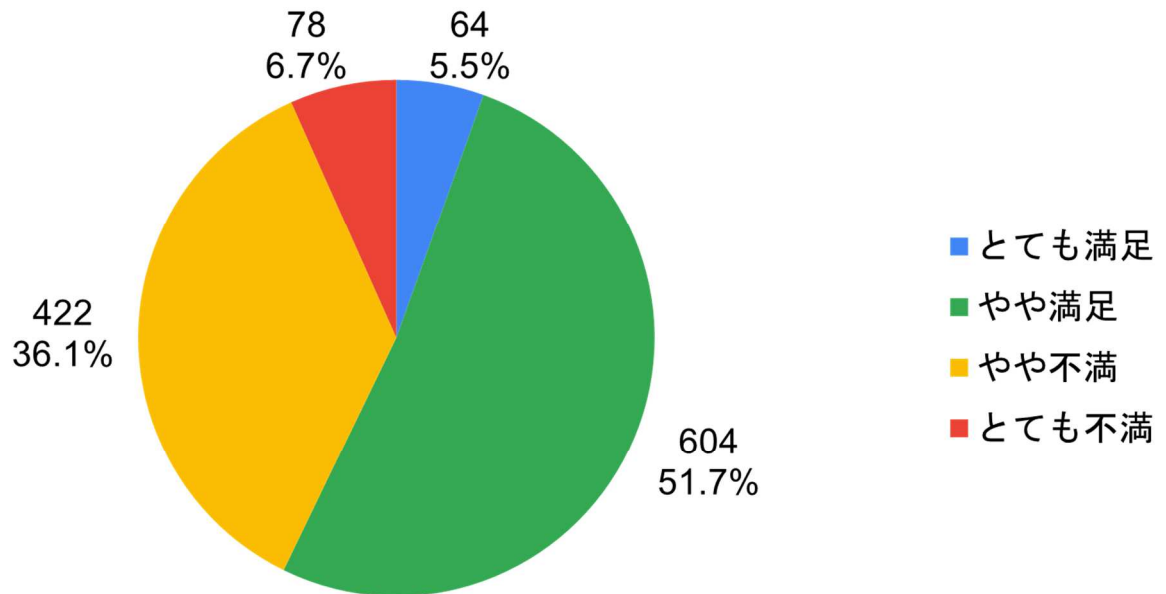


図4-1-95 日光市の「交流の場・機会」に対する満足度について
(N= 1,168) (人)

Q139 日光市の「こどもの安全」に対する満足度を選択肢から選んでください

日光市の「こどもの安全」に対する満足度について、「とても満足」「やや満足」と回答した人は、全体の60%(回答数700)であった。

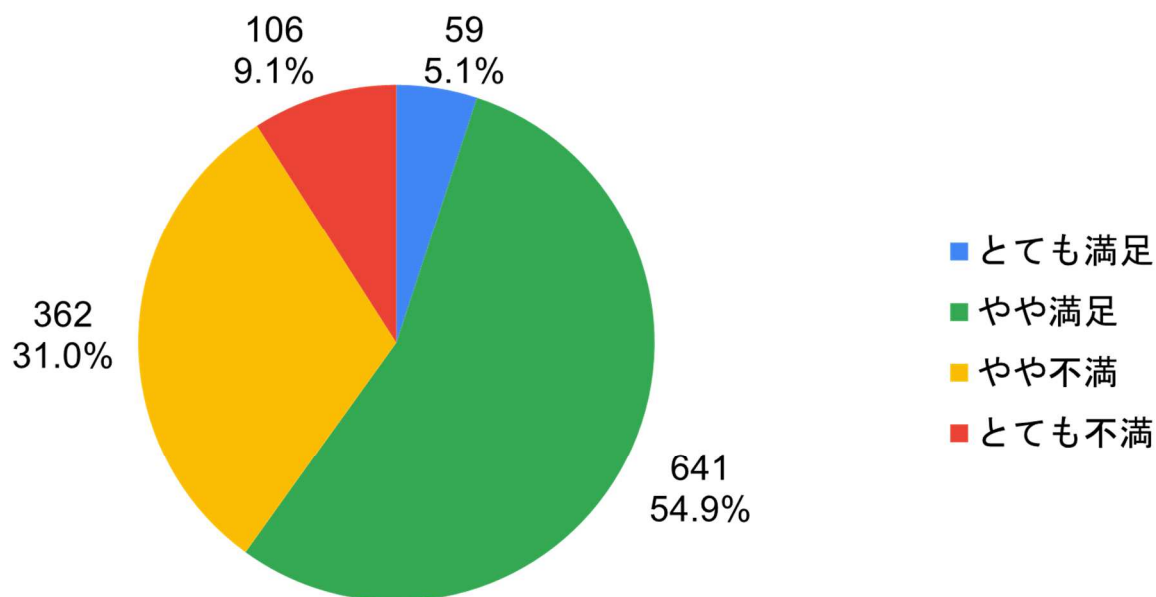


図4-1-96 日光市の「こどもの安全」に対する満足度について
(N= 1,168) (人)

Q140日光市の子育て環境について当てはまるものを以下から選択してください（複数選択可）

日光市の子育て環境について、「同じくらいの年齢の子どもを育てている友だちがいる」とポジティブな回答した人が最も多く、回答数643であった。続いて、「子ども同士の交流があまりないと感じる」とネガティブな回答した人が2番目に多く、回答数396であった。

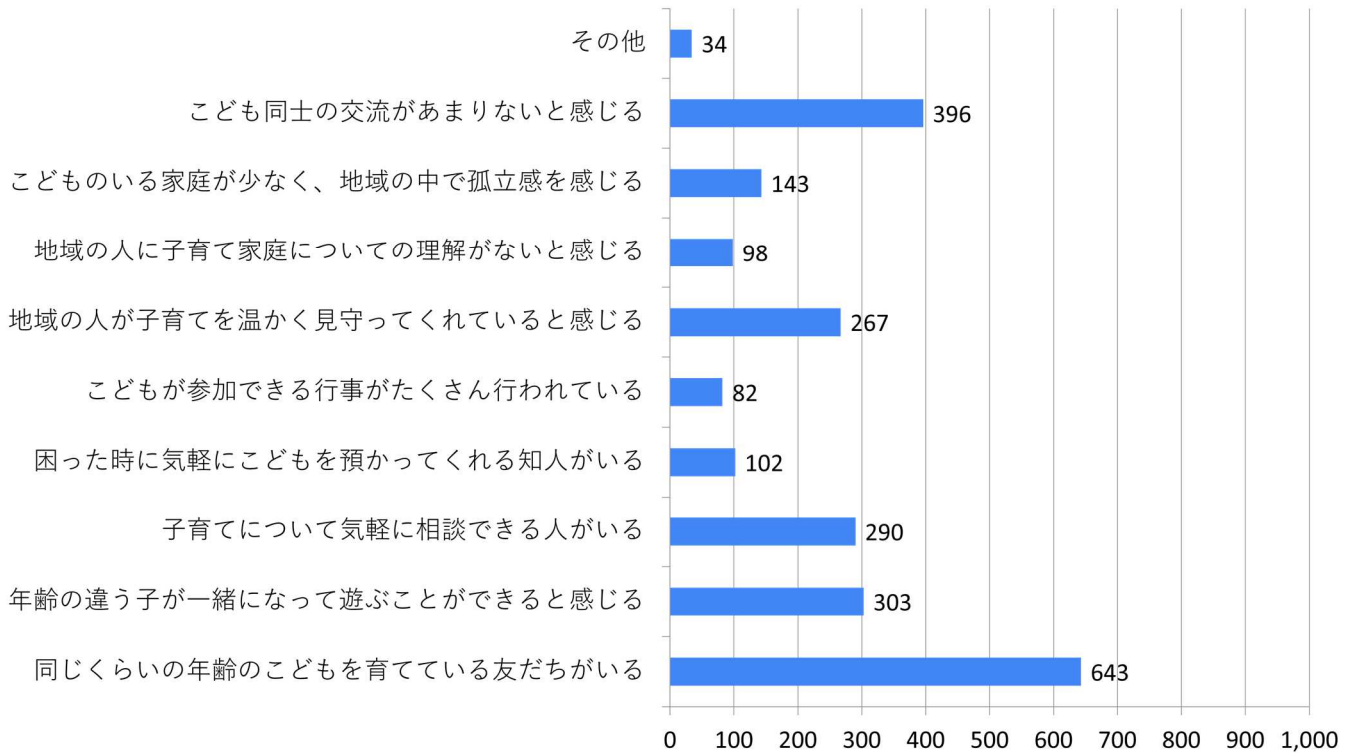


図4-1-97 日光市の子育て環境について
(N= 2, 358) (人)

Q141 日光市は子育てしやすい街ですか？

日光市は子育てしやすい街かについて、「はい」「どちらかと言えば、はい」と回答した人は、全体の68%(回答数794)であった。

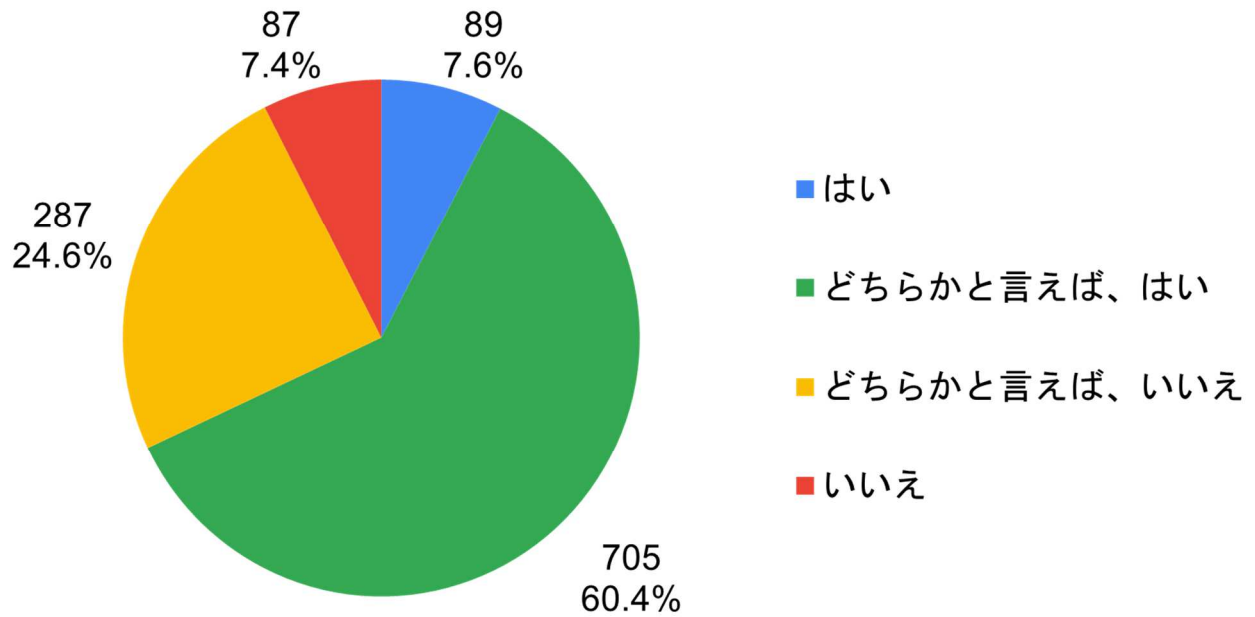


図4-1-98 日光市は子育てしやすい街かについて
(N= 1,168) (人)

Q142 子育てをしやすい日光市を実現するために、日光市はどのようなことに取り組む必要があると思いますか？（複数選択可）

子育てをしやすい日光市を実現するために、日光市はどのようなことに取り組む必要があると思うかについて、「こどもが安心して遊べる場所が欲しい」と回答した人が最も多く、回答数747であった。続いて、「児童手当や医療費助成、子育てにかかる費用の軽減などの経済的支援を充実して欲しい」と回答した人が2番目に多く、回答数697であった。

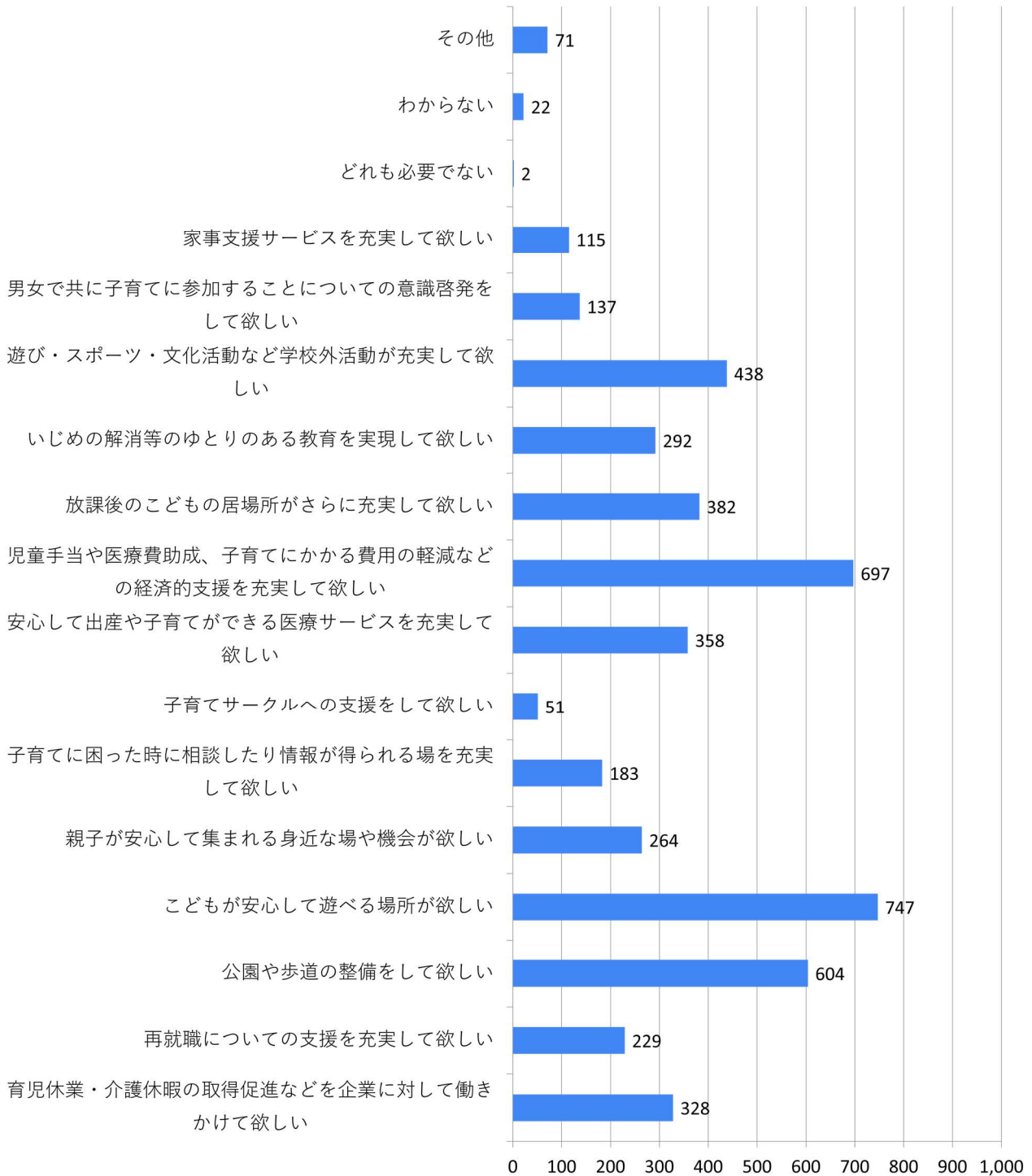


図4-1-99 子育てしやすい日光市を実現するために、日光市はどのようなことに取り組む必要があると思うかについて
(N= 4,920) (人)

「屋内型」の遊び場について

Q143 お子さまと「一緒に」遊びに行く際、「屋内型」の遊び場があったら良いと思いますか？
(お子さまが大きい場合は、お子さまが小さかった時のことを書いてください)

お子さまと「一緒に」遊びに行く際、「屋内型」の遊び場があったら良いと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあ、そう思う」と回答した人は、全体の93%(回答数1082)であった。

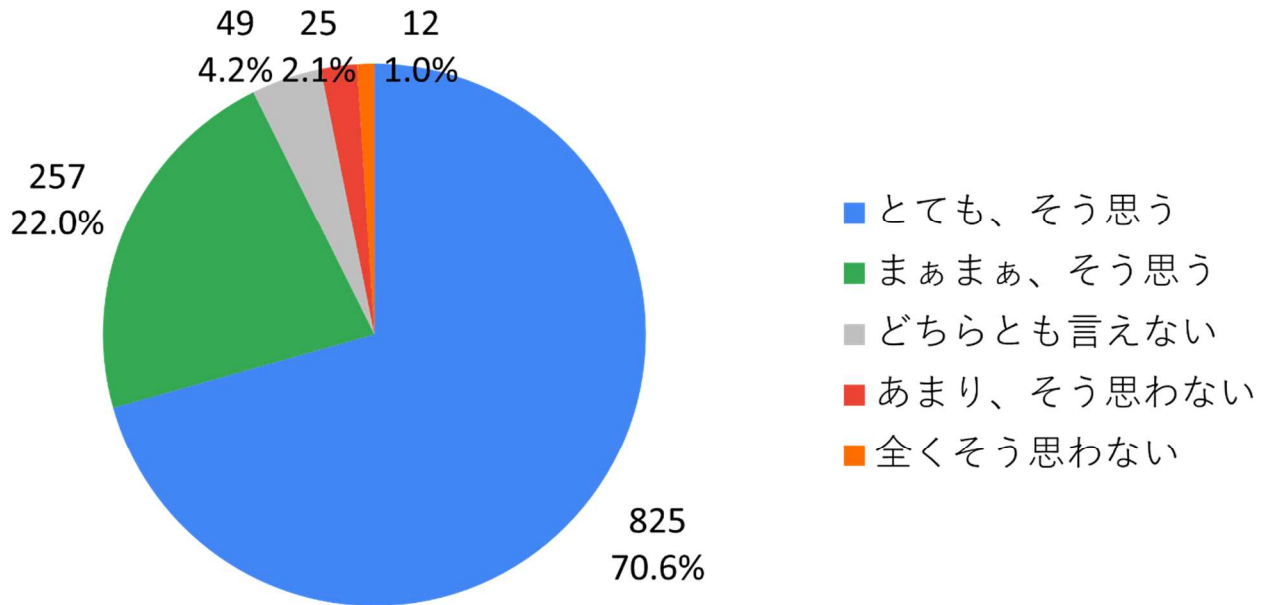


図4-1-100 お子さまと「一緒に」遊びに行く際、「屋内型」の遊び場があったら良いと思うかについて
(N= 1,168) (人)

Q144 お子さまと「一緒に」遊びに行く際（または行っていた際）、どのような「屋内型」の遊び場があったら良いと思いますか？
（複数選択可）

お子さまと「一緒に」遊びに行く際、どのような「屋内型」の遊び場があったら良いと思うかについて、「自由に走り回れる広い」屋内型の遊び場所と回答した人が805、「一日中遊べる」屋内型の遊び場所と回答した人が803で、1番目と2番目に回答が多かった。

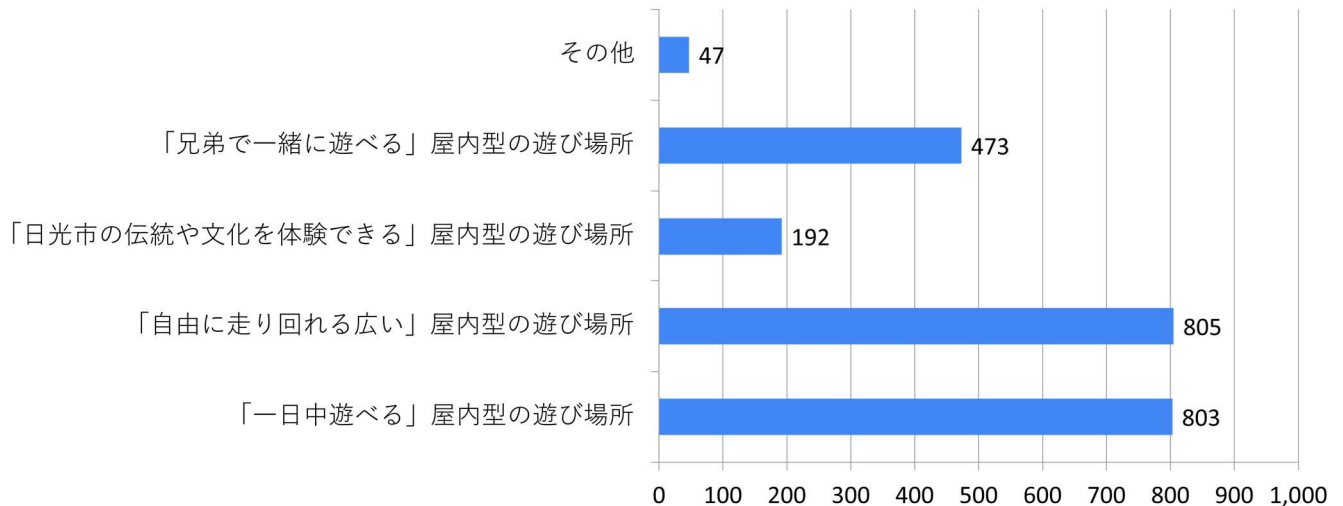


図4-1-101 お子さまと「一緒に」遊びに行く際、どのような「屋内型」の遊び場があったら良いと思うかについて
(N= 2,320) (人)

Q145 屋内型の遊び場所が欲しいと思わないと回答した方のみ
理由を教えてください（複数選択可）

屋内型の遊び場所が欲しいと思わない理由について、「公的に整備するとお金がかかるから」と回答した人が20、「現在の屋内型の遊び場所について、特に不満はないから」とポジティブな回答した人が13であった。

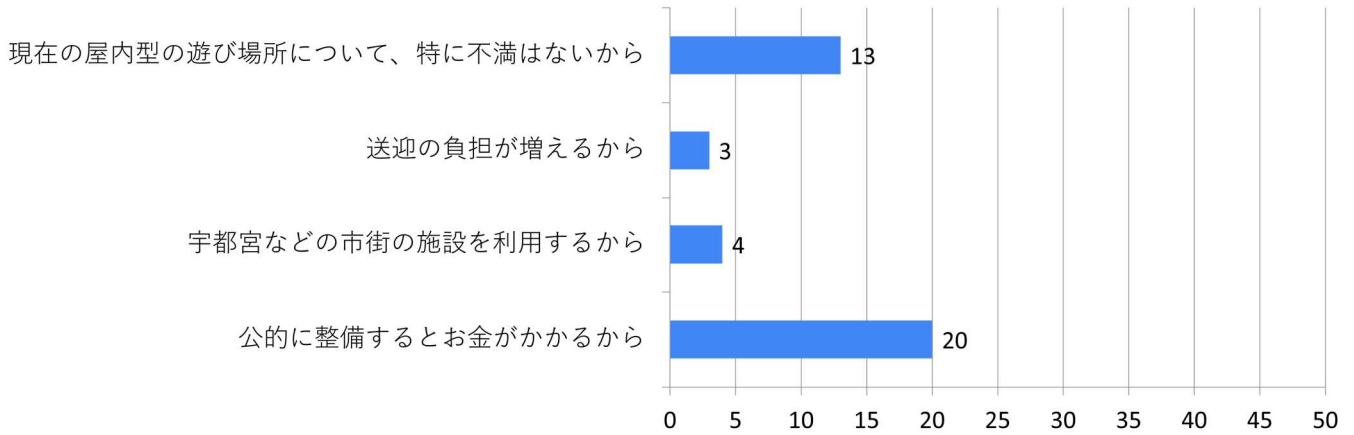


図4-1-102 屋内型の遊び場所が欲しいと思わない理由について
(N= 40) (人)

Q146 お子さま「だけで」遊びに行く際、「屋内型」の遊び場があったら良いと思いますか？
(お子さまが大きい場合は、お子さまが小さかった時のことを書いてください)

お子さま「だけで」遊びに行く際、「屋内型」の遊び場があったら良いと思うかについて、「とても
そう思う」「まあまあ、そう思う」と回答した人は、全体の84%(回答数977)であった。

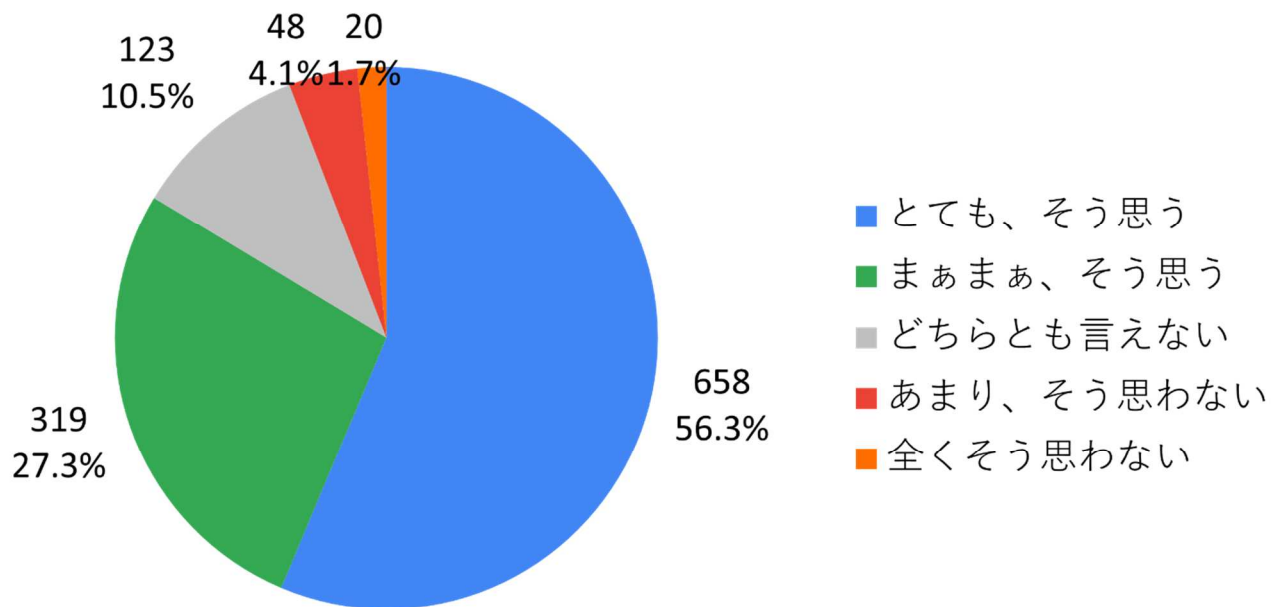


図4-1-103 お子さま「だけで」遊びに行く際、「屋内型」の遊び場があったら良いと思うかについて
(N= 1,168) (人)

Q147 お子さま「だけで」遊びに行く際、どのような「屋内型」の遊び場があったら良いと思いますか？
(複数選択可)

お子さま「だけで」遊びに行く際、どのような「屋内型」の遊び場があったら良いと思うかについて、「一日中遊べる」屋内型の遊び場所と回答した人が最も多く、回答数475であった。「自由に走り回れる広い」屋内型の遊び場所と回答した人が2番目に多く、回答数339であった。

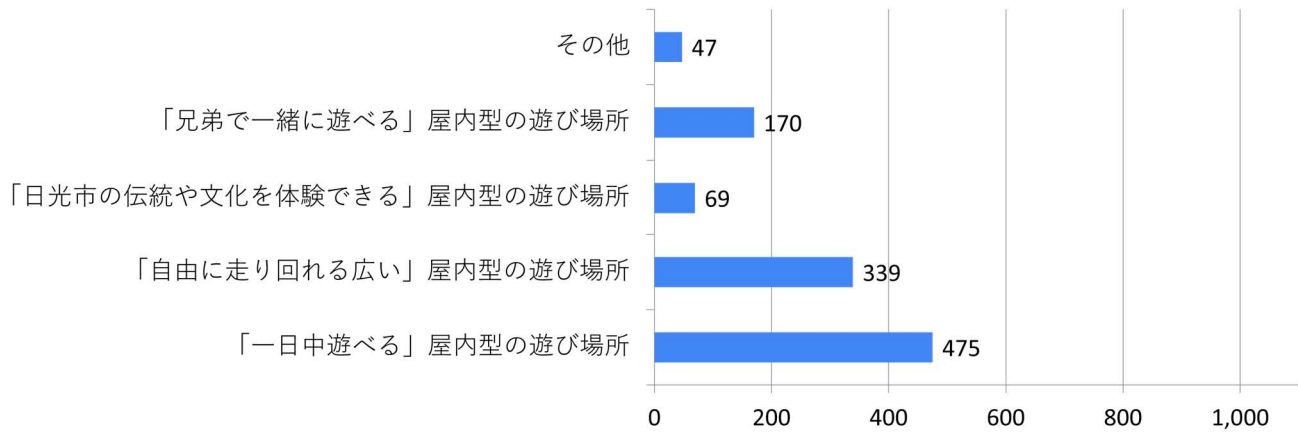


図4-1-104 お子さま「だけで」遊びに行く際、
どのような「屋内型」の遊び場があったら良いと思うかについて
(N=1,100) (人)

Q148 屋内型の遊び場所が欲しいと思わないと回答した方のみ
理由を教えてください（複数選択可）

屋内型の遊び場所が欲しいと思わない理由について、「公的に整備するとお金がかかるから」と回答した人が20、「現在の屋内型の遊び場所について、特に不満はないから」とポジティブな回答した人が13であった。

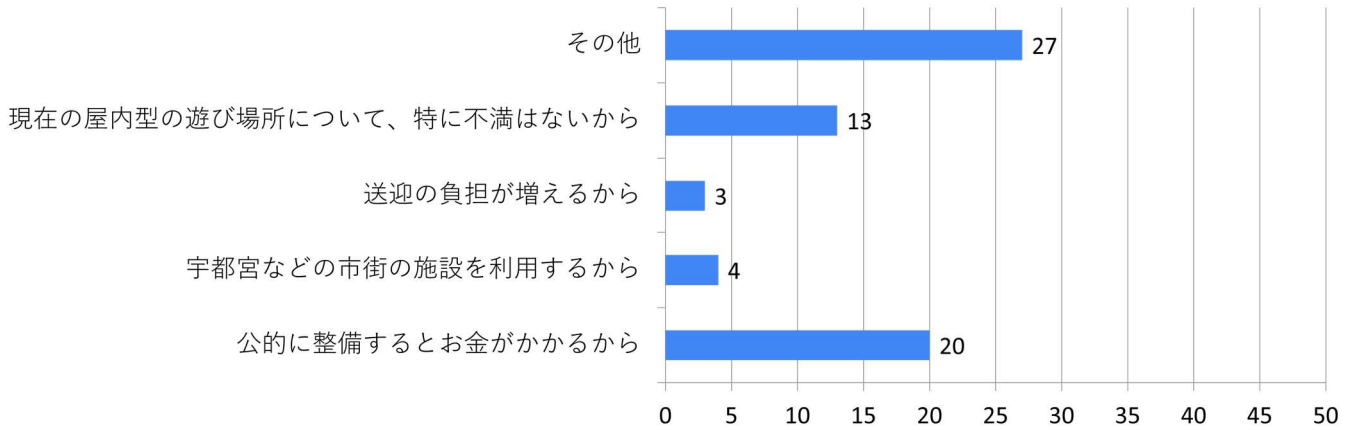


図4-1-105 屋内型の遊び場所が欲しいと思わない理由について
(N= 40) (人)

日光市への愛着について

Q149 日光市が好きですか

日光市が好きかについて、「好き」「まあまあ、好き」と回答した人は、全体の87%(回答数1018)であった。

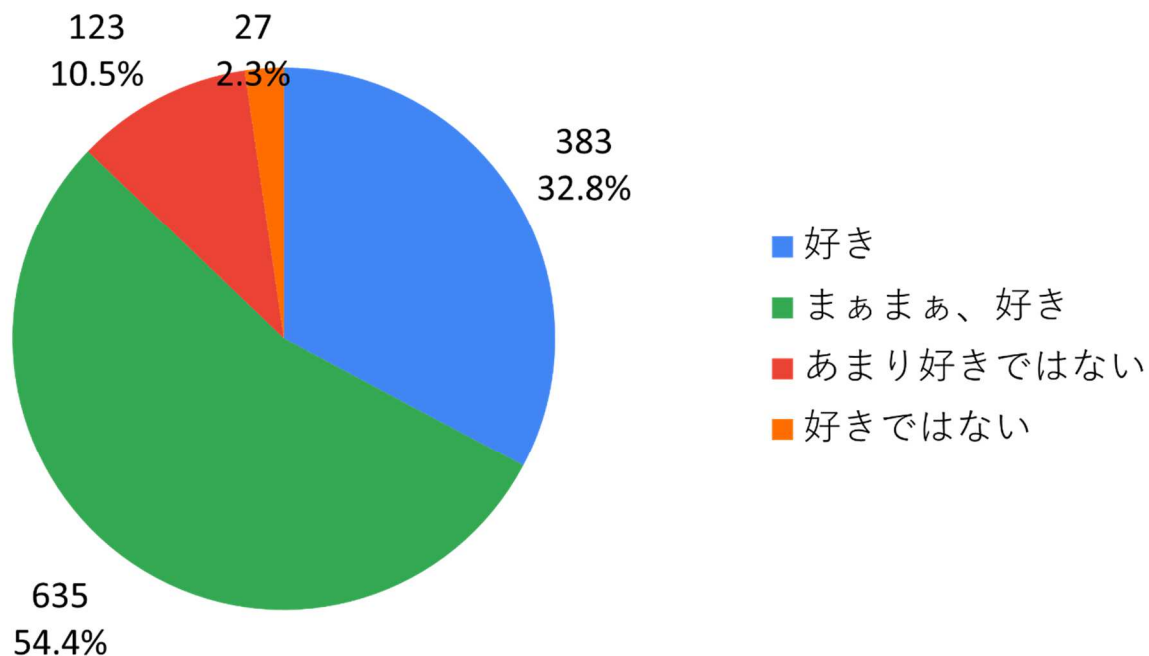


図4-1-106 日光市が好きかについて
(N= 1,168) (人)

Q150 最近1年間で、地域活動に参加していますか

最近1年間の地域活動への参加状況について、「毎回」「ときどき参加している」と回答した人は、全体の52%(回答数601)であった。

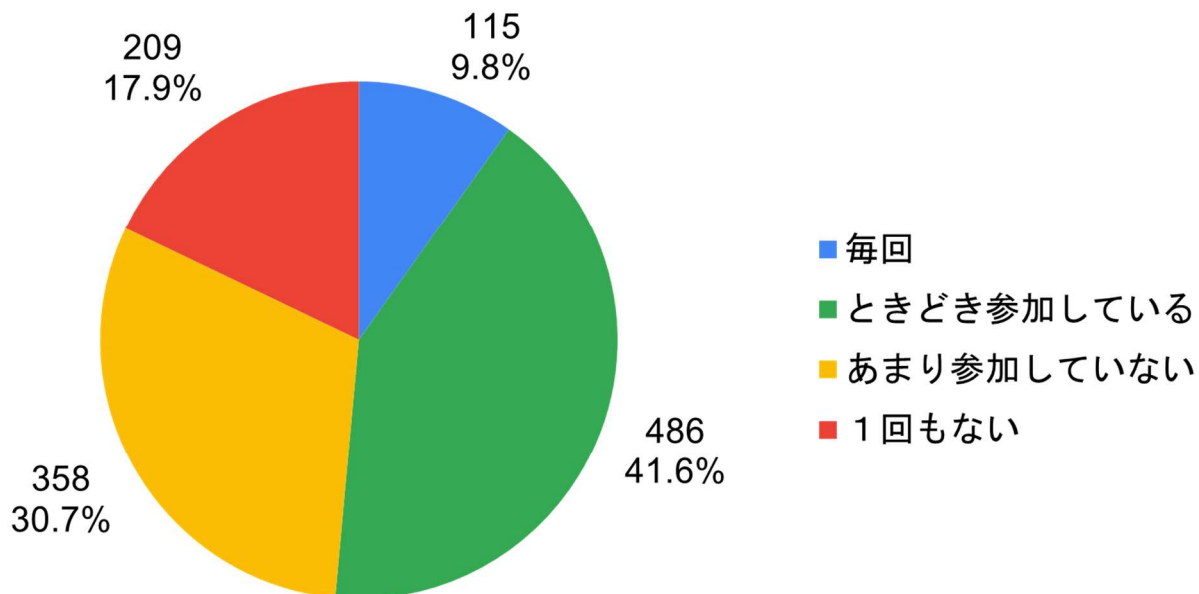


図4-1-107 最近1年間の地域活動への参加状況について

(N= 1,168) (人)

Q151 以下にある地域活動に参加したいと思いますか？

どの地域活動に参加したいと思うかについて、「地域行事（お祭り）などに参加」と回答した人が最も多く、回答数513であった。

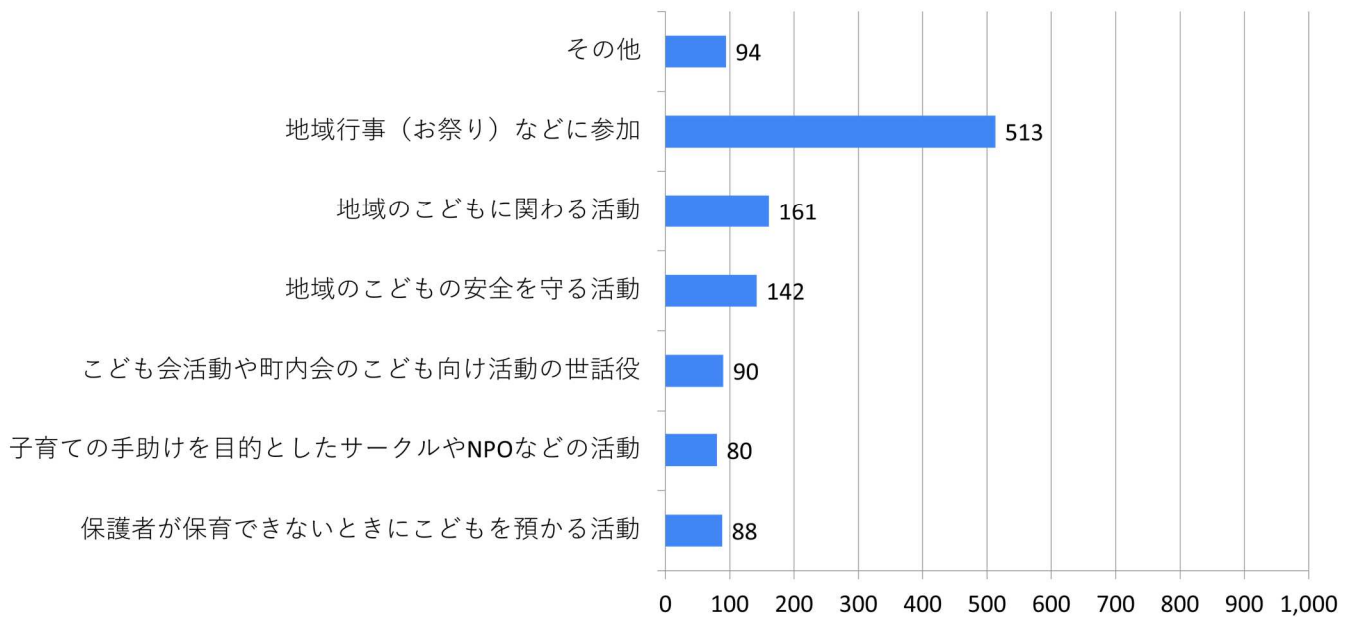


図4-1-108 どの地域活動に参加したいと思うかについて
(N= 1,168) (人)

Q152 日光市に今後も住みたいですか？

日光市に今後も住みたいかについて、「はい」「どちらかと言えば、はい」と回答した人は、全体の84%(回答数983)であった。

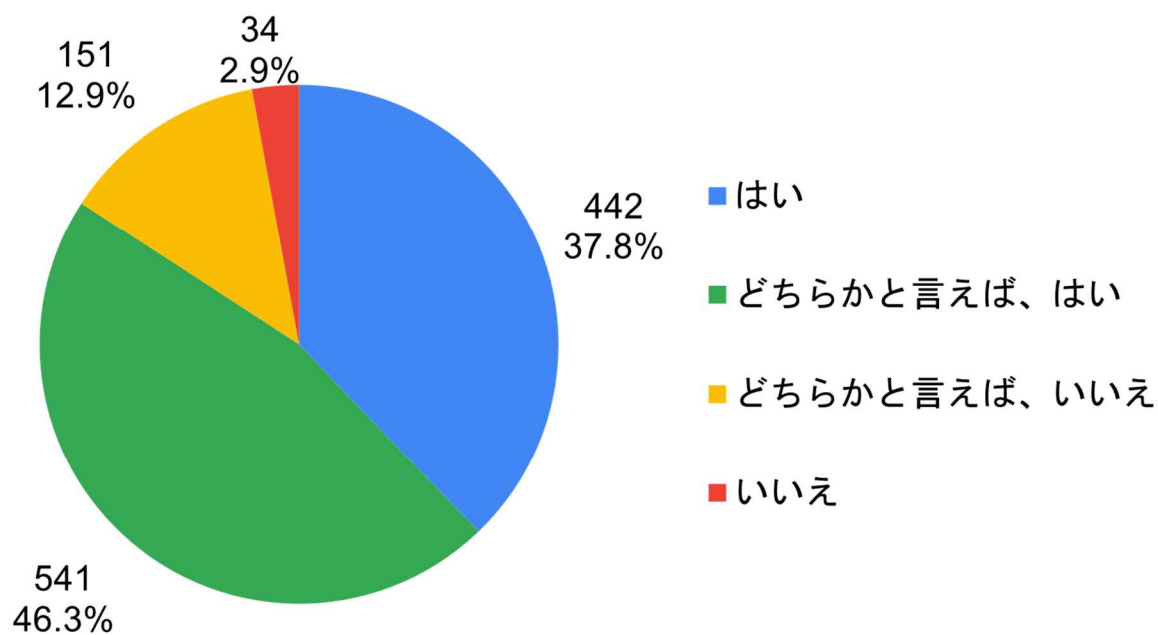


図4-1-109 日光市に今後も住みたいかについて
(N= 1,168) (人)

4-2. 「こども」を対象とした調査結果

①属性について

Q1 住んでいる地域を教えてください

こどもの住んでいる地域を日光市に住む10-14歳の地域別人口と比較すると、今市地域の回答割合が人口割合の5分の4で、日光地域の回答割合が人口割合の2倍となっている。一方で、藤原地域、足尾地域、栗山地域の回答割合と人口割合には、ほとんど差がない。

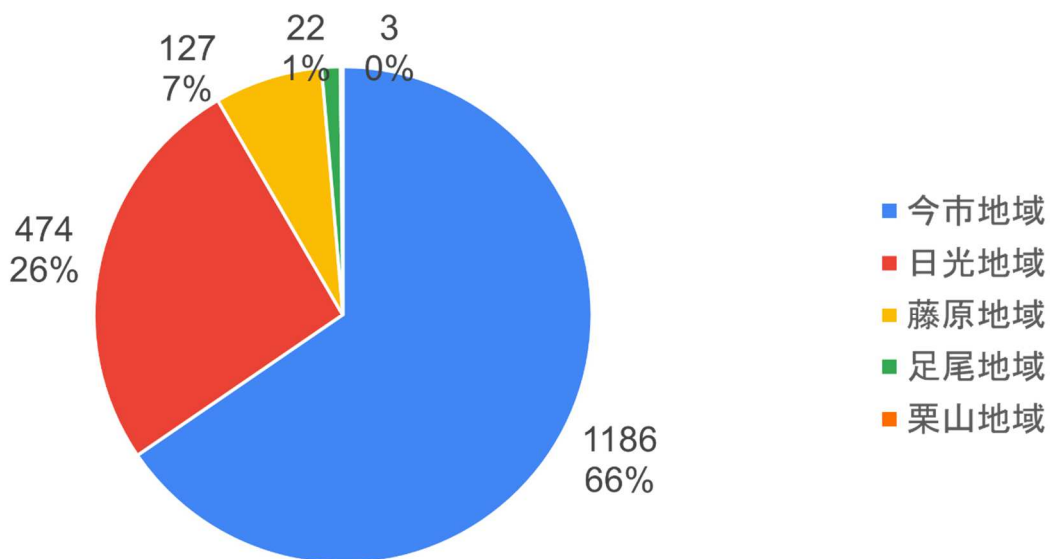


図4-2-1 回答者の住んでいる地域
(N=1812) (人)

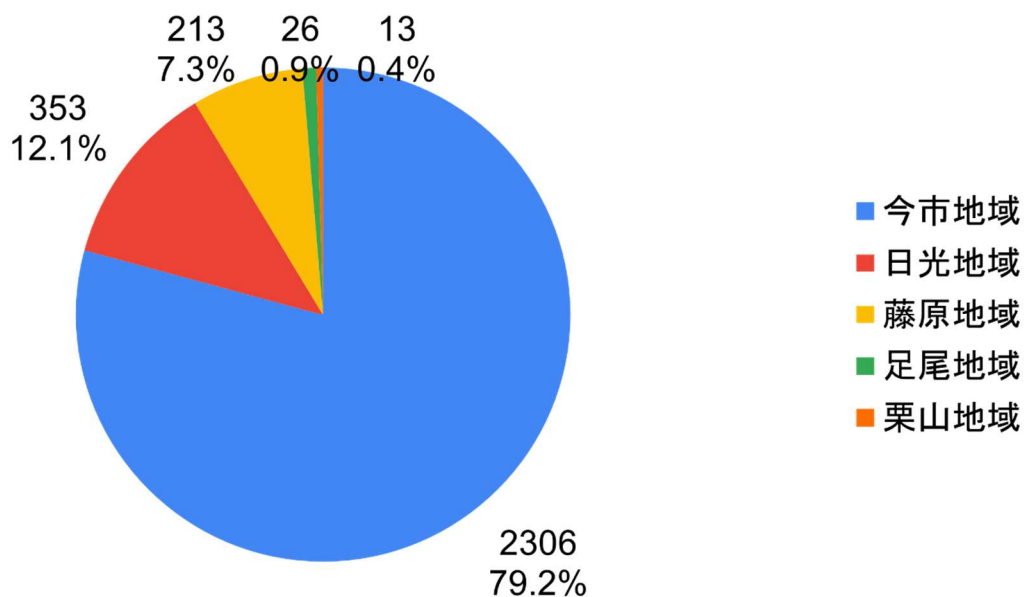


図4-2-2 日光市に住む10-14歳の地域別人口
(N=2911) (人)

Q2 学年を教えてください

回答者の現在の年齢について、最も回答数の多い小学5年生と最も回答数が少ない中学1年生の回答数の差は、129であった。また、平均：11.9、中央値：12であった。

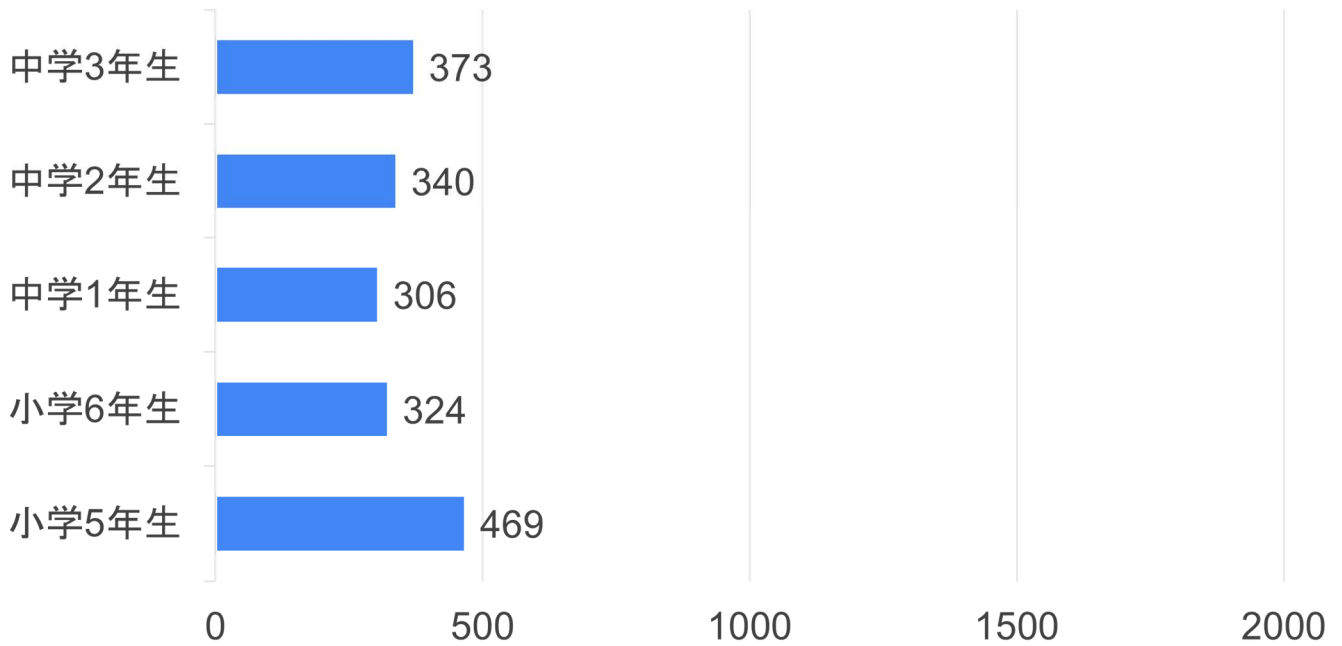


図4-2-3 回答者の現在の年齢
(N=1812) (人)

Q4 同じ家で一緒に住んでいる家族を選んでください

両親の有無や母子父子家庭等の両親の存在に着目した家族構成について、一人親の家庭は全体の約15.6% (回答数182) で、そのうち、母子家庭が227、父子家庭が40であった。両親がいない家庭は全体の約0.3% (回答数3) であった。また、こどもの人数別で比較すると、一人親の家庭は、こどもが2人の家庭で11%、こどもが3人以上の家庭で12%である。これに対し、こどもが1人の家庭では、26%であり、こどもが2人以上いる世帯の2倍の割合を占めていた。

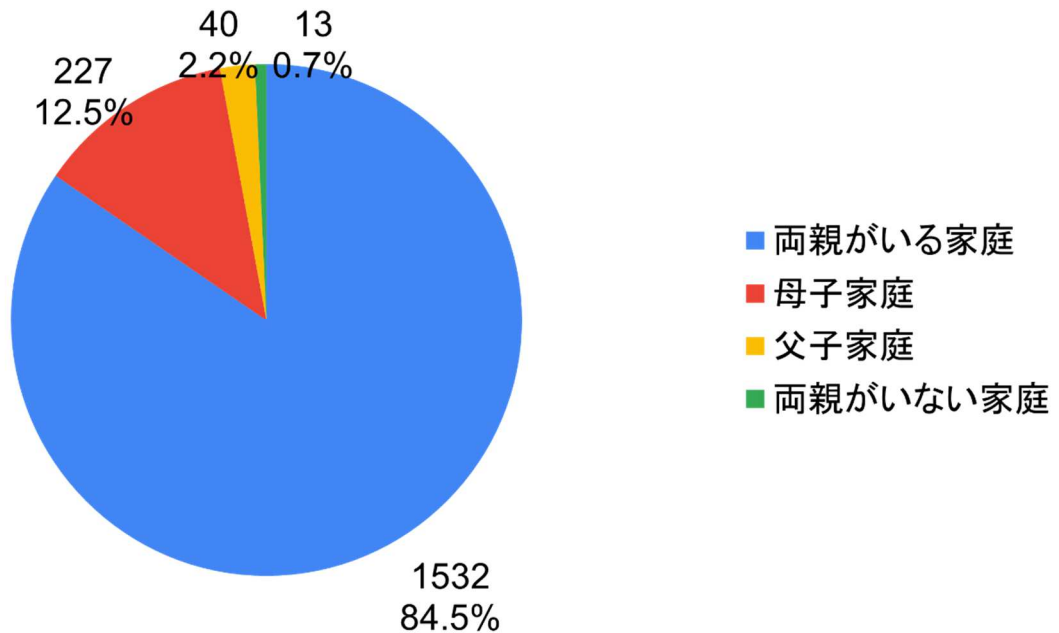


図4-2-4 家族構成について
(N= 1812) (人)

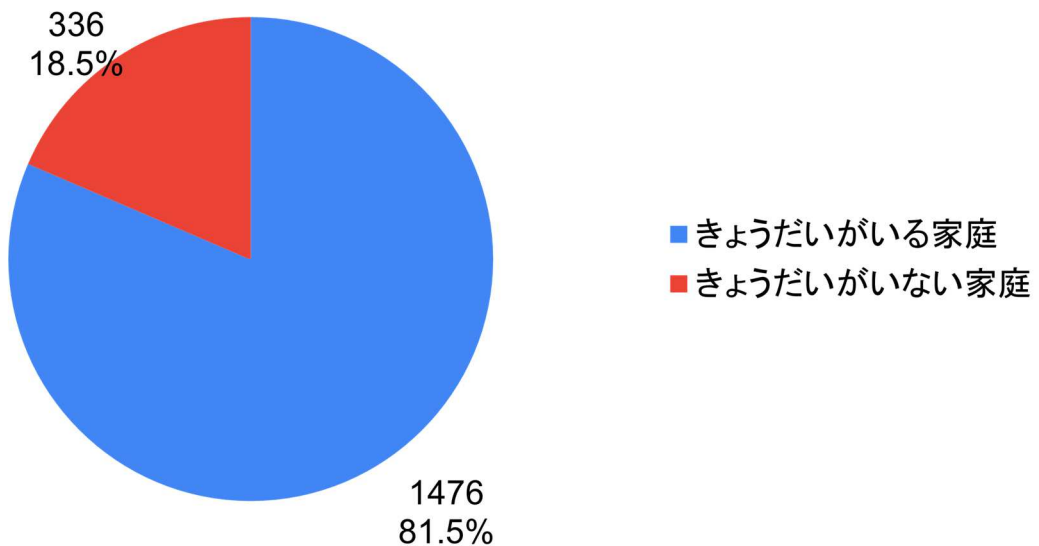


図4-2-5 家族構成について
(N=1812) (人)

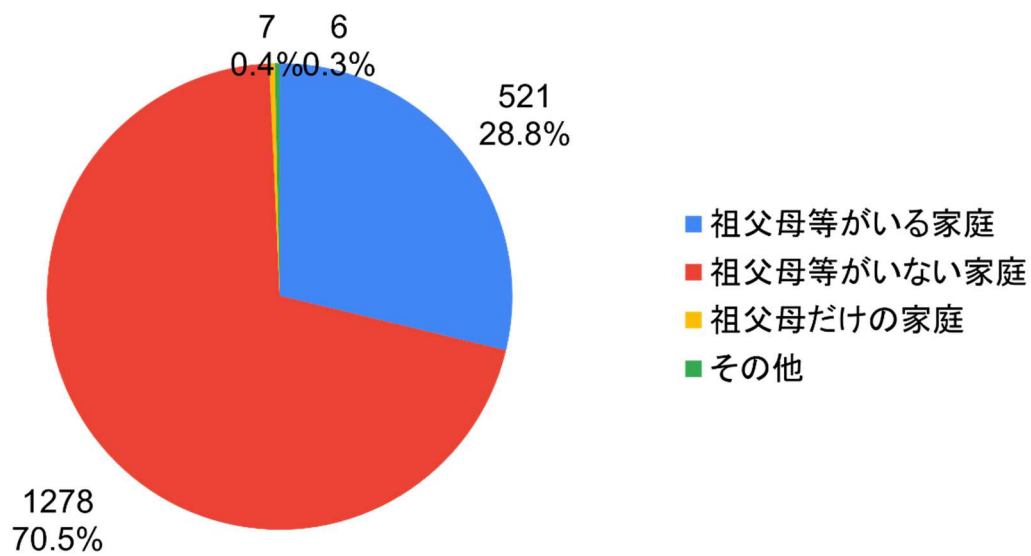


図4-2-6 家族構成について

(N=1812) (人)

Q5 きょうだいがいる人のみ
 あなたは、きょうだいのお世話をすることがありますか
 (弟・妹や障がいのあるきょうだいの世話など)

きょうだいのお世話をすることがあるかについて、きょうだいの世話をすることがあるのは全体の358人で、そのうち40人が一人親家庭であった。

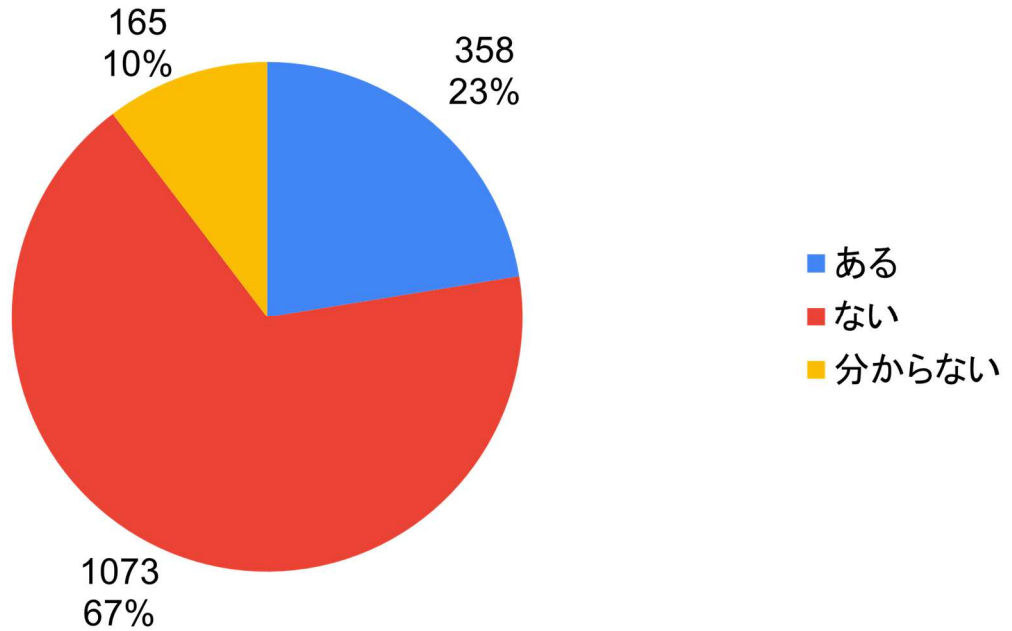


図4-2-7 全体
 (N= 1812) (人)

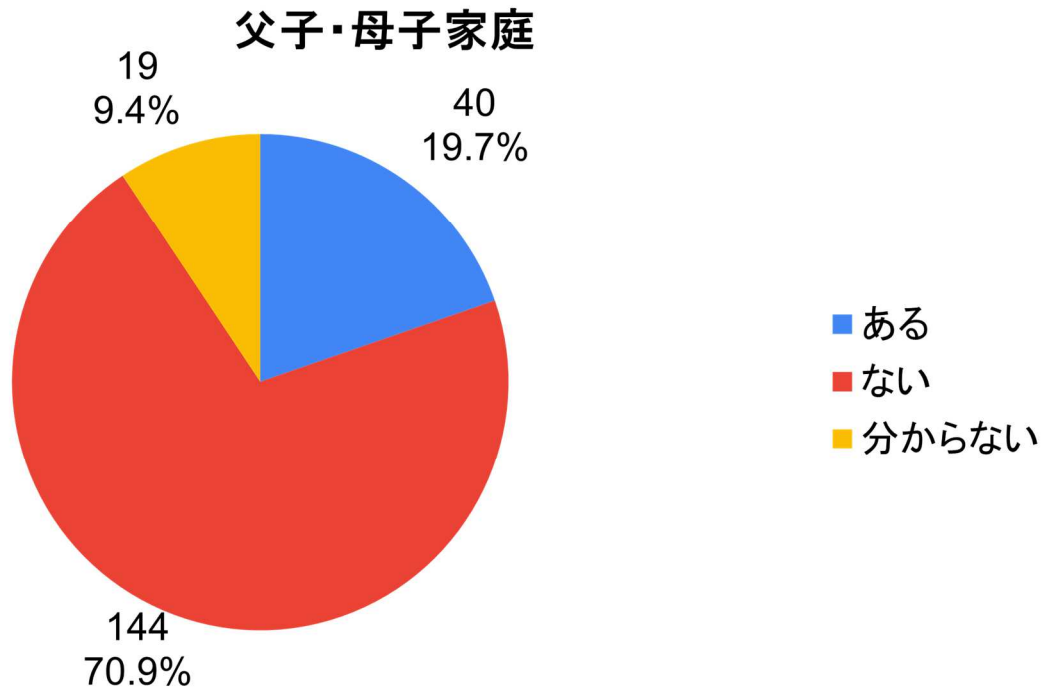


図4-2-8 父子・母子家庭の結果
 (N=203) (人)

Q6 あなたは、家族のお世話をすることがありますか
(お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん)

家族のお世話をすることがあるかについて、家族の世話をすることがあるのは全体の13%(回答数231)で、そのうち41人が一人親家庭であった。

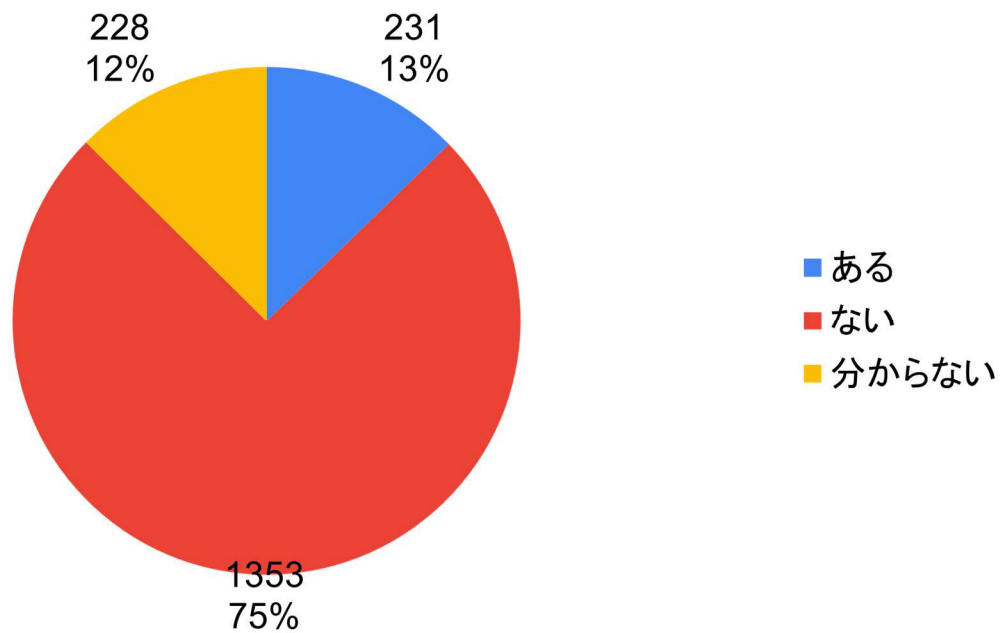


図4-2-9 家族のお世話をすることがあるかについて
全体(N= 1812) (人)

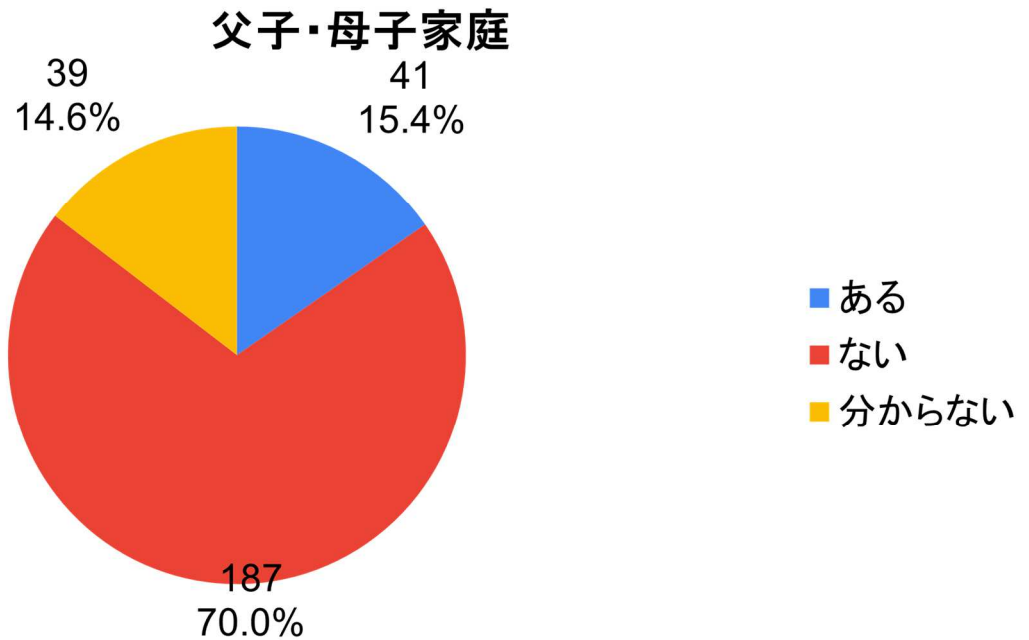


図4-2-10 家族のお世話をすることがあるかについて
父子・母子家庭の結果(N=267) (人)

②学校や生活などの実態やニーズについて

家族との関わり合いについて

Q7 あなたは、週に何回くらい朝食を食べますか

週に何回くらい朝食を食べるかについて、「週7回」と回答した人が最も多く、回答数1369であった。一方で、「朝食を食べない」と回答した人は、回答数35であった。

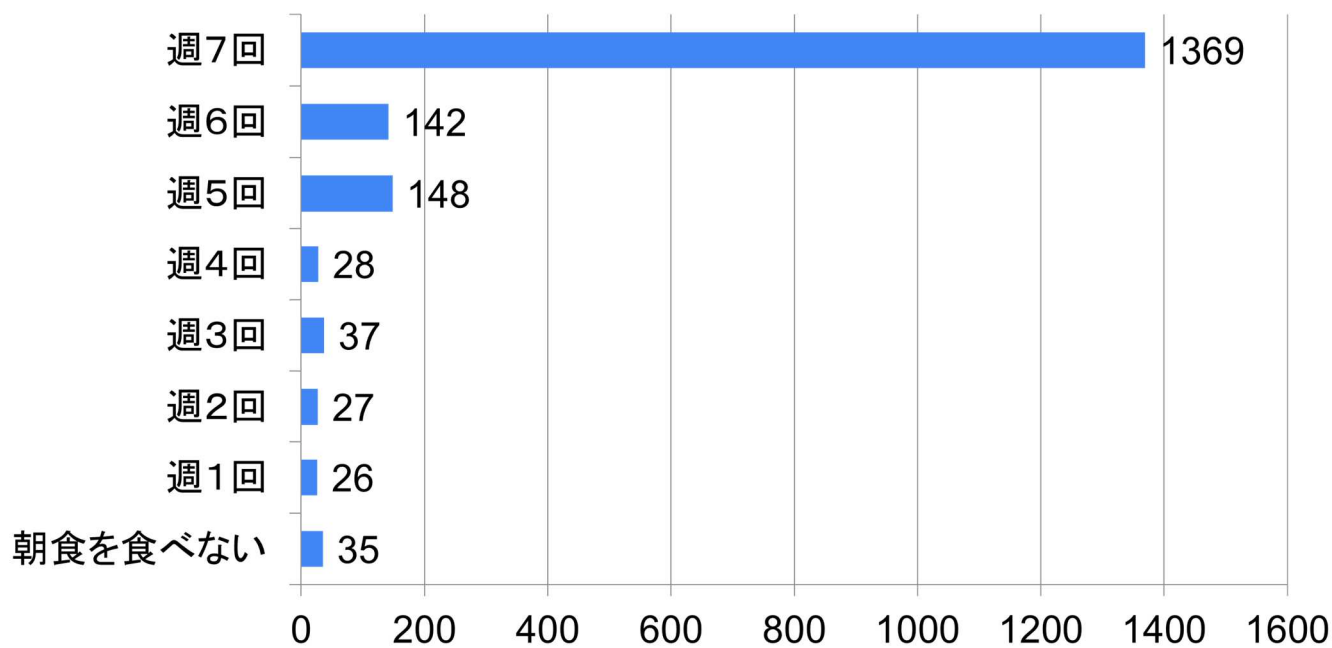


図4-4-11週に何回くらい朝食を食べるかについてについて

(N= 1812) (人)

Q8 あなたは、どのくらい食事の用意やあとかたづけをしていますか

どのくらい食事の用意やあとかたづけをしているかについて、「よくしている」「ときどきしている」と回答した人は、全体の81%(回答数1468)であった。また、母子家庭と父子家庭の回答について(図4-2-13, 14)、「よくしている」「ときどきしている」と回答した人は、それぞれ77%(回答数1763)、80%(回答数32)であった。そして、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について(図4-2-15, 16)「よくしている」「ときどきしている」と回答した人は、それぞれ89%(回答数319)、92%(回答数213)であった。

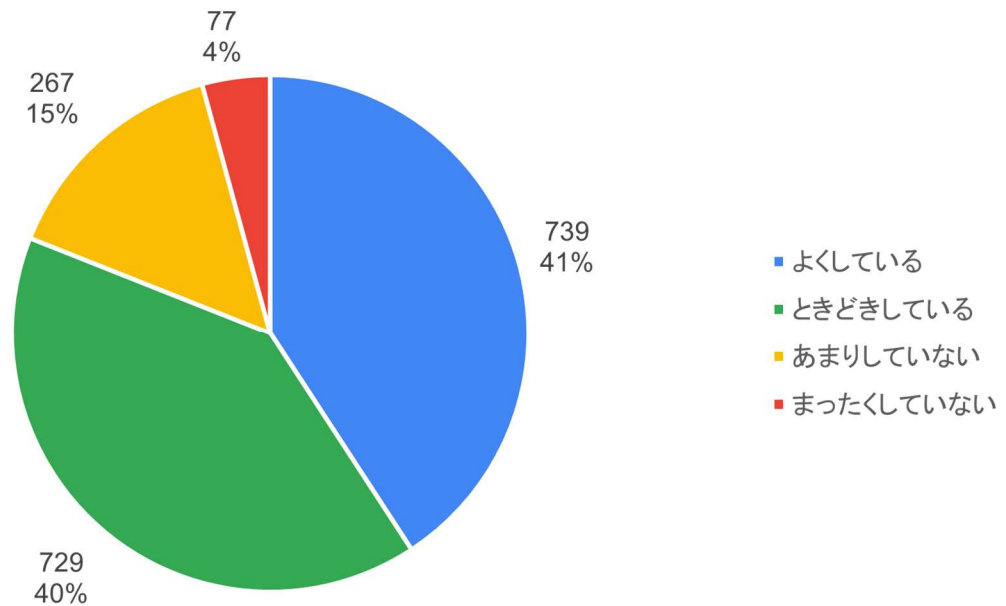


図4-2-12 どのくらい食事の用意やあとかたづけをしているかについて
全体(N= 1812) (人)

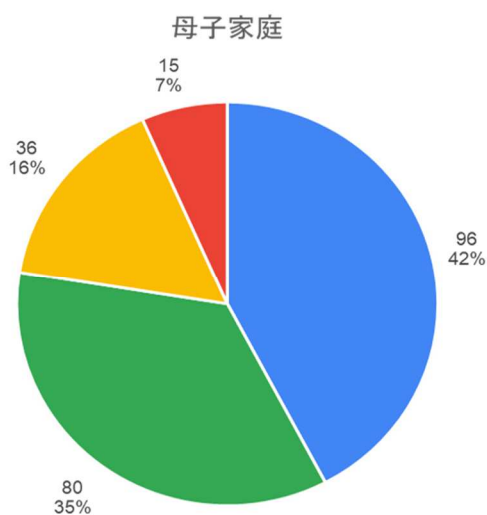


図4-2-13 どのくらい食事の用意やあとかたづけ
をしているかについて
母子家庭 (N=227)

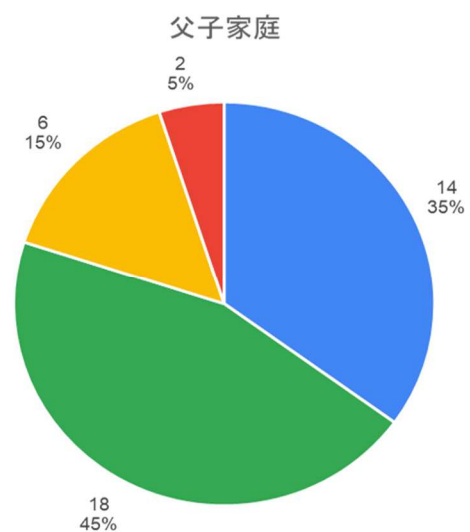


図4-2-14 どのくらい食事の用意やあとかたづけ
をしているかについて
父子家庭 (N=40)

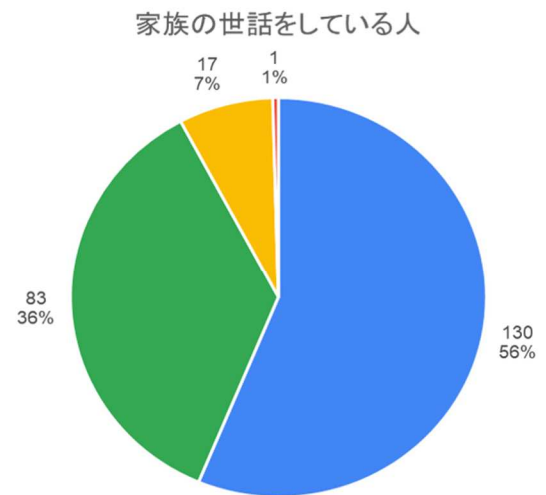
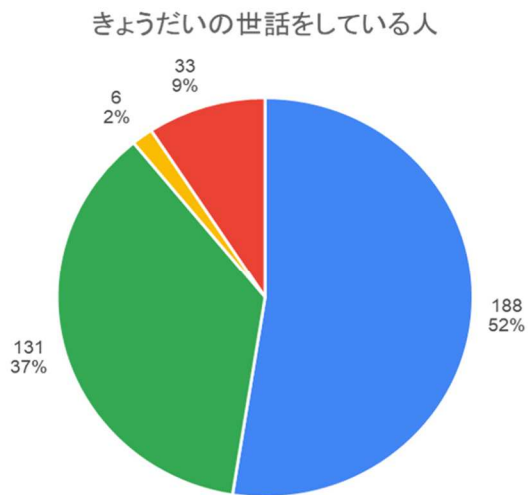


図4-2-15 どのくらい食事の用意やあとかたづけをしているかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

図4-2-16 どのくらい食事の用意やあとかたづけをしているかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q10 あなたは、どのくらい家のそうじや洗たく、整理整頓、ゴミ出しをしていますか

どのくらい家のそうじや洗たく、整理整頓、ゴミ出しをしているかについて、「よくしている」「ときどきしている」と回答した人は、全体の74%(回答数1182)であった。また、母子家庭と父子家庭の回答について、「よくしている」「ときどきしている」と回答した人は、それぞれ70%(回答数158)、62%(回答数25)であった。そして、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について「よくしている」「ときどきしている」と回答した人は、それぞれ75%(回答数271)、77%(回答数179)であった。

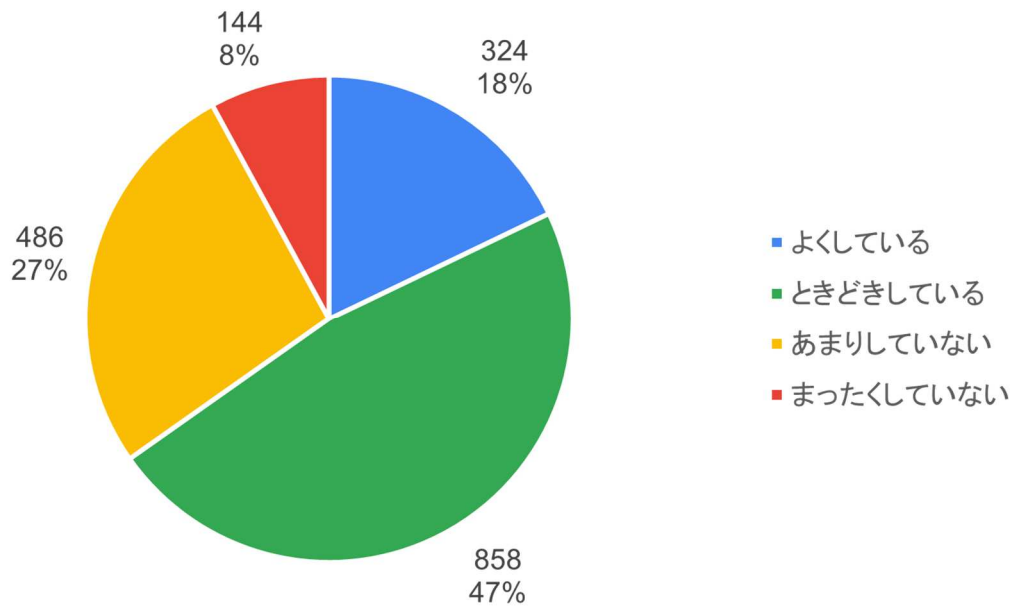


図4-2-17 どのくらい家のそうじや洗たく、整理整頓、ゴミ出しをしているかについて
全体(N= 1812) (人)

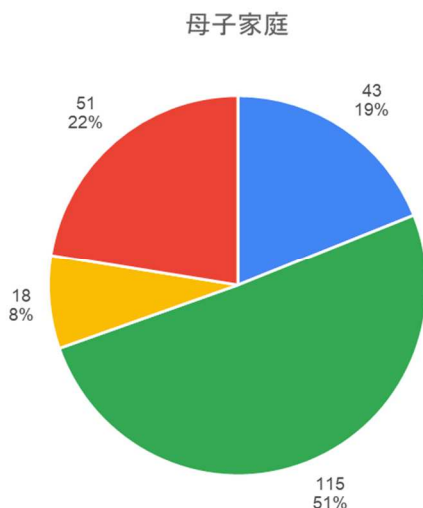


図4-2-18どのくらい家のそうじや洗たく、整理整頓、ゴミ出しをしているかについて
母子家庭 (N=227)

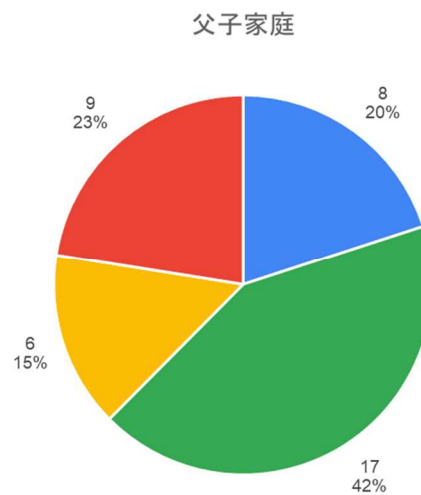


図4-2-19どのくらい家のそうじや洗たく、整理整頓、ゴミ出しをしているかについて
父子家庭 (N=40)

きょうだいの世話をしている人

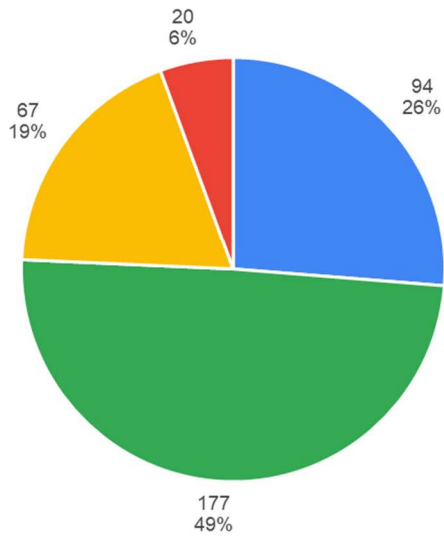


図4-2-20どのくらい家のそうじや洗たく、整理
整とん、ゴミ出しをしているかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

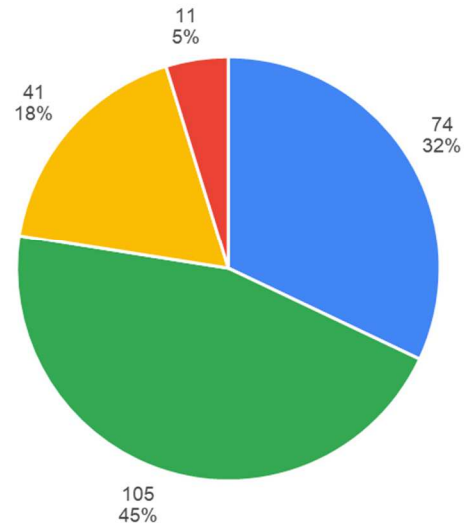


図4-2-21どのくらい家のそうじや洗たく、整理
整とん、ゴミ出しをしているかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q9 あなたは、家族とどのくらい一緒にご飯を食べていますか

家族とどのくらい一緒にご飯を食べているかについて、「よく一緒に食べる」「ときどき一緒に食べる」と回答したは、全体の93%(回答数1692)であった。

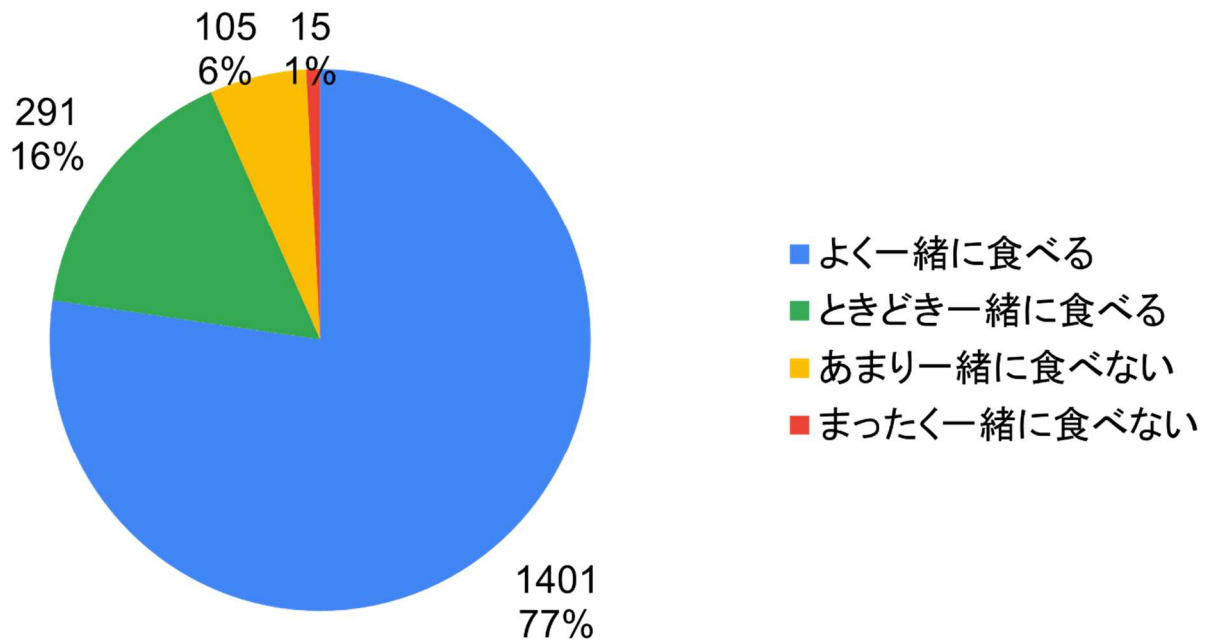


図4-2-22 家族とどのくらい一緒にご飯を食べているかについて
(N= 1812) (人)

Q11 あなたは、家族にどのくらい宿題や勉強を見てもらいますか

「家族にどのくらい宿題や勉強を見てもらうかについて、「よく見てもらう」「ときどき見てもらう」と回答した人は、全体の443%(回答数771)であった。

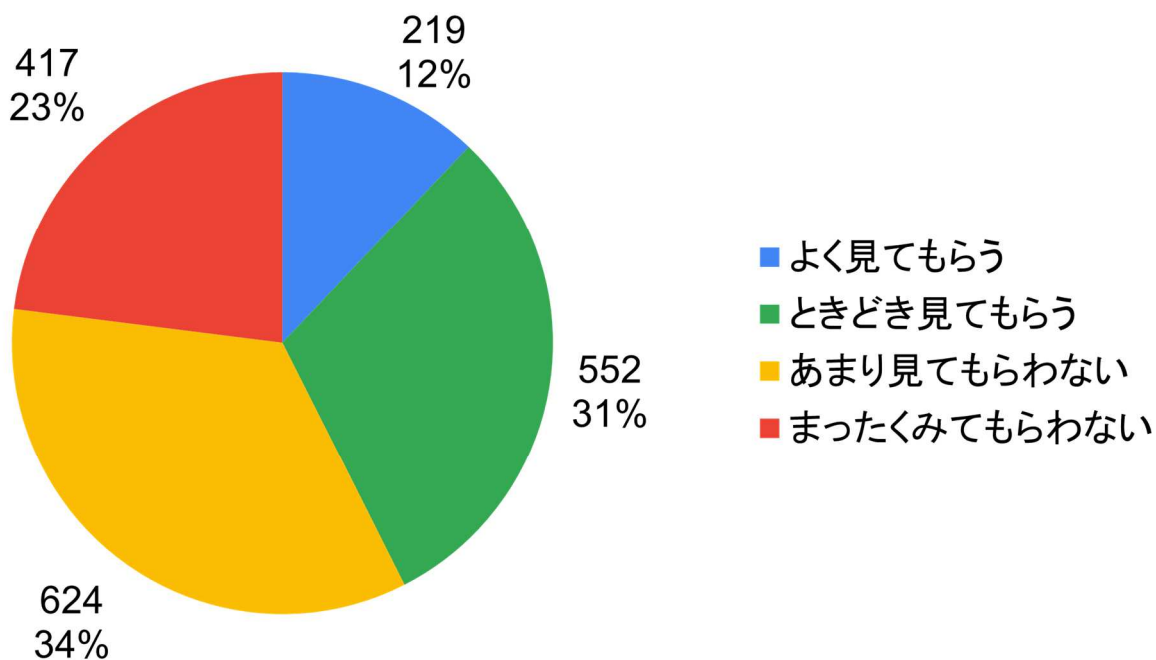


図4-2-23 「家族にどのくらい宿題や勉強を見てもらうかについて
(N= 1812) (人)

Q12 きょうだいがいる人のみ
家族が仕事の日、きょうだいとだけで過ごす時間は、何時間くらいですか

家族が仕事の日、きょうだいとだけで過ごす時間は、何時間くらいかについて、「30分より少ない」と回答した人が最も多く、回答数417であった。続いて、「5時間以上」と回答した人が2番目に多く、回答数253であった。

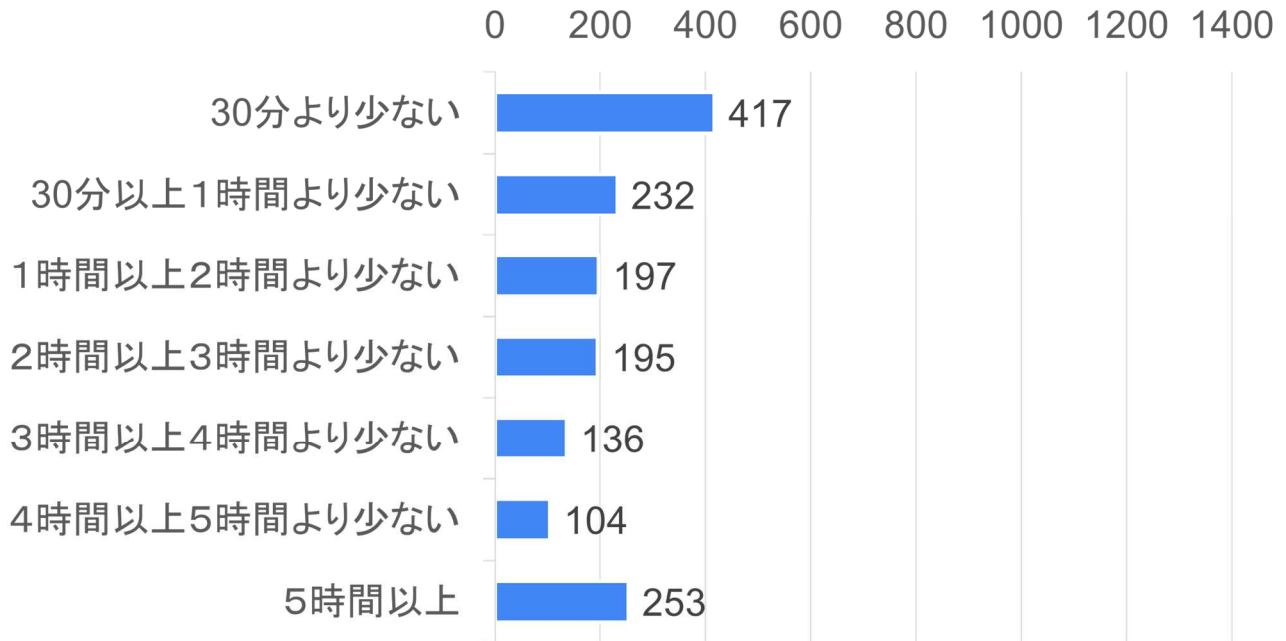


図4-2-24 家族が仕事の日、きょうだいとだけで過ごす時間は、何時間くらいかについて
(N= 1812) (人)

Q13 あなたは、どのくらい家族と一緒におでかけをしていますか

どのくらい家族と一緒におでかけをしているかについて「よくしている」「ときどきしている」と回答した人は、全体の85%(回答数1539)であった

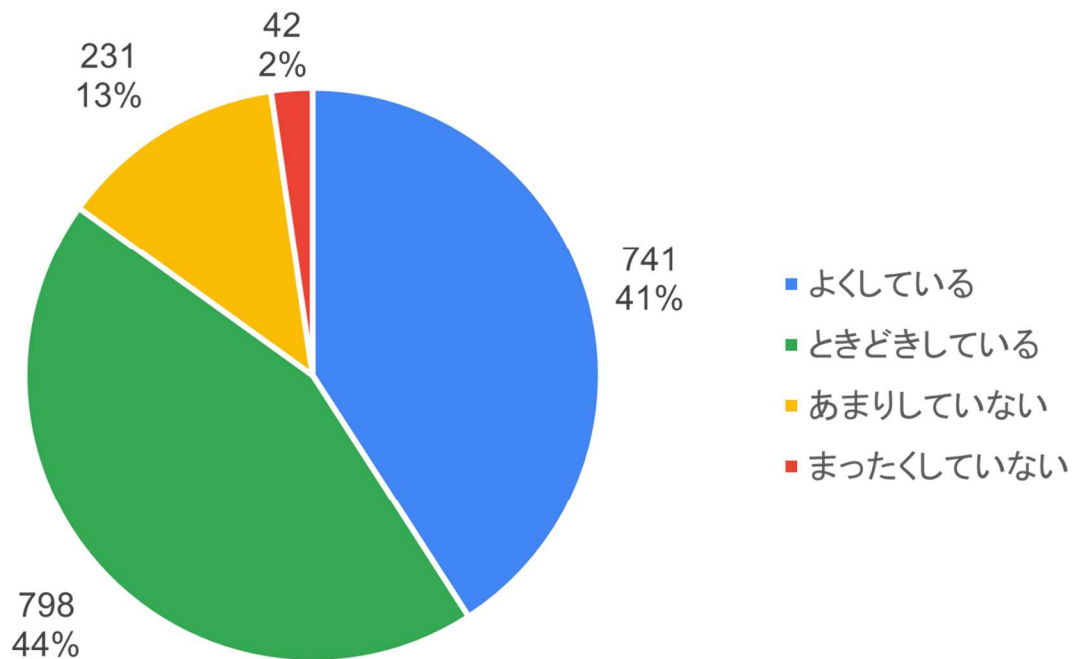


図4-2-25 どのくらい家族と一緒におでかけをしているかについて
(N= 1812) (人)

学習について

Q14 あなたは、塾や習いごとをしていますか

塾や習いごとをしているかについて「はい」と回答した人は、全体の58%（回答数1048）であった。

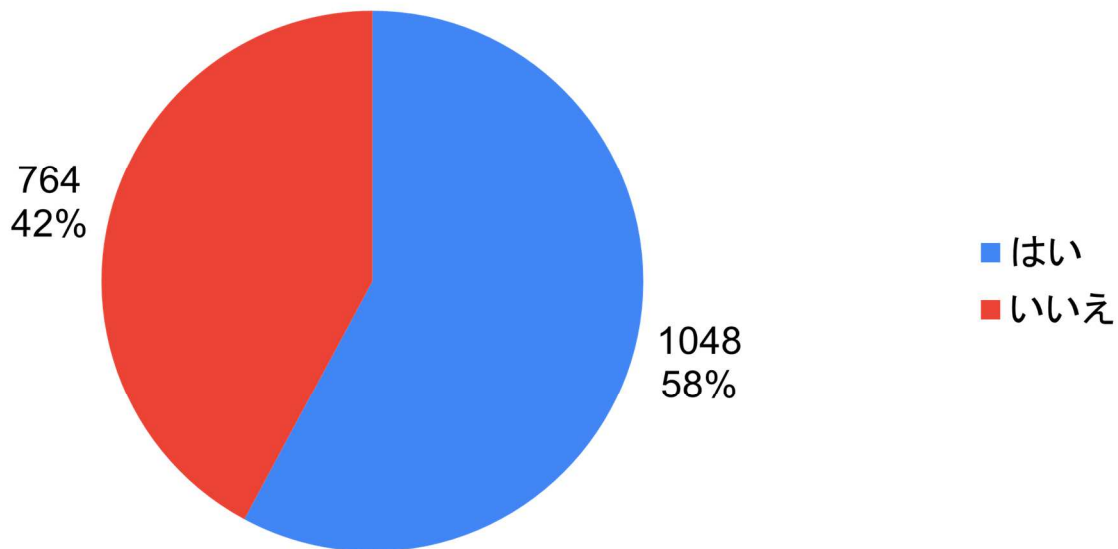


図4-2-26 塾や習いごとをしているかについて
(N= 1812) (人)

Q15塾や習いごとをしている人のみ
あなたは、週に何回、塾や習いごとに行っていますか

週に何回、塾や習いごとに行っているかについて、「週1回」と回答した人が最も多く、回答数281であった。続いて、「週2回」と回答した人が2番目に多く、回答数279であった。

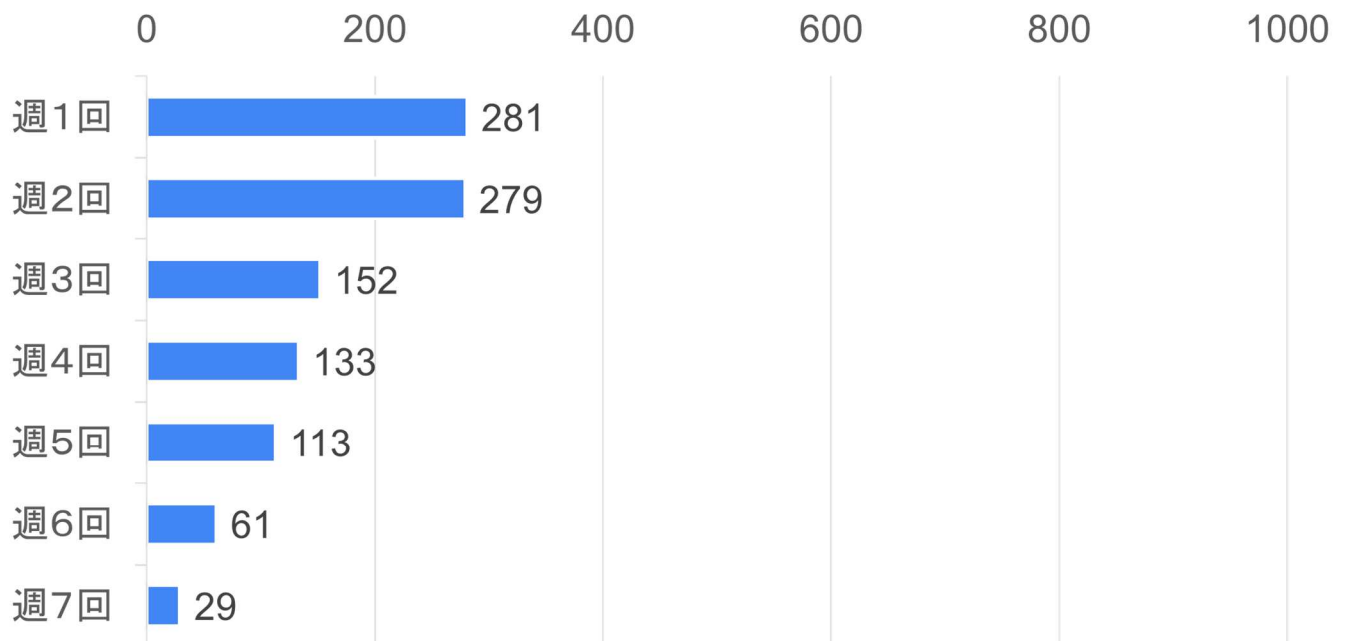


図4-2-27 週に何回、塾や習いごとに行っているかについて
(N= 1048) (人)

学校がある日の生活について

Q16 学校がある日はいつも何時ごろに起きますか

学校がある日はいつも何時ごろに起きるかについて、「6時～6時30分より前」と回答した人が最も多く、回答数641であった。続いて、「6時30分～7時より前」と回答した人が2番目に多く、回答数621であった。

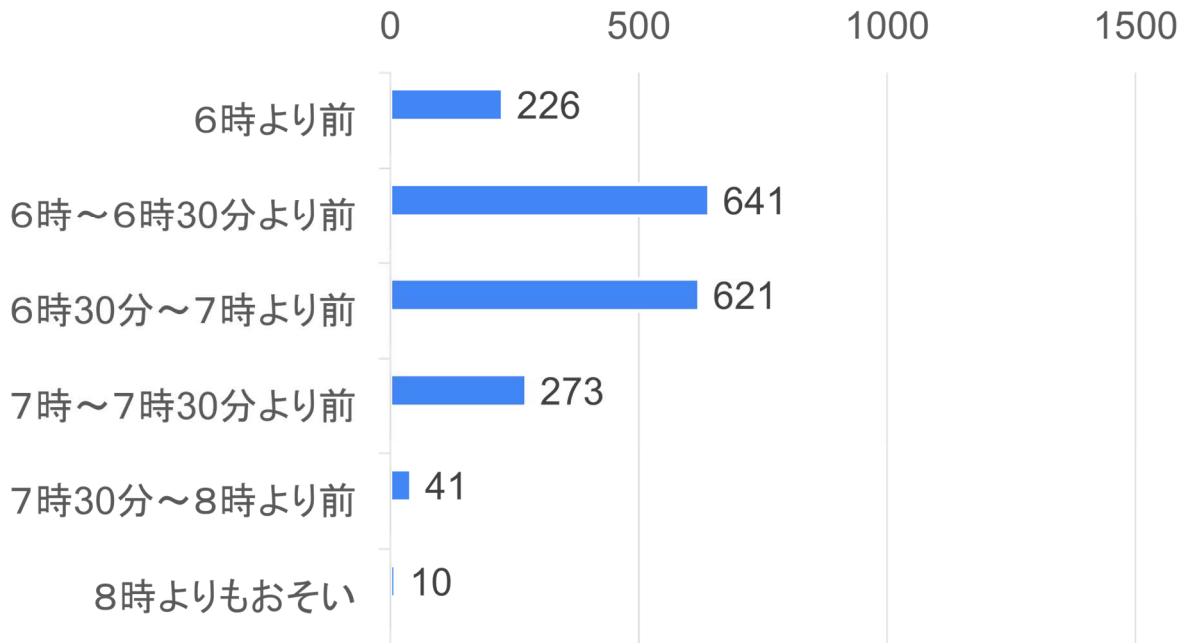


図4-2-28 学校がある日はいつも何時ごろに起きるかについて
(N= 1812) (人)

Q17 学校がある日はいつも何時ごろに寝ますか

学校がある日はいつも何時ごろに寝るかについて、「午後10時～午後11時より前」と回答した人が最も多く、回答数648であった。続いて、「午後9時～午後10時より前」と回答した人が2番目に多く、回答数597であった。

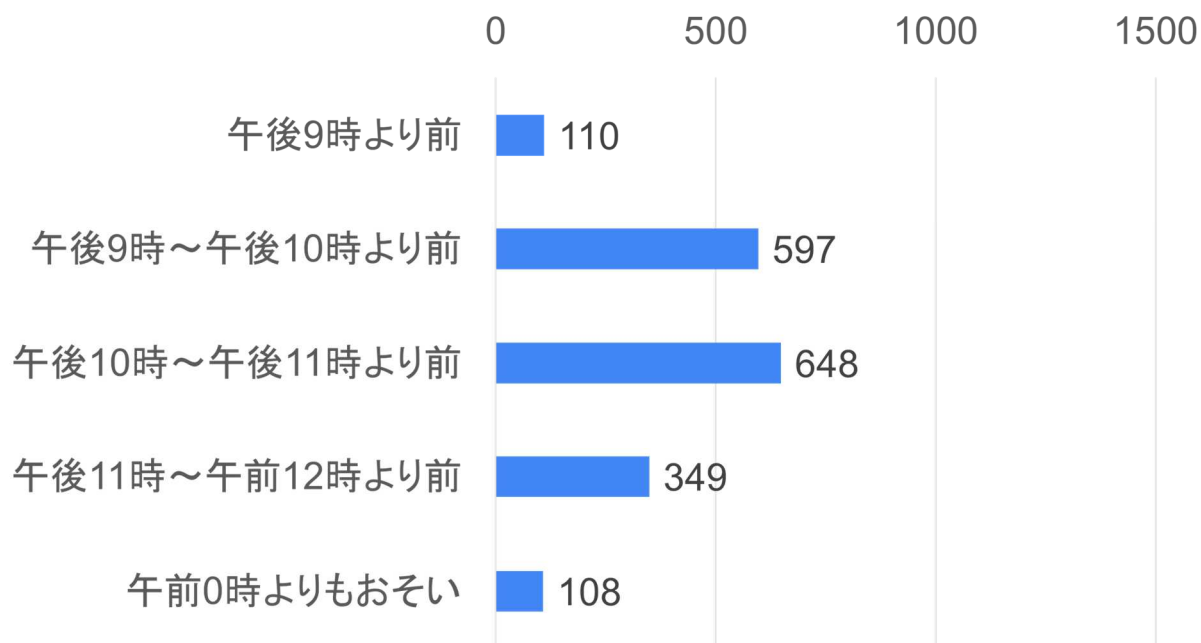


図4-2-29 学校がある日はいつも何時ごろに寝るかについて
(N= 1812) (人)

Q18 学校がある日は、1日に何時間くらい寝ていますか
(じゅぎょう中のいねむりは入りません)

学校がある日は、1日に何時間くらい寝ているかについて、「8時間くらい」と回答した人が最も多く、回答数631であった。続いて、「7時間くらい」と回答した人が2番目に多く、回答数482であった。

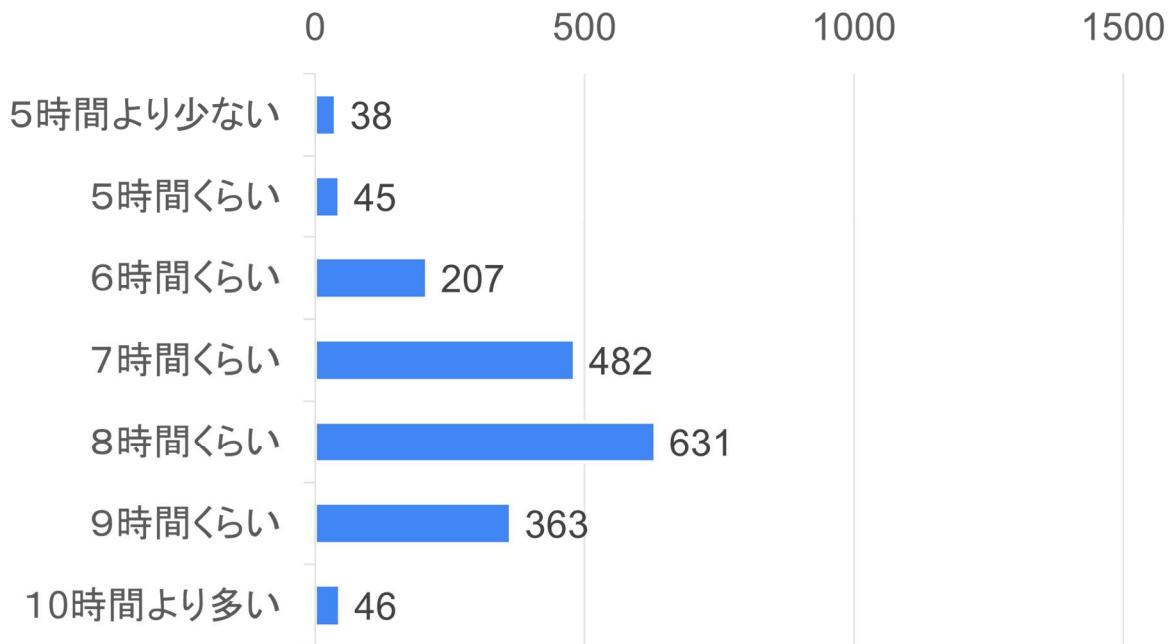


図4-2-30 学校がある日は、1日に何時間くらい寝ているかについて
(N= 1812) (人)

Q19 学校がある日はいつも何時ごろに家に帰ってきますか

学校がある日はいつも何時ごろに家に帰ってるかについて、「午前6時ごろ」と回答した人が最も多く、回答数644であった。続いて、「午後4時ごろ」と回答した人が2番目に多く、回答数459であった。

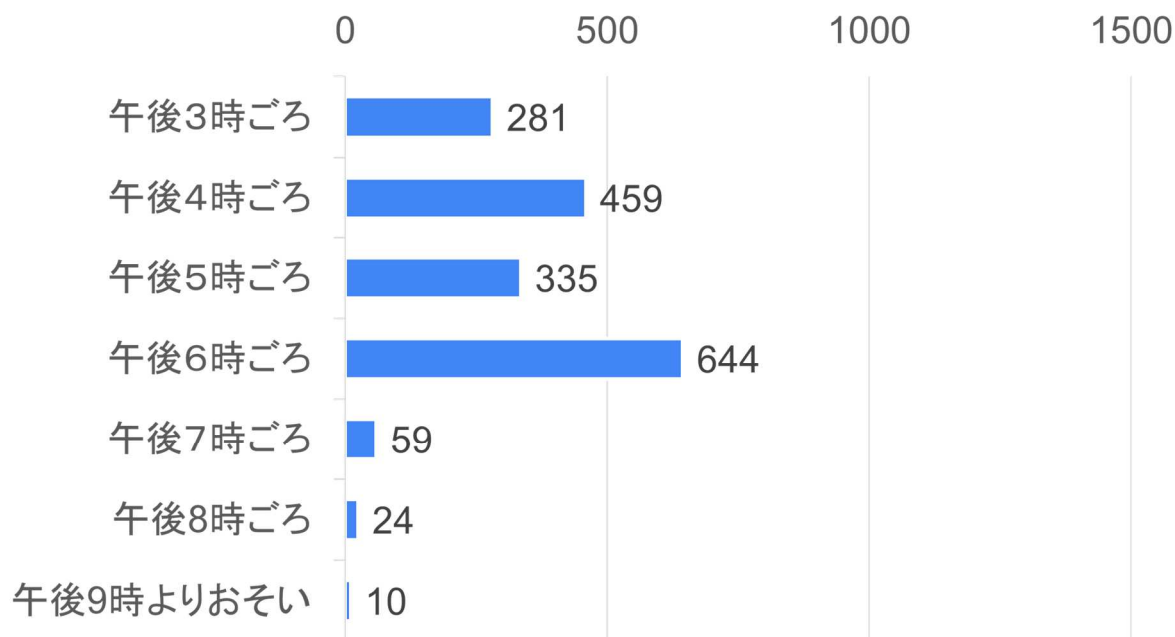


図4-2-31 学校がある日はいつも何時ごろに家に帰ってるかについて
(N= 1812) (人)

Q20 学校がある日、何時間くらい勉強しますか
(ただし、学校の授業の時間を除きます)

学校がある日、何時間くらい勉強するかについて、「30分～1時間より少ない」と回答した人が最も多く、回答数548であった。続いて、「1時間～2時間より少ない」と回答した人が2番目に多く、回答数524であった。

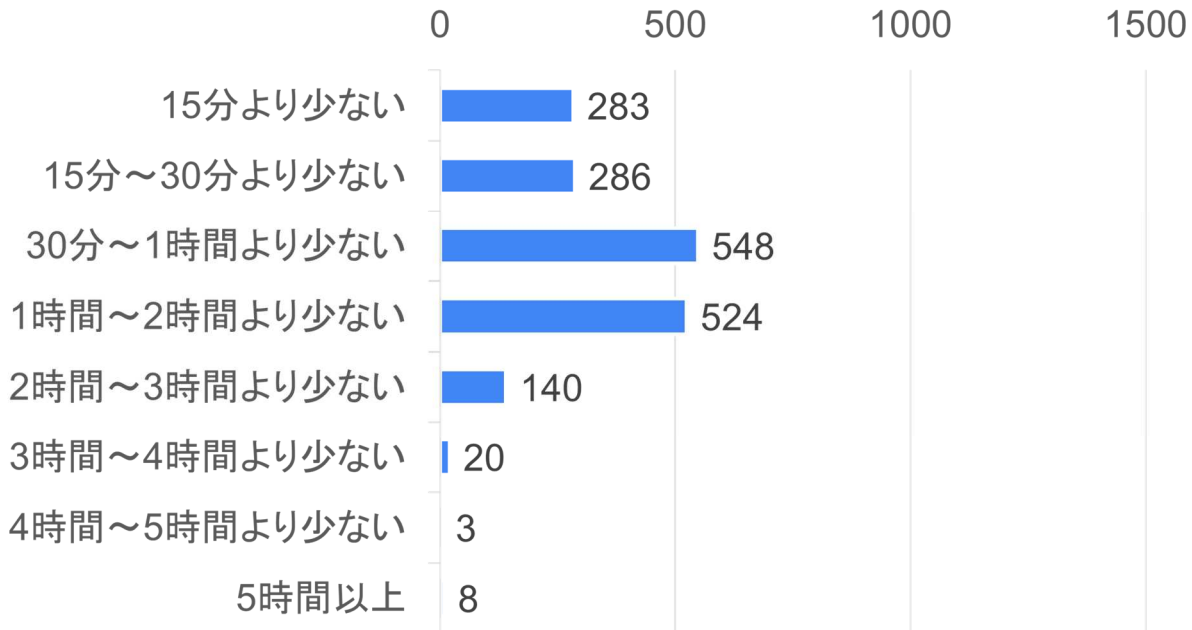


図4-2-32学校がある日、何時間くらい勉強するかについて
(N= 1812) (人)

Q21 学校がある日は、家族とどのくらい一緒にテレビを見たり、遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしていますか

学校がある日は、家族とどのくらい一緒にテレビを見たり、遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしているかについて、「1時間～2時間より少ない」と回答した人が最も多く、回答数556であった。続いて、「1時間より少ない」と回答した人が2番目に多く、回答数427であった。

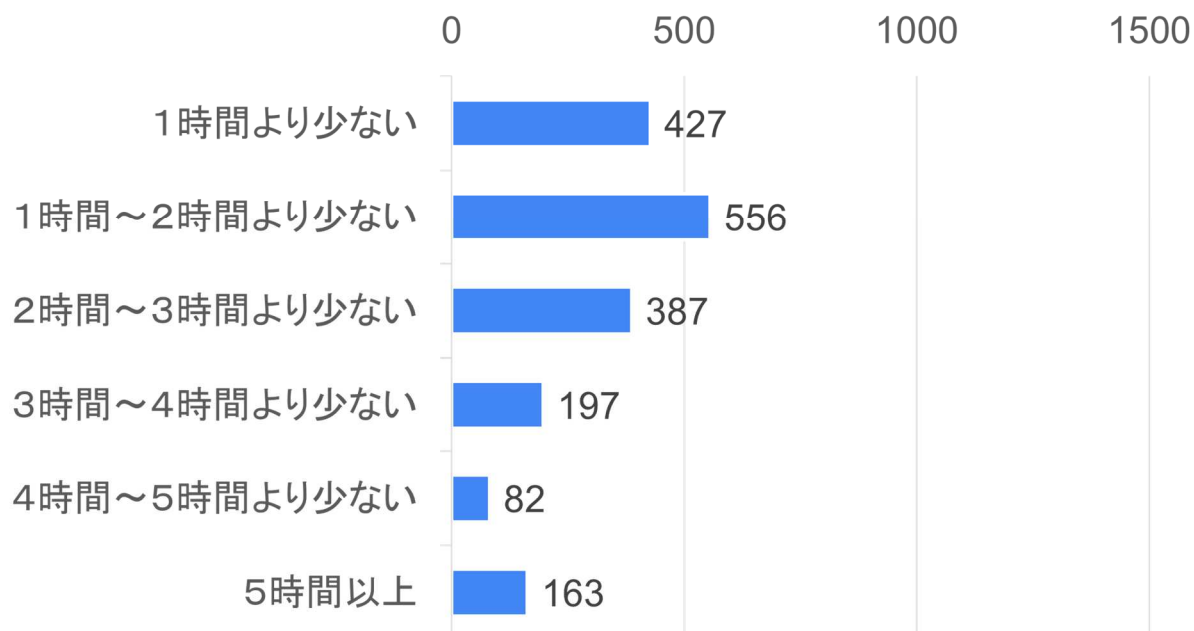


図4-2-33 学校がある日は、家族とどのくらい一緒にテレビを見たり、遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしているかについて
(N= 1812) (人)

Q22 学校がある日のほうかごは、先生や友だちとどのくらい直接会って遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしていますか

学校がある日のほうかごは、先生や友だちとどのくらい直接会って遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしているかについて、「1時間より少ない」と回答した人が最も多く、回答数819であった。

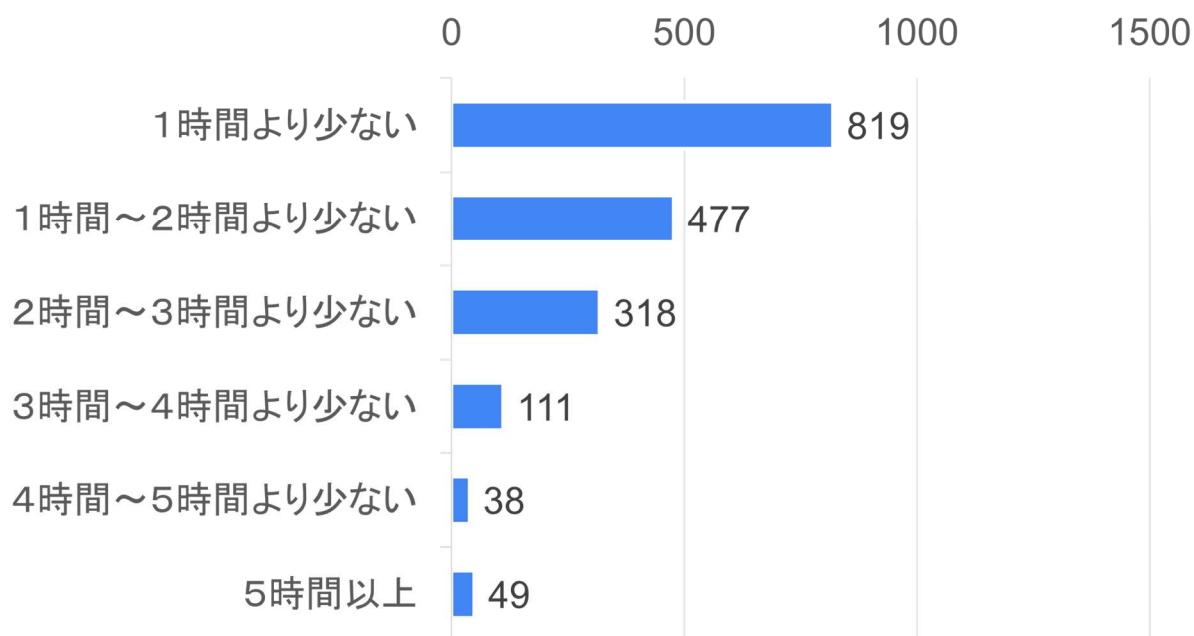


図4-2-34 学校がある日のほうかごは、先生や友だちとどのくらい直接会って遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしているかについて

(N= 1812) (人)

学校が休みの日の生活について

Q23 学校が休みの日はいつも何時ごろに起きますか

学校が休みの日はいつも何時ごろに起きるかについて、「8時よりもおそい」と回答した人が最も多く、回答数488であった。続いて、「7時30分～8時より前」と回答した人が2番目に多く、回答数356であった。

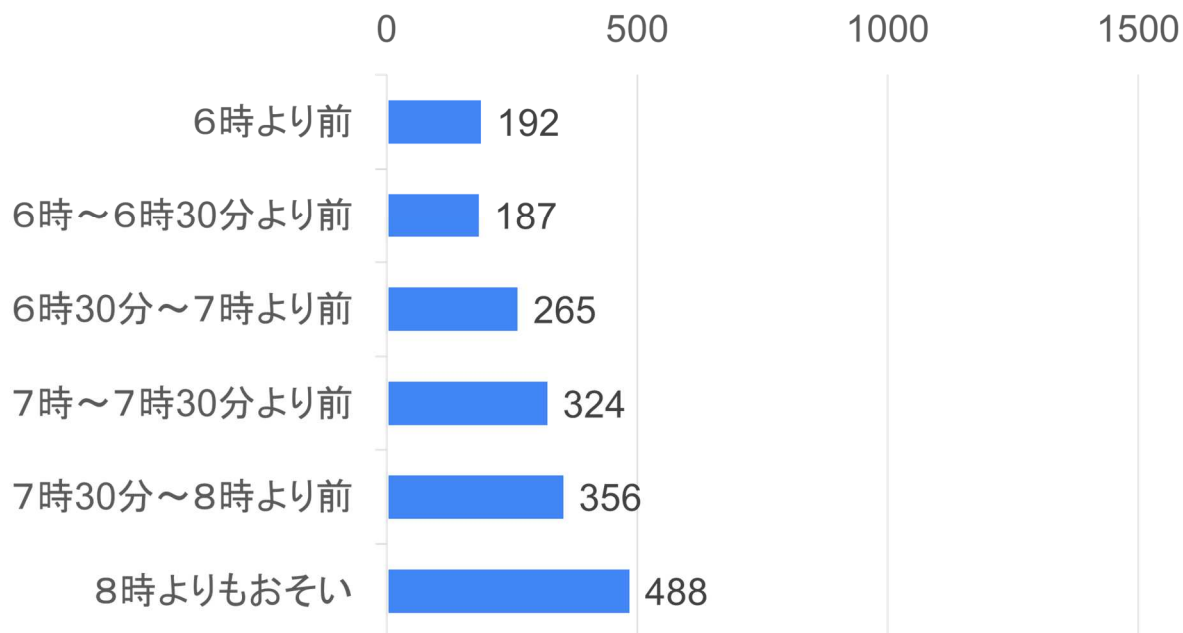


図4-2-35 学校が休みの日はいつも何時ごろに起きるかについて
(N= 1812) (人)

Q24 学校が休みの日はいつも何時ごろに寝ますか

学校が休みの日はいつも何時ごろに寝るかについて、「午後10時～午後11時より前」と回答した人が最も多く、回答数559であった。続いて、「午後11時～午前12時より前」と回答した人が2番目に多く、回答数495であった。

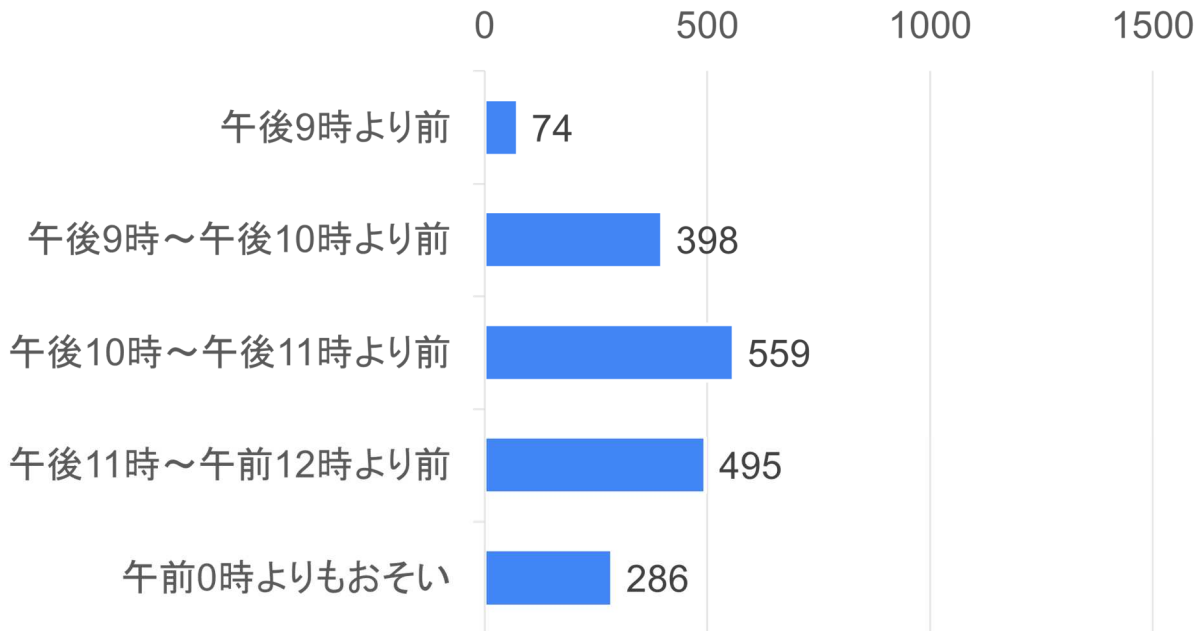


図4-2-36 学校が休みの日はいつも何時ごろに寝るかについて
(N= 1812) (人)

Q25 学校が休みの日は、1日に何時間くらい寝ていますか

学校が休みの日は、1日に何時間くらい寝ているかについて、「9時間くらい」と回答した人が最も多く、回答数534であった。続いて、「8時間くらい」と回答した人が2番目に多く、回答数524であった。

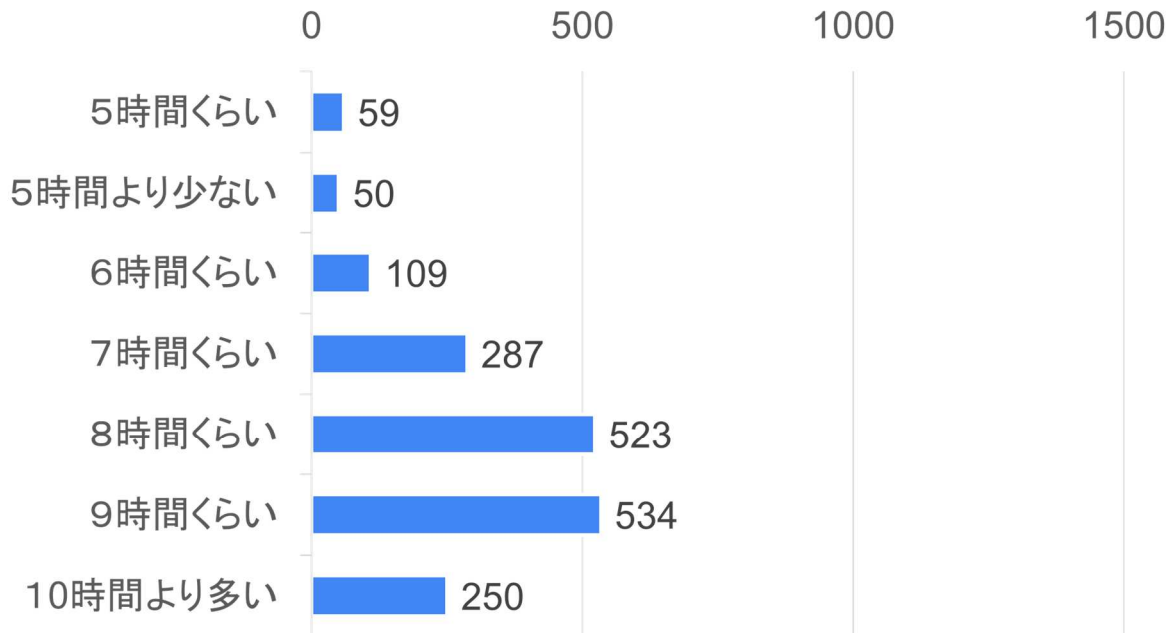


図4-2-37 学校が休みの日は、1日に何時間くらい寝ているかについて
(N= 1812) (人)

Q26 学校が休みの日はいつも何時ごろに家に帰ってきますか

学校が休みの日はいつも何時ごろに家に帰ってるかについて、「1日中家から出ない」と回答した人が最も多く、回答数551であった。続いて、「午後3時より前」と回答した人が2番目に多く、回答数268であった。

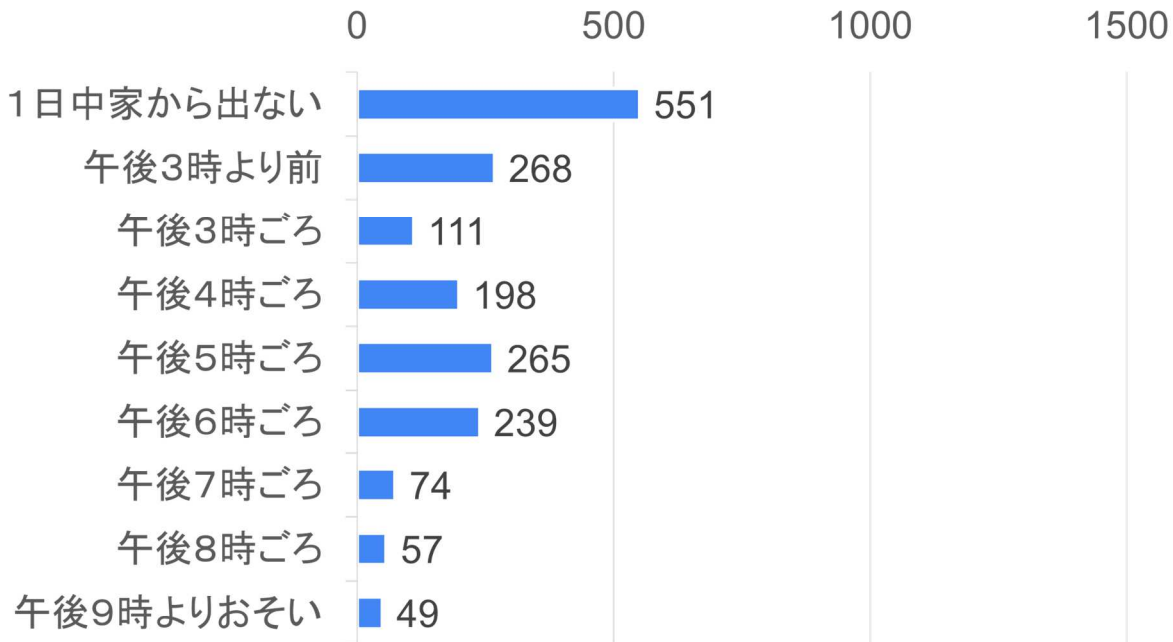


図4-2-38 学校が休みの日はいつも何時ごろに家に帰ってるかについて
(N= 1812) (人)

Q27 学校が休みの日、何時間くらい勉強しますか

学校が休みの日、何時間くらい勉強するかについて、「15分より少ない」と回答した人が最も多く、回答数424であった。続いて、「30分～1時間より少ない」と回答した人が2番目に多く、回答数404であった。

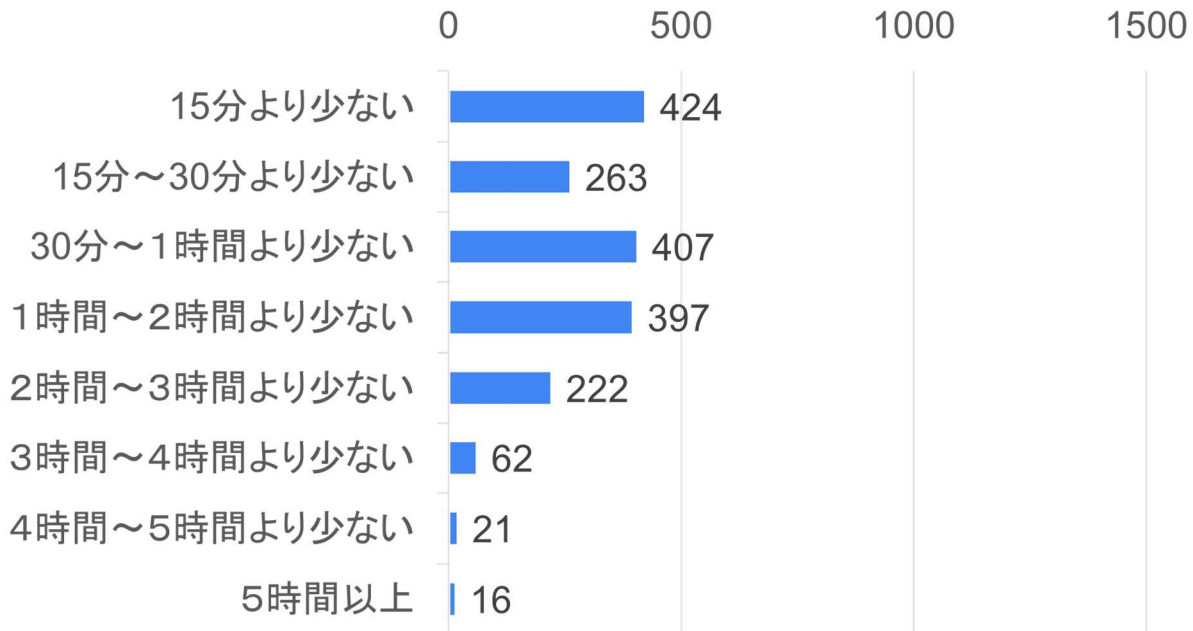


図4-2-39 学校が休みの日、何時間くらい勉強するかについて
(N= 1812) (人)

Q28 学校が休みの日は、家族とどのくらい一緒にテレビを見たり、遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしていますか

学校が休みの日は、家族とどのくらい一緒にテレビを見たり、遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしているかについて、「2時間～3時間より少ない」と回答した人が最も多く、回答数384であった。続いて、「1時間～2時間より少ない」と回答した人が2番目に多く、回答数380であった。

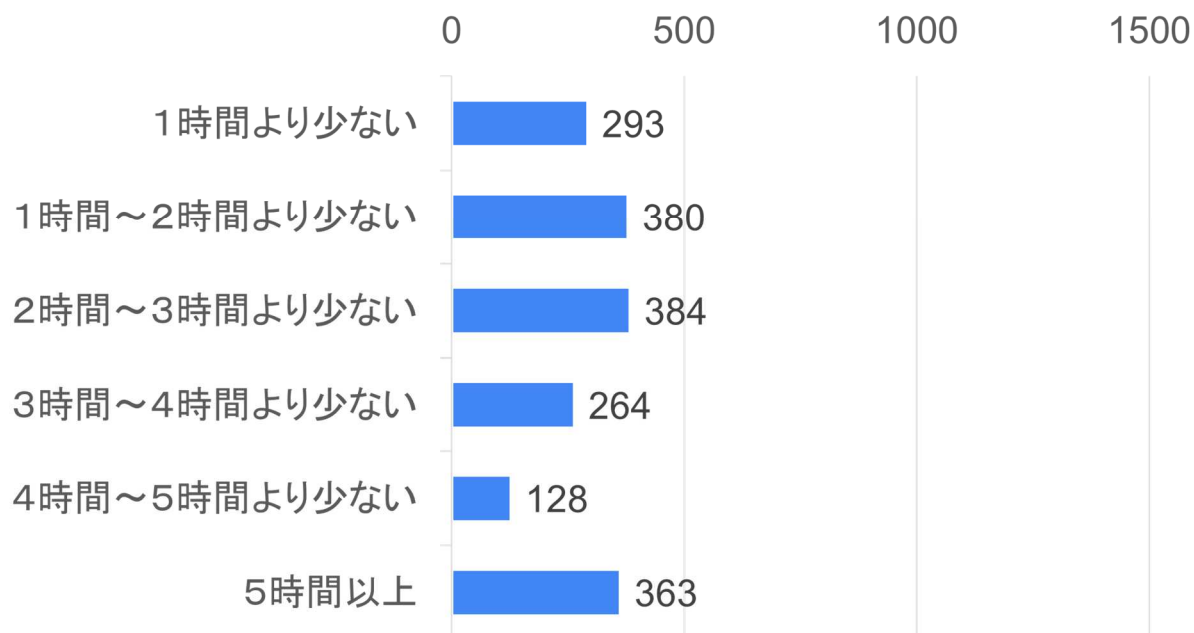


図4-2-40 学校が休みの日は、家族とどのくらい一緒にテレビを見たり、遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしているかについて
(N= 1812) (人)

Q29 学校が休みの日は、友だちや家族以外の人とどのくらい直接会って遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしていますか

学校が休みの日は、友だちや家族以外の人とどのくらい直接会って遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしているかについて、「1時間より少ない」と回答した人が最も多く、回答数791であった。

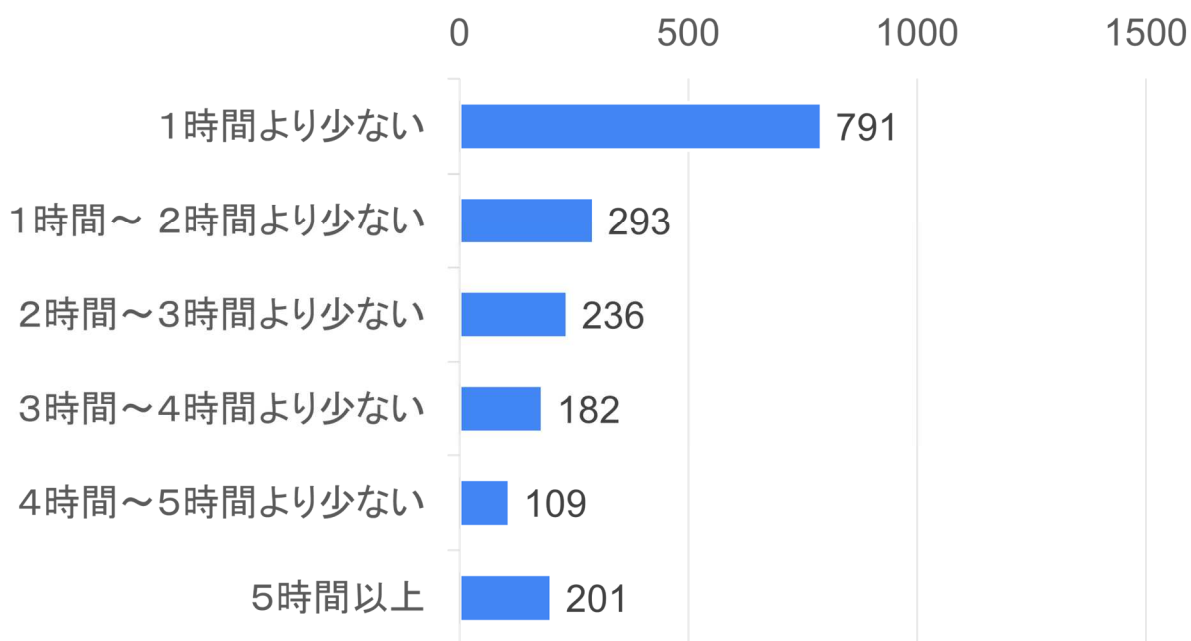


図4-2-41 学校が休みの日は、友だちや家族以外の人とどのくらい直接会って遊んだり、話をしたりして一緒に過ごしているか
(N= 1812) (人)

③困りごとや意識について

家での自分について

Q30 家の中に落ち着いて本を読む場所や勉強できる場所がある

家の中に落ち着いて本を読む場所や勉強できる場所があるかについて、「たくさんある」「少しある」と回答した人は、全体の78%(回答数1406)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「たくさんある」「少しある」と回答した人は、それぞれ90%(回答数273)、93%(回答数176)であった。

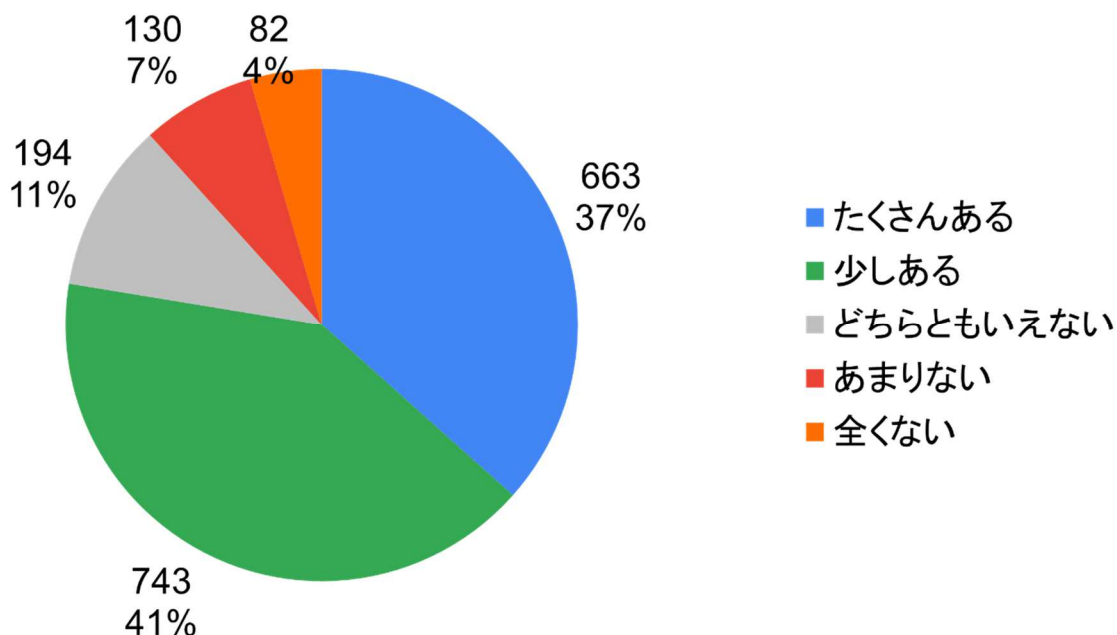


図4-2-42 家の中に落ち着いて本を読む場所や勉強できる場所があるかについて

全体(N= 1812) (人)

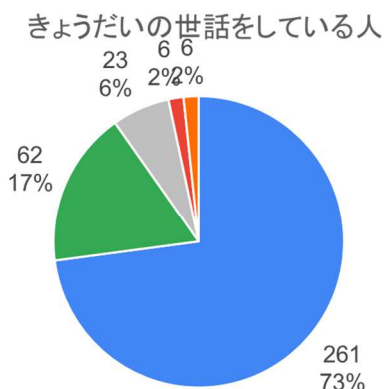


図4-2-43家の中に落ち着いて本を読む場所や勉強できる場所があるかについて

きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

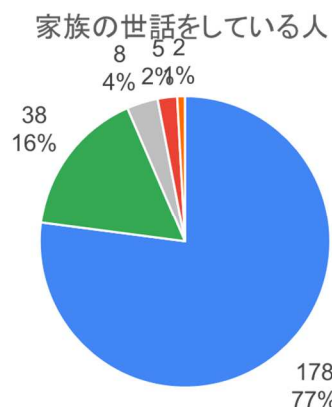


図4-2-44家の中に落ち着いて本を読む場所や勉強できる場所があるかについて

家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q31 家にいると、安心して落ち着くことができる

家にいると、安心して落ち着くことができるかについて、「とてもできる」「まあまあできる」と回答した人は、全体の90%(回答数1648)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそうできる」「まあまあできる」と回答した人は、それぞれ90%(回答数32)、93%(回答数216)であった。

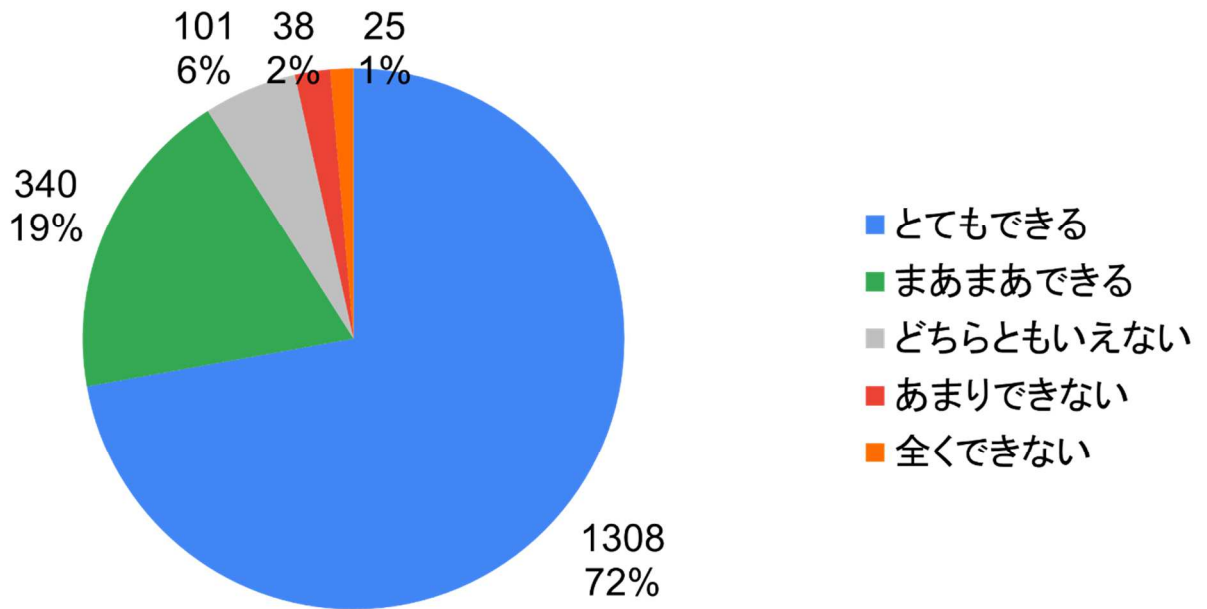


図4-2-45 家にいると、安心して落ち着くことができるかについて
全体(N= 1812) (人)

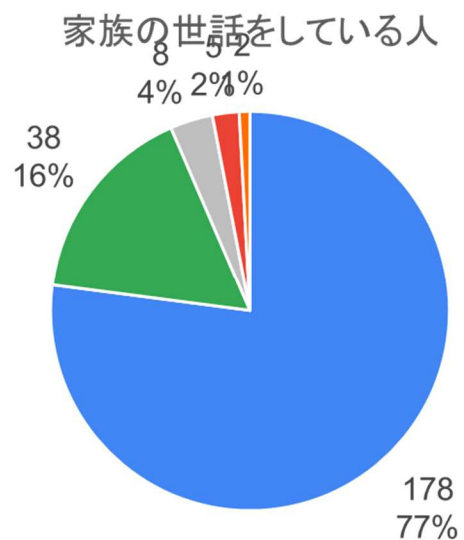
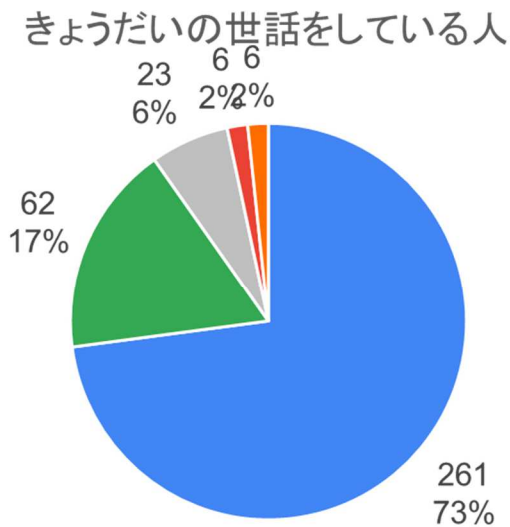


図4-2-46家にいると、安心して落ち着くことができるかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

図4-2-47家にいると、安心して落ち着くことができるかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q32 集中できることや趣味がある

集中できることや趣味があるかについて、「よくあてはまる」「まあまああてはまる」と回答した人は、全体の92%(回答数1659)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「よくあてはまる」「まあまああてはまる」と回答した人は、それぞれ94%(回答数334)、96%(回答数222)であった。

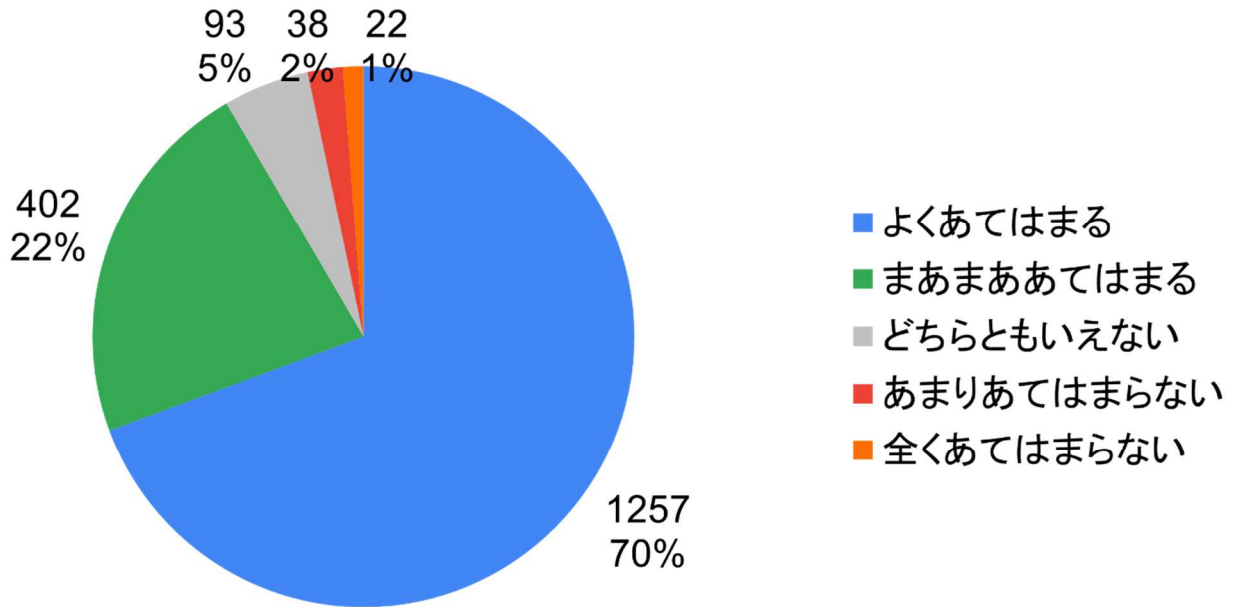


図4-2-48 集中できることや趣味があるかについて
全体(N= 1812) (人)

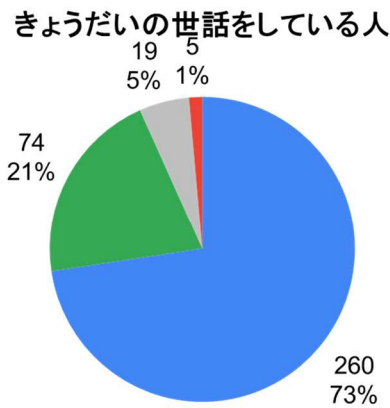


図4-2-49

集中できることや趣味があるかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

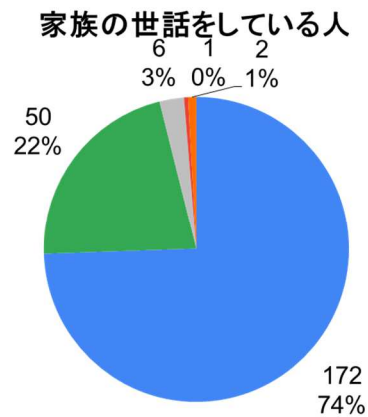


図4-2-50

集中できることや趣味があるかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q33 親など家族に悩みや相談ごとを話すことができる

親など家族に悩みや相談ごとを話すことができるかについて、「とてもできる」「まあまあできる」と回答した人は、全体の85%(回答数1361)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもできる」「まあまあできる」と回答した人は、それぞれ78%（回答数278）、77%(回答数177)であった。

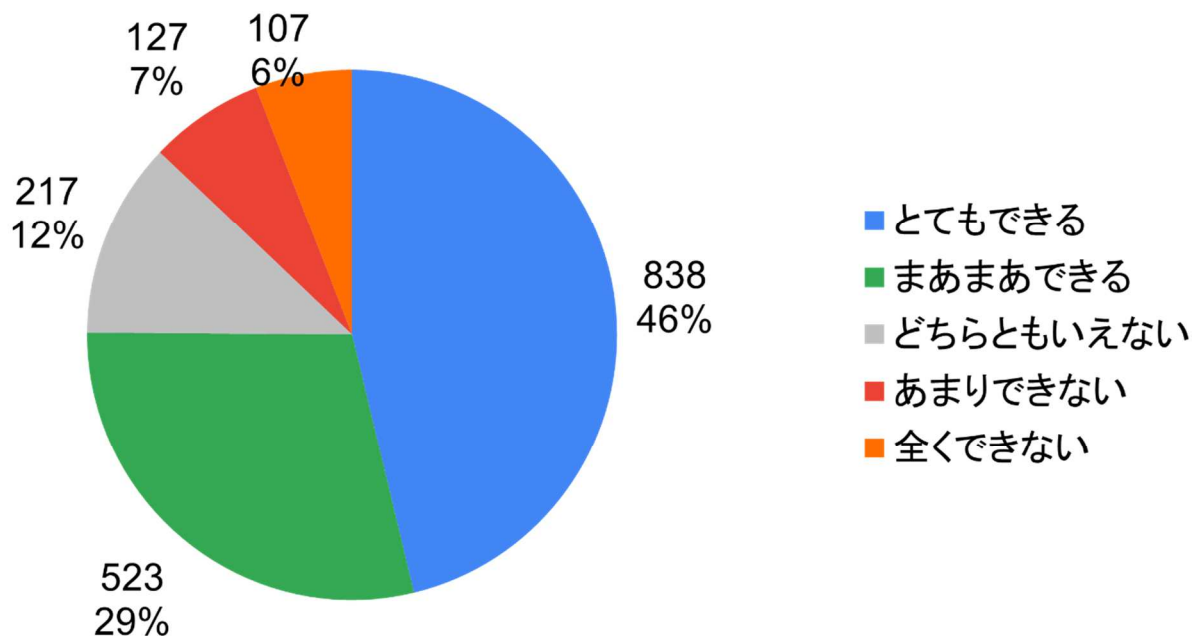


図4-2-51 親など家族に悩みや相談ごとを話すことができるかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

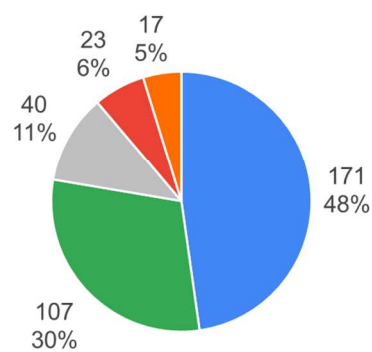


図4-2-52 親など家族に悩みや相談ごとを
話すことができるかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

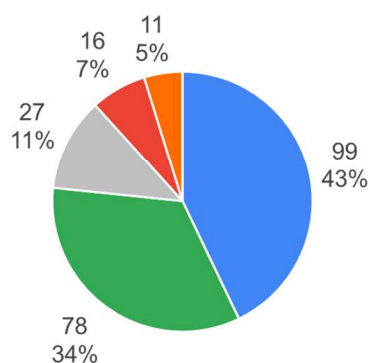


図4-2-53 親など家族に悩みや相談ごとを
話すことができるかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

学校での自分について

Q34 学校の勉強がよく分かる

学校の勉強がよく分かるかについて、「よく分かる」「まあまあ分かる」と回答した人は、全体の82%(回答数1474)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「よく分かる」「まあまあ分かる」と回答した人は、それぞれ81%(回答数291)、82%(回答数190)であった。

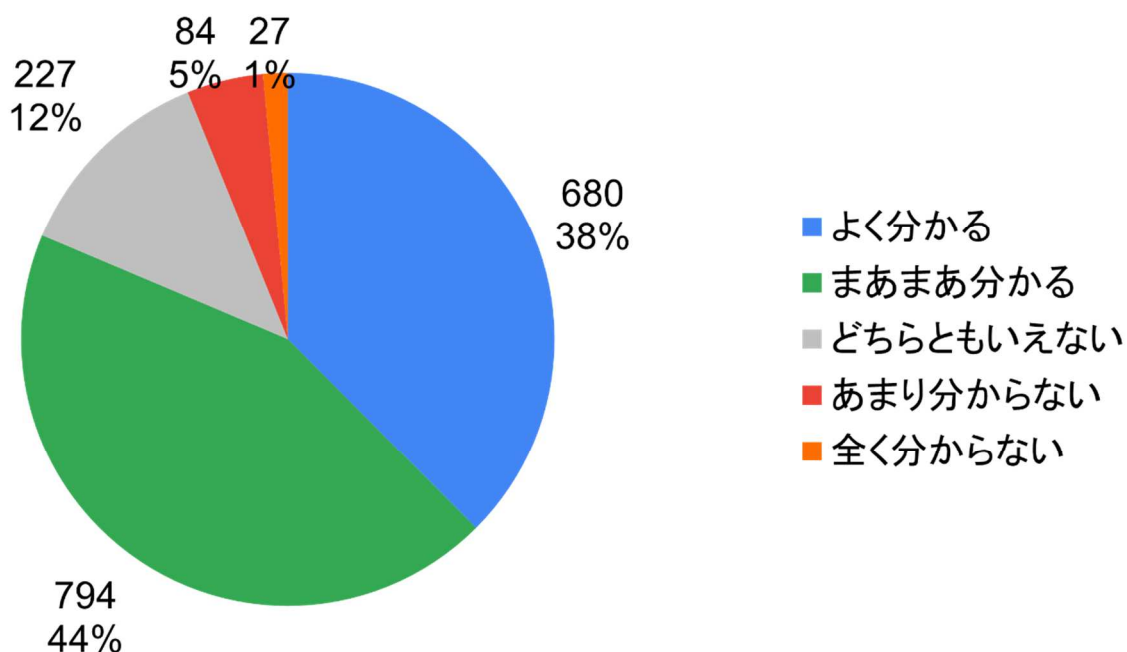


図4-2-54 学校の勉強がよく分かるかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

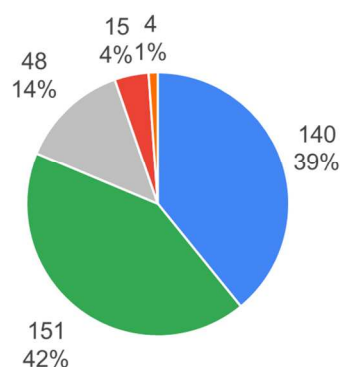


図4-2-55 学校の勉強がよく分かるかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

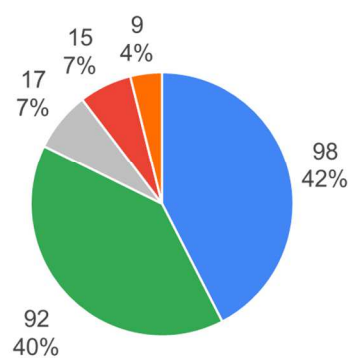


図4-2-56 学校の勉強がよく分かるかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q35 学校が楽しい

学校が楽しいかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の83%(回答数1506)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ82%(回答数294)、89%(回答数206)であった。

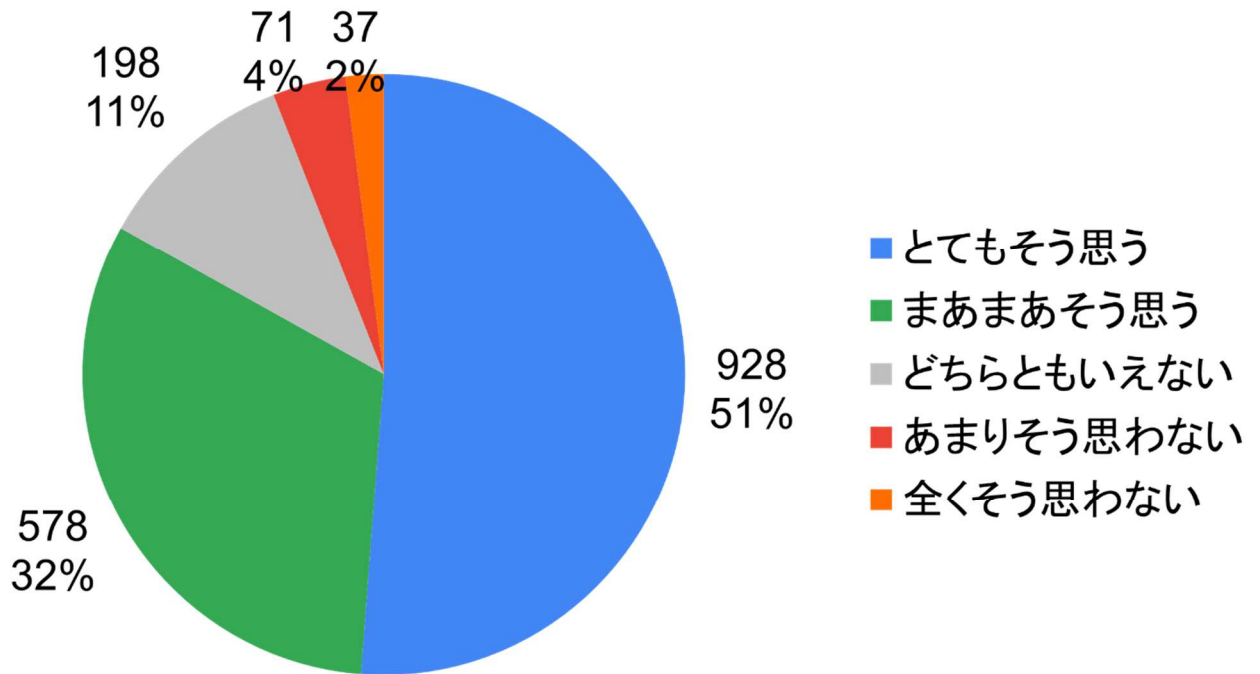


図4-2-57 学校が楽しいかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

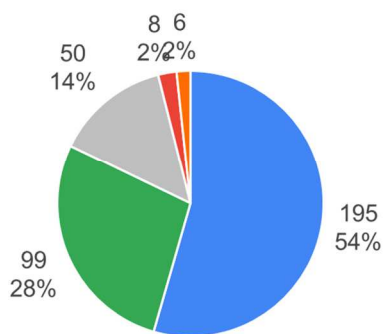


図4-2-58 学校が楽しいかについて

きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

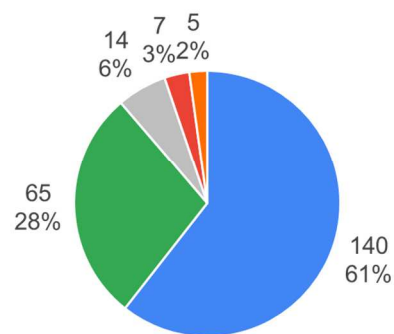


図4-2-59 学校が楽しいかについて

家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q36 先生などの親以外の大人に悩みや相談ごとを話すことができる

先生などの親以外の大人に悩みや相談ごとを話すことができるかについて、「とてもそうできる」「まあまあできる」と回答した人は、全体の59%(回答数1058)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそうできる」「まあまあできる」と回答した人は、それぞれ61% (回答数219) 、61%(回答数142)であった。

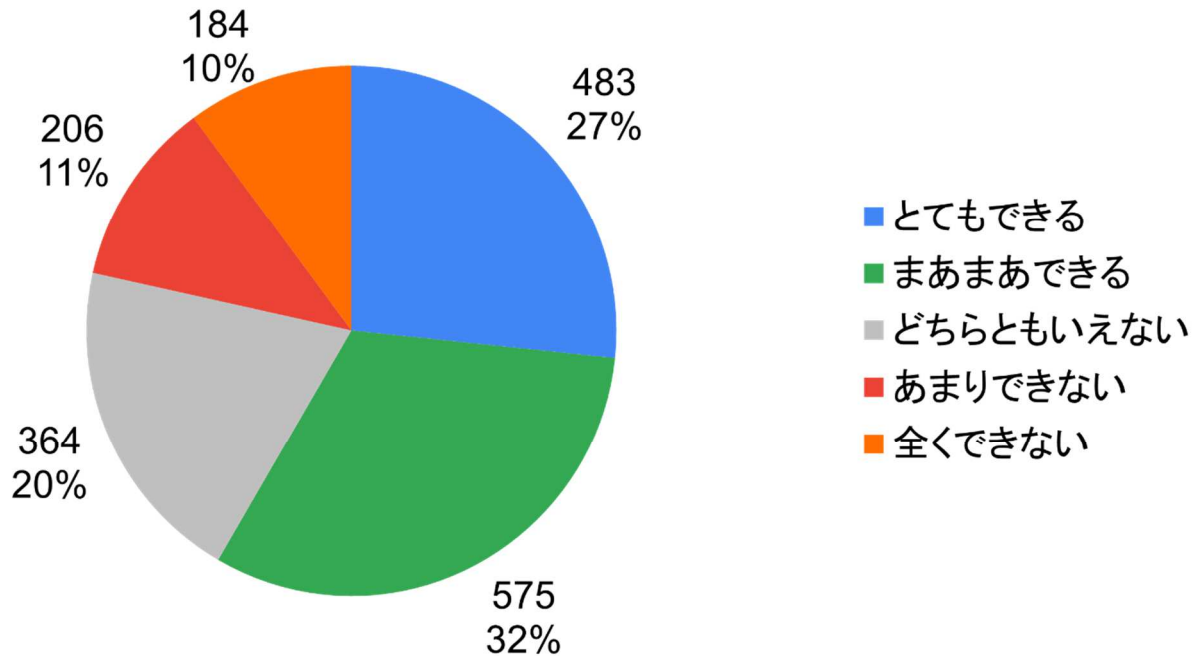


図4-2-60 先生などの親以外の大人に悩みや相談ごとを話すことができるかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

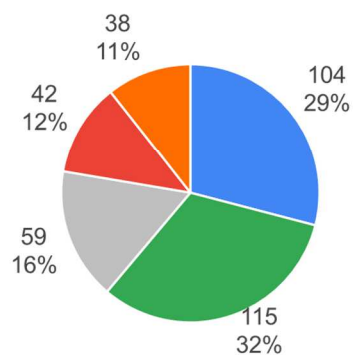


図4-2-61 先生などの親以外の大人に
悩みや相談ごとを話すことができるかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

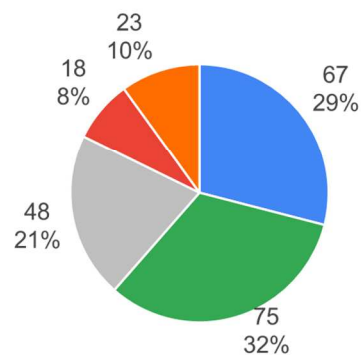


図4-2-62 先生などの親以外の大人に
悩みや相談ごとを話すことができるかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q37 今の自分が好きであると思う

今の自分が好きであると思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の61%(回答数1106)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ67%(回答数238)、73%(回答数168)であった。

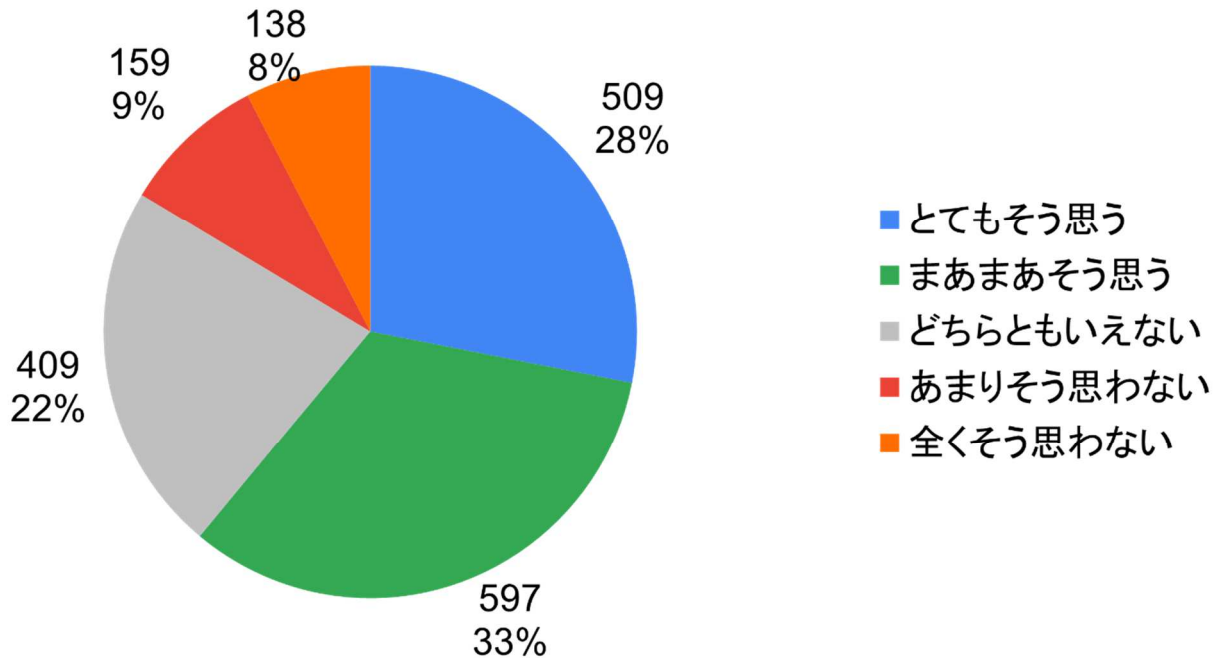


図4-2-63 今の自分が好きであると思うかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

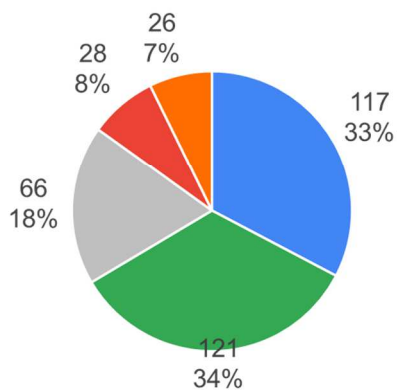


図4-2-64

今の自分が好きであると思うかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

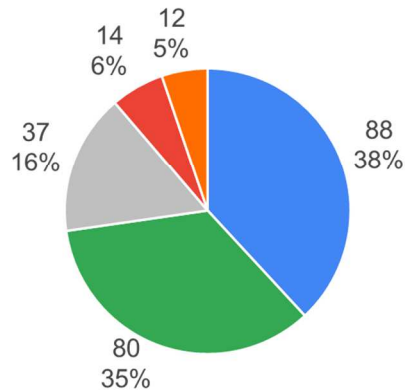


図4-2-65

今の自分が好きであると思うかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q38 自分には自分らしさがあると思う

自分には自分らしさがあると思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の78%(回答数1418)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ83% (回答数299) 、94%(回答数194)であった。

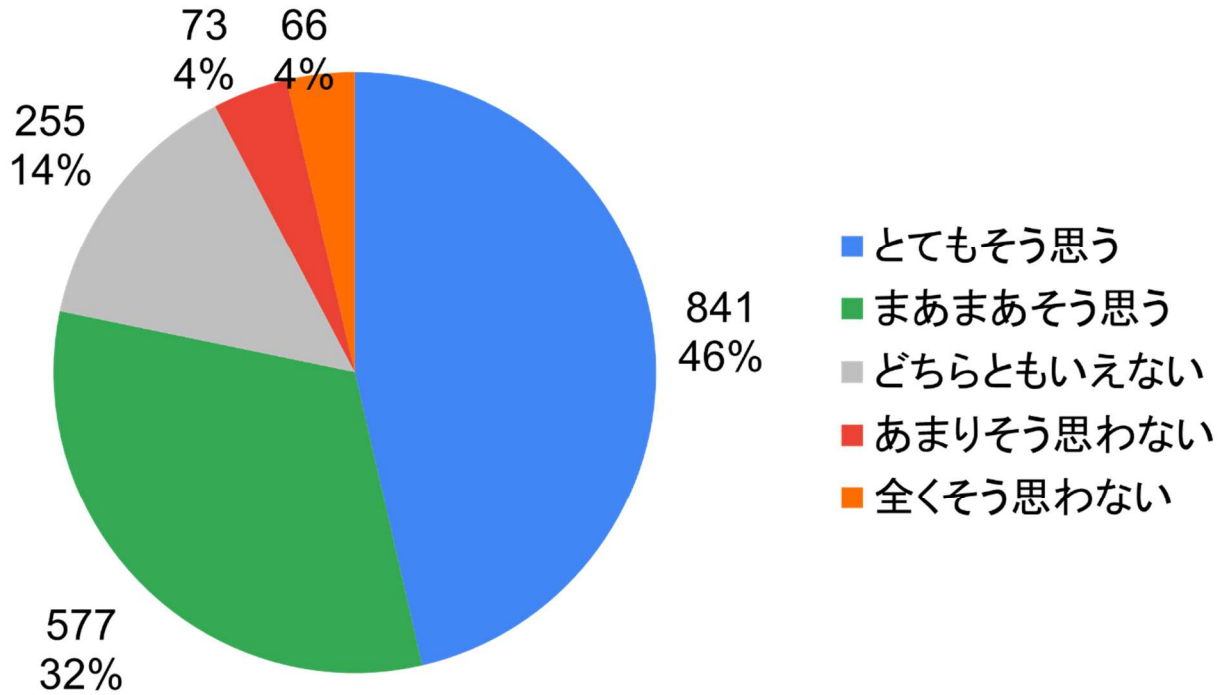


図4-2-66 自分には自分らしさがあると思うかについて
全体(N= 1812) (人)

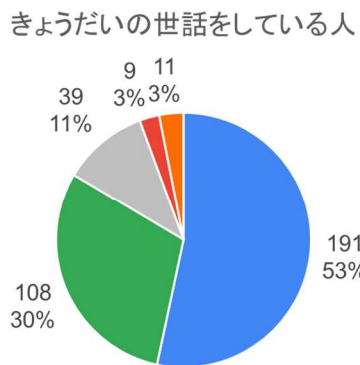


図4-2-67

自分には自分らしさがあると思うかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

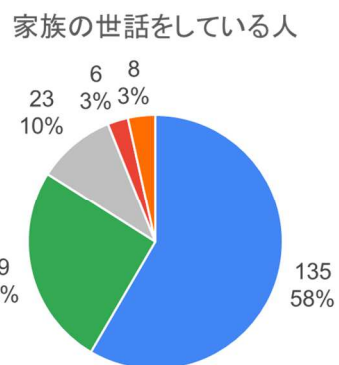


図4-2-68

自分には自分らしさがあると思うかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q39 自分の将来は明るいと思う

自分の将来は明るいと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の66%(回答数1192)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ72%(回答数259)、76%(回答数175)であった。

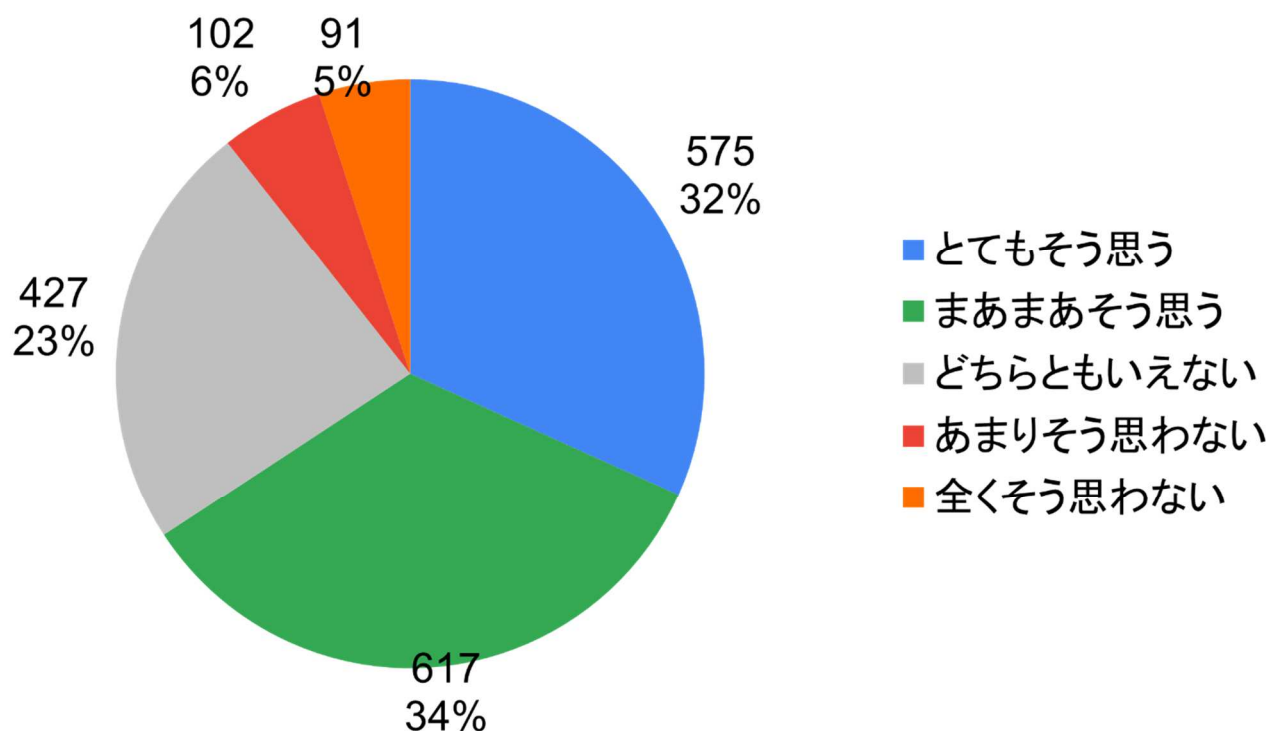


図4-2-69 自分の将来は明るいと思うかについて

全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

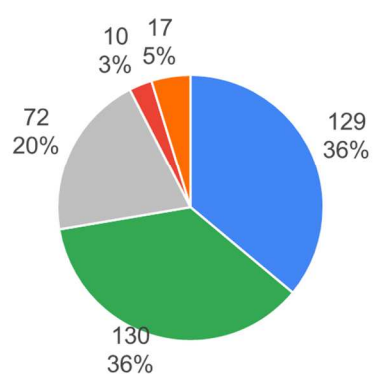


図4-2-70

自分の将来は明るいと思うかについて

きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

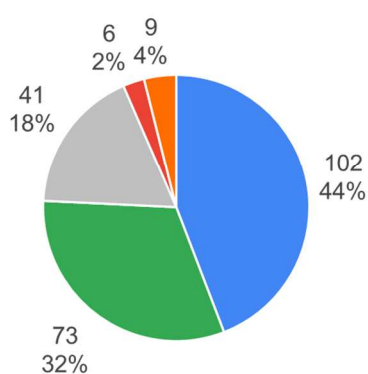


図4-2-71

自分の将来は明るいと思うかについて

家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q40 将来、出産・子育てをしたいと思う

将来、出産・子育てをしたいと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の54%(回答数990)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ66% (回答数233) 、64%(回答数147)であった。

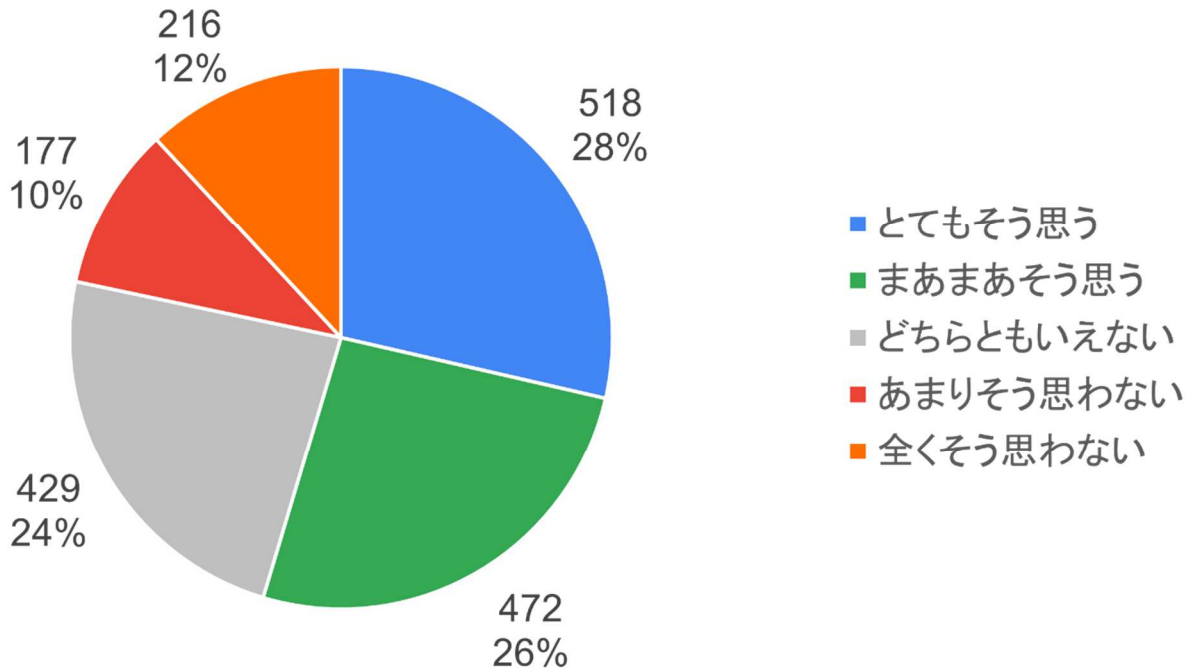


図4-2-72 将来、出産・子育てをしたいと思うかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

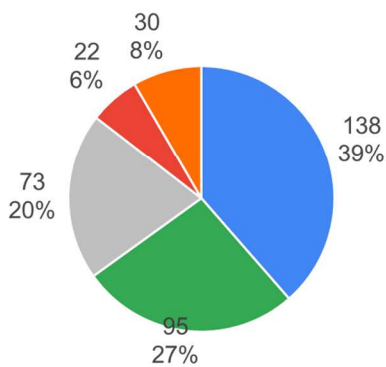


図4-2-73

将来、出産・子育てをしたいと思うかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

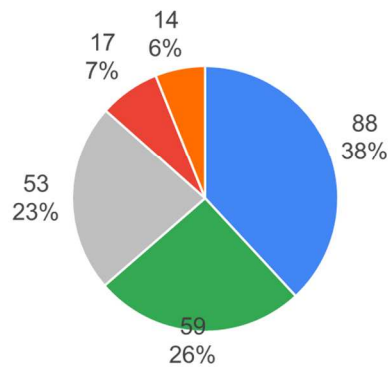


図4-2-74

将来、出産・子育てをしたいと思うかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q41 自分は人から愛されていると感じる

自分は人から愛されていると感じるかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の61%(回答数1103)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ62% (回答数223) 、63%(回答数145)であった。

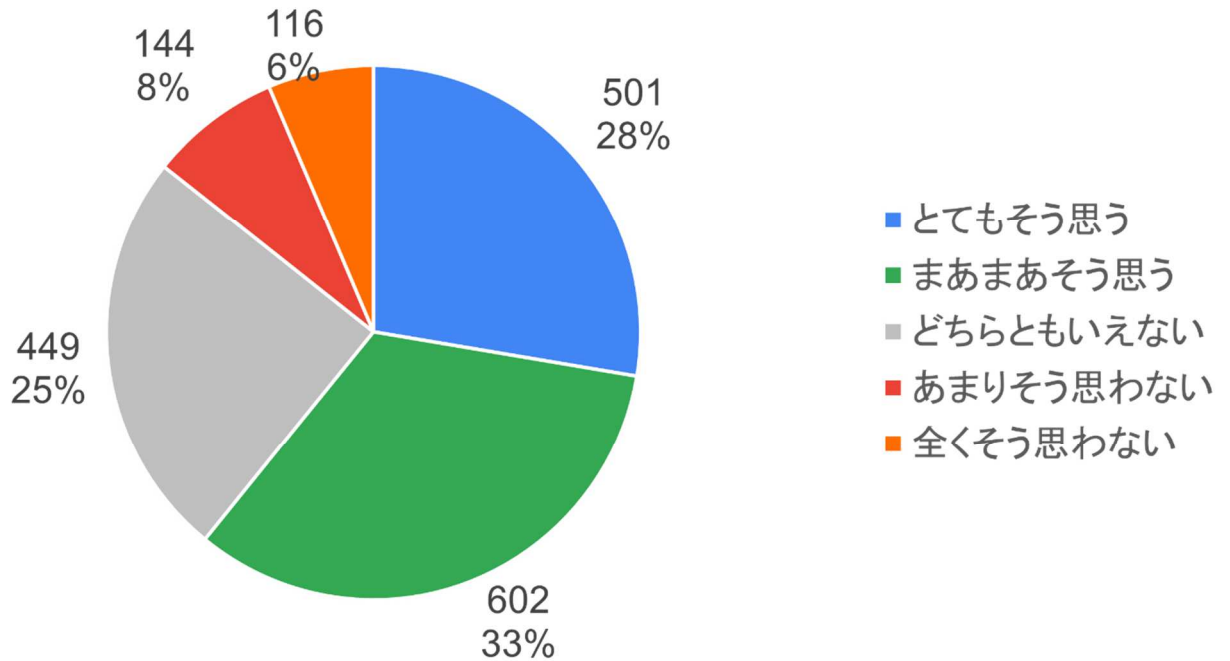


図4-2-75 自分は人から愛されていると感じるかについて
全体(N= 1812) (人)

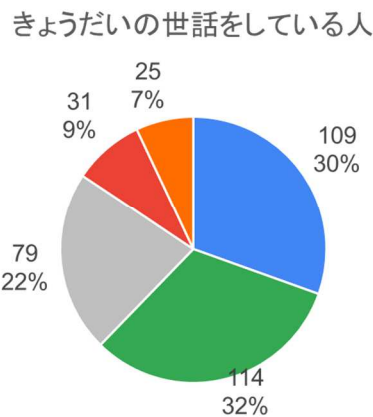


図4-2-76

自分は人から愛されていると感じるかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

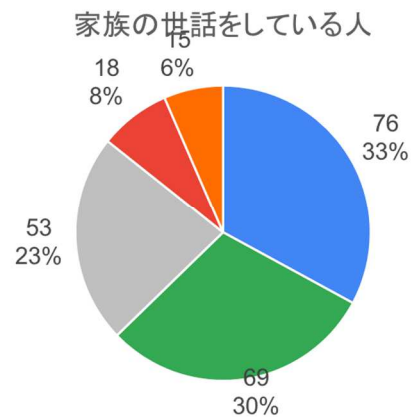


図4-2-77

自分は人から愛されていると感じるかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q42 とても幸せと感じるときがある

とても幸せと感じるときがあるかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の89%(回答数1608)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ89%(回答数395)、92%(回答数212)であった。

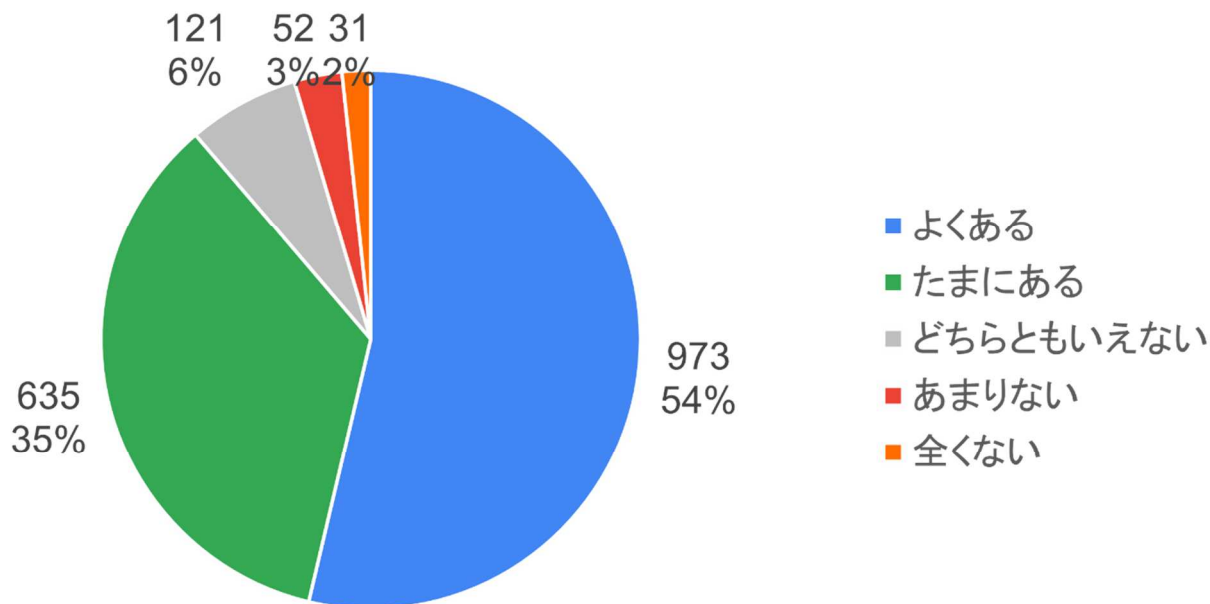


図4-2-78 とても幸せと感じるときがあるかについて
全体(N= 1812) (人)

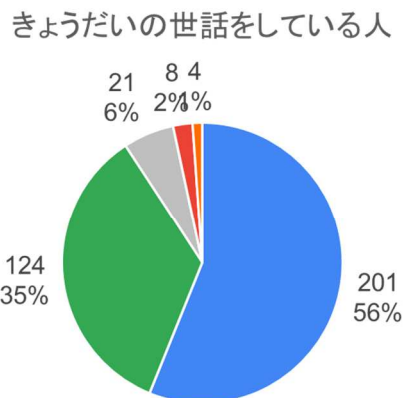


図4-2-79

とても幸せと感じるときがあるかについて
きょうだいの世話をしている人
(N=358) (人)

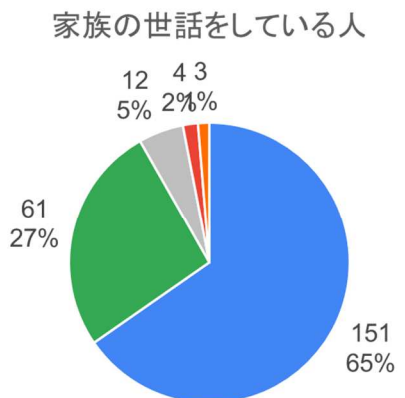


図4-2-80

とても幸せと感じるときがあるかについて
家族の世話をしている人
(N=231) (人)

Q43 今の生活は楽しいと思う

今の生活は楽しいと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の86%(回答数1572)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ88%(回答数317)、92%(回答数214)であった。

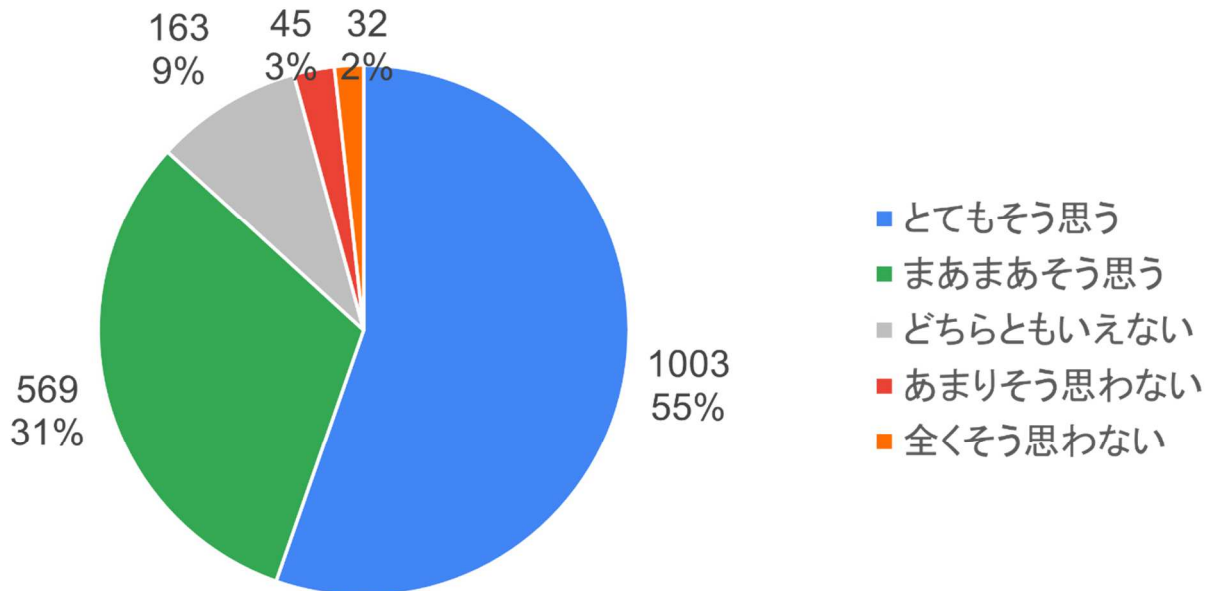


図4-2-81 今の生活は楽しいと思うかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

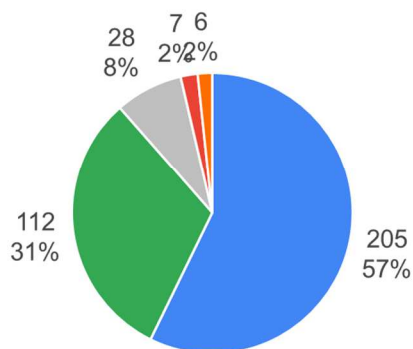


図4-2-82

今の生活は楽しいと思うかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

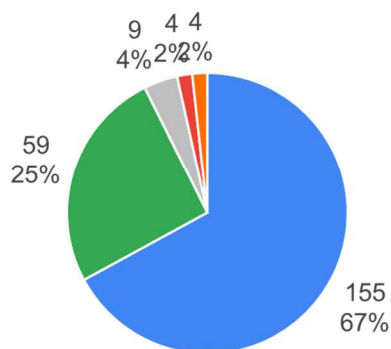


図4-2-83

今の生活は楽しいと思うかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q44 自分はひとりぼっちだと感じる

自分はひとりぼっちだと感じるかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の16%(回答数286)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ17%(回答数61)、14%(回答数33)であった。

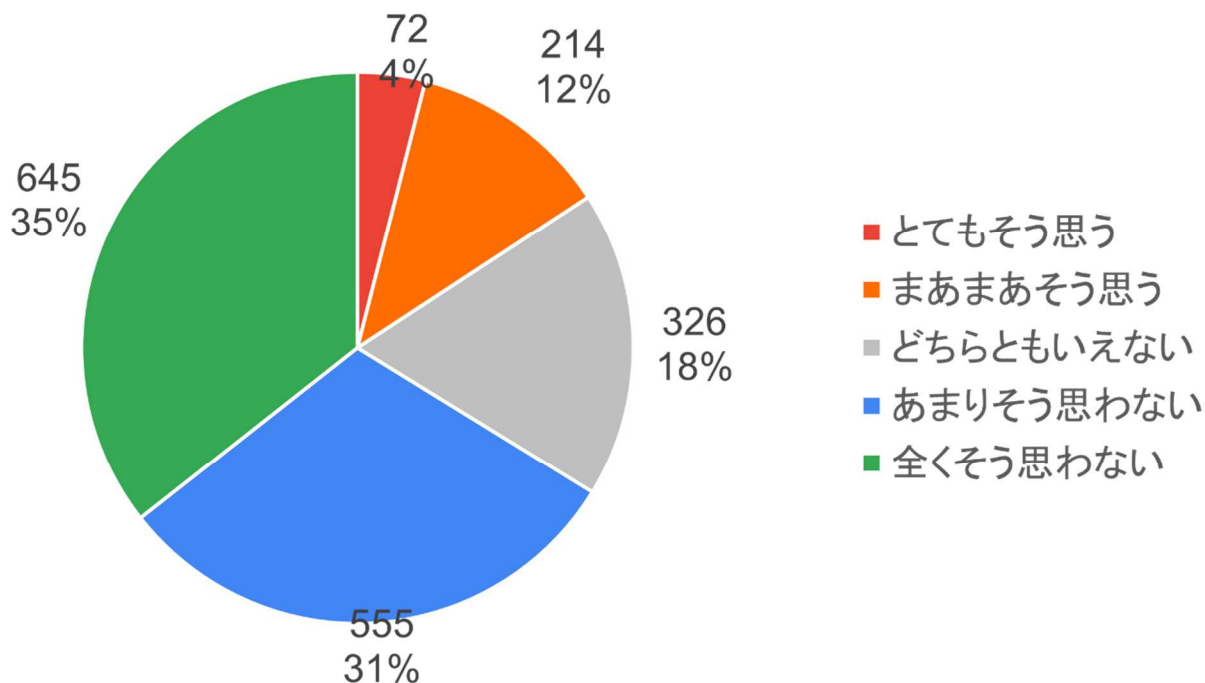


図4-2-84 自分はひとりぼっちだと感じるかについて

全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

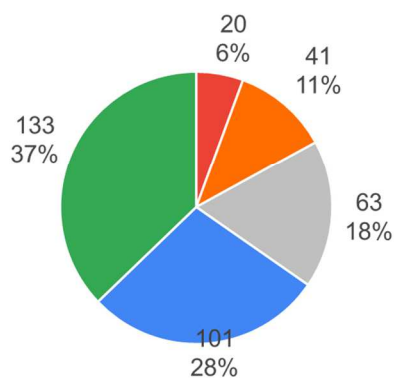
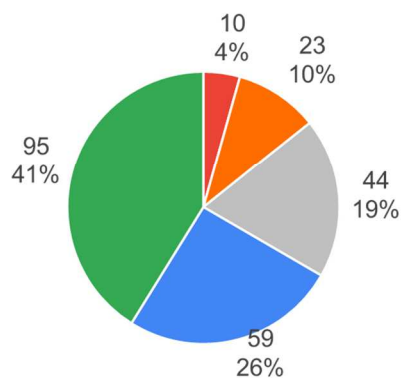


図4-2-85

家族の世話をしている人



自分はひとりぼっちだと感じるかについて

きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人 (N=231) (人)

図4-2-86

Q45 自分の家は、ほかの家よりもお金がないと思う

自分の家は、ほかの家よりもお金がないと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の12%(回答211)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ15% (回答数53)、18%(回答数40)であった。

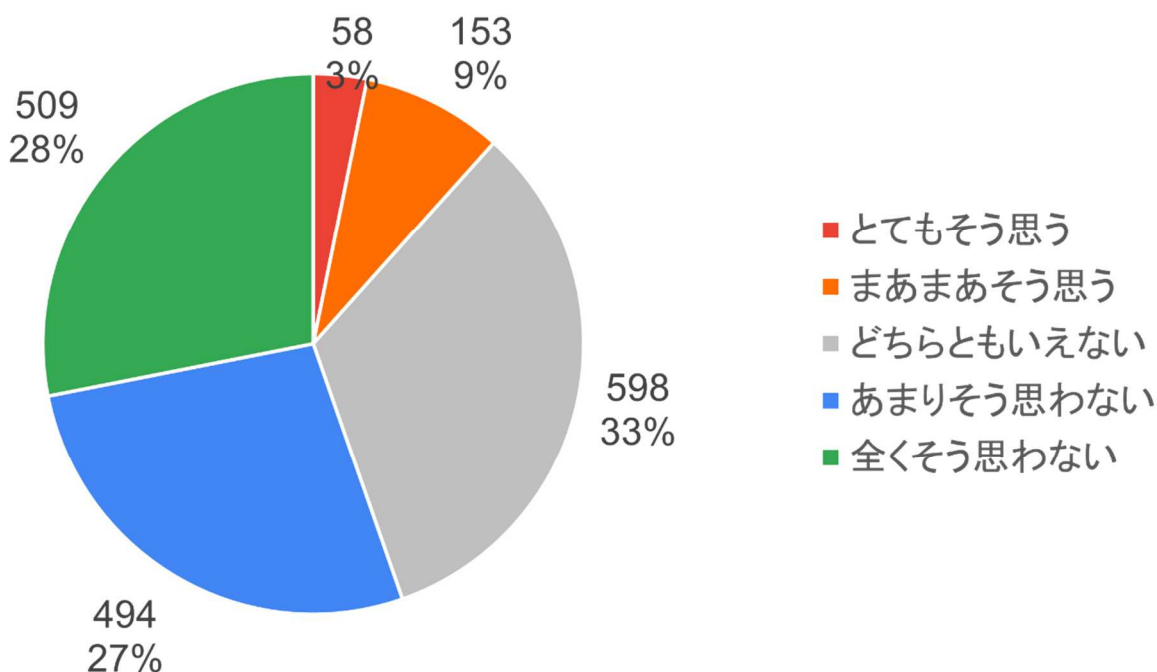


図4-2-87 自分の家は、ほかの家よりもお金がないと思うかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

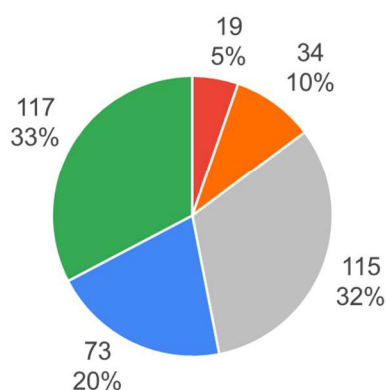


図4-2-88 自分の家は、
ほかの家よりもお金がないと思うかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

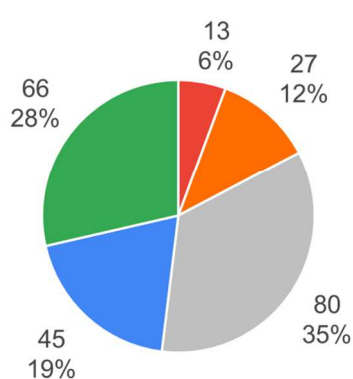


図4-2-89 自分の家は、
ほかの家よりもお金がないと思うかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

④日光市のサービスや地域について

放課後児童クラブについて

Q48放課後児童クラブを利用したことがありますか

放課後児童クラブを利用したことがあるかについて、「はい」と回答した人は、全体の67%(回答数1223)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「はい」と回答した人は、それぞれ63%(回答数224)、65%(回答数150)であった。そして、小学生と中学生の回答を比較すると、「はい」と回答した人は、それぞれ63%(回答数500)、71%(回答数723)であった。

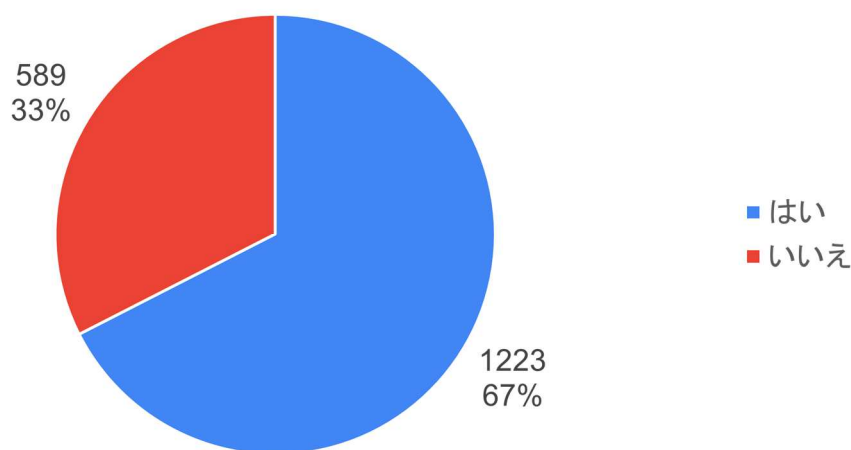


図4-2-90 放課後児童クラブを利用したことがあるかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

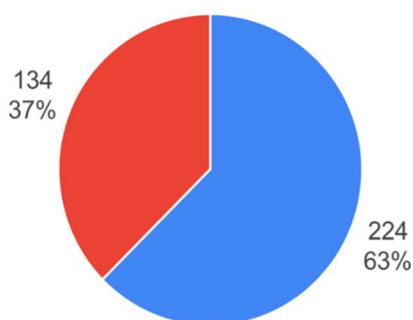


図4-2-91 放課後児童クラブを利用したことがあるかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

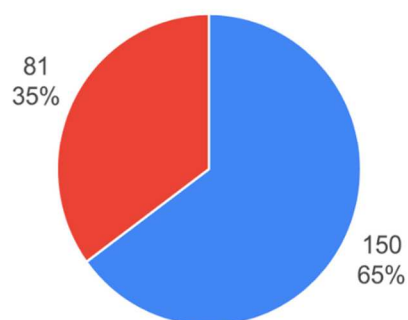


図4-2-92 放課後児童クラブを利用したことがあるかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

小学生5～6年生

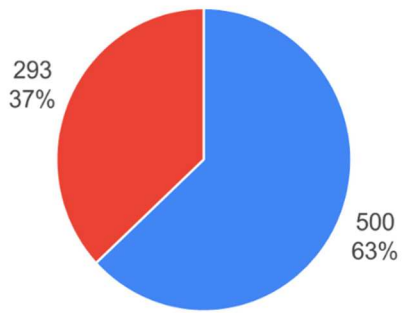


図4-2-93 放課後児童クラブを利用したことがあるかについて
小学生 (N=793) (人)

中学生1～3年生

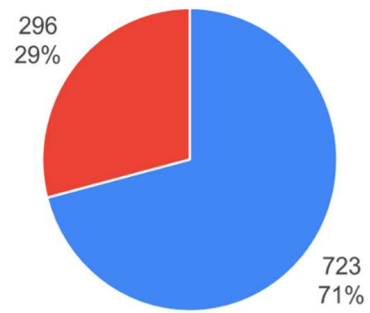


図4-2-94 放課後児童クラブを利用したことがあるかについて
中学生 (N=1019) (人)

Q47放課後児童クラブを利用したことがある人のみ
あなたは、週に何回児童クラブに行きますか（行っていましたか）

児童クラブの利用頻度について、「週5回」と回答した人が最も多く、回答数583であった。また、小学生と中学生の回答についても、「週5回」と回答した人が最も多く、それぞれ回答数210、回答数373であった。

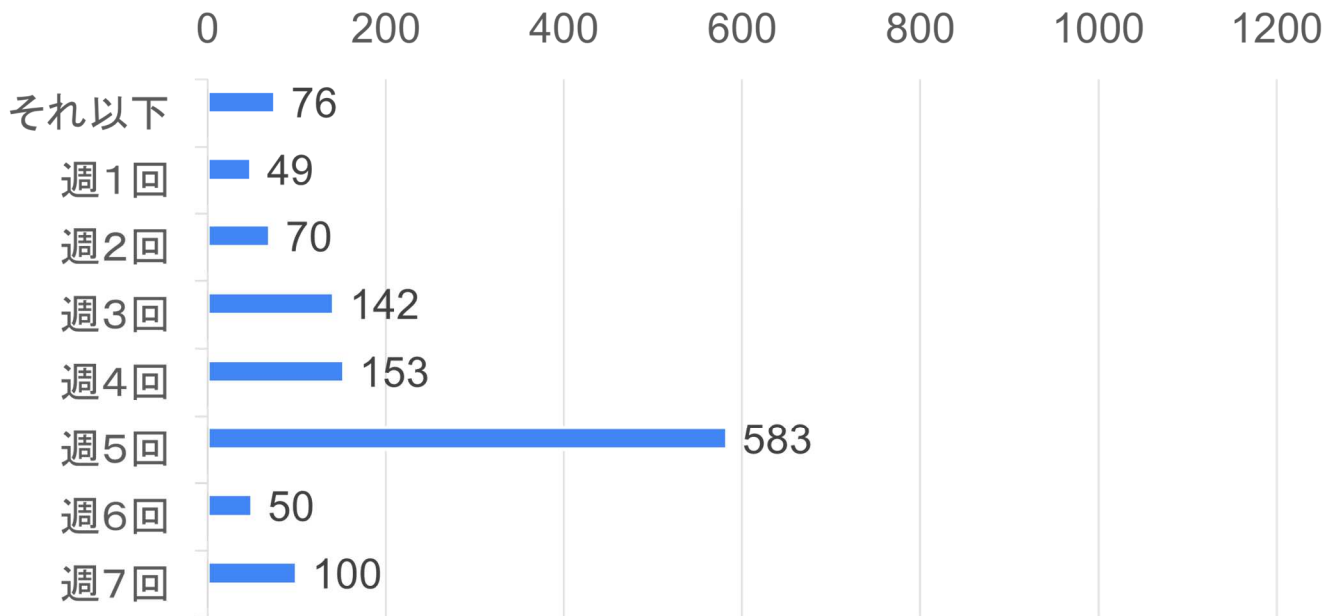


図4-2-95 児童クラブの利用頻度について
全体(N= 1223) (人)

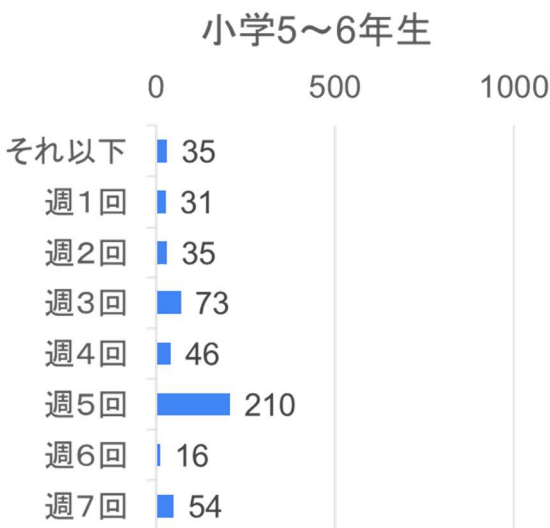


図4-2-9 6児童クラブの利用頻度について
小学生 (N=500) (人)



図4-2-97 児童クラブの利用頻度について
中学生 (N=723) (人)

Q48 あなたは、放課後児童クラブに行きたいと思いますか

放課後児童クラブに行きたいと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の18%(回答数330)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ21%(回答数74)、30%(回答数68)であった。そして、小学生と中学生の回答を比較すると、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ33%(回答数264)、6%(回答数66)であった。

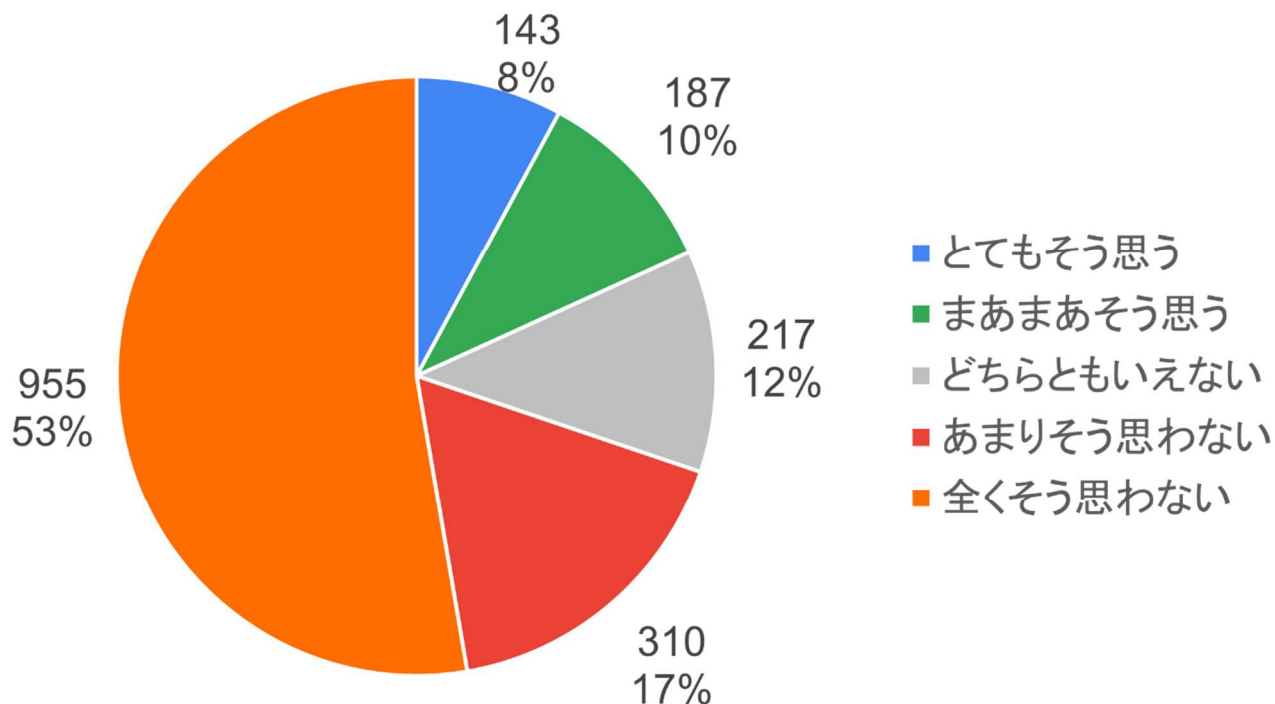


図4-2-98 放課後児童クラブに行きたいと思うかについて

全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

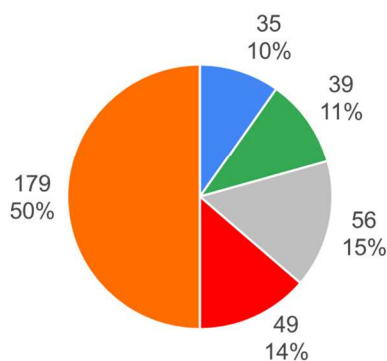


図4-2-99

放課後児童クラブに行きたいと思うかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

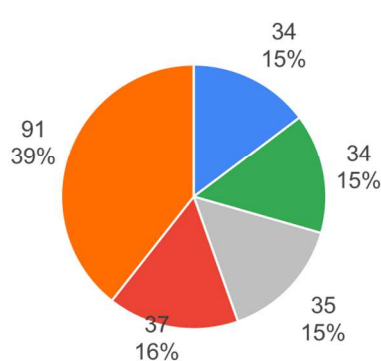


図4-2-100

放課後児童クラブに行きたいと思うかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

小学5～6年生

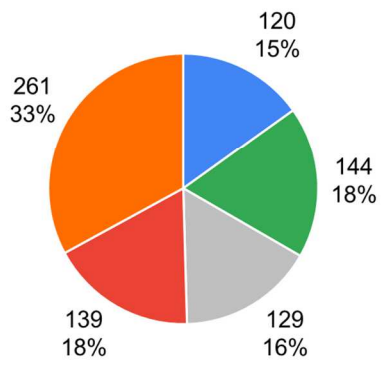


図4-2-101

放課後児童クラブに行きたいと思うかについて
小学生 (N=793) (人)

中学1～3年生

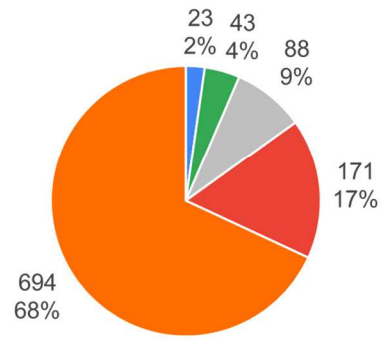


図4-2-102

放課後児童クラブに行きたいと思うかについて
中学生 (N=1019) (人)

Q49 送り迎えサービスがある放課後児童クラブや地域クラブ，習いごとなどがあつたら，参加したいと思ひますか

送り迎えサービスがある放課後児童クラブや地域クラブ，習いごとなどがあつたら，参加したいと思ひかについて、「とても思ひ思ひ」「まあまあ思ひ思ひ」と回答した人は、全体の21%(回答数382)であつた。

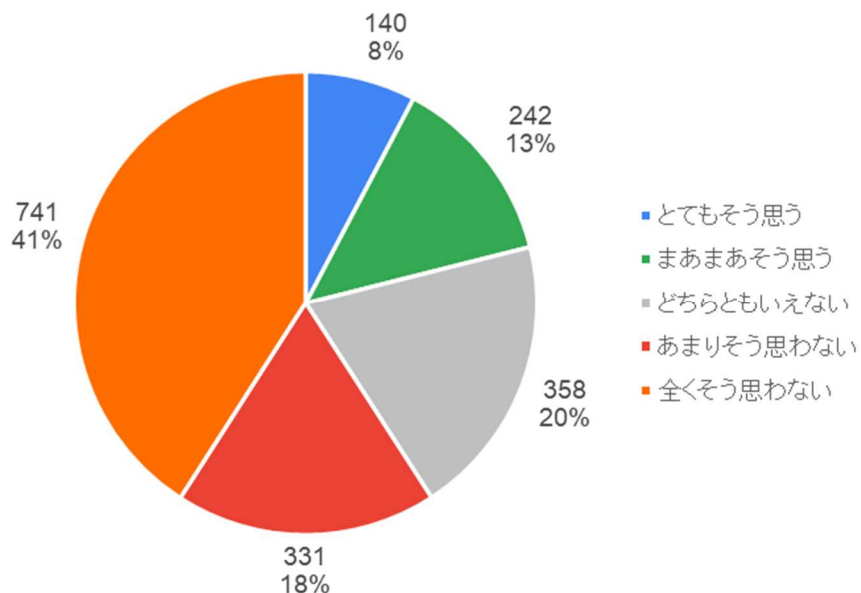


図4-2-103 送り迎えサービスがある放課後児童クラブや地域クラブ，習いごとなどがあつたら，参加したいと思ひかについて
(N= 1812) (人)

子ども食堂について

Q50 子ども食堂を利用したことがありますか

子ども食堂を利用したことがあるかについて、「はい」と回答した人は、全体の4%(回答数68)であった。一方で、「行ったこともないし、名前も知らない」と回答した人は、全体の35%(回答数642)であった。また、きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人についても同様の結果が得られた。

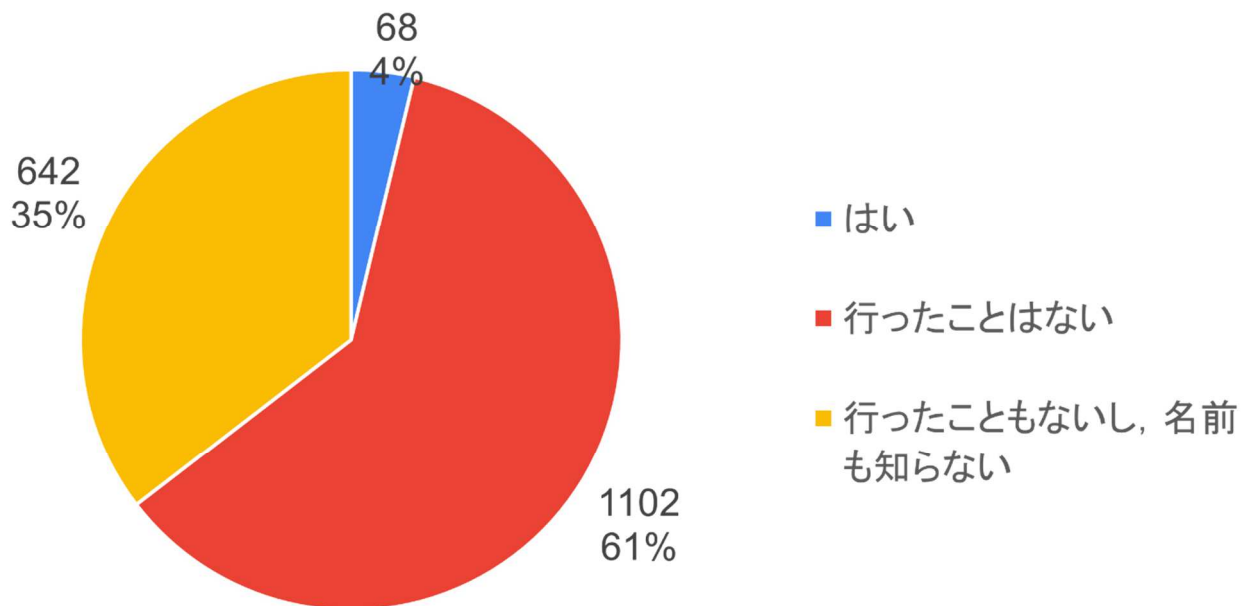


図4-2-104 子ども食堂を利用したことがあるかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

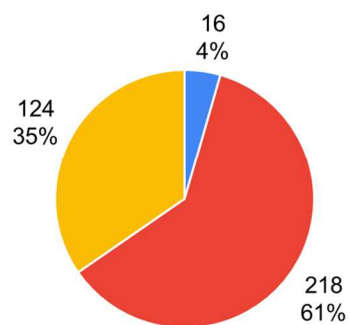


図4-2-105

子ども食堂を利用したことがあるかについて
きょうだいの世話をしている人
(N=358) (人)

家族の世話をしている人

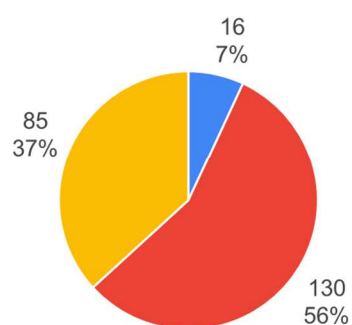


図4-2-106

子ども食堂を利用したことがあるかについて
家族の世話をしている人
(N=231) (人)

Q51子ども食堂を利用したことがある人のみ
あなたは、どのくらい子ども食堂に行きますか

どのくらい子ども食堂に行くかについて、「年に数回」と回答した人が最も多く、回答数28であった。続いて、「月に数回」と回答した人が2番目に多く、回答数18であった。

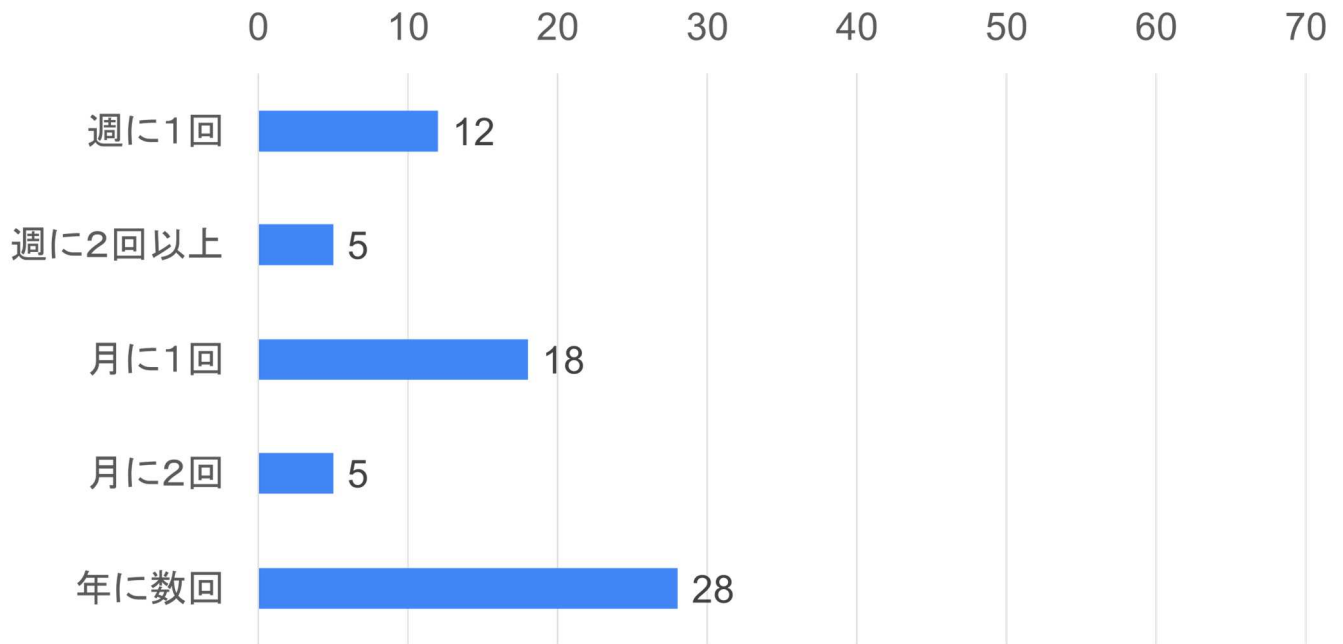


図4-2-107 どのくらい子ども食堂に行くかについて
(N= 68) (人)

Q52 子ども食堂は、地域のみんが誰でも無料もしくは300円程度で利用できる食堂です
子ども食堂に行ってみたくて思いますか

子ども食堂に行ってみたくて思うかについて、「よくあてはまる」「まあまああてはまる」と回答した人は、全体の24%(回答数449)であった。きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「よくあてはまる」「まあまああてはまる」と回答した人は、それぞれ27%(回答数99)、29%(回答数68)であった。

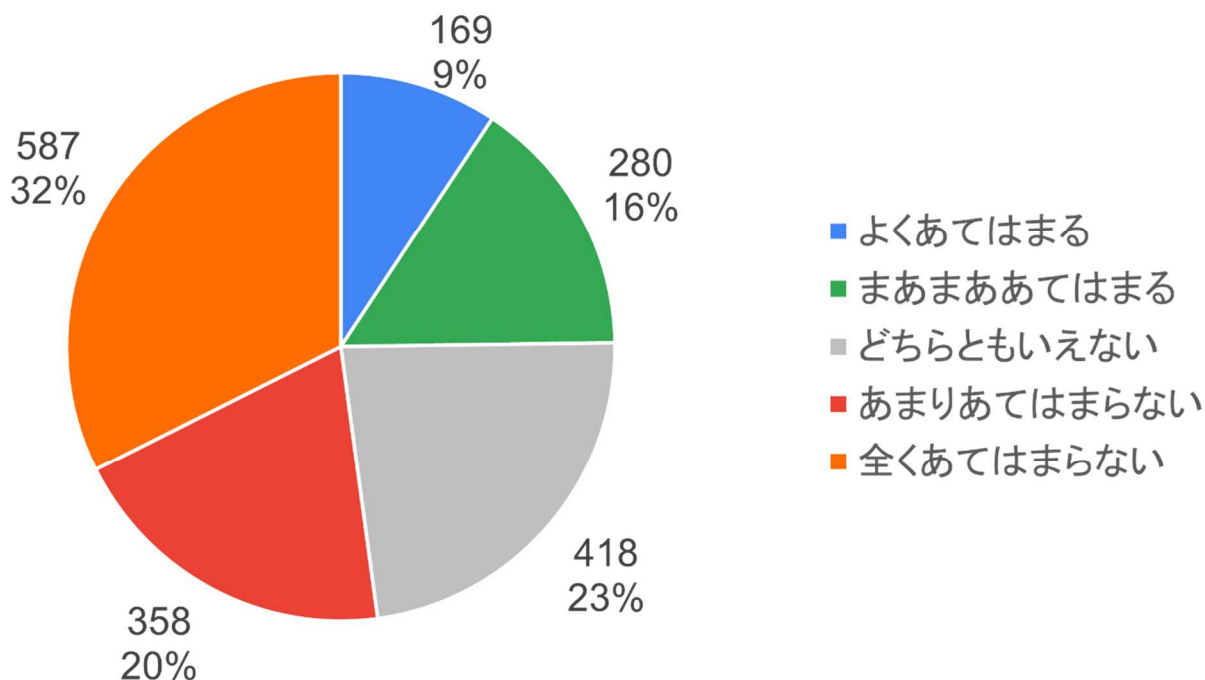


図4-2-108 子ども食堂に行ってみたくて思うかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

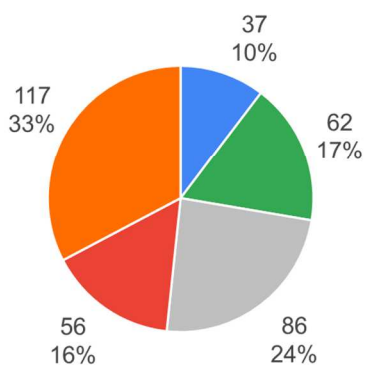


図4-2-109

子ども食堂に行ってみたくて思うかについて
きょうだいの世話をしている人
(N=358) (人)

家族の世話をしている人

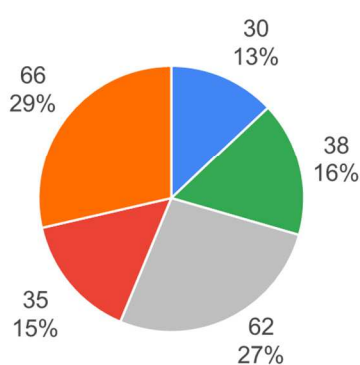


図4-2-110

子ども食堂に行ってみたくて思うかについて
家族の世話をしている人
(N=231) (人)

日光への愛着について

Q53 地域の行事（お祭りなど）にはどのくらい参加していますか

地域の行事（お祭りなど）にはどのくらい参加しているかについて、「毎回参加している」「ときどき参加している」と回答した人は、全体の71%(回答数1287)であった。

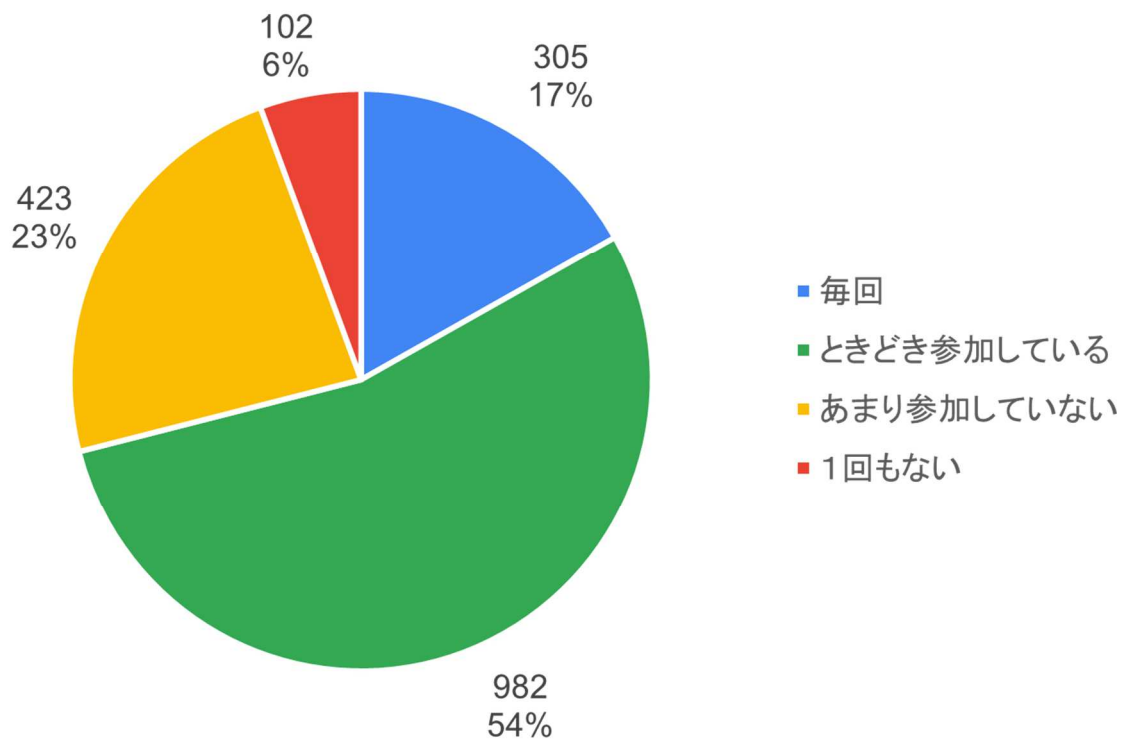


図4-2-111 地域の行事（お祭りなど）にはどのくらい参加しているかについて
(N= 1812) (人)

Q54 日光市が好きですか

日光市が好きかについて、「とても好き」「まあまあ好き」と回答した人は、全体の86%(回答数1561)であった。

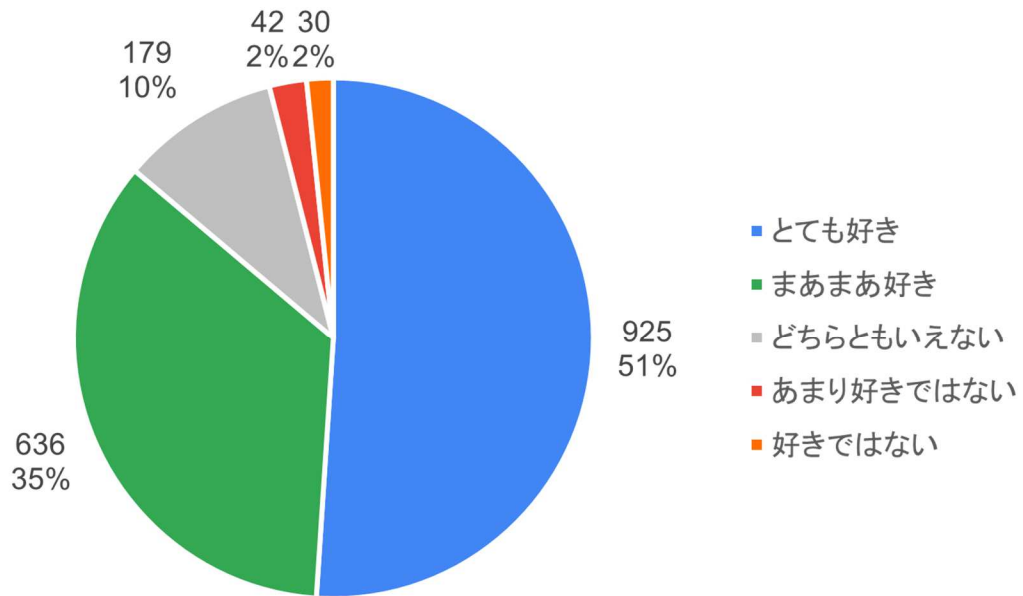


図4-2-112 日光市が好きかについて
(N= 1812) (人)

Q55 日光市に大人になっても住みたいと思いますか

日光市に大人になっても住みたいと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」とポ
回答した人は、全体の57%(回答数643)であった。

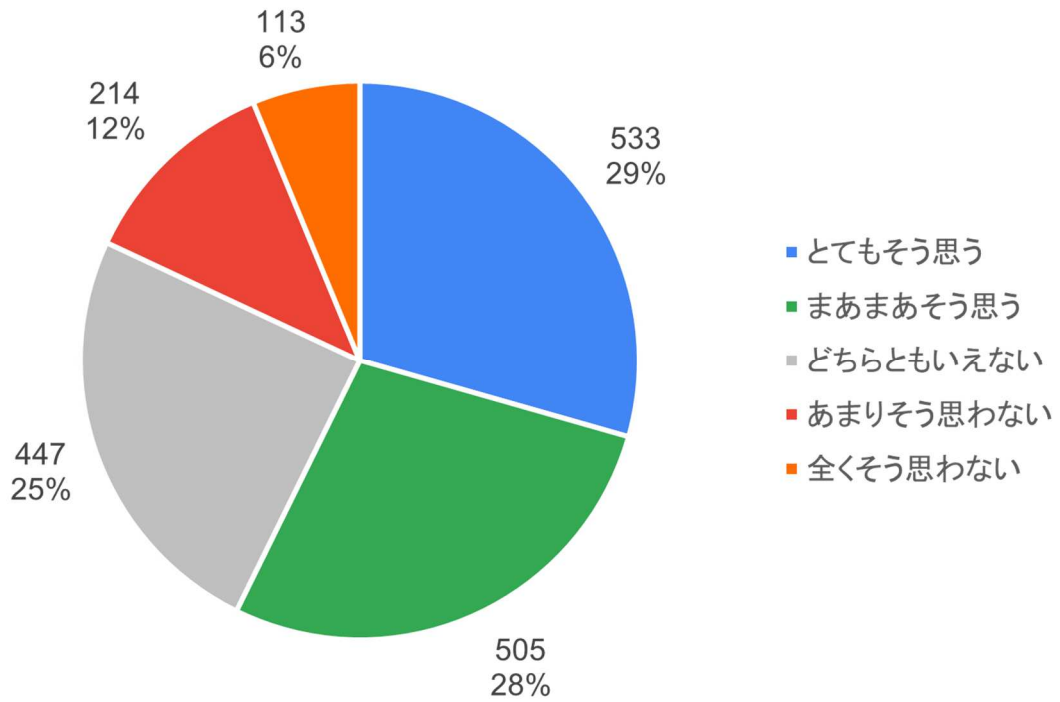


図4-2-113 日光市に大人になっても住みたいと思うかについて
(N= 1812) (人)

部活動や地域クラブについて

Q56 中学生のみ
現在、部活動や地域クラブに参加していますか

部活動や地域クラブに参加しているかについて、「はい」と回答した人は、全体の84%(回答数858)であった。

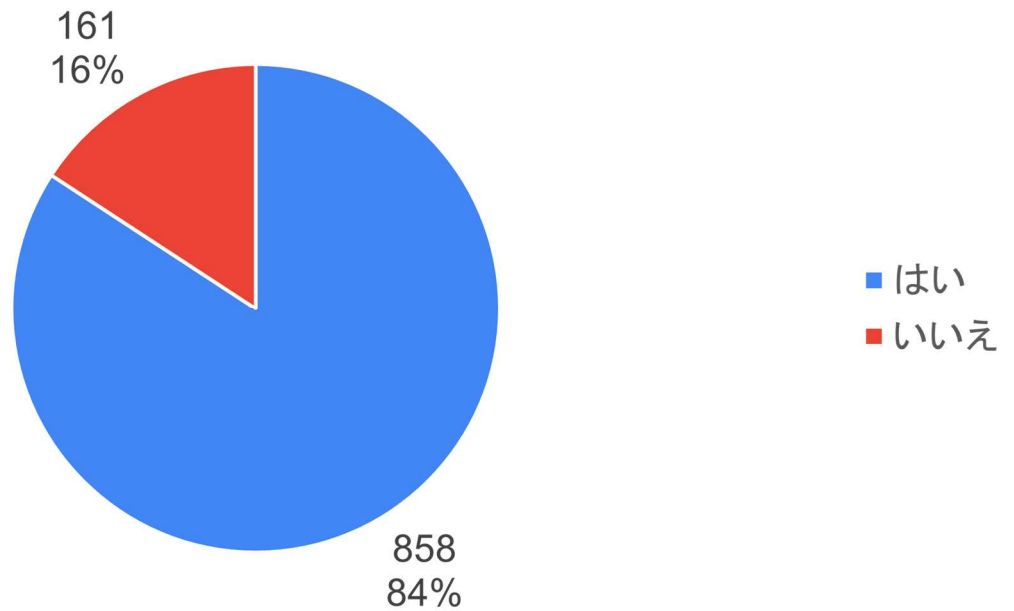


図4-2-114 部活動や地域クラブに参加しているかについて
中学生(N= 1019) (人)

Q57 中学生で、部活動や地域クラブに参加している人のみ
あなたは、部活動や地域クラブにどうやって通っていますか
交通手段等、あてはまるものを教えてください

部活動や地域クラブへの交通手段について、「放課後そのまま学校で参加する」と回答した人が最も多く、回答数555であった。続いて、「親など家族が送迎してくれる」と回答した人が2番目に多く、回答数204であった。

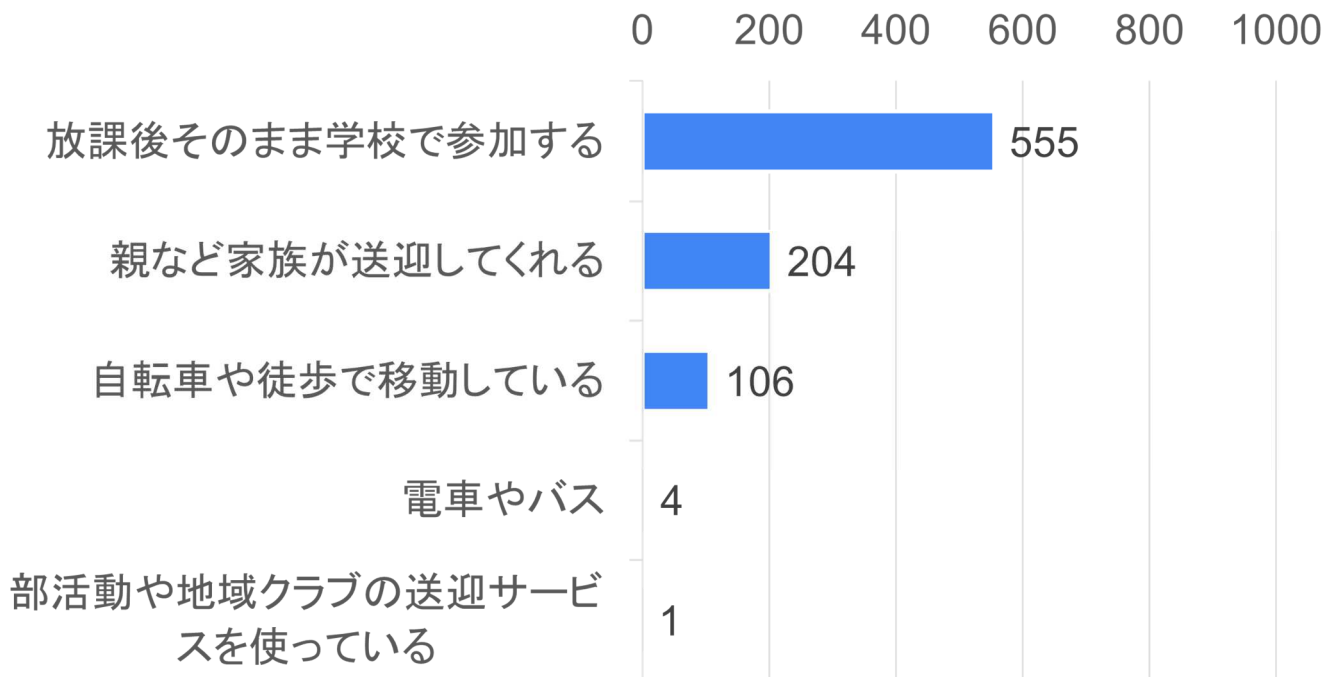


図4-2-115 部活動や地域クラブへの交通手段について
中学生(N= 870) (人)

Q58 送り迎えのある部活動や地域クラブがあれば参加したいと思いますか

送り迎えのある部活動や地域クラブがあれば参加したいと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあ、そう思う」と回答した人は、全体の23%(回答数235)であった。

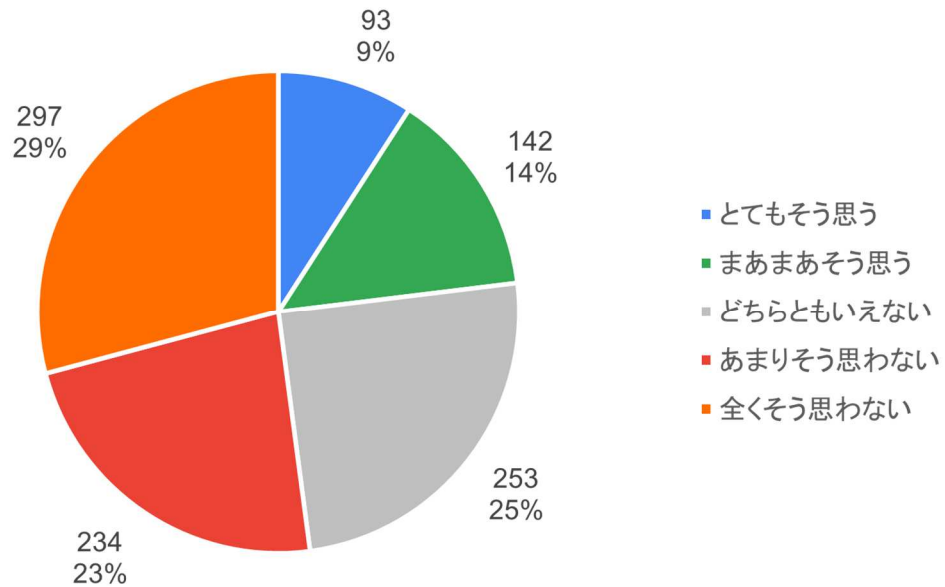


図4-2-116 送り迎えのある部活動や地域クラブがあれば参加したいと思うかについて
中学生(N= 1019) (人)

学習支援に関して

Q59 あなたは今までに、学校へ行くことが嫌になったことはありましたか

あなたは今までに、学校へ行くことが嫌になったことはあるかについて、「はい」と回答した人は、全体の51%(回答数929)であった。

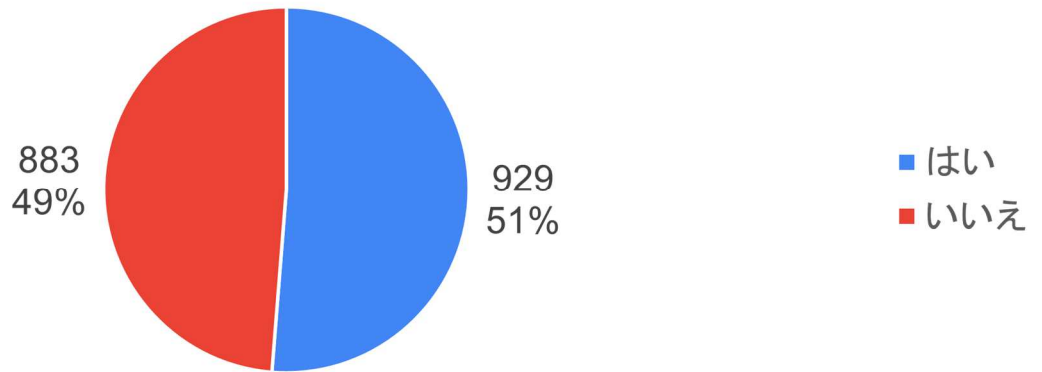


図4-2-117 あなたは今までに、学校へ行くことが嫌になったことはあるかについて
(N= 1812) (人)

Q60学校へ行くことが嫌になったことがある人のみ
学校へ行くことが嫌になったとき、どのくらい学校を休みましたか

学校へ行くことが嫌になったとき、どのくらい学校を休んだかについて、「一度も休まなかった」と回答した人が最も多く、回答数528であった。一方で、「1週間以上休んだ人」は、回答数125であった。

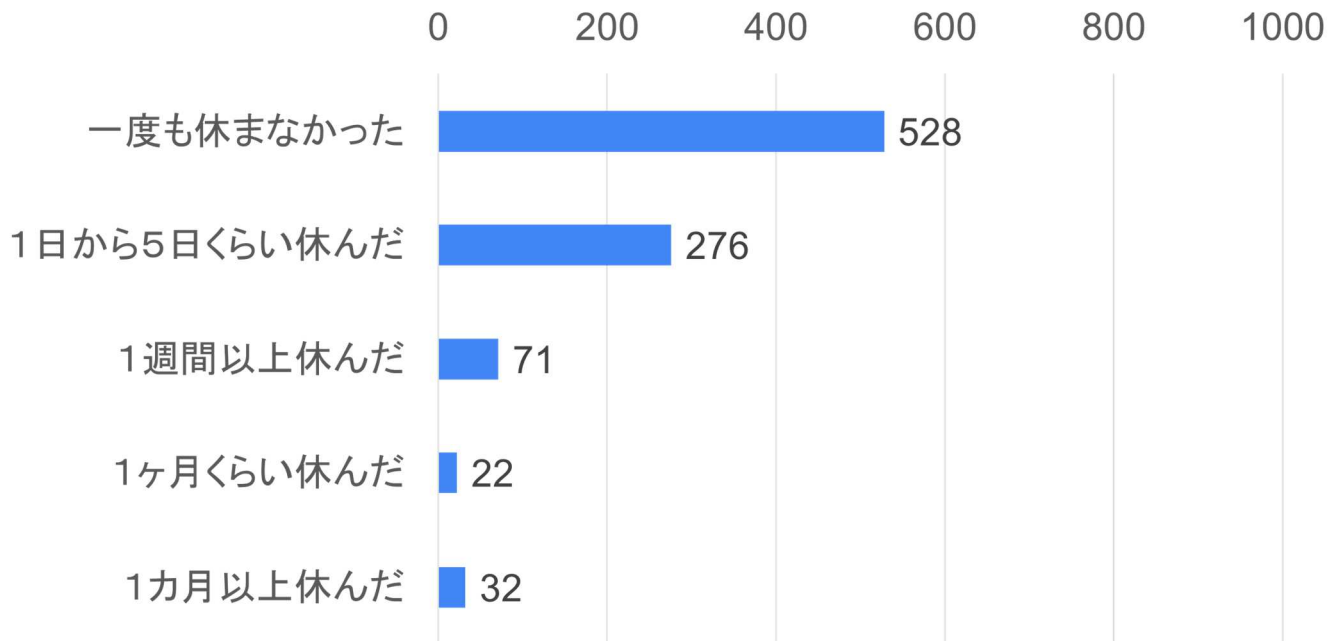


図4-2-118 学校へ行くことが嫌になったとき、どのくらい学校を休んだかについて
(N= 929) (人)

Q61学校へ行くことが嫌になったことがある人のみ
学校へ行くことが嫌になった理由は何ですか
(複数選択)

学校へ行くことが嫌になった理由について、「友だちとうまくいかない友だちができない」と回答した人が最も多く、回答数342であった。

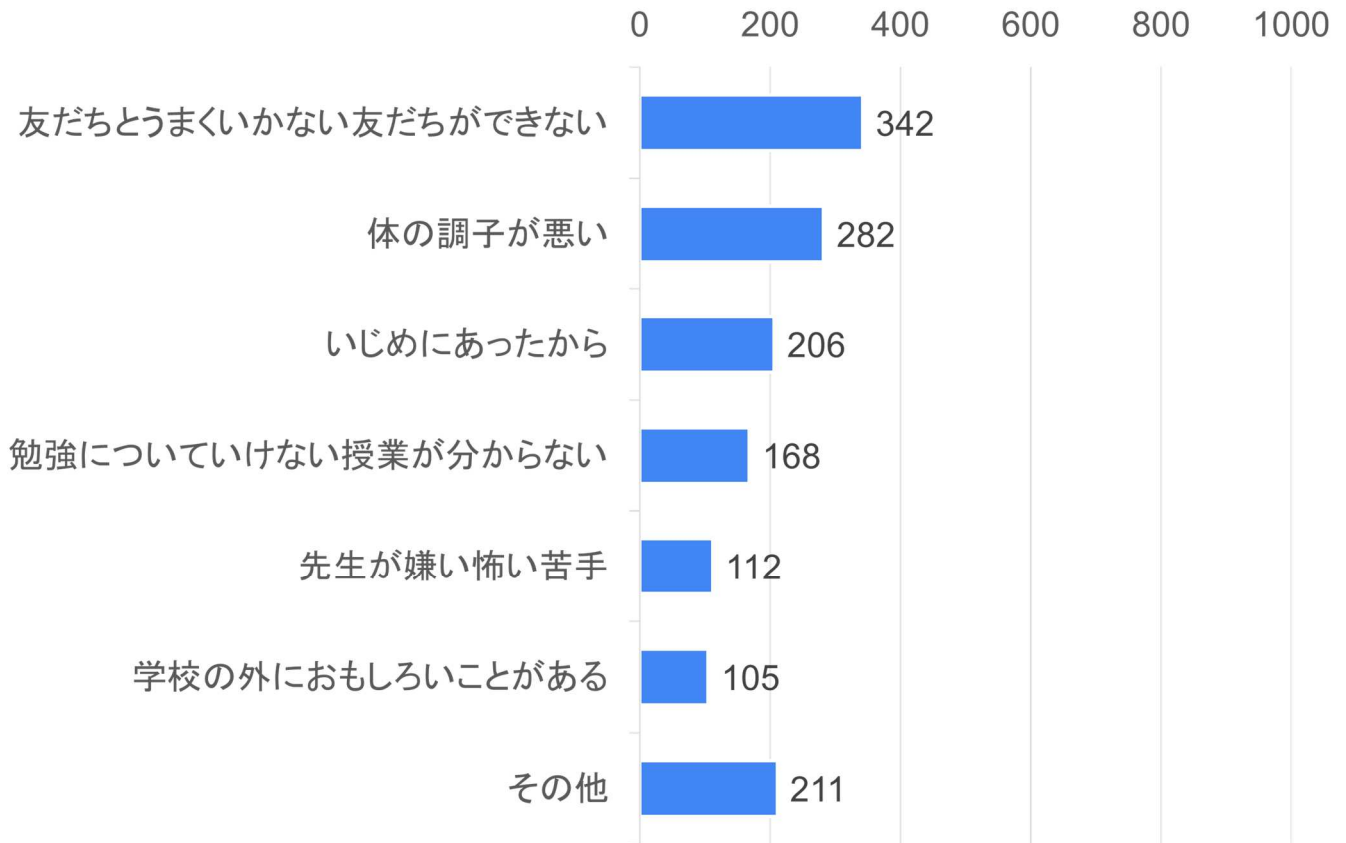


図4-2-119 学校へ行くことが嫌になった理由について
(N= 1426) (人)

Q62 無料で勉強を教えてくれる場所が欲しいですか？

無料で勉強を教えてくれる場所が欲しいかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、全体の78%(回答数1433)であった。きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、それぞれ60% (回答数216)、62%(回答数144)であった。

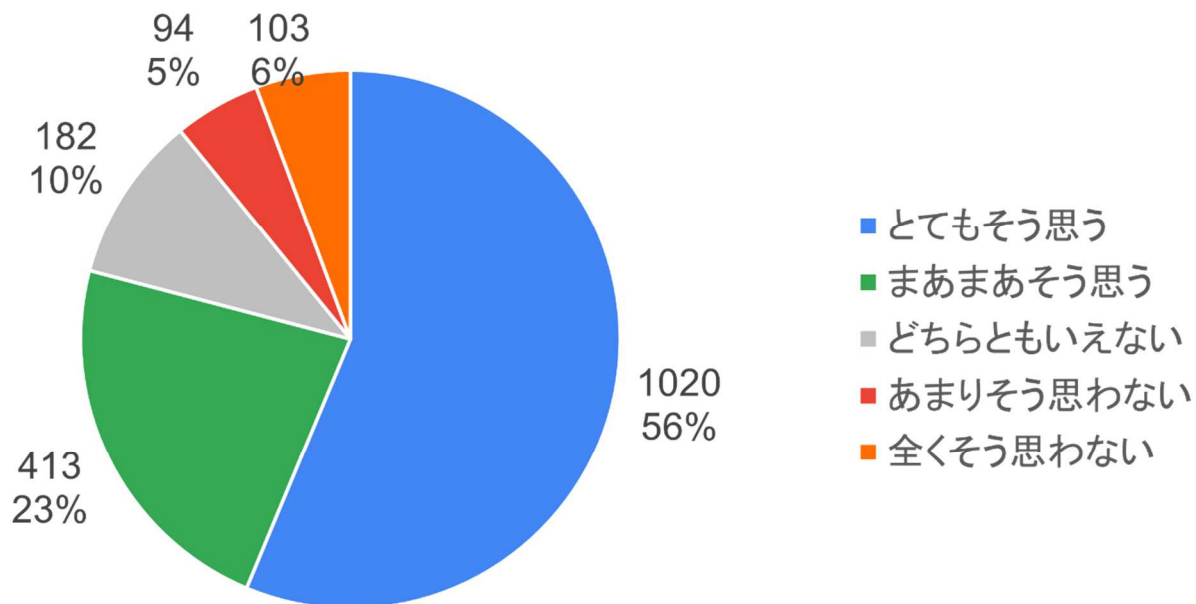


図4-2-120 無料で勉強を教えてくれる場所が欲しいかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

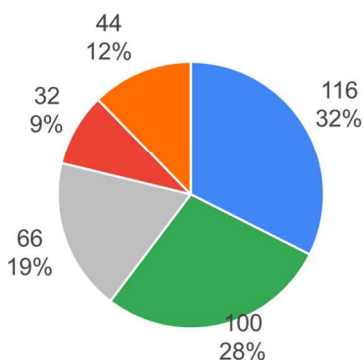


図4-2-121 無料で勉強を教えてくれる場所が
欲しいかについて
きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

家族の世話をしている人

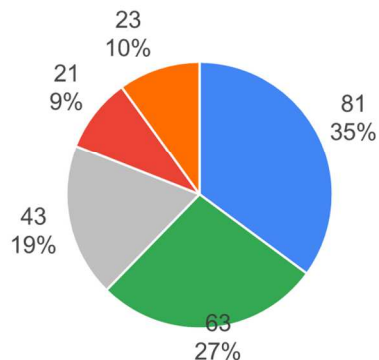


図4-2-122 無料で勉強を教えてくれる場所が
欲しいかについて
家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q65 日光市に住んでいて、ことばやコミュニケーションについて、むずかしいと思ったことやなやんだことはありますか

ことばやコミュニケーションについて、むずかしいと思ったことやなやんだことはあるかについて(図4-2-123)、「はい」と回答した人は、全体の25%(回答数450)であった。きょうだいの世話をしている人と家族の世話をしている人の回答について、「はい」と回答した人は、それぞれ32%(回答数113)、34%(回答数79)であった。

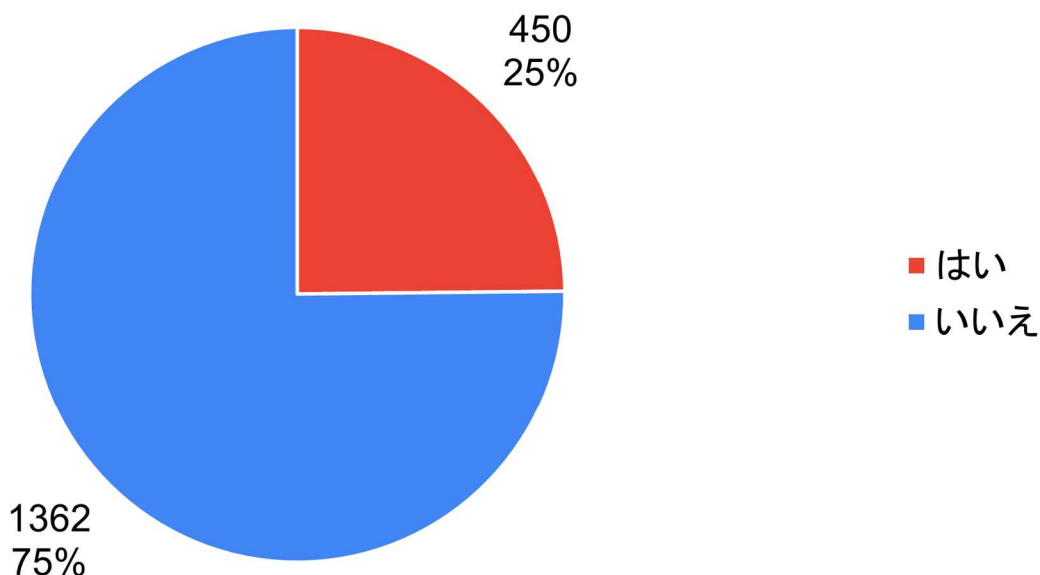


図4-2-123

ことばやコミュニケーションについて、むずかしいと思ったことやなやんだことはあるかについて
全体(N= 1812) (人)

きょうだいの世話をしている人

家族の世話をしている人

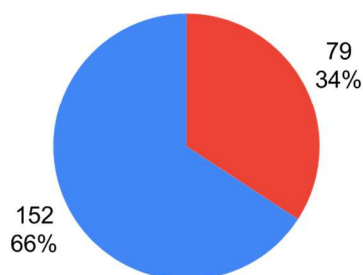
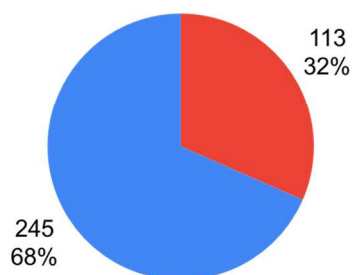


図4-2-124 ことばやコミュニケーションについて、むずかしいと思ったことやなやんだことはあるかについて

きょうだいの世話をしている人 (N=358) (人)

図4-2-125 ことばやコミュニケーションについて、むずかしいと思ったことやなやんだことはあるかについて

家族の世話をしている人 (N=231) (人)

Q66日光市に住んでいて、ことばやコミュニケーションについて、むずかしいと思ったことがある人
一番しゃべりやすい言葉は何語ですか？

一番しゃべりやすい言葉について、「日本語」と回答した人が最も多く、回答数399であった。また、「日本語，英語」と回答した人が2番目に多く、回答数26であった。一方で、「日本語以外の言語」のみを回答した人は、回答数8であった。

		選択肢	回答数
他の言語 + 日本語		日本語	399
		日本語，英語	26
		日本語，英語，韓国語	3
		日本語，韓国語	2
		日本語，ベトナム語	2
		日本語，アラビア語	1
		日本語，ドイツ語	1
		日本語，フィリピン語	1
		日本語，英語，ネパール語	1
		日本語，英語，フランス語	1
		日本語，英語，中国語，ベトナム語	1
		日本語，その他	1
	言語のみ の 日本語以外		英語
		ネパール語	2
		インドネシア語	1
		英語，ネパール語	1
		英語，フィリピン語	1
		その他	1
		計	447

図4-2-126 一番しゃべりやすい言葉について

(N= 447) (人)

遊び場に関して

Q63 雨の日や暑い日でも遊べる屋内の遊び場が欲しいと思いますか？

雨の日や暑い日でも遊べる屋内の遊び場が欲しいと思うかについて、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は全体の79%（回答数1433）であった。また、小学生と中学生の回答を比較すると、「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した人は、どちらも過半数であった。

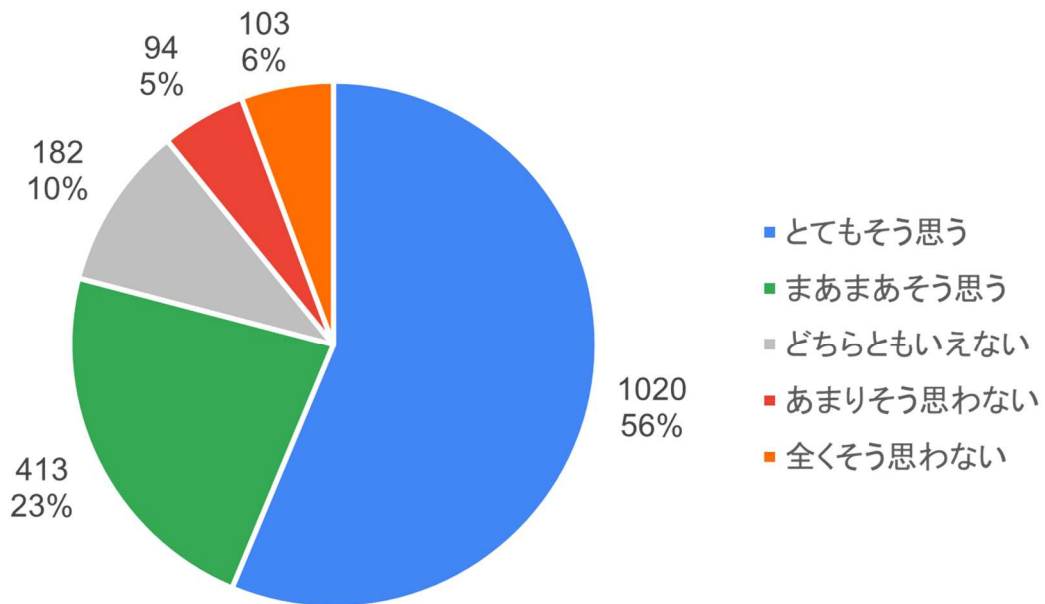


図4-2-127 屋内の遊び場が欲しいと思うかについて

全体(N= 1812) (人)

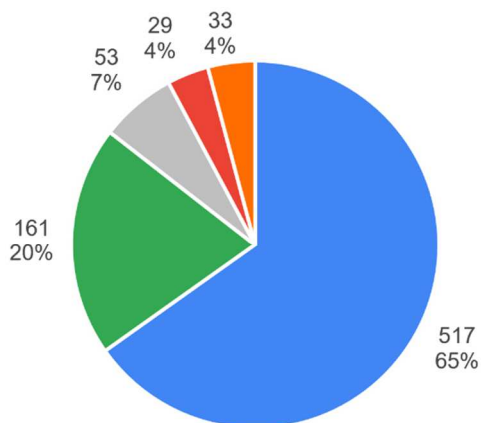


図4-2-128

屋内の遊び場が欲しいと思うかについて

小学生 (N=793) (人)

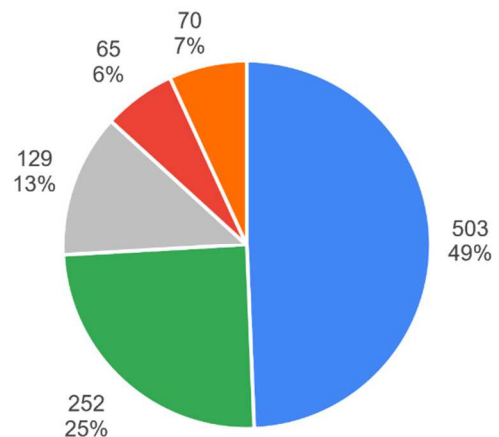


図4-2-129

屋内の遊び場が欲しいと思うかについて

中学生 (N=1019) (人)

Q64 どのような屋内の遊び場があったらいいと思いますか

どのような屋内の遊び場があったらいいと思うかについて、「スポーツができる大きくて広い場所」と回答した人が最も多く、回答数1245であった。

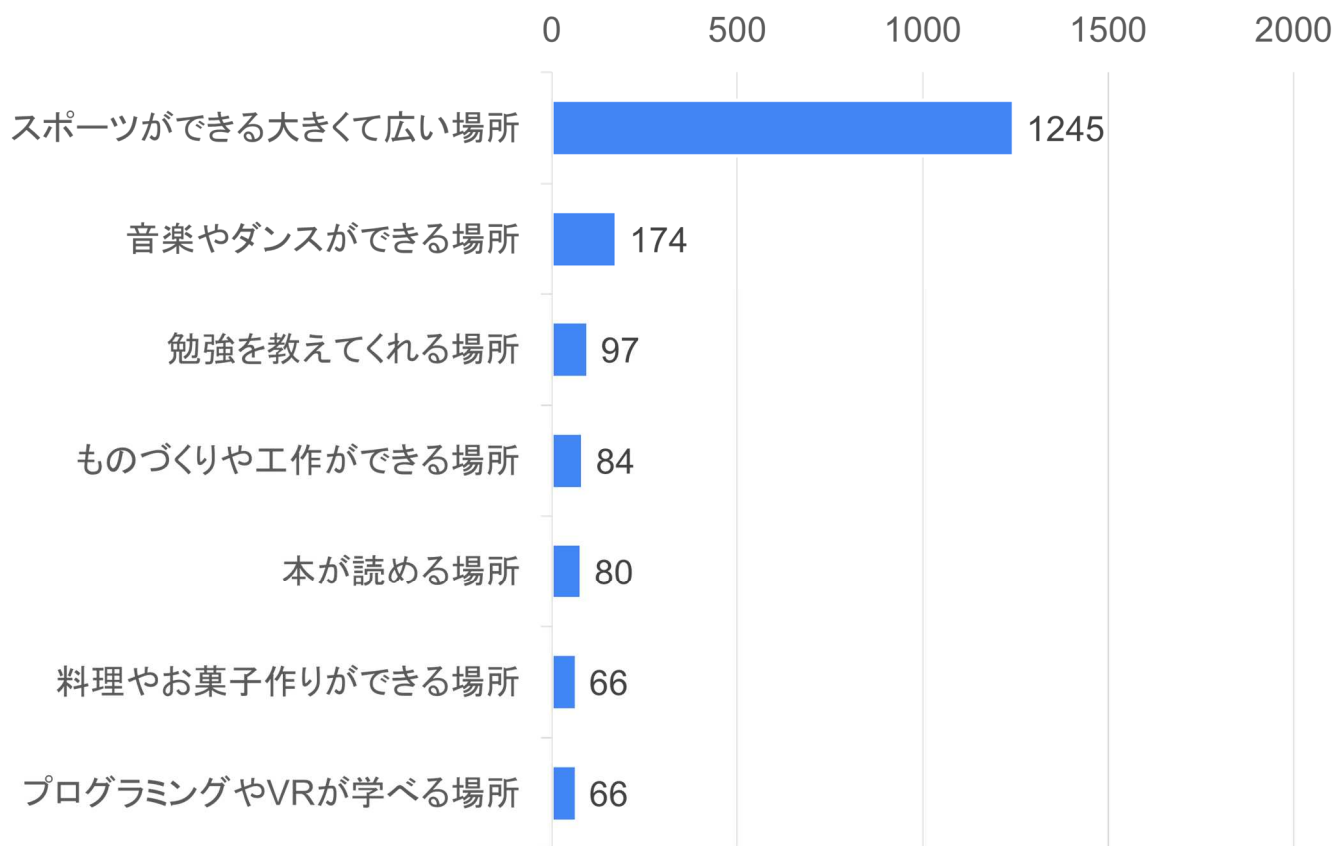


図4-2-130 どのような屋内の遊び場があったらいいと思うかについて

(N= 1812) (人)

4-3. 「若者」を対象とした調査結果

①属性について

Q1 住んでいる地域を教えてください

若者の住んでいる地域を日光市に住む15-39歳の地域別人口と比較すると、今市地域の回答割合が人口割合の5分の4で、日光地域の回答割合が人口割合の2倍となっている。一方で、藤原地域、足尾地域、栗山地域の回答割合と人口割合には、ほとんど差がない。

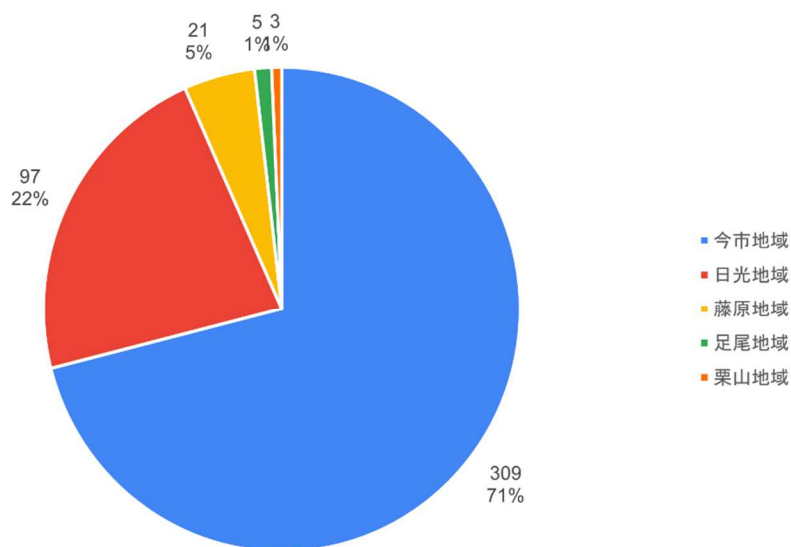


図4-3-1 回答者の住んでいる地域
(N=435) (人)

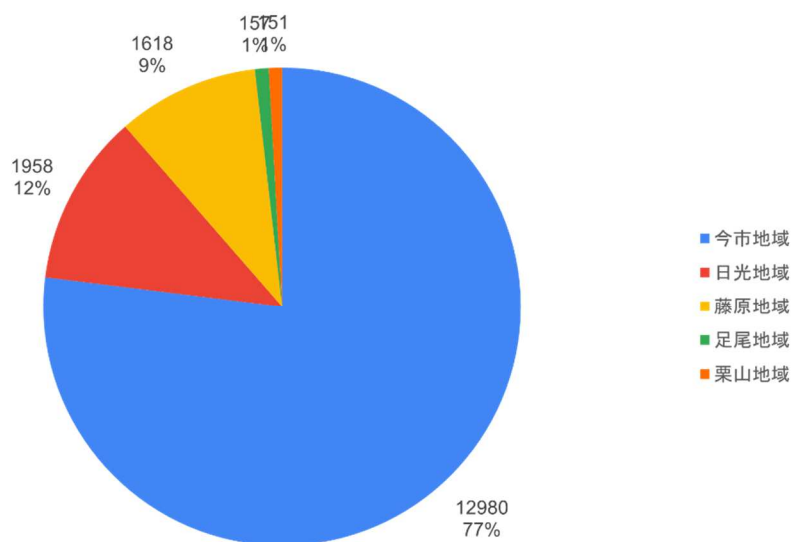


図4-3-2 日光市に住む15-39歳の地域別人口
(N=16,864) (人)

Q4 ご自身（回答者）の現在の年齢を教えてください

現在の年齢について、市内に住む高校生全員にアンケートを配布したことから、15～17歳に回答が集中したことが読み取れる。平均：25.2、中央値：24であった。

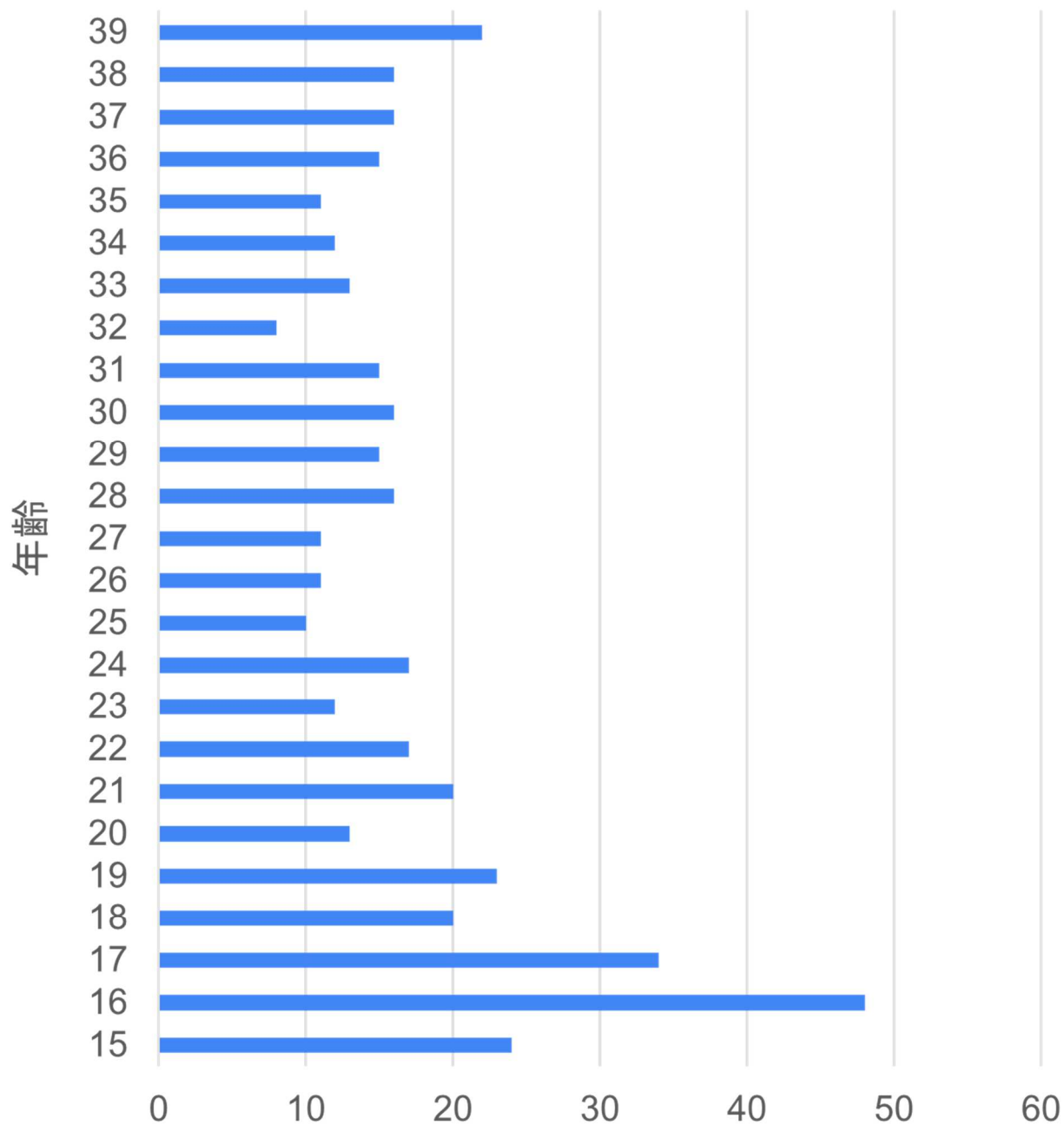


図4-3-3 現在の年齢について
(N=435) (人)

Q6 現在一緒に暮らしている人を教えてください

両親の有無や母子父子家庭等の両親の存在に着目した家族構成について、「一人親の家庭」は全体の約18% (回答数78) で、そのうち、「母子家庭」が66、「父子家庭」が12であった。また、「一人暮らし」は全体の約7% (回答数28) であった。

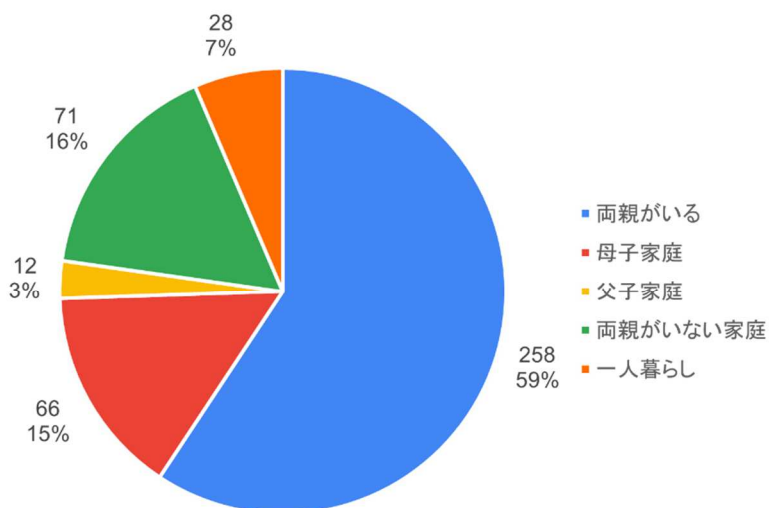


図4-3-4 家族構成について

全体 (N=435) (人)

高校生

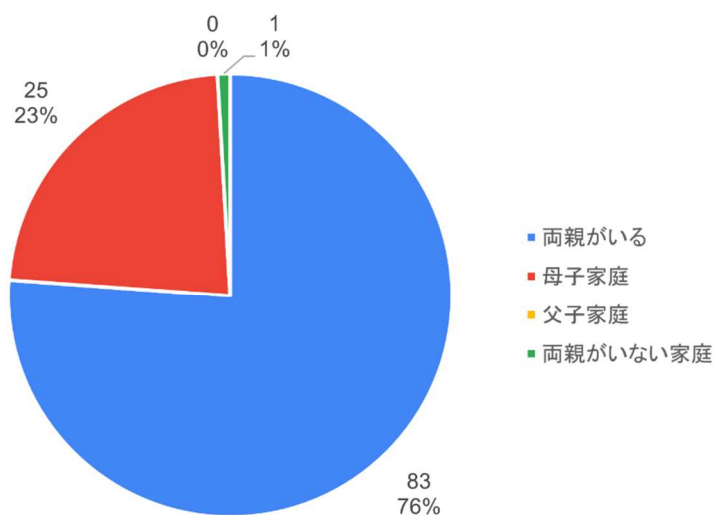


図4-3-5 家族構成について

高校生のみ (N=109) (人)

Q17就業形態について現在の状況はどれに当てはまりますか

就業形態について、学生は全体の37%で、学生のうち高校生は約65%（109人）を占めた。次項目より、その109人の高校生と若者全体を比較しながら分析を進めていくこととする。

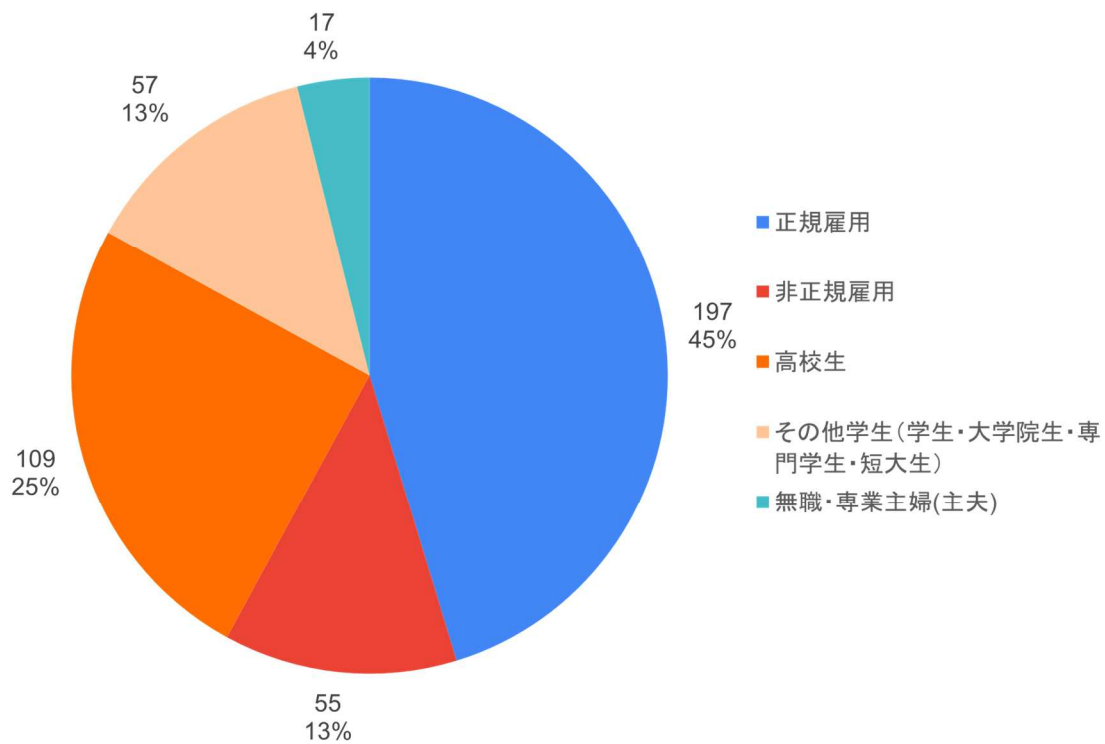


図4-3-6 就業形態について
(N=435) (人)

②学校や生活などの実態やニーズについて

Q7同居する家族に自分が面倒を見ている人はいますか

同居する家族について、自分が面倒を見ている「若者」は11人で、そのうち高校生は2人であった。

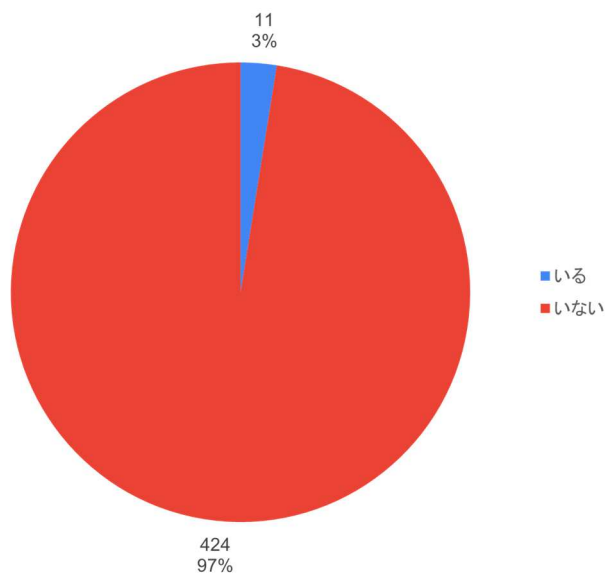


図4-3-7 同居する家族に自分が面倒を見ている人がいるかについて

全体(N=435) (人)

高校生

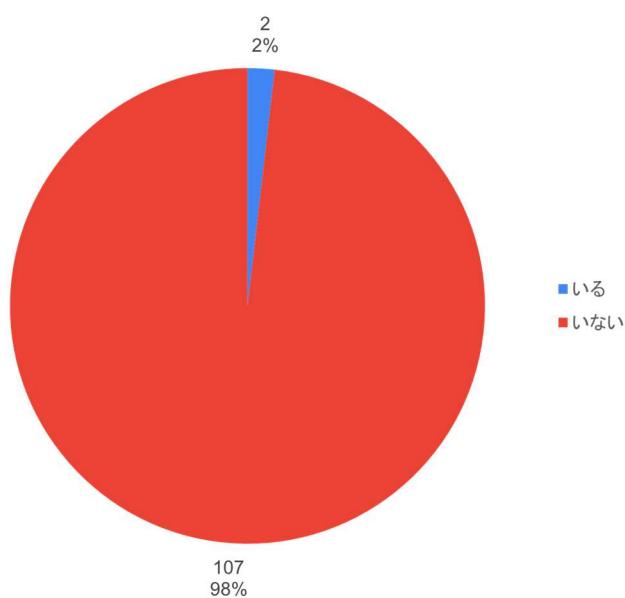


図4-3-8 同居する家族に自分が面倒を見ている人がいるかについて

高校生のみ(N=109) (人)

Q8「面倒を見ている人がいる」と答えた方
 あなたが面倒を見ている方の家族柄を教えてください

面倒を見ている人は、祖父母、母、弟妹の順で多く、それぞれ回答数4、3、2であった。そのうち、高校生が面倒を見ている人は、弟・妹と母であった。

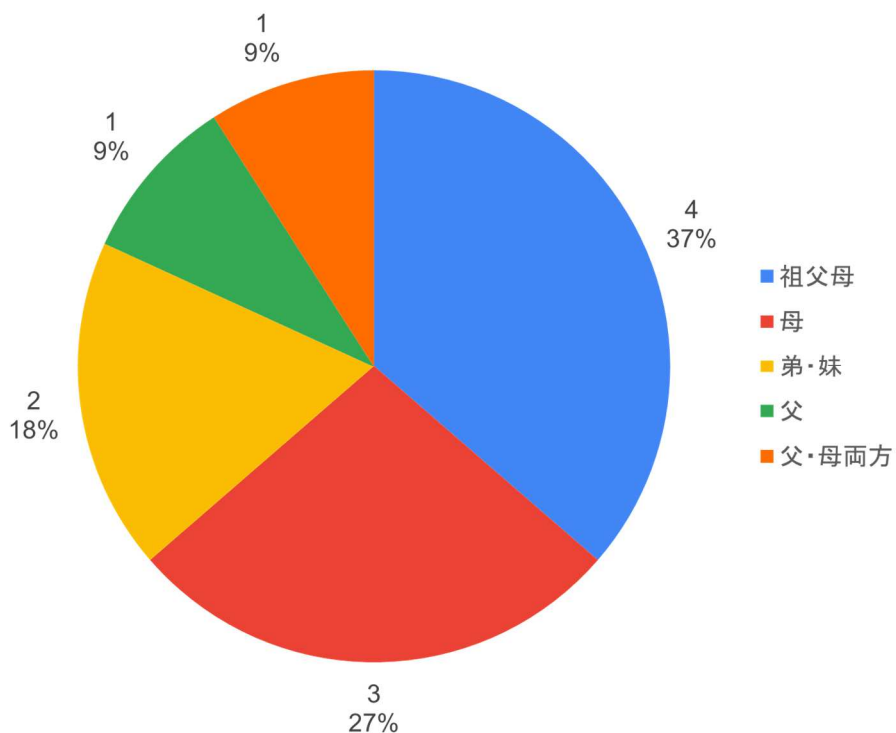
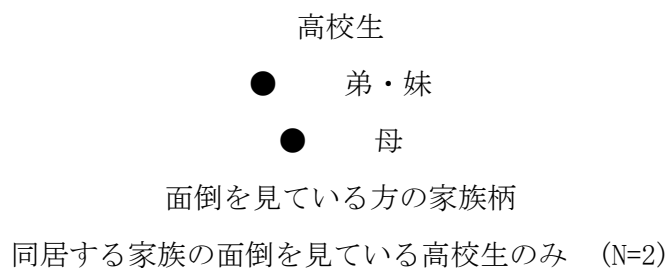


図4-3-9 面倒を見ている方の家族柄
 全体(N=11) (人)



Q98「面倒を見ている人がいる」と答えた方
その方の面倒をみる理由について教えてください

面倒をみる理由については、高齢などで介護が必要だから、障がいがあるから、病気などで看護が必要だからという理由が多かった。

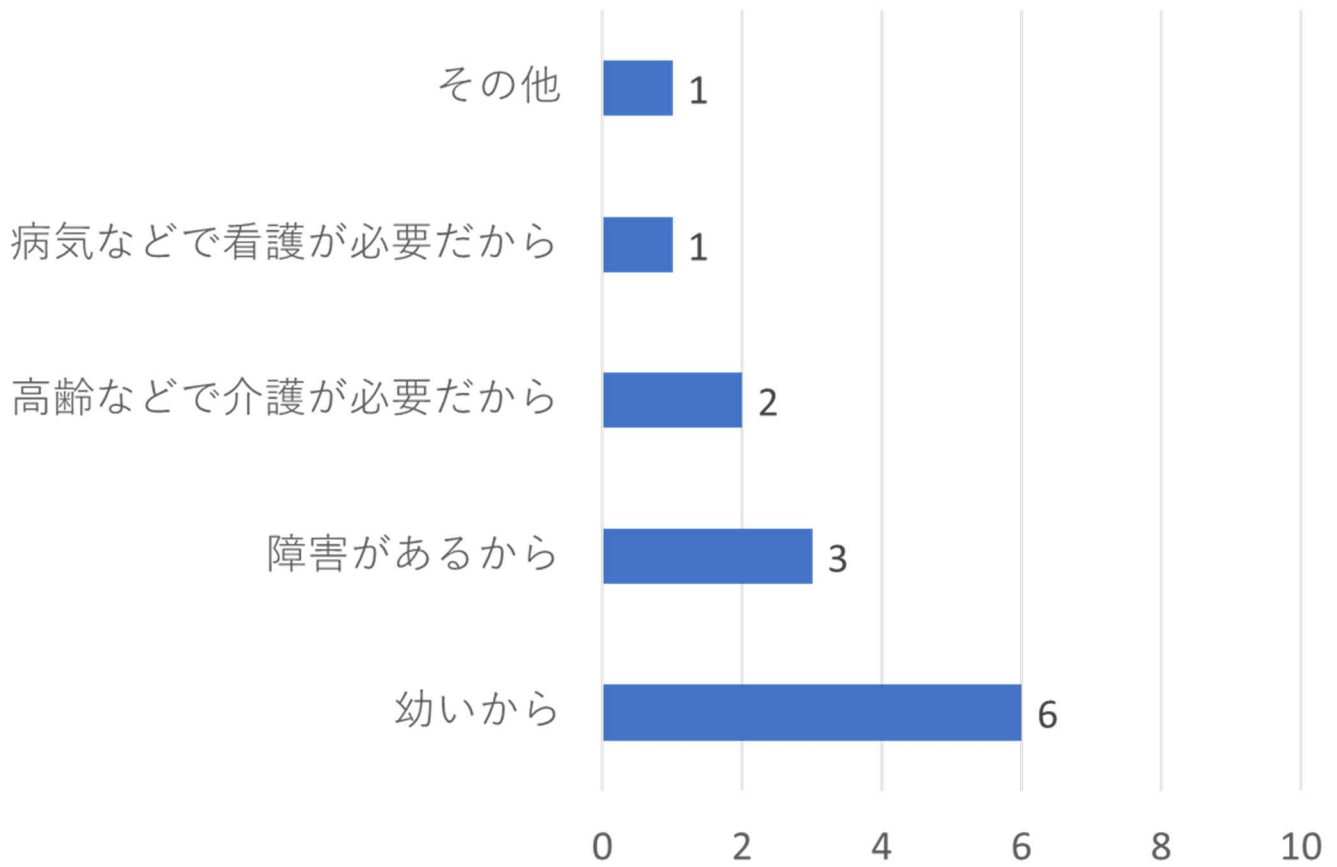


図4-3-10 面倒をみる理由
全体(N=11) (人)

高校生
● 幼いから
● 障がいがあるから
面倒をみる理由
同居する家族の面倒を見ている高校生のみ(N=2)

Q10その方の面倒をみるのは1週間に何日くらいですか

1週間のうち面倒をみる頻度について、「ほぼ毎日」と回答した人は、46%（回答数5）であった。また、高校生については、「週3日以上」家族の面倒を見ていた。

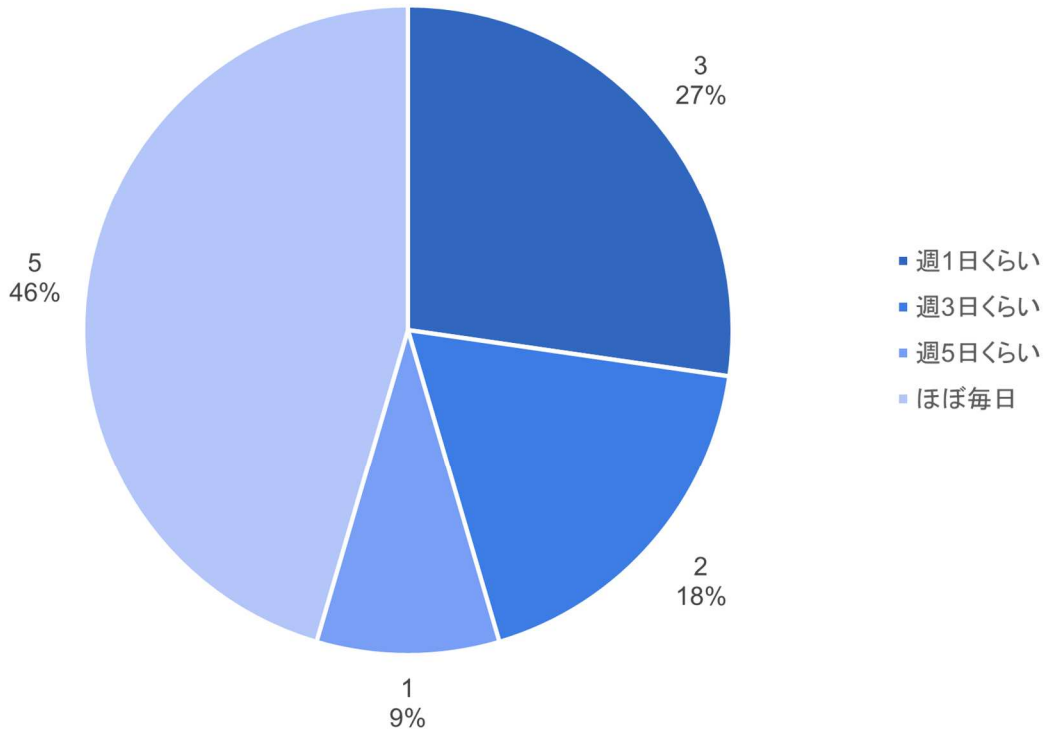


図4-3-11 1週間のうち面倒をみる頻度
全体(N=11) (人)

高校生

- 週5日
- 週3日

1週間のうち面倒をみる頻度

同居する家族の面倒を見ている高校生のみ (N=2)

Q11その方の面倒をみるのは1日に何時間くらいですか

1日のうち面倒をみる頻度について、「1時間以上半日未満」と回答した人は、46%（回答数5）であった。また、高校生については、「1時間未満」家族の面倒を見ていた。

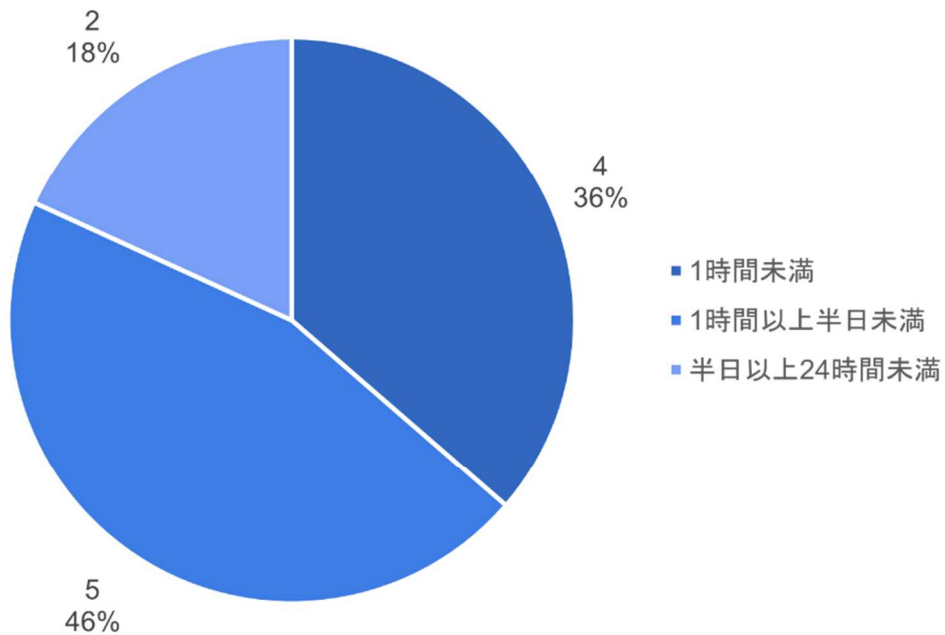


図4-3-12 1日のうち面倒をみる頻度

全体(N=11) (人)

高校生

● 1時間未満

● 1時間未満

1日のうち面倒をみる頻度

同居する家族の面倒を見ている高校生のみ (N=2)

Q41 高校生のみ
生活するうえでの費用の負担を教えてください

生活するうえでの費用の負担について、高校生全体では教育費生活費とも自分ではない人が93%（102人）であった。同居する家族の面倒を見ている高校生の中には、教育費のみ自分という人もいた。

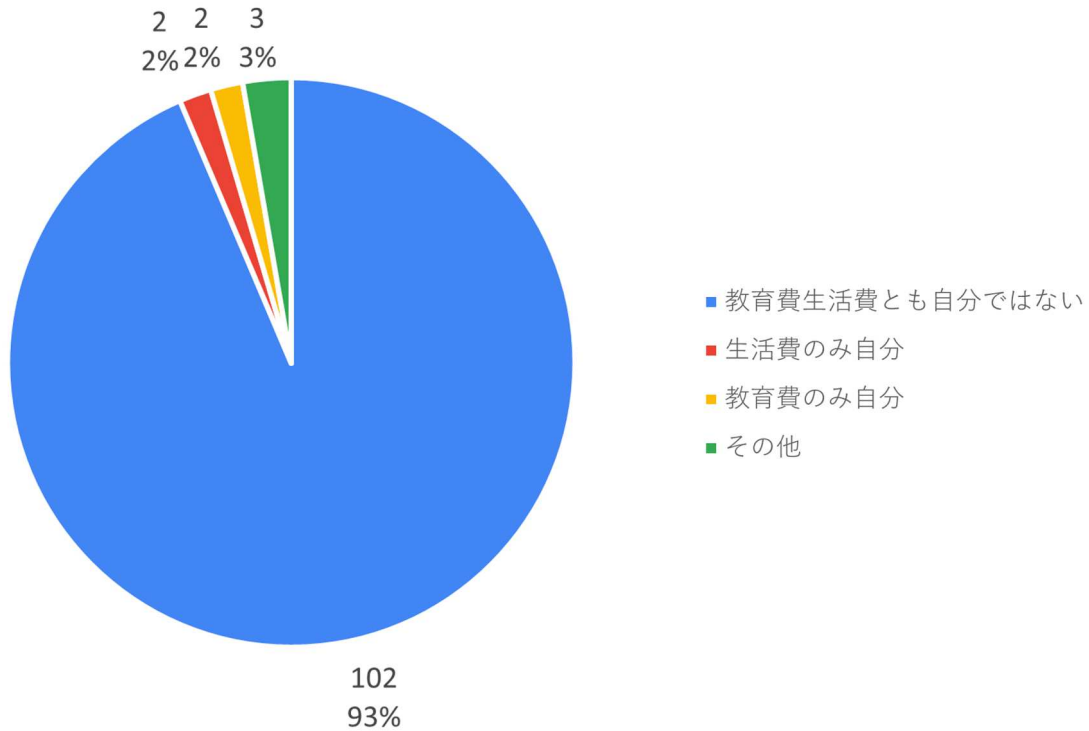


図4-3-13 生活するうえでの費用の負担について（N=109）（人）

高校生

● 教育費生活費とも自分ではない

● 教育費のみ自分

生活するうえでの費用の負担について

同居する家族の面倒を見ている高校生のみ（N=2）

③自身の困りごとや意識について

生活について

Q31 高校生のみ
今の生活は楽しいと思いますか

今の生活は楽しいと思うかについて、「非常によく当てはまる」「やや当てはまる」と回答した人は、全体の68%（回答数74）であった。

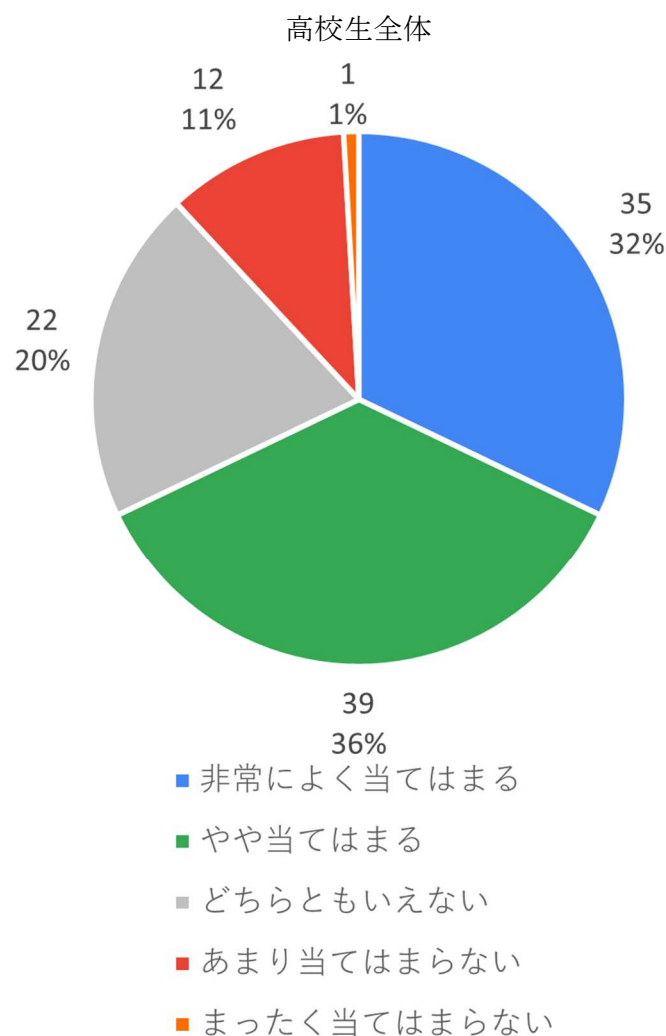


図4-3-14 今の生活は楽しいと思うかについて
高校生（N=109）（人）

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- 非常によく当てはまる
- 非常によく当てはまる

今の生活は楽しいと思うかについて

同居する家族の面倒を見ている高校生のみ（N=2）

相談相手について

Q19 高校生のみ

あなたは家族と人生や将来の話はしますか

家族と人生や将来の話すかについて、家族と人生や将来の話さない人は19人で、家族の面倒を見ている人は2人ともしないと回答していた。

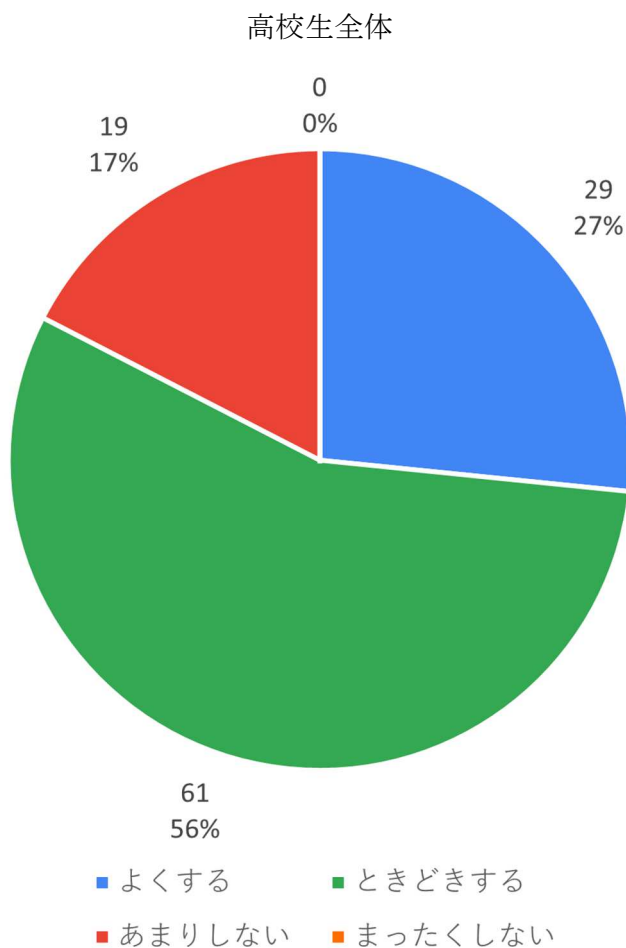


図4-3-15 家族と人生や将来の話すかについて
高校生 (N=109) (人)

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- あまりしない
- あまりしない

家族と人生や将来の話すかについて

同居する家族の面倒を見ている高校生のみ (N=2)

Q35 高校生のみ

自分には話せる人がいないと感じることがある

自分には話せる人がいないと感じることがある人は、16人いた。家族の面倒を見ている人は2人とも当てはまらないと回答していた。

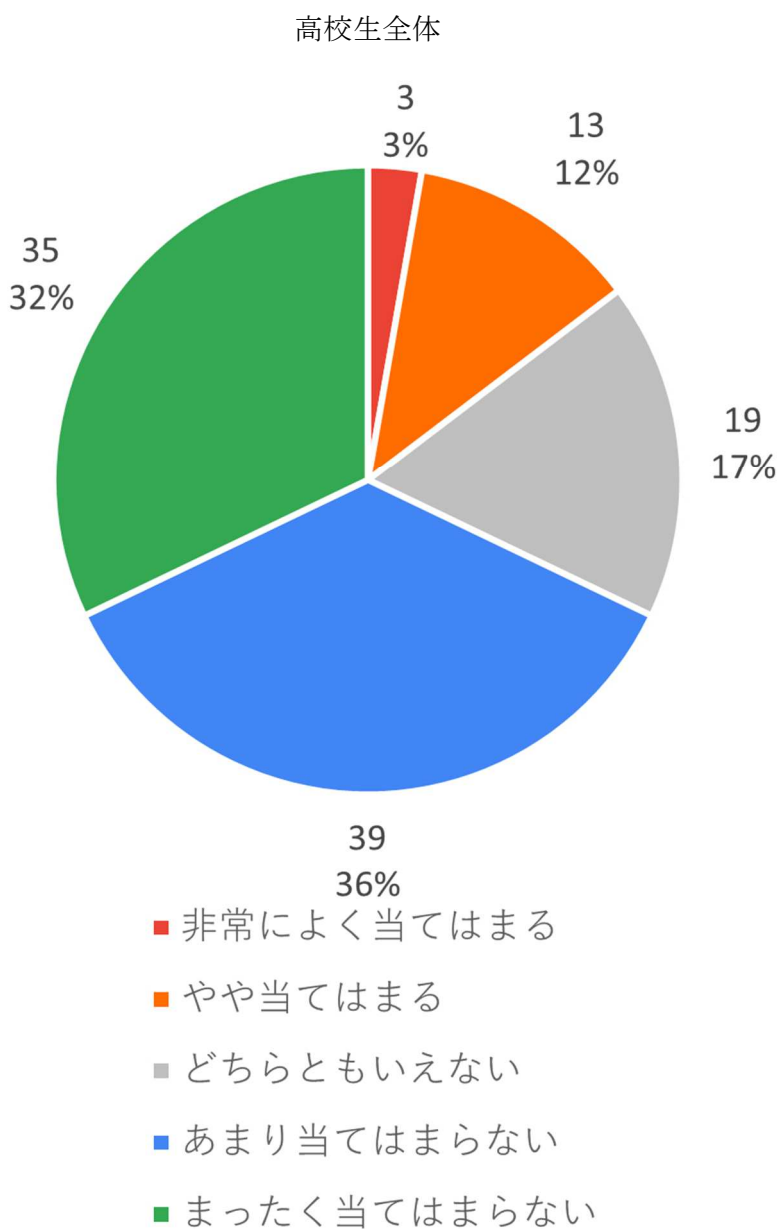


図4-3-16 自分には話せる人がいないと感じることがあるかについて
高校生 (N=109) (人)

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- あまり当てはまらない
- まったく当てはまらない

自分には話せる人がいないと感じることがあるかについて
同居する家族の面倒を見ている人高校生のみ (N=2)

将来について

Q18高校生のみ

あなたが希望する将来の進路を教えてください

将来の進路について、進学が最も多く87人で、就活する人が最も少なく22人であった。就職する人のうち2人は同居する家族の面倒を見ていた。愛されていると感じるや非常に幸せと感じるときがあるなどの質問では、全体と同居する家族の面倒を見ている人の間に大きな差異は見られなかった。

高校生全体

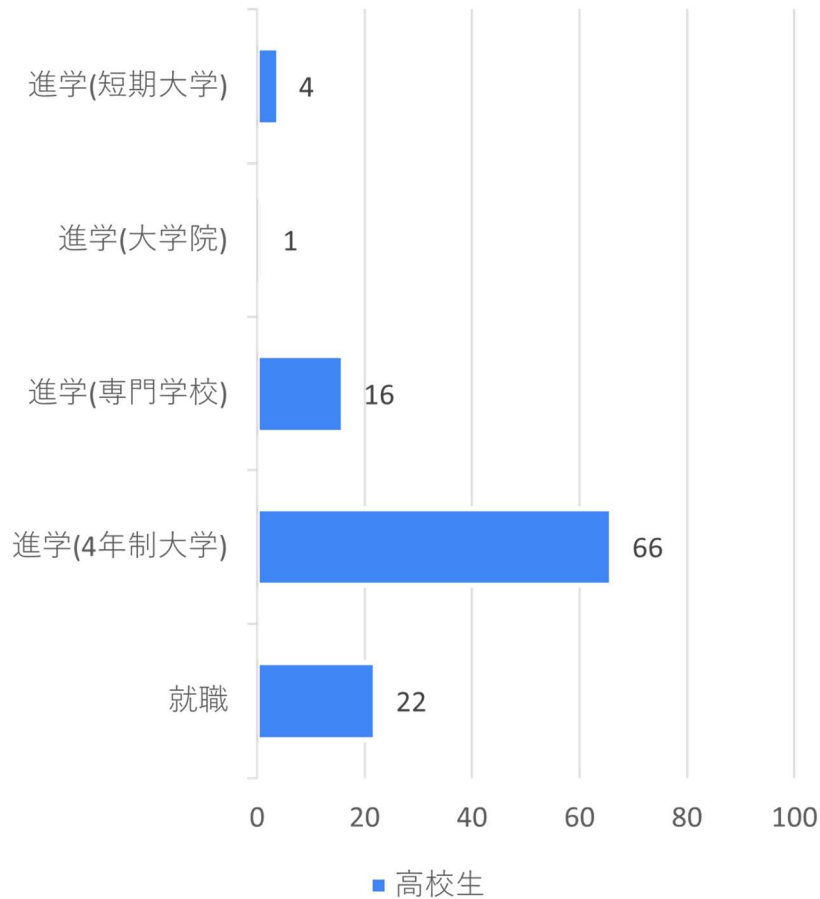


図4-3-17 将来の進路について

高校生 (N=109) (人)

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- 就職
- 就職

将来の進路について

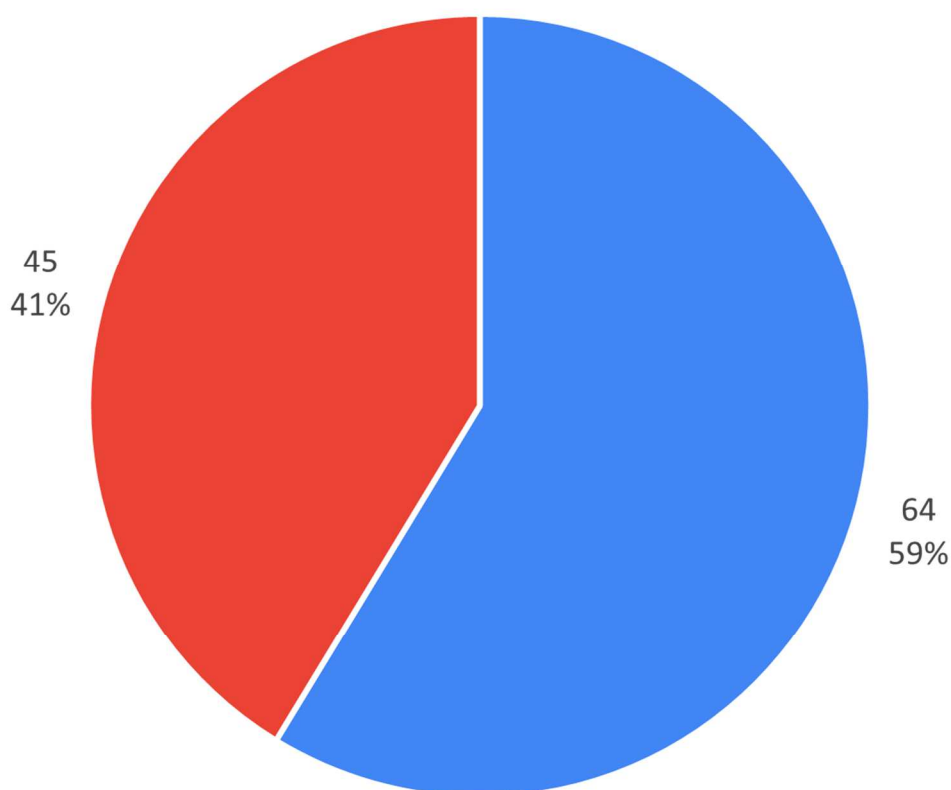
同居する家族の面倒を見ている人高校生のみ (N=2)

Q22 高校生のみ

現在の結婚に対する考えを教えてください

現在の結婚に対する考えについて、「結婚したいと考えている」人は全体の59%(回答数64)であった。

高校生全体



■ 結婚はしたいと考えている ■ 結婚は考えていない

図4-3-18 現在の結婚に対する考えについて
高校生 (N=109) (人)

同居する家族の面倒を見ている人のみ

● 結婚はしたいと考えている

● 結婚は考えていない

現在の結婚に対する考えについて

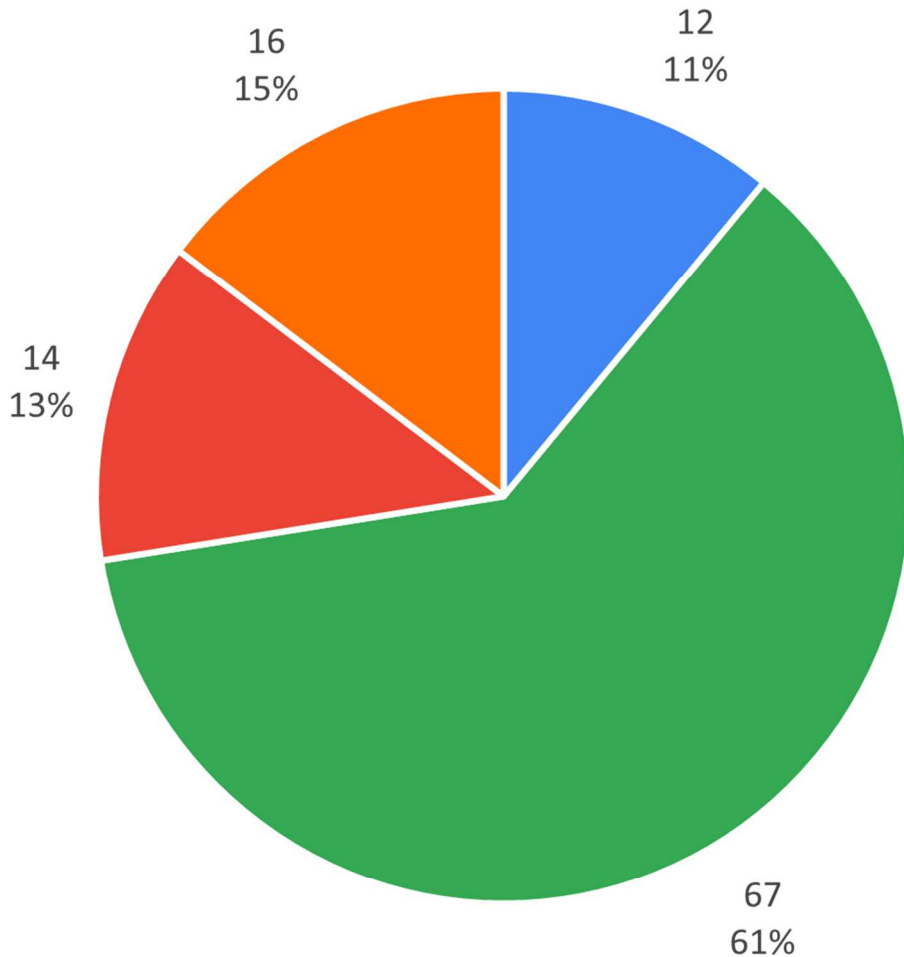
同居する家族の面倒を見ている人高校生のみ (N=2)

Q27 高校生のみ

「将来子どもが欲しい」気持ちはありますか

「将来子どもが欲しい」気持ちはある人は、全体の77%（回答数79）であった。一方で、同居する家族の面倒を見ている人は、「将来子どもが欲しい」気持ちはないと回答していた。

高校生全体



- すごくある
- どちらかといえはある
- どちらかといえはない
- 全くない

図4-3-19 「将来子どもが欲しい」気持ちはあるかについて
高校生（N=109）（人）

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- どちらかといえはない
- 全くない

「将来子どもが欲しい」気持ちはあるかについて
同居する家族の面倒を見ている人高校生のみ（N=2）

自分自身について

Q33 高校生のみ

愛されていると感じる

愛されていると感じるかについて、「あてはまる」人は、全体の82%（回答数90）であった。同居する家族の面倒を見ている人も、「あてはまる」と回答していた。

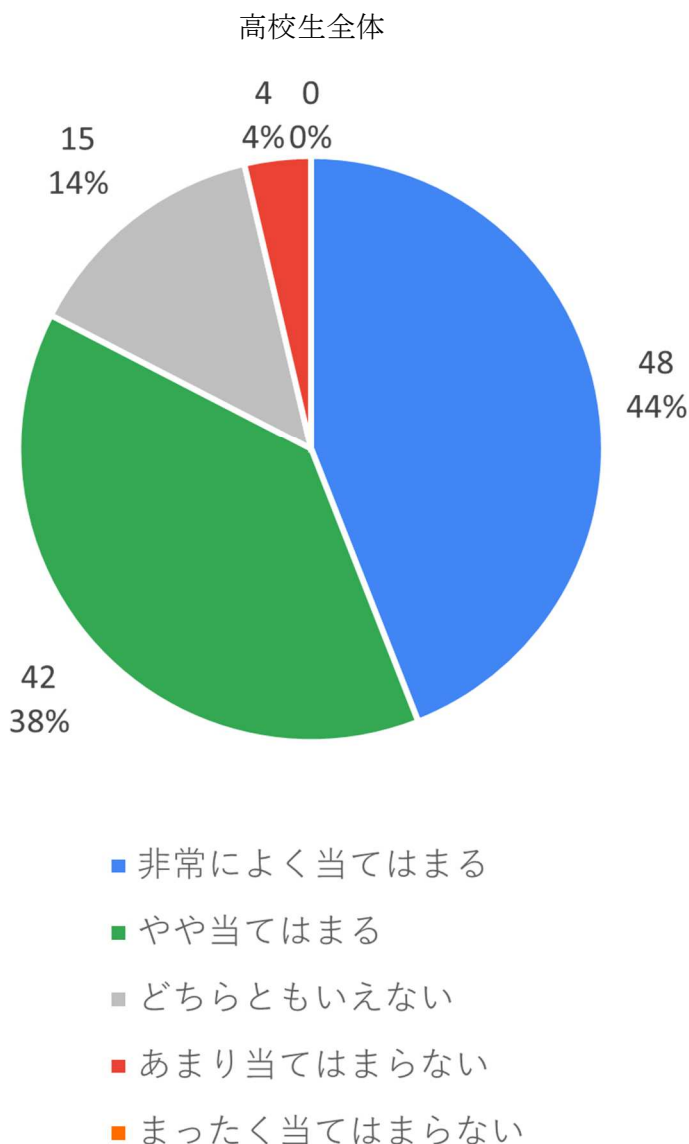


図4-3-20 愛されていると感じるかについて
高校生 (N=109) (人)

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- 非常によく当てはまる
- やや当てはまる

愛されていると感じるかについて

同居する家族の面倒を見ている人 高校生のみ (N=2)

Q32 高校生のみ

非常に幸せと感ずるときがある

非常に幸せと感ずるときがあるかについて、「あてはまる」人は、全体の73%（回答数80）であった。同居する家族の面倒を見ている人も、「あてはまる」と回答していた。

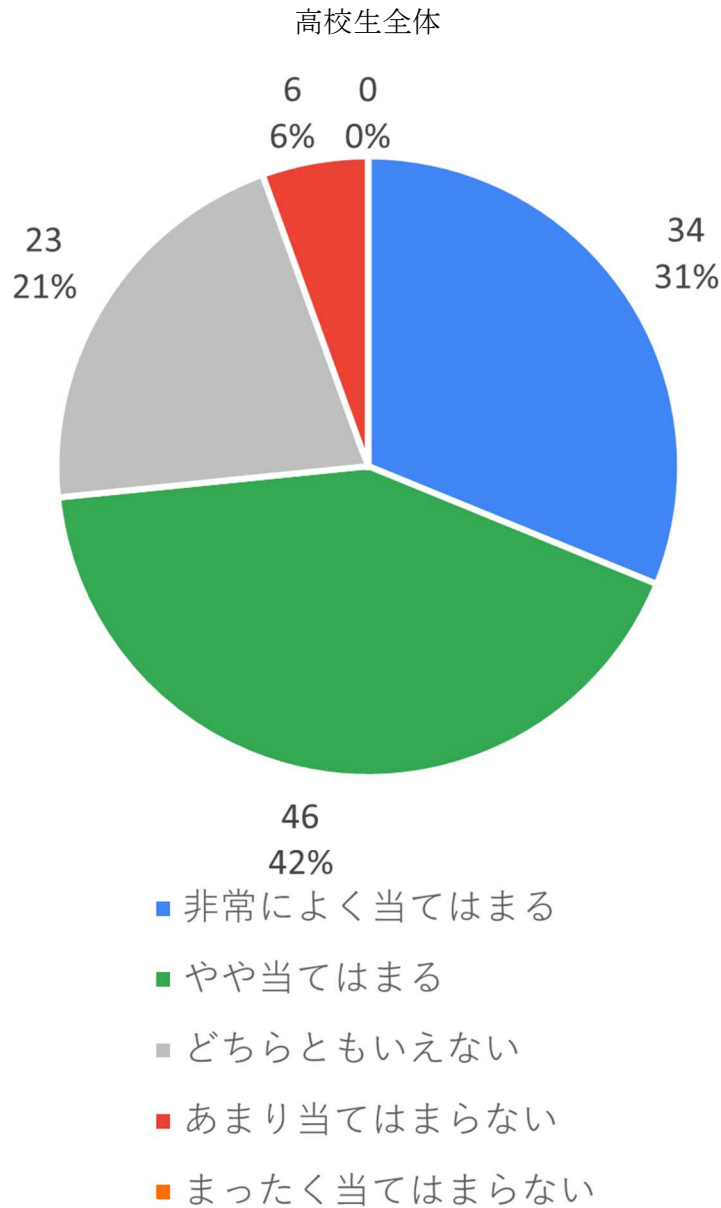


図4-3-21 非常に幸せと感ずるときがあるかについて
高校生 (N=109) (人)

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- 非常によく当てはまる
- やや当てはまる

非常に幸せと感ずるときがあるかについて

同居する家族の面倒を見ている人 高校生のみ (N=2)

Q34 高校生のみ

自分はひとりぼっちだと感じることがある

自分はひとりぼっちだと感じることがあるかについて、「あてはまらない」人は、全体の60%（回答数65）であった。同居する家族の面倒を見ている人も、「あてはまらない」と回答していた。

高校生全体

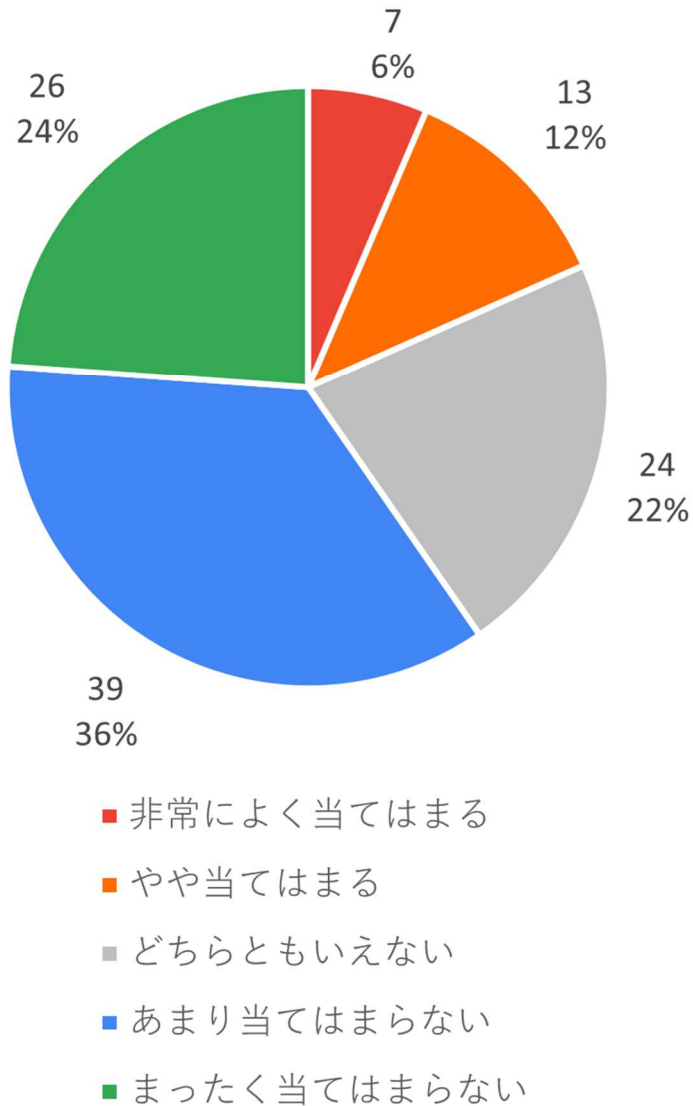


図4-3-22 自分はひとりぼっちだと感じることがあるかについて
高校生 (N=109) (人)

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- あまり当てはまらない
- まったく当てはまらない

自分はひとりぼっちだと感じることがあるかについて
同居する家族の面倒を見ている人高校生のみ (N=2)

Q36 高校生のみ

自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある

自分はまわりから、取りのこされていると感じることがあるかについて、「あてはまらない」人は、全体の65%（回答数70）であった。同居する家族の面倒を見ている人も、「あてはまらない」と回答していた。

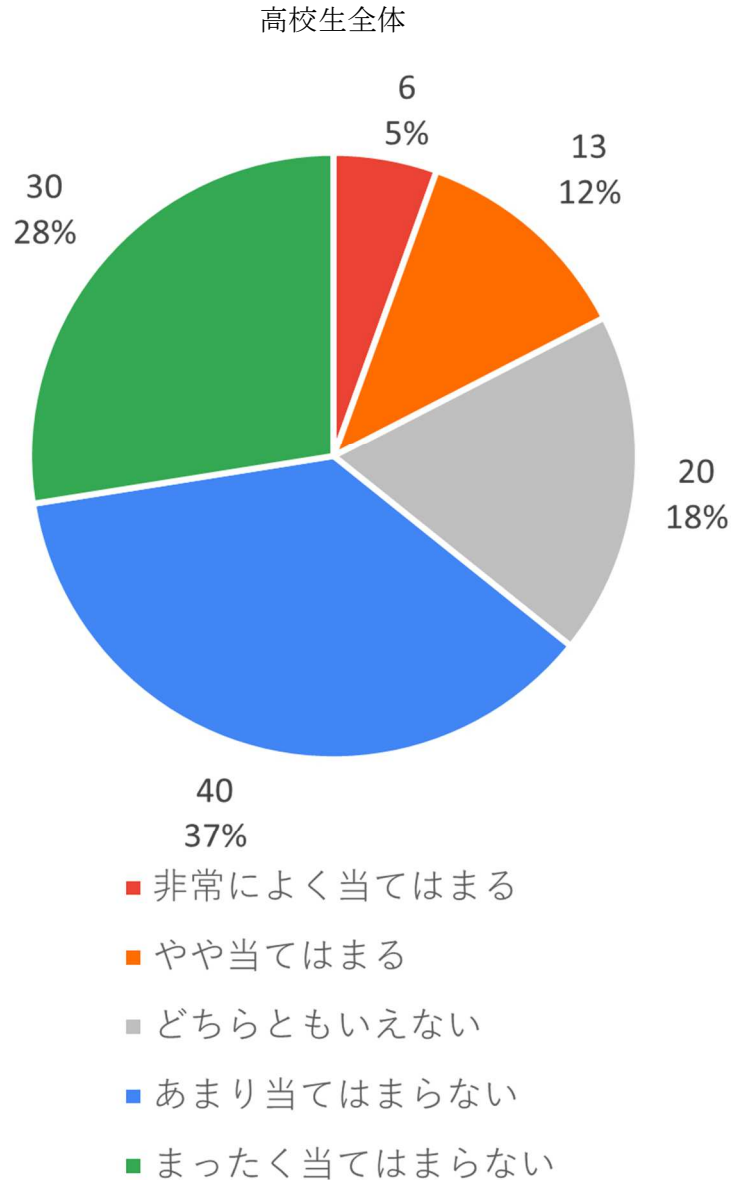


図4-3-23 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがあるかについて
高校生（N=109）（人）

同居する家族の面倒を見ている人のみ

- あまり当てはまらない
- あまり当てはまらない

自分はまわりから、取りのこされていると感じることがあるかについて
同居する家族の面倒を見ている人 高校生のみ（N=2）

4-4. 「子育て関連施設の職員やスタッフ」を対象とした調査結果

①職業について

Q3 あなたの職業を教えてください

「子育て関連施設の職員やスタッフ」は、主に「教職」「放課後等デイサービス」「その他」を対象に調査を行い、「その他」については保育所や児童クラブからの回答が多く集まった。

「教職」

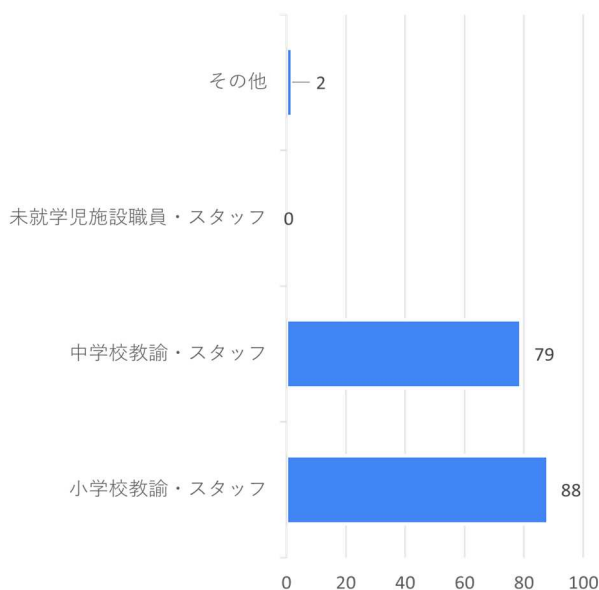


図4-4-1職業について (N=169)

「放課後等デイサービス」

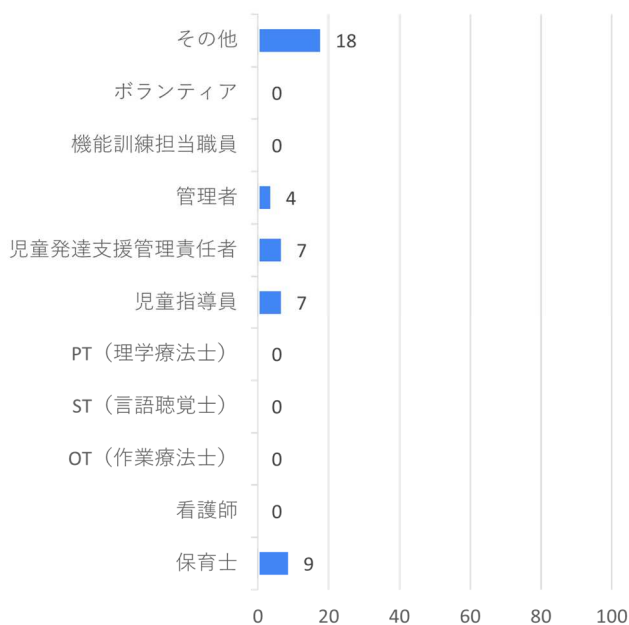


図4-4-2職業について (N=45)

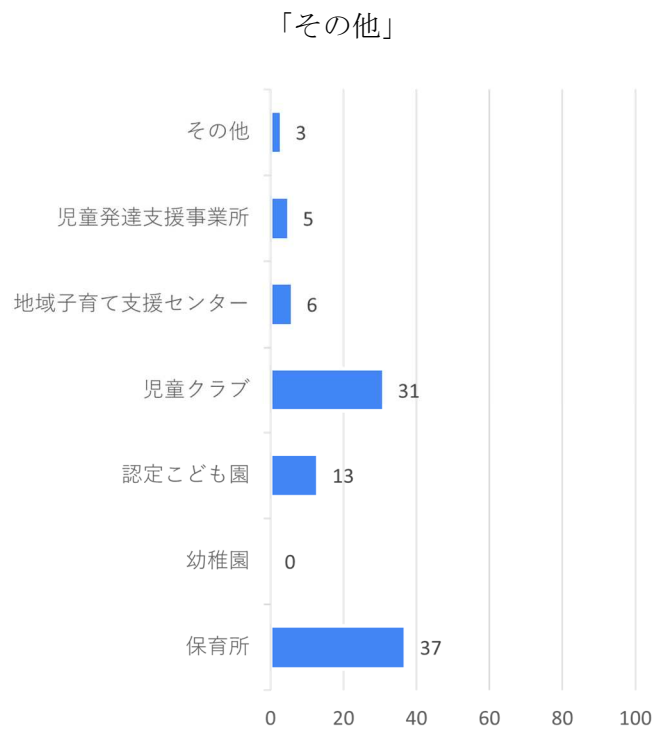


図4-4-3職業について(N=95)

Q4 職歴は何年ですか（数字でお答えください）

職歴については、「教職」は0～15年以下と31年以上が多く、「放課後等デイサービス」は0～10年以下が多く、「その他」は0～20年以下が多かった。

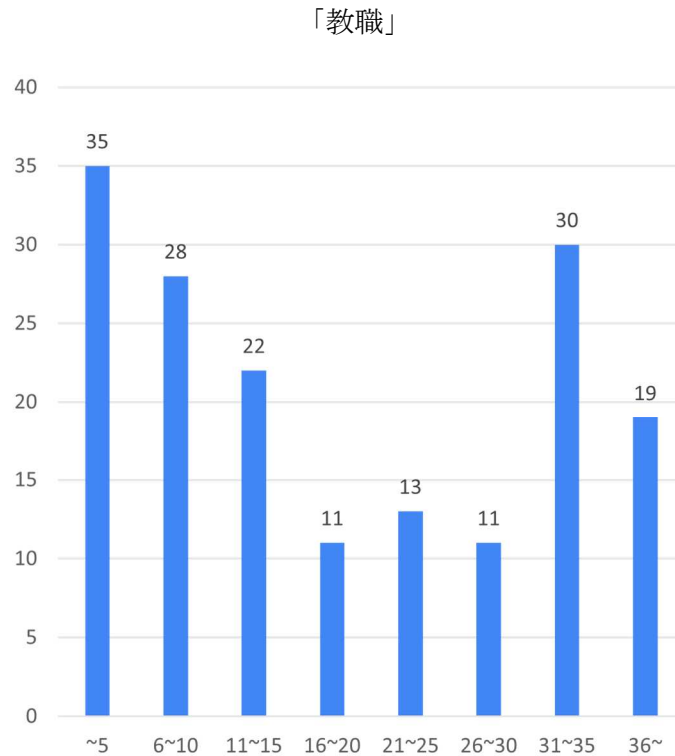


図4-4-4 職歴について (N=169)

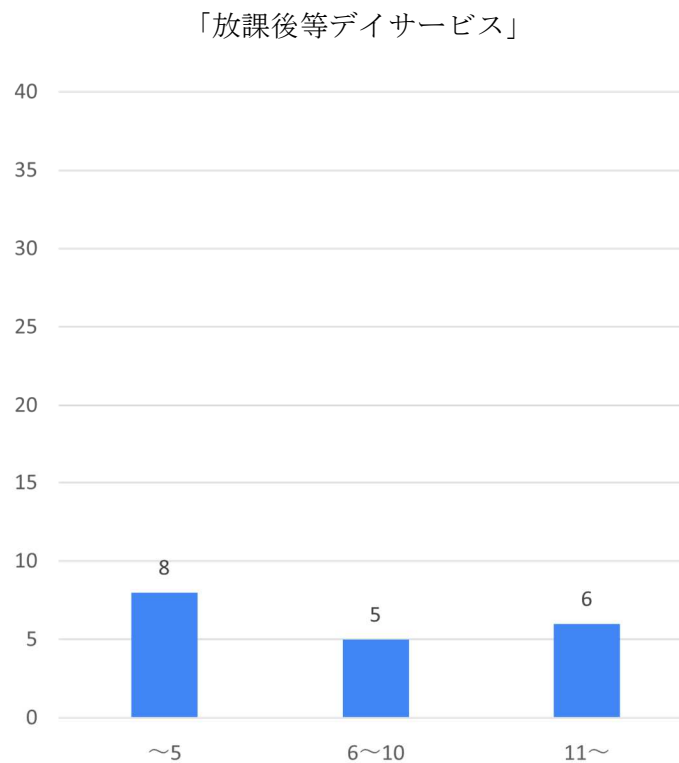


図4-4-5 職歴について (N=19)

「その他」

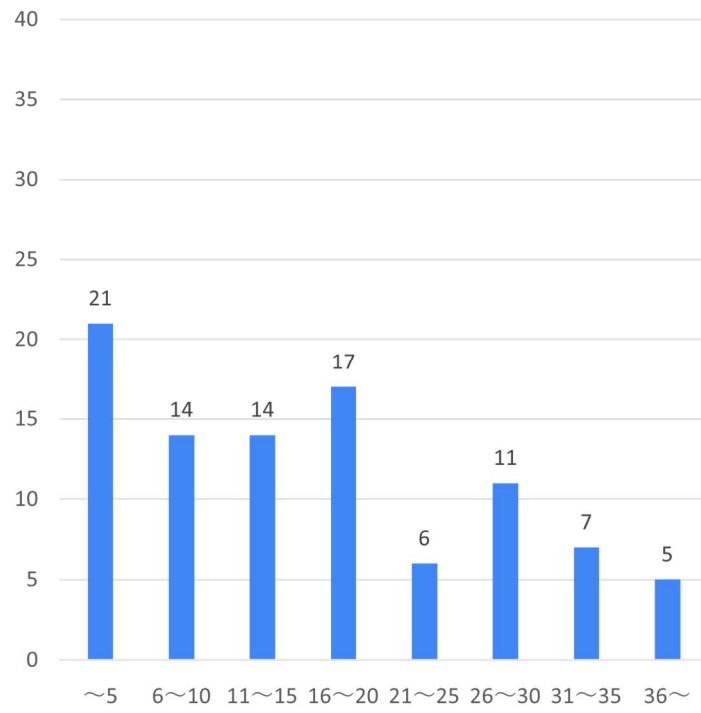


図4-4-6職歴について(N=95)

②施設の実態について

Q9 各施設が子どもにとっての居場所・直接声を聞く場となっていると思いますか

子どもの居場所・直接声を聞く場となっていると思わない人は、「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で26人いた。

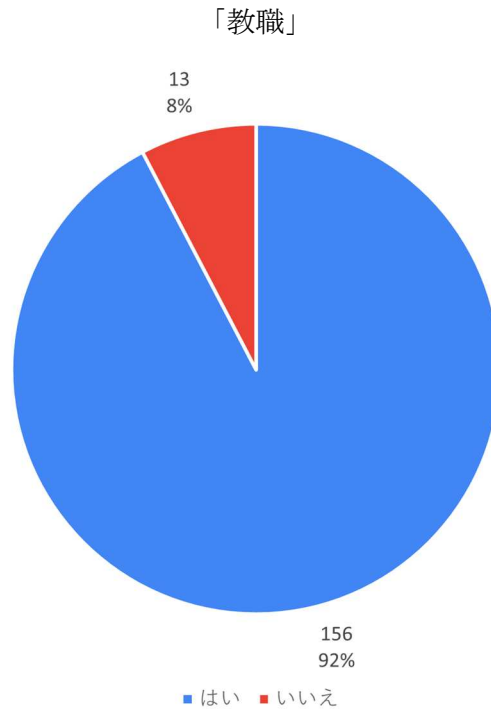


図4-4-7 各施設が子どもにとっての居場所・直接声を聞く場となっているかについて (N=169)

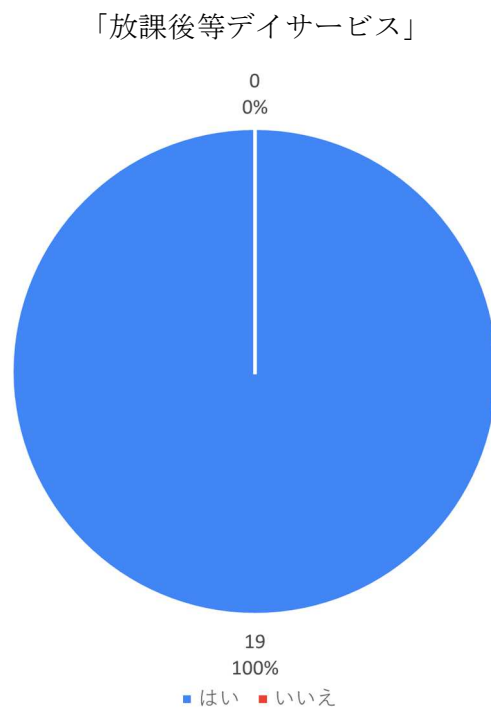


図4-4-8 各施設が子どもにとっての居場所・直接声を聞く場となっているかについて (N=19)

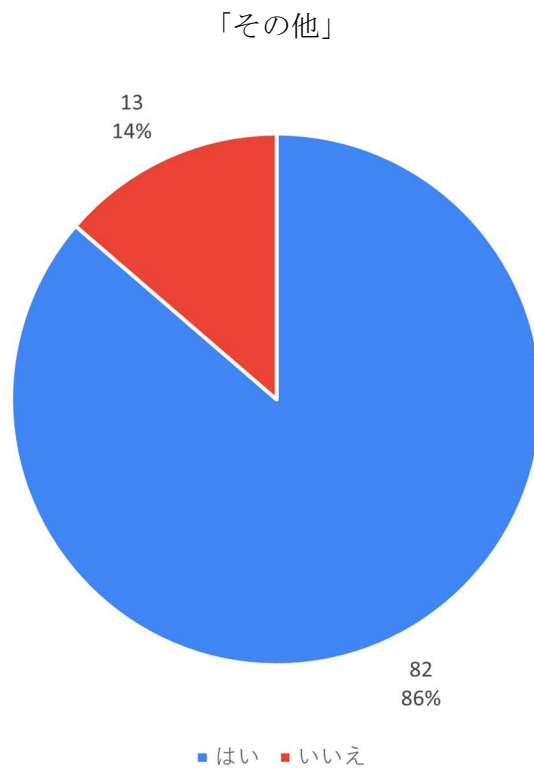


図4-4-9 各施設が子どもにとっての居場所・直接声を聞く場となっているかについて(N=95)

Q10児童の家庭環境等をどこまで把握していますか（複数選択可）

児童の家庭環境等をどこまで把握しているかについて、全く分からないと回答した人は「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で19人いた。一方で「家族構成」と回答した人が最も多く、231人いた。

「教職」

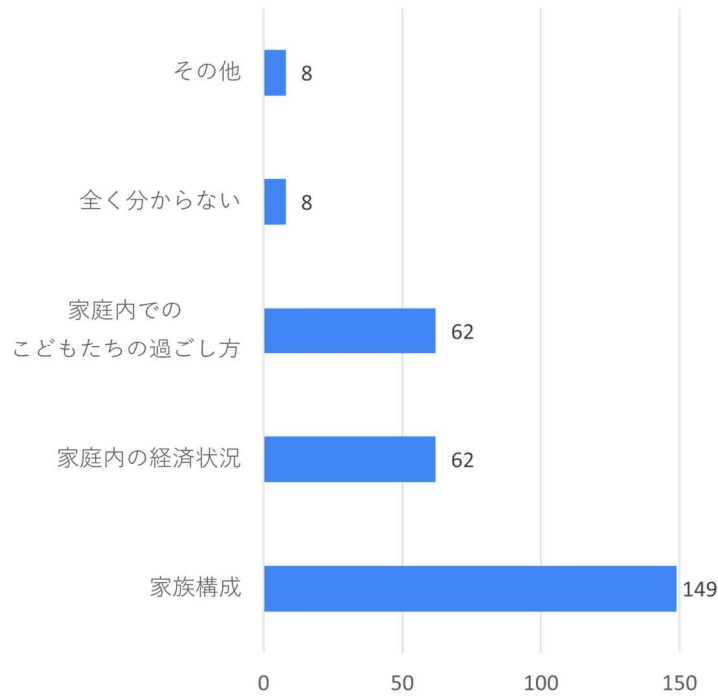


図4-4-10 児童の家庭環境等をどこまで把握しているかについて (N=289)

「その他」

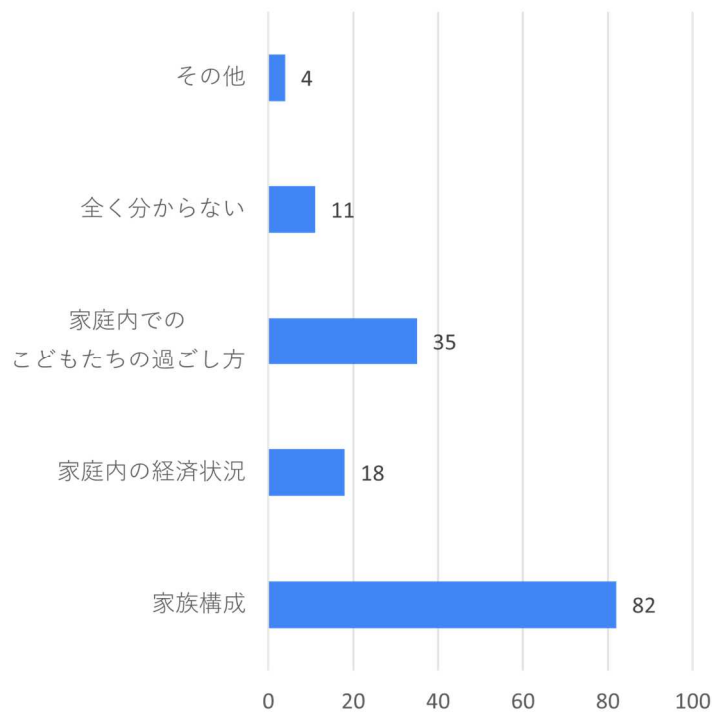


図4-4-11 児童の家庭環境等をどこまで把握しているかについて (N=95)

Q11 大人の目線で生活の様子から子ども達の間で貧困の差を感じますか

大人の目線で生活の様子から子ども達の間で貧困の差を感じる人は、「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で192人いた。特に、「教職」は、全体の78%（回答数131）と他の施設よりも多い。

「教職」

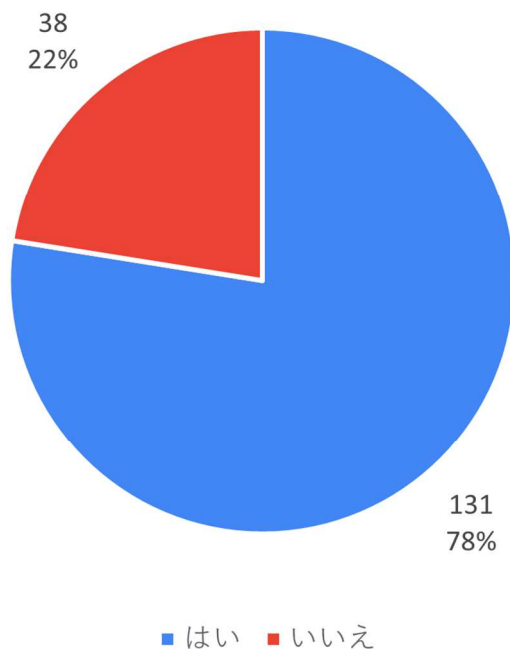


図4-4-12 大人の目線で生活の様子から子ども達の間で貧困の差を感じるかについて (N=169)

「放課後等デイサービス」

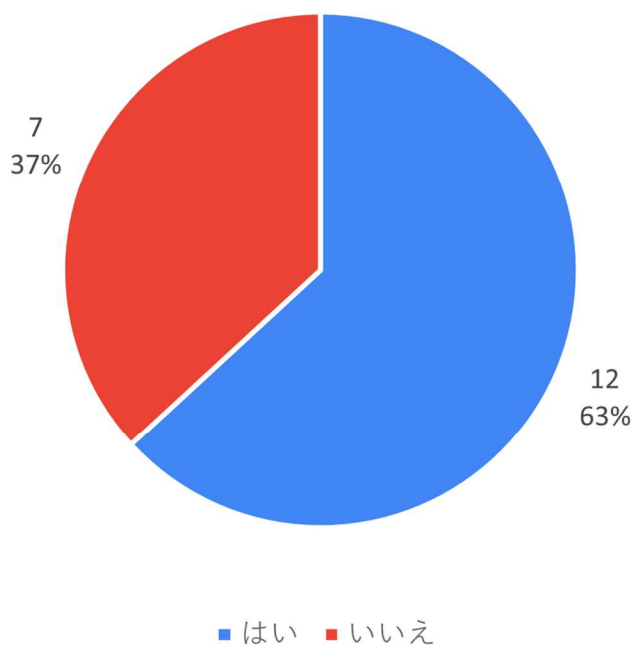


図4-4-13 大人の目線で生活の様子から子ども達の間で貧困の差を感じるかについて (N=19)

「その他」

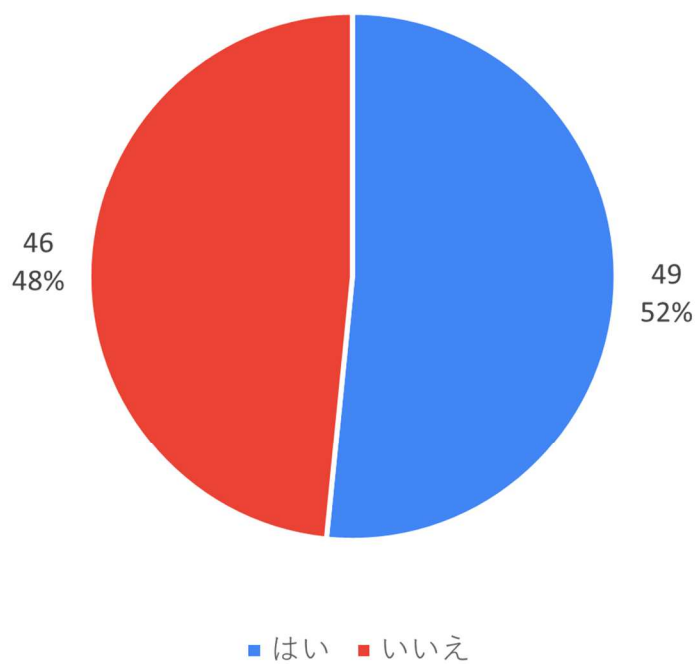


図4-4-14 大人の目線で生活の様子から子ども達の間で貧困の差を感じるかについて (N=95)

Q12こどもが貧困状態であると感じるのはどのような時ですか（複数選択可）

こどもが貧困状態であると感じる時について、「こどもの衣服の汚れや綻び」と回答した人が最も多く、「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で、149人いた。また、「何かしらの支払い、集金の未納」と回答した人が2番目に多く、全体で、115人いた。

「教職」

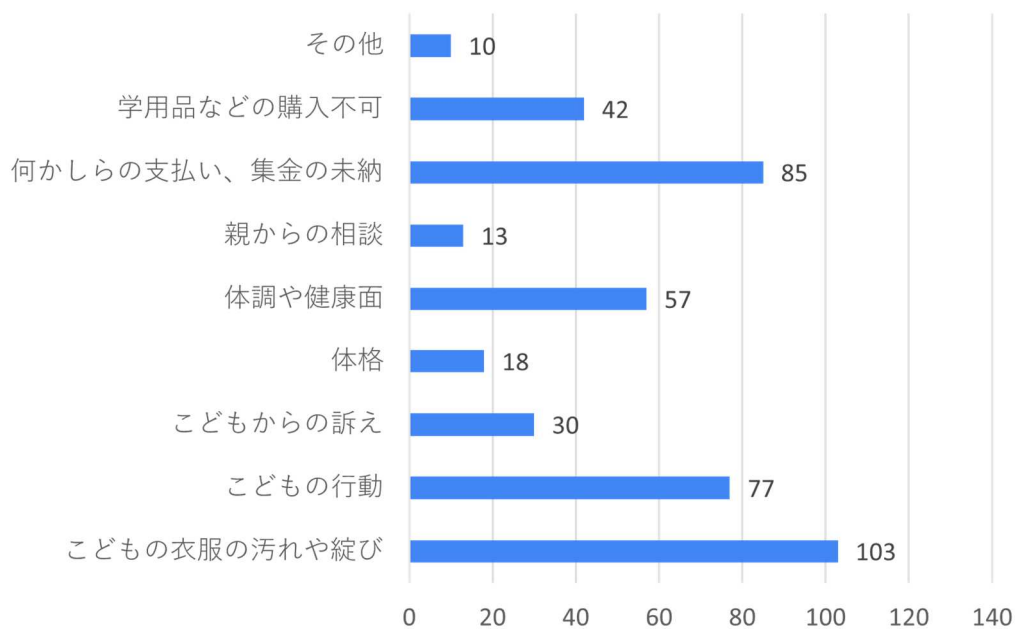


図4-4-15 こどもが貧困状態であると感じる時について(N=435)

「放課後等デイサービス」

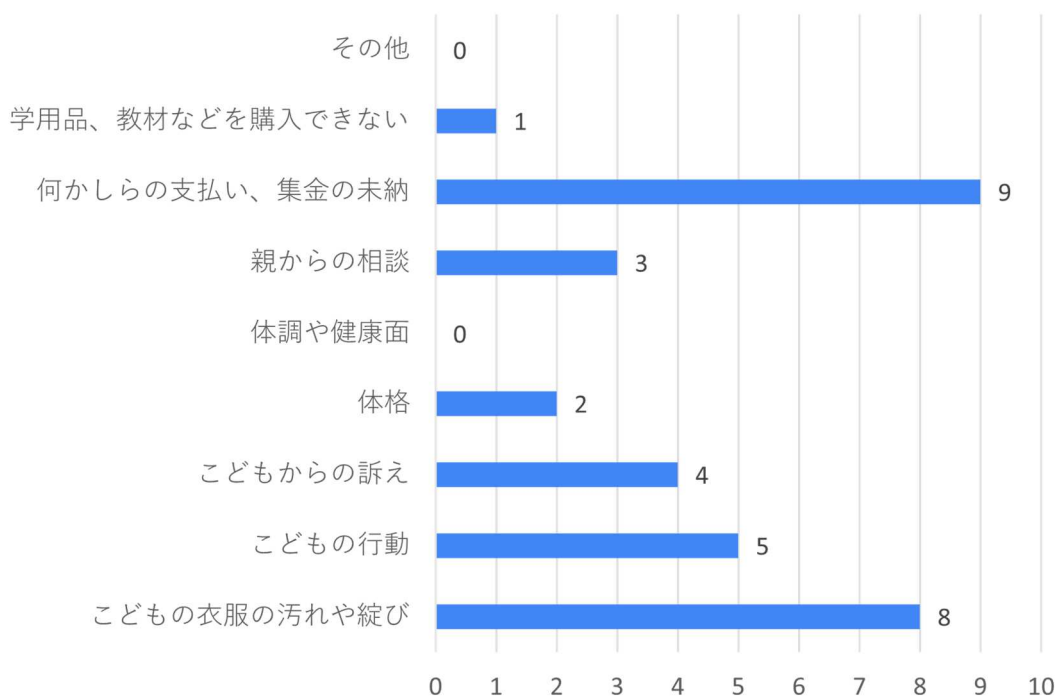


図4-4-16 こどもが貧困状態であると感じる時について(N=32)

「その他」

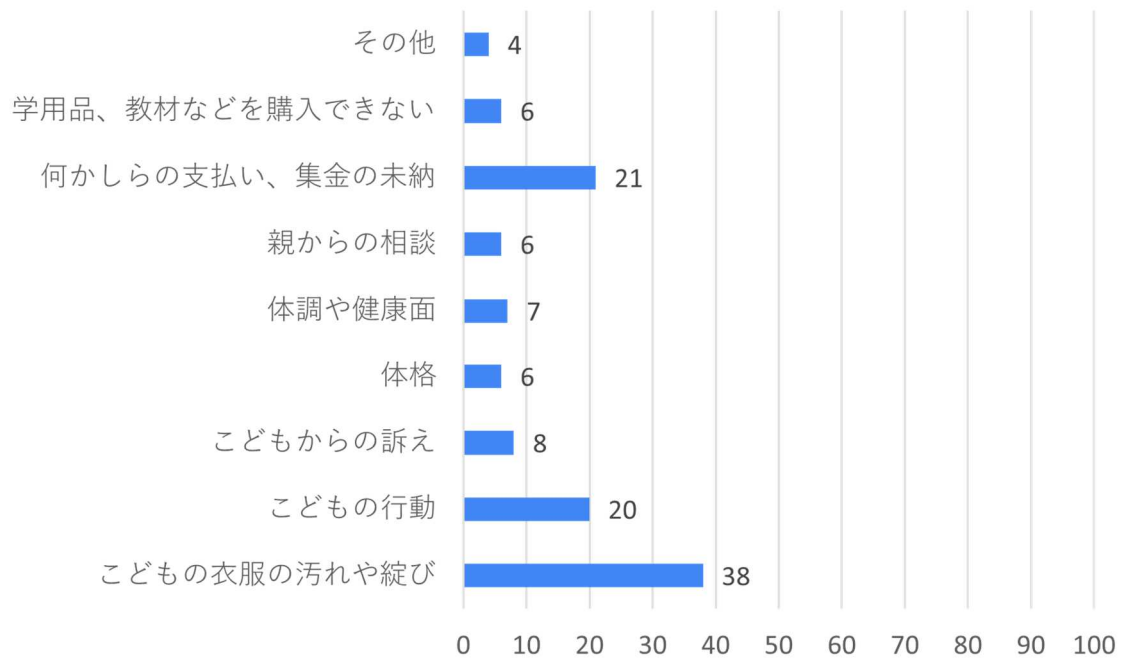


図4-4-17 こどもが貧困状態であると感じる時について(N=116)

Q13 貧困状態にある子どもを発見した時、十分な対応ができていると感じますか

貧困状態にある子どもを発見した時、十分な対応ができていないと感じる人は、いずれの施設においても半分以下で、全体で117人いた。

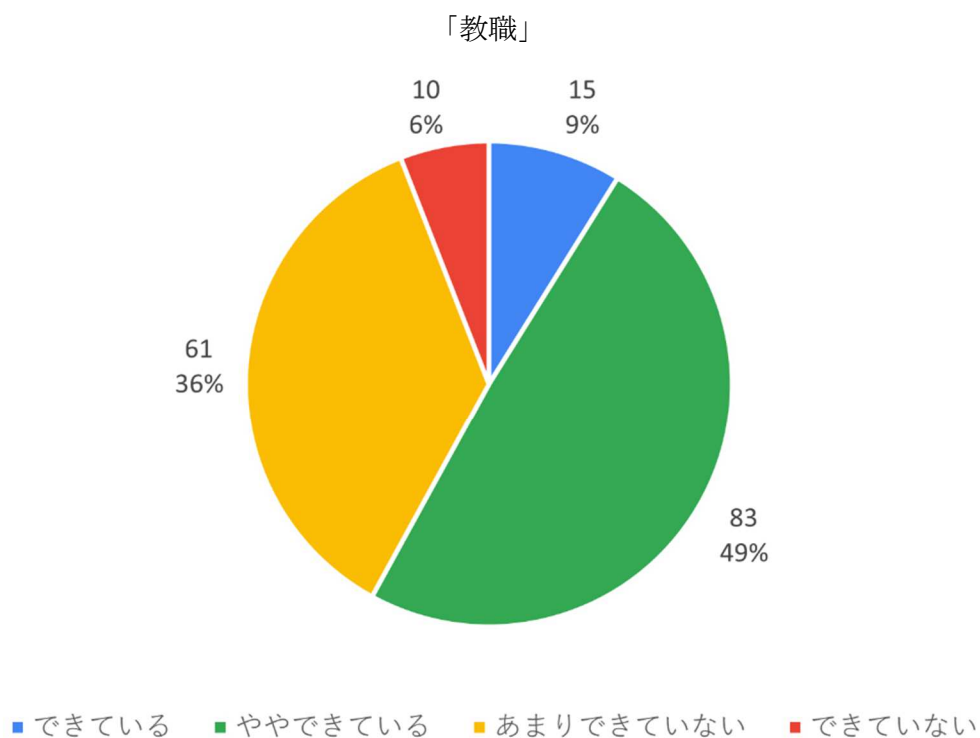


図4-4-18 貧困状態にある子どもを発見した時、十分な対応ができているかについて (N=169)

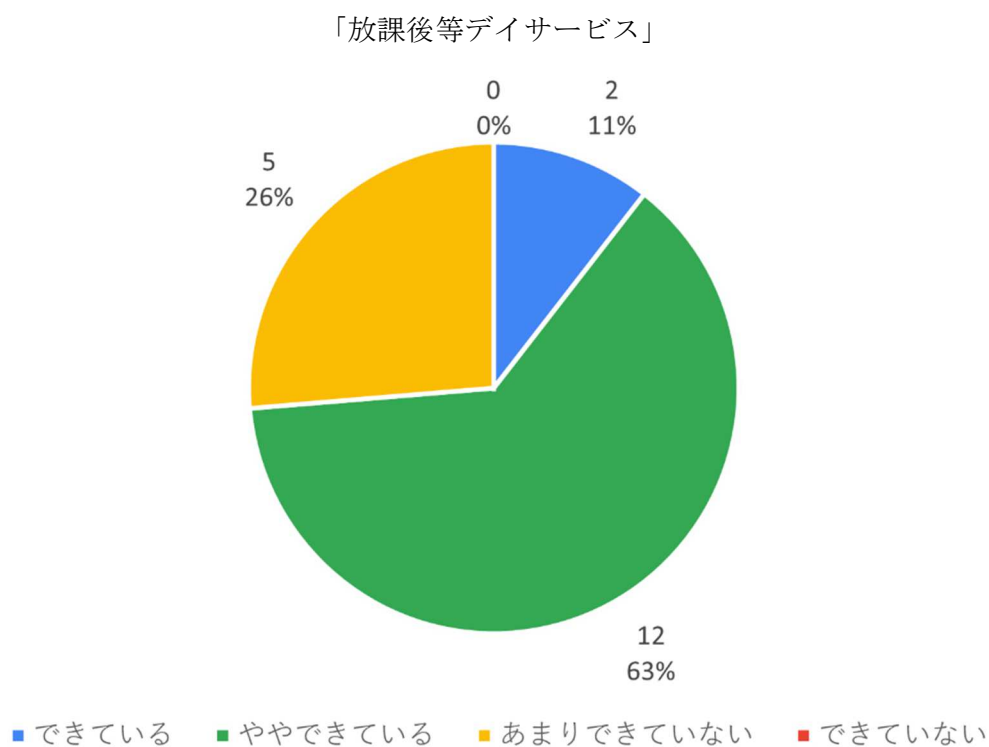
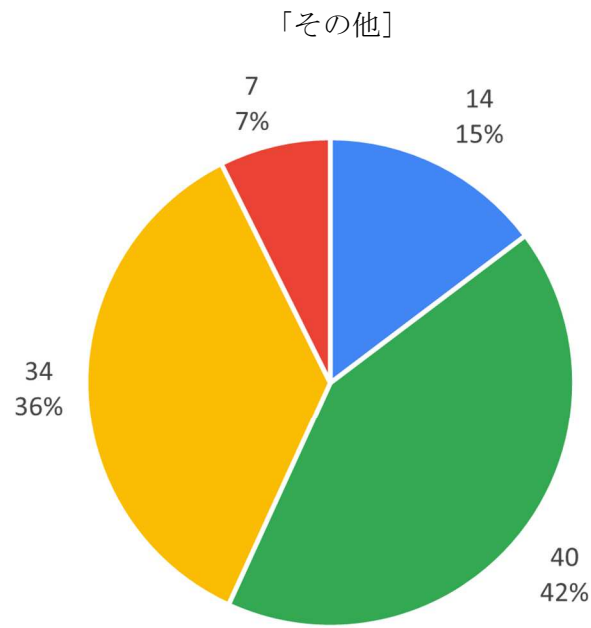


図4-4-19 貧困状態にある子どもを発見した時、十分な対応ができているかについて (N=19)



■できている ■ややできている ■あまりできていない ■できていない

図4-4-20 貧困状態にある子どもを発見した時、十分な対応ができているかについて (N=95)

Q15十分な対応ができていないと感じる理由は何ですか（複数選択可）

十分な対応ができていないと感じる理由について、「家庭介入の難しさ」と回答した人が最も多く、「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で103人いた。また、「対応策が不明」と回答した人が2番目に多く、全体で45人いた。

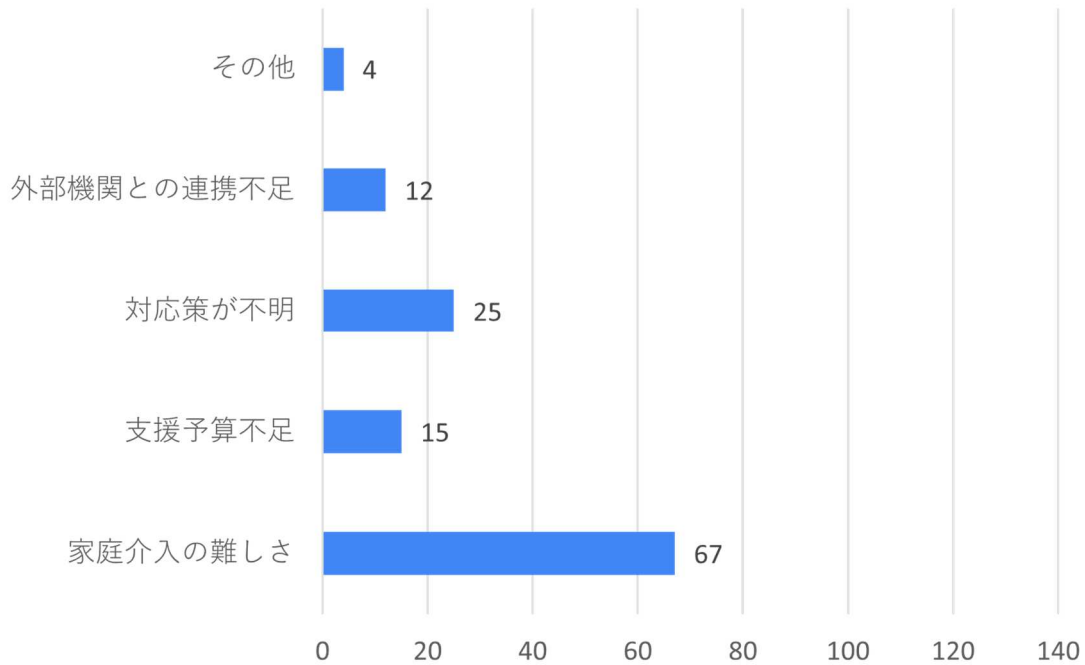


図4-4-21 十分な対応ができていないと感じる理由について (N=198)

「放課後等デイサービス」

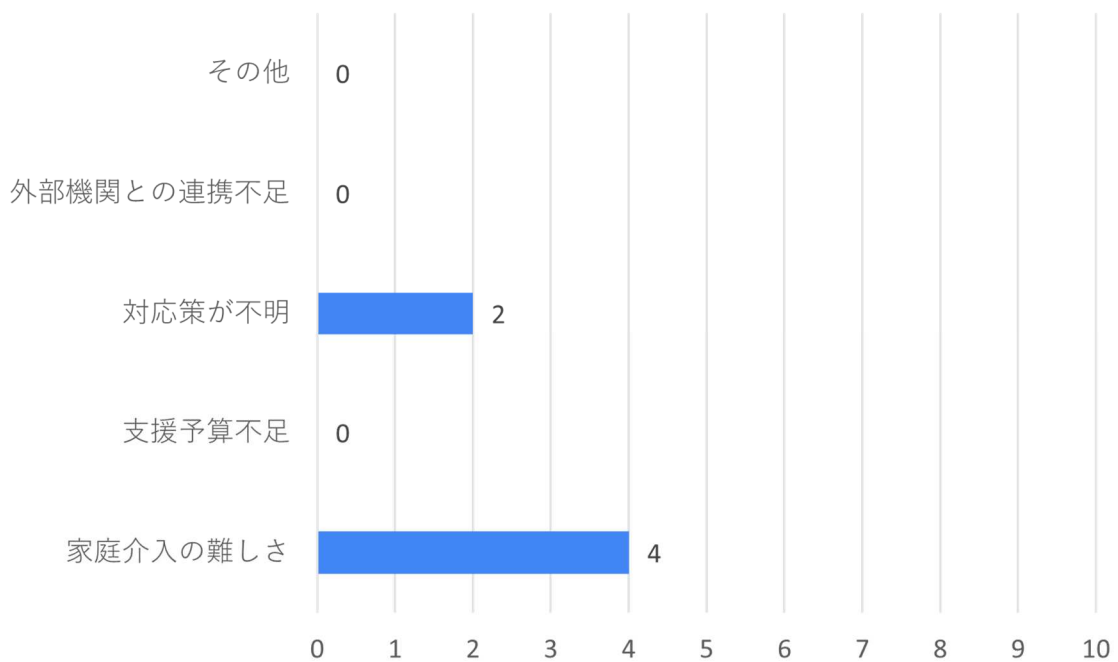


図4-4-22 十分な対応ができていないと感じる理由について (N=6)

「その他」

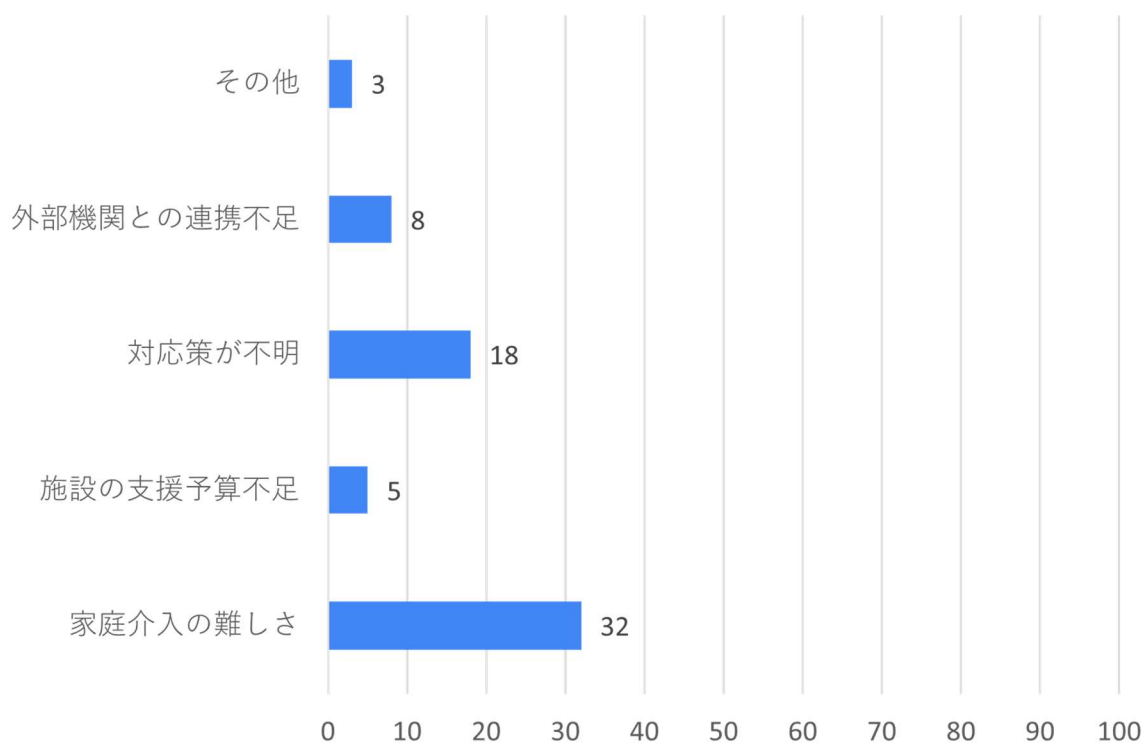


図4-4-23 十分な対応ができていないと感じる理由について(N=66)

④働くうえでの困りごとについて

Q22 働くうえでの職員やスタッフの課題や困りごとにはありますか（複数選択可）

働くうえでの困りごとについて、職員やスタッフの困りごとは人材不足が最も多く202人の回答があった。

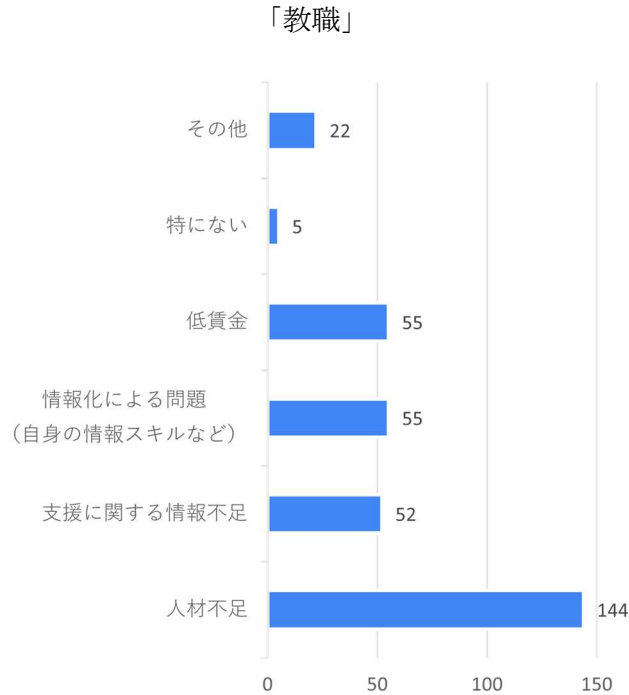


図4-4-24 働くうえでの職員やスタッフの課題や困りごとについて (N=333)

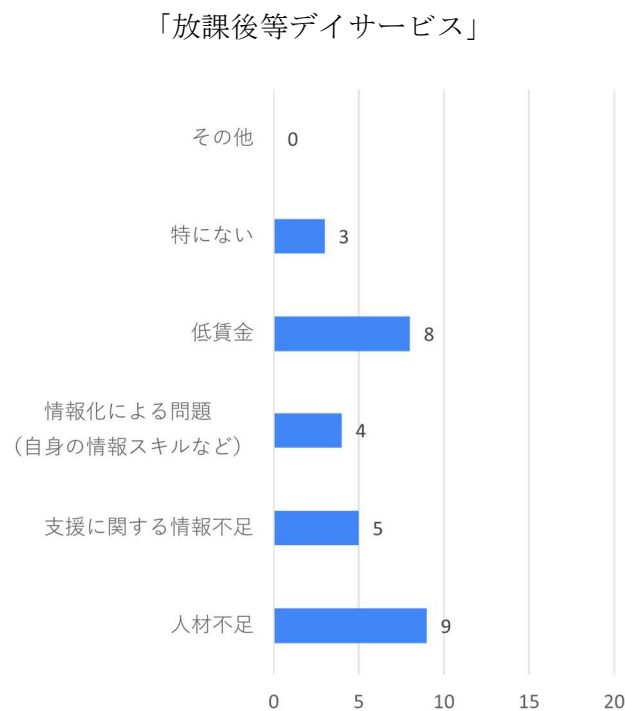


図4-4-25 働くうえでの職員やスタッフの課題や困りごとについて (N=29)

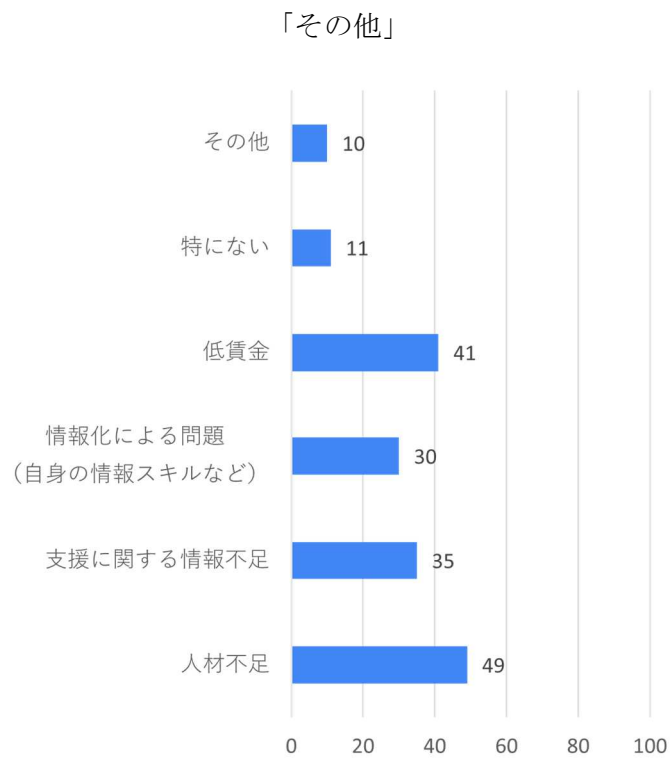


図4-4-26 働くうえでの職員やスタッフの課題や困りごとについて(N=176)

Q23 働くうえでのこどもの課題や困りごとはありますか（複数選択可）

こどもに対する困りごとは、「教職」が情報化による問題88人、「放課後等デイサービス」が安全の提供7人、「その他」の障がいの有無などの情報不足40人であった。

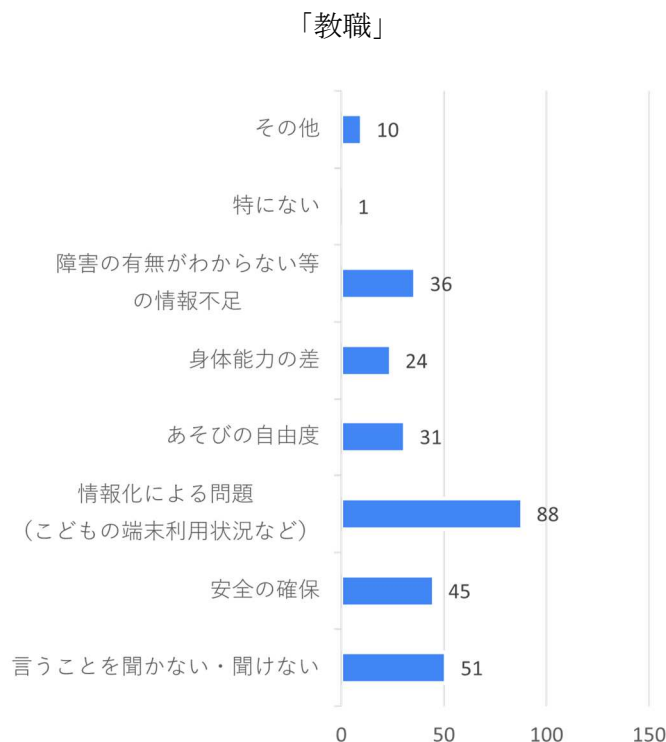


図4-4-2 7働くうえでのこどもの課題や困りごとについて (N=286)

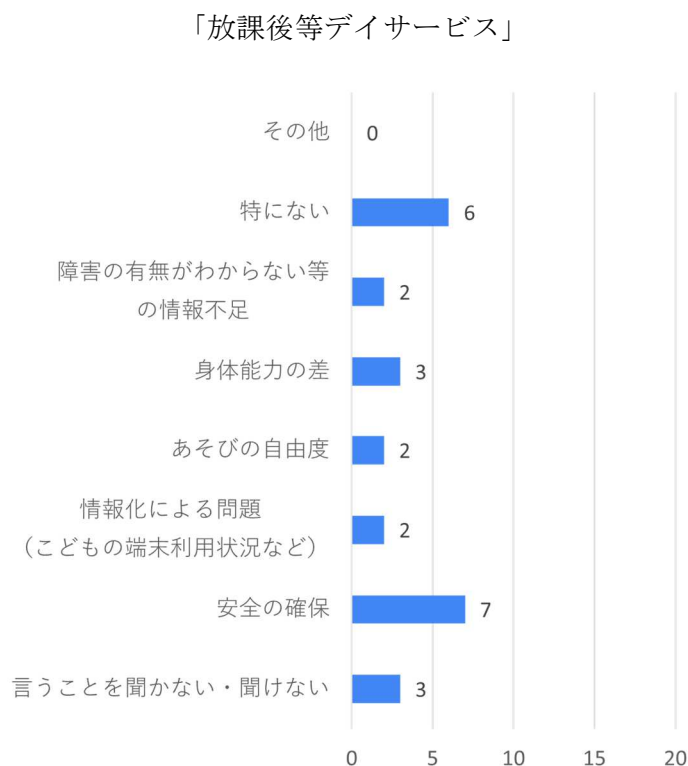


図4-4-28 働くうえでのこどもの課題や困りごとについて (N=25)

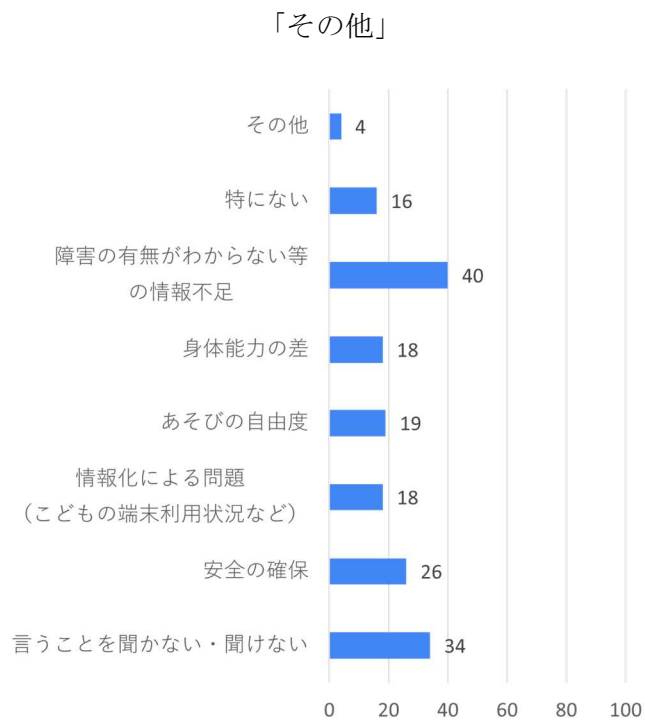


図4-4-29 働くうえでのこどもの課題や困りごとについて(N=175)

Q24 働くうえでの保護者の課題や困りごとはありますか（複数選択可）

保護者に対する困りごとは、過度な要望が最も多く、129人が回答していた。

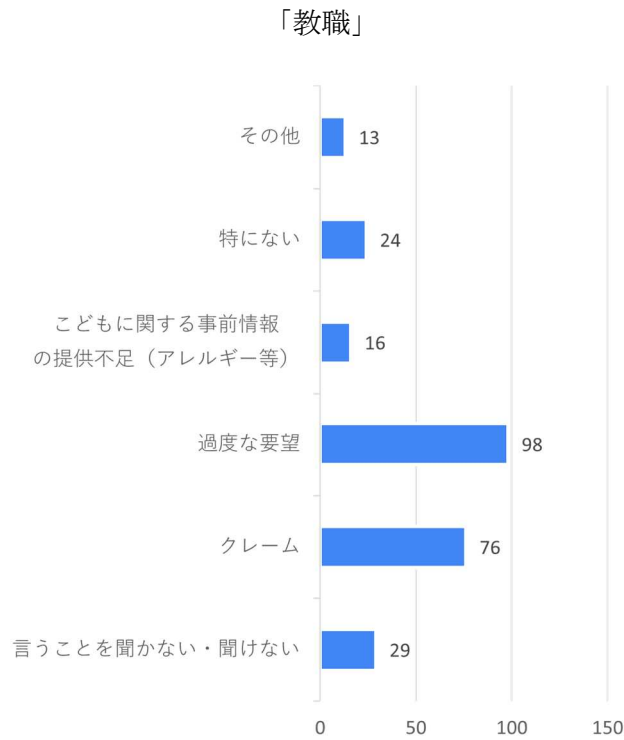


図4-4-30 働くうえでの保護者の課題や困りごとについて (N=256)

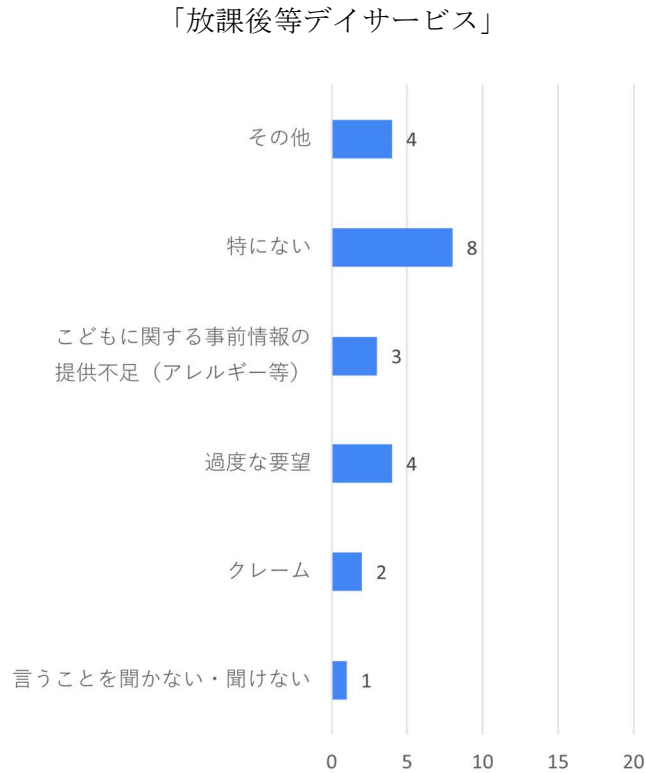


図4-4-31 働くうえでの保護者の課題や困りごとについて (N=22)

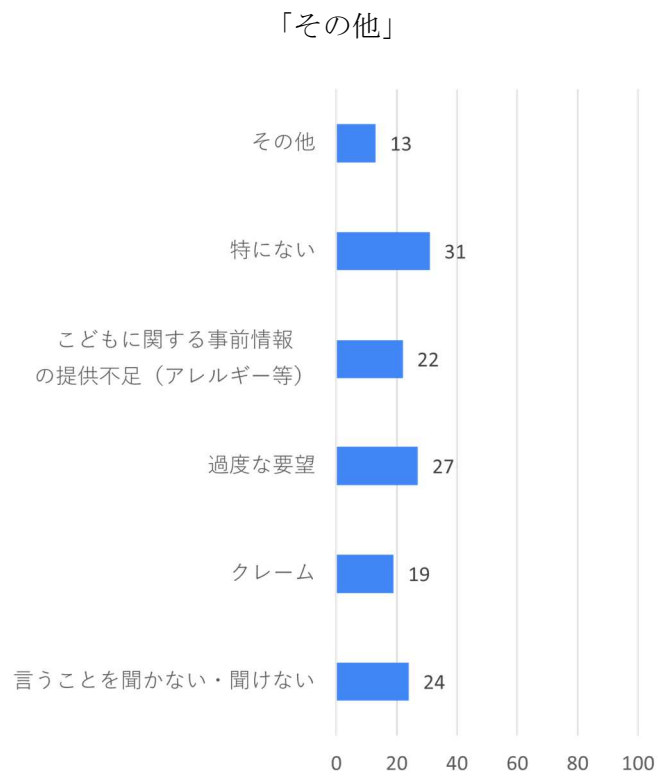


図4-4-32 働くうえでの保護者の課題や困りごとについて(N=136)

5. まとめ

5-1. 調査結果

調査結果から分かったことをそれぞれ以下のようにまとめた。

「中学生以下のこどもを持つ保護者」

- 特別な支援（医療ケアや特別支援教育）を必要とするこどもについて、全体では103人（8.8%）の存在が確認でき、そのうちこどもが2人以上いる家庭は80件、母子父子家庭は23件であった。（p. 14）
- 平日の放課後、小学生、中学生がきょうだいや家族の面倒を見ることがあるかについて、週3日以上面倒を見ることがあるのは、きょうだいの面倒は小学生25人、中学生11人で、家族の面倒については小学生21人、中学生8人であった。（p. 66-67, 74-75）
- 保護者の健康状態について、心身または身体のみ不健康を感じている人は、318人いた。また、保護者としての生活の中で「つらい」と週に2日以上感じている人は、307人いた。（p. 81）
- 気軽に相談できる相手が「いない」と回答した人は、201人（17.2%）いた。（p. 82）
- 日光市での子育て環境やサービスについて、日光市の「保育所等の保育環境」に対する満足度や日光市の「幼児期の教育環境」に対する満足度は比較的高く、それぞれ81.1%、79.4%であった。一方、日光市の「緊急時の預かりなど」に対する満足度や日光市の「交流の場・機会」に対する満足度は比較的低く、不満を感じている人はそれぞれ47.3%、40.1%であった。（p. 90-94）
- 保護者の心身の健康を支えるために、地域で提供してほしいサービスについて、「子育てや家族の将来を考えるための講座」（回答数475）や「子育てに関わる給付金についての講座」（回答数626）、等が求められていた。（p. 84）
- こども・子育て支援に期待することとして、「医療費助成や子育てサービスの費用軽減など、経済的支援の充実」（回答数925）や「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」（回答数672）、そして、「安心して出産・子育てができる医療サービスの充実」（回答数425）等が求められていた。（p. 89）

「小学5～6年生、中学1～3年生のこども」

- きょうだいや家族のお世話をすることがあるかについて、きょうだいの世話をすることがあるのは全体の358人で、そのうち40人が一人親家庭であった。家族の世話をすることがあるのは全体の231人で、そのうち41人が一人親家庭であった。（p. 112-113）
- 生活や学校、自分自身に関する意識について、「こども」全体ときょうだいや家族の世話をしている人の間に大きな差異は見られなかった。（p. 115-118）

- 家族に悩みや相談ごとを話すことができない人は234人、先生などの親以外の大人に悩みや相談ごとを話すことができない人は390人であった。(p. 142)
- こども食堂について、行ったことがない人は96% (1744人) であった。こども食堂に行ってみたいと思いますかという問に対して、ポジティブな返答をしたのは25% (449人) で、実際に行ったことがある人よりも381人多くなった。このことから、居場所の整備を行う際は、広くその存在が知れるように情報発信を行うことが重要であると言える。(p. 161, 163)
- ことばやコミュニケーションについて難しいと思ったことや悩んだことがある人は450人 (25%) であった。きょうだいや家族の世話をしている人の中では、ことばやコミュニケーションについて難しいと思ったことや悩んだことがある人の割合が全体集団の割合 (25%) よりも高く、32~34%が困難を抱えていた。(p. 174)

「15歳～39歳の若者」

- 同居する家族について、自分が面倒を見ている「若者」は11人で、そのうち高校生は2人であった。高校生については、週3日以上家族の面倒を見ていた。(p. 182)
- 生活するうえでの費用の負担について、高校生全体では教育費生活費とも自分でない人が93% (102人) であった。同居する家族の面倒を見ている高校生の中には、教育費のみ自分という人もいた。(p. 187)
- 今の生活は楽しいと思うかについて、どのくらいあてはまるか回答を得た。高校生全体と家族の面倒を見ている人の間に大きな差異は見られなかった。(p. 188)
- 相談相手について、家族と人生や将来の話をしない人は19人で、家族の面倒を見ている人は2人ともしないと回答していた。(p. 189)
- 自分には話せる人がいないと感ずることがある人は、16人いた。(p. 190)
- 将来の進路について、進学が最も多く87人で、就活する人が最も少なく22人であった。就職する人のうち2人は同居する家族の面倒を見ていた。(p. 191)

「子育て関連施設の職員やスタッフ」

- 施設の実態について、居場所・直接声を聞く場となっていると思わない人は、「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で26人いた。(p. 202)
- 児童の家庭環境等をどこまで把握しているかについて、全く分からないと回答した人は「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で19人いた。(p. 204)
- こどもの貧困について、大人目線で生活の様子からこども達の間で貧困の差を感じる人は、「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で192人いた。こどもが貧困状態であると感じる時について、「こどもの衣服の汚れや綻び」と回答した人が最も多く、「子育て

て関連施設の職員やスタッフ」全体で、149人いた。また、「何かしらの支払い、集金の未納」と回答した人が2番目に多く、全体で、115人いた。(p. 207-208)

- 貧困状態にあるこどもの対応について、十分な対応ができていないと感じる人は、いずれの施設においても半分以下だったが、全体で117人いた。また、十分な対応ができていないと感じる理由については、「家庭介入の難しさ」と回答した人が最も多く、「子育て関連施設の職員やスタッフ」全体で103人いた。また、「対応策が不明」と回答した人が2番目に多く、全体で45人いた。(p. 209-212)
- 働くうえでの困りごとについて、職員やスタッフの困りごとは人材不足が最も多く202人の回答があった。こどもに対する困りごとは、「教職」が情報化による問題88人、「放課後等デイサービス」が安全の提供7人、「その他」の障がいの有無などの情報不足40人であった。保護者に対する困りごとは、過度な要望が最も多く、129人が回答していた。(p. 213-218)

5-2. 考察

調査結果に基づいて、「保護者」「こども」「若者」、「子育て関連施設の職員やスタッフ」それぞれについて考察を行った。

「保護者」について、自身の健康状態について心身または身体のみ不健康を感じている人が318人(27%)、気軽に相談できる相手が「いない」と回答した人は、201人(17.2%)いたおとから、保護者への支援も必要である。これらの現状と保護者のニーズを踏まえ、「緊急時の預かりを行うサービスの整備」や「交流の場・機会の創出」につながるような子育てや家族の将来、子育てに関わる給付金等の講座を企画することが重要であると考えた。

「こども」について、「保護者」を対象とした調査の結果から、特別な支援（医療ケアや特別支援教育）を必要とするこどもがいて、さらに、そのうちこどもが2人以上いる家庭は80件(6.8%)あることが分かった。これは、ヤングケアラーの全国調査「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」の結果（小学生の6.5%、中学2年生の5.7%が家族の世話をしていること）と比較し、同様の結果が得られたと言える。また、「こども」を対象とした調査から、きょうだいの世話をすることがあるのは全体の358人(23%)で、家族の世話をすることがあるのは全体の231人(13%)であることが分かった。一方、「保護者」を対象とした調査の結果から、週3日以上面倒を見ることのあるのは、きょうだいの面倒は小学生25人(3.6%)、中学生11人(2.4%)で、家族の面倒については小学生21人(3.0%)、中学生8人(1.7%)であることが分かった。これらを比較すると、「こども」自身が世話をしていると感じている割合は、「保護者」がこどもに面倒を見てもらっていると感じている割合よりも高く、きょうだいの世話については19.4~20.6%高く、家族の世話については10~11.3%高いことが分かった。そして、家族に悩みや相談ごとを話すことができない人234人、こども食堂に行ったことがないが行ってみたいと回答した人449人、ことばやコミュニケーションについて難しいと思ったことや悩んだことがある人450人が確認できたことから、多様な居場所の整備と居場所の存在がこどもたちに広く知られるための情報発信が重要であると考えた。

「若者」について、同居する家族を自分が面倒を見ている「若者」は11人(3%)で、そのうち高校生は2人(2%)であった。ヤングケアラーの全国調査「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」の結果(全日制高校2年生の4.1%が家族の世話をしていること)よりは、すこし低い割合だが、回答者数が異なることを踏まえると同様の結果が得られたと言える。高校生については、週3日以上家族の面倒を見ること、同居する家族の面倒を見ている高校生の中には教育費のみ自分で払っている人がいること、相談相手について、家族と人生や将来の話をしない人は19人で、家族の面倒を見ている人は2人ともしないと回答していたこと、同居する家族の面倒を見ている高校生の進路が就職であったことから、「第三の居

場所の提供」や「奨学金やサービスに関する情報の提供」、「家族の世話から離れて自分自身のことだけを考える機会の提供」が重要であると考えた。

「子育て関連施設の職員やスタッフ」について、居場所・直接声を聞く場となっていると思わない人が26人、児童の家庭環境等をどこまで把握しているかについて、全く分からないと回答した人が19人いたことから、「ケアラーや貧困のこどもについての理解を深めるための勉強会や意見交換会」の実施が必要であると考えた。貧困対策については、大人の目線で生活の様子からこども達の間で貧困の差を感じる人は、全体で192人いたが、十分な対応ができていないと感じる人は、全体で117人いたことから、「家庭介入について、日光市が各施設と協議しながら対応策を考える」ことや「各施設での対応策を明確にする」ことが必要であると考えた。

また、働くうえでの困りごとについて、人材不足（回答数202）、情報化による問題（回答数88）、障がいの有無などの情報不足（回答数40）、保護者の過度な要望（回答数129）が多く挙げられたことから、「民間の団体や企業との連携強化」や「保護者との間に立ちサポートを行う中間支援組織の整備や強化」、「保護者と施設職員・スタッフ両方に向けたケアラーや貧困のこどもについての理解を深めるための勉強会や意見交換会の実施」、「情報化社会のこどもの問題について考えるための勉強会や意見交換会の実施」が必要であると考えた。